保証とアフターサービス

必ずお読みください

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は **お買い上げの販売店にご相談ください。**

ご転居されたり、ご贈答品などで
販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-41

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、山梨県、静岡県、新潟県、沖縄県）044-543-0220
西日本地区（上記以外）06-6440-4411

電話で 365日 24時間 お応えします

新製品などの商品選び、
お取り扱い・お手入れ方法などのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-86

携帯電話・PHSからのご利用は 03-3426-1048
FAX 03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）

※**電話受付：365日・24時間受け付けます。**　※フリーダイヤルは、携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

ホームページに最新の商品情報やサービス・サポート情報などを掲載しておりますので、ご参照ください。
http：//www.toshiba.co.jp/product/tv/
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ（http://www.toshiba.co.jp/）をご参照ください。

保証書（別添）

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと、たいせつに保管してください。

保証期間……お買い上げの日から1年間です。
B-CASカードは、保証の対象から除きます。

補修用性能部品の保有期間

- 液晶テレビの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは～出張修理

- 255ページに従って調べていただき、なお異常があるときは本体の電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

修理に関しては保証書をご覧ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できる場合には、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

■ご連絡いただきたい内容

品名	地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ
形名	32LC100または37LC100
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	
便利メモ お買い上げ店名	おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。 TEL（　　）　―

廃棄時のお願い

- **一般の廃棄物といっしょにしないでください。**ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

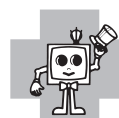
愛情点検

長年ご使用の液晶テレビの点検をぜひ！　熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いによって部品が劣化し、故障したり、ときには安全性を損なって事故につながることもあります。

ご使用の際このような症状はありませんか？

- 電源を入れても映像や音が出ない。
- 映像が時々、消えることがある。
- 変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- 電源を切っても、映像や音が消えない。
- 内部に水や異物がはいった。

ご使用中止

このような場合、故障や事故防止のため、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。
ご自分での修理は危険ですので、絶対にしないでください。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

株式会社 **東芝** CTV事業部

〒105-8001 東京都港区芝浦1-1-1

※所在地は変更になることがありますのでご了承ください。

(YC/Y) 23552193

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ取扱説明書

TOSHIBA

（地上・BS・110度CSデジタルハイビジョンチューナー内蔵）

地上・BS・110度CSデジタル ハイビジョン液晶テレビ取扱説明書

形名 **32LC100**
37LC100

- このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは、いつも手元に置いてご使用ください。

ヒント

- 基本操作は、「簡単ガイド」（別紙）をご覧ください。
- 映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合には、「困ったときには…」（→255ページ）をご覧ください。

32LC100,37LC100

もくじ

第1章 ご使用の前に

■この取扱説明書は32LC100と37LC100との共用です。
使用イラストは32LC100です。
37LC100は多少異なります。

第2章 テレビの操作をする

別売品

● 別売アクセサリーは、システムアップの組み合わせによってお選びください。
● ここにあげたアクセサリーは一部です。詳しくは、販売店にご相談ください。

映像用コード
形名 TSC-VC01

S映像用コード
形名 TSC-VS01
Sプラグ(1) ⟷ Sプラグ(1) 1.5m
※S1、S2映像用としても使えます。

音声用コード（ステレオ）
形名 TSC-AS01

音声用コード（ステレオ/モノラル）
形名 TSC-AX05

コンポーネント映像変換用D端子ケーブル
形名 TSC-VX01

映像・音声用コード（ステレオ）
形名 TSC-VA01

D端子ケーブル
形名 TSC-VX02

アンテナアダプター
形名 JP-1C

BS・CS分配器（全方向電流通過形）

	形 名
2分配	CSG-D2A
3分配	CSG-D3A
4分配	CSG-D4A

設置スタンド

	32LC100／37LC100対応品（共通）形 名
東芝液晶テレビ壁取り付け金具/チルト式	FPT-TA7
東芝液晶テレビ用フロアスタンド	RL-F120／RL-F80

テレビのネットワーク接続（LAN端子を使った接続）についてのご相談は

【フェイス】ネットワークご相談センター

フリーダイヤル 0120−97−9674（クナン クローナシ）
※携帯電話・PHSなど一部の電話ではご利用になれません。

携帯電話からのご利用は
ナビダイヤル（通話料有料） 0570−05−5100
※PHSなど一部の機種ではご利用になれません。

FAX 03−3258−0470

● 受付時間（月曜日〜土曜日）10：00〜20：00　日曜・祝祭日および年末年始など当社休業日を除きます。

[次のページにつづく]

もくじ つづき

第3章 他の機器をつないで楽しむ (ビデオなどをつなぐ)

第4章 faceネットを使って いろいろな機能を楽しむ

faceネットを使う

第5章 お好みやご使用状態に合わせて設定する

第6章 最初の設置・接続・設定

[次のページにつづく]

もくじ つづき

第7章 困ったときには...

第8章 その他

第1章 ご使用の前に

本機の特長（こんなことができます！）

地上デジタル放送受信

●地上デジタル放送対応のUHFアンテナを使用することで、地上デジタル放送をお楽しみいただけます。

※地上デジタル放送で本機が受信できるのは、ご家庭のテレビで受信する固定受信サービスと車などでの受信も考えた移動体受信サービスです。
携帯電話などで受信できる部分受信サービスについては、受信できません。(→21ページ)
また、地上デジタル音声放送は受信できません。(→20ページの「ラジオ放送の特長」を参照)

BSデジタル、110度CSデジタル放送受信

●BS･110度CSデジタル用アンテナのご使用によって、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送をお楽しみいただけます。

DEPG™システムによる地上アナログ放送の番組表機能を搭載

●デジタル放送はもちろん、地上アナログ放送の番組表もテレビ画面でご覧になれます。(→19ページ)
※ブロードバンド環境が必要です。

faceネットボタンでいろいろな機能に簡単アクセス

●お好み番組の検索や、録画予約、デジタルカメラで撮った写真を見るなど、いろいろな機能を使えます。(→140ページ)

USB端子を装備

●デジタルカメラやメモリーカードリーダー(ライター)などをつないで、写真(JPEGファイル)をテレビ画面でご覧になれます。
(→123、143ページ)

多彩な選局方法！

●番組表(→40ページ)や裏番組リスト(→48ページ)、番組検索(→46ページ)などで選局できます。
●付属のビデオコントロールケーブルとテレビ画面に表示される番組表を使うことで、デジタル放送番組の録画予約を行うことができます。(→83、124ページ)

LAN(ラン)端子搭載

●イーサネット通信を使ったソフトウェアダウンロードサービス(サーバーからのダウンロード→250ページ)
※ブロードバンド環境が必要です。
●LAN端子付きの当社HDD&DVDビデオレコーダーで地上デジタル、BSデジタルを簡単録画(→127ページ)

安全上のご注意

商品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表示の意味
⚠警告	“取り扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷[*1]を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取り扱いを誤った場合、使用者が傷害[*2]を負うことが想定されるか、または物的損害[*3]の発生が想定されること”を示します。

＊１：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

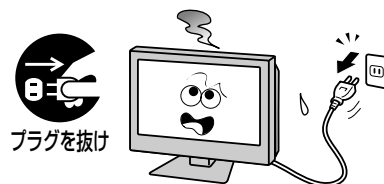
【図記号の例】

図記号	図記号の意味
禁　止	“⃠”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指　示	“●”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
高圧注意	“△”は、注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。 左の図は高圧注意の例を示します。

⚠警告

異常や故障のとき

■煙が出ている、変なにおいがするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■画面が映らない、音が出ないときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

安全上のご注意 つづき

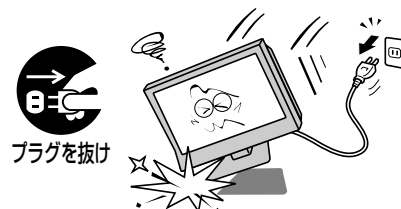
⚠警告

異常や故障のとき つづき

■内部に水や異物がはいったらすぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■落としたり、キャビネットを破損したときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店に、点検をご依頼ください。

■電源コードや電源プラグが傷んだり、発熱したときは、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源プラグが冷えたことを確認し、コンセントから抜く

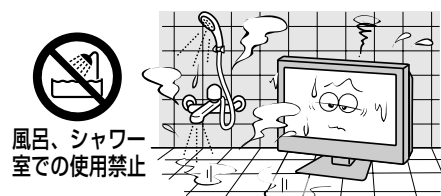
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
電源コードや電源プラグが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。

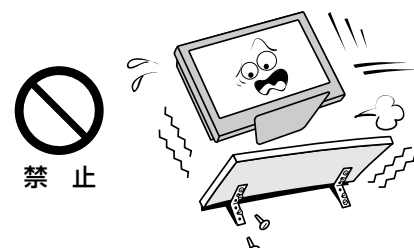
設置されるとき

■本機は電源コンセントから電源プラグが抜き易いように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間ご使用にならないときなどに役立ちます。

■屋外や浴室など、水のかかるおそれのある場所には置かない

火災・感電の原因となります。

■ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かない

テレビが落ちて、けがの原因となります。
水平で安定したところに据え付けてください。
テレビ台をご使用になるときは、その取扱説明書もよくお読みください。

⚠警告

設置されるとき つづき

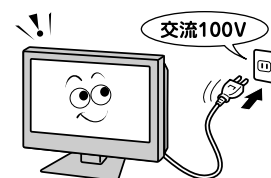
■振動のある場所に置かない

振動でテレビが移動・転倒し、けがの原因となります。

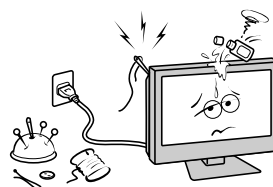
振動禁止

■電源プラグは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む

- 交流 100V 以外を使用すると、火災・感電の原因となります。
- 差し込みかたが悪いと、発熱によって火災の原因となります。
- 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使わないでください。

指　示

■上にものを置かない

- 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
- 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。

上載せ禁止

■壁に取り付けてご覧になる場合、壁掛け工事は、お買い上げの販売店に依頼する

工事が不完全だと、けがの原因となります。

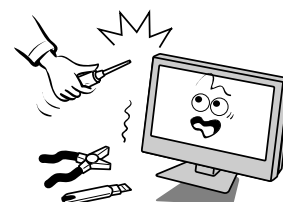
別売の壁取り付け金具をご使用ください。詳しくは別売品のページをご覧ください。（→ 287 ページ）

指　示

ご使用になるとき

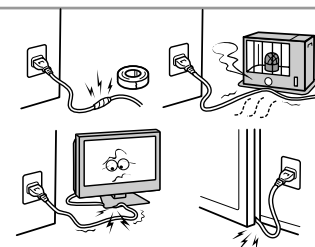
■修理・改造・分解はしない

内部には電圧の高い部分があり、感電・火災の原因となります。
内部の点検・調整および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

■電源コード・電源プラグは

- **傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したり（熱器具に近づけるなど）しない**
- **引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしない**
- **無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしない**

火災・感電の原因となります。

禁　止

安全上のご注意 つづき

⚠警告

ご使用になるとき つづき

■異物を入れない

通風孔などから金属類や紙などの燃えやすいものが内部にはいった場合、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■雷が鳴りだしたら、テレビ・電源コード・アンテナ線・電話機コード・LANケーブルに触れない

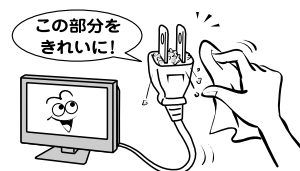
感電の原因となります。

■梱包に使用しているビニール袋でお子様が遊んだりしないように、注意する

かぶったり、飲み込むなどすると窒息するおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

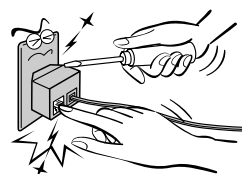
お手入れについて

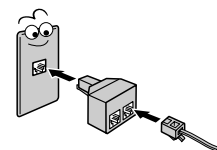
■時々電源プラグを抜き、刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、きれいに掃除する

電源プラグの絶縁低下によって、火災の原因となります。

⚠注意

モジュラー分配器を使うとき

■モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしない

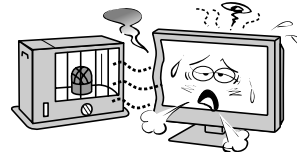
電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに強い衝撃電流が流れますので、感電の原因になることがあります。

■正しく接続する

正しく接続しないと、本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

⚠注意

設置されるとき

■温度の高い場所に置かない

直射日光の当たる場所・閉め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、発熱や感電の原因となることがあります。
また、キャビネットの変形、破損、その他部品の劣化や破損によって感電の原因となることがあります。

禁止

■湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かない

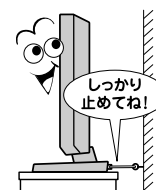
加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、発熱や感電の原因となることがあります。

禁止

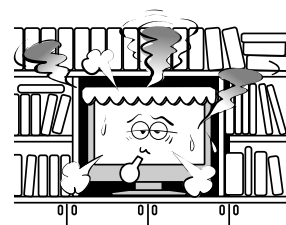
■転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

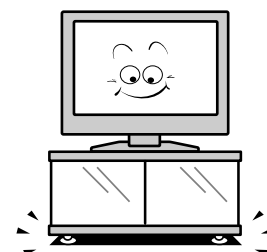
●転倒防止については 168 ページをご覧ください。

指示

■通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 壁に押しつけないでください。（10cm 以上の間隔をあける）
- 押し入れや本棚など風通しの悪い所に押し込まないでください。
- テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。
- じゅうたんや布団の上に置かないでください。
- あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。

禁止

■車（キャスター）付きのテレビ台に設置する場合は、キャスターが動かないように固定する

固定しないとテレビ台が動き、けがの原因となることがあります。
移動させる時以外は、前側のキャスターの下にキャスター受皿を使用し、動かないように固定してください。

指示

■移動したり持ち運ぶ場合は

- **離れた場所に移動するときは電源プラグ・アンテナ線・機器との接続線および電話機コードや転倒防止をはずす**
  はずさないまま移動すると電源コードが傷つき火災・感電の原因となったり、テレビが転倒して、けがの原因となることがあります。
- **開梱や持ち運びは 2 人以上で立てた状態で行う**
  表示パネル面を上向き、または下向きにして運ばない
- **車（キャスター）付きのテレビ台に設置している場合、移動させるときは、キャスター受皿を取り除いて、テレビを支えながら、テレビ台を押す**
  テレビを支えながら、テレビ台を押さないと、テレビが落下してけがの原因となることがあります。
- **衝撃を与えないようにていねいに扱う**

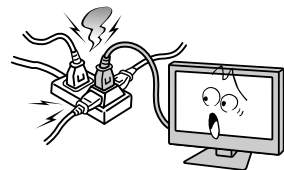
指示

安全上のご注意 つづき

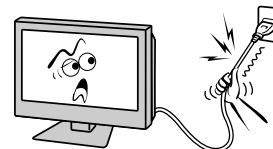
⚠注意

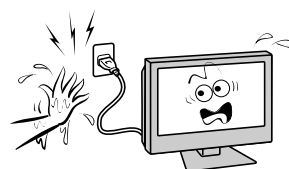
設置されるとき つづき

■ **コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない**

タコ足配線をしないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

ご使用になるとき

■ **電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かない**

電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
電源プラグを持って抜いてください。

■ **ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない**

感電の原因となることがあります。

■ **テレビやテレビ台にぶら下ったり、上に乗ったりしない**

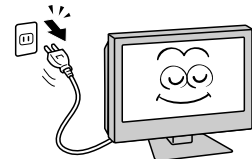
落ちたり、倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ **テレビ台をご使用のときは**

- **テレビがはみ出す台には載せない**
  （専用テレビ台をご使用の場合を除きます）
- **片寄った載せかたをしない**
- **テレビ台のとびらを開けたままにしない**

倒れたり、破損したり、また指をはさんだり、引っ掛けたりして、けがの原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ **本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜く**

- 本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。

■ **旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く**

万一故障したとき、火災の原因となることがあります。

⚠注意

ご使用になるとき つづき

■ヘッドホーンやイヤホーンをご使用になるときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

禁 止

■リモコンに使用している乾電池は

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

禁 止

■液晶テレビの画面をたたいたり衝撃を加えたりしない

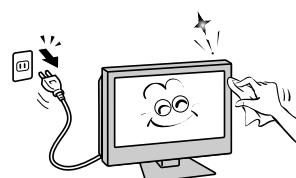
ガラスが割れて、けがの原因となることがあります。
もしも、ガラスが割れて、液晶（液体）がもれたときは、液晶に触れないでください。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。本機以外の器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

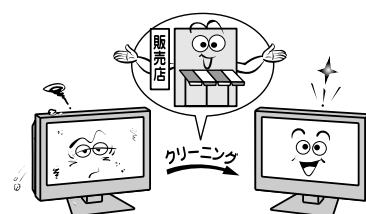
禁 止

お手入れについて

■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。

- お手入れのしかたは 283 ページをご覧ください。

■1年に一度くらいは内部の清掃を、お買い上げの販売店にご相談ください

本体の内部にほこりがたまったまま使用すると、火災や故障の原因となることがあります。
特に湿気の多くなる梅雨時期の前に行うと効果的です。内部清掃費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。

使用上のお願いとご注意

取り扱いについて

● ご使用中、製品本体で熱くなる部分がありますので、ご注意ください。

● 引っ越しなど、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。また、衝撃・振動をあたえないでください。

● 本機に殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変質したり、塗装がはげることがあります。

● 画面(液晶パネル)は水ぶきをしないでください。
・脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布(OA機器清掃用の布)で軽くふいてください。
・アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

● 電源プラグは非常時と長期間ご使用にならないとき以外は、常時コンセントに接続してください。(番組情報を取得するためです。)

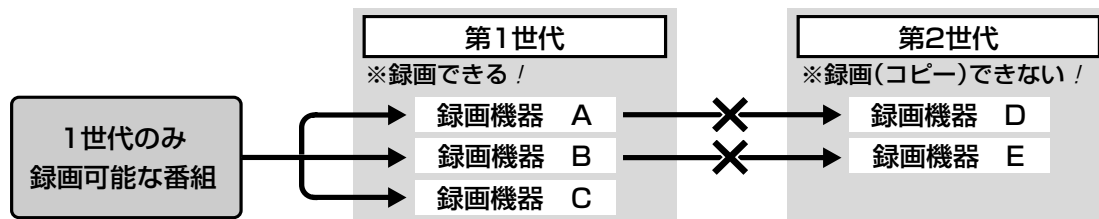
● 液晶テレビではテレビゲームをお楽しみいただけますが、原理上、光線銃などを使い画面を標的にするゲームで、使用できない場合があります。
また、外部入力(ビデオ1～3)の映像や音声には若干の遅れが生じます。
以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じる場合があります。
・ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
・DVDやビデオなどの音声を、直接AVアンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

たいせつな録画・録音について

● ビデオに録画・録音する際は、事前に試し録画・録音を行い、正しくできることを確かめておいてください。

● デジタル放送では世代コピー制御が行なわれています。著作権保護のため、録画が禁止されている番組については、録画をすることはできません。また、著作権保護のため1世代のみ録画を許された番組(コピーワンスプログラム)については、録画した番組をさらに録画(コピー)することはできません。詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

■ 1世代のみ録画可能な番組の場合

● 下図のように、1世代の録画(録画機器A、B、Cへの録画)のみできます。

著作権について

● あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、権利者の許諾なく、録画・録音したものを複製・改変したり、インターネット等で送信・掲示することは著作権法上禁止されています。著作権法違反によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いませんので、ご理解のほどお願いします。
なお、著作権法違反は刑事処罰を受けますので自己責任の下でご利用ください。
たとえば、以下の行為は違反になりますのでご注意ください。
・録画した番組を自分のホームページで見られるようにする。
・録画した番組をメールやメッセンジャーサービスなどで他人に送る。
また、以下の行為も著作権法違反となるおそれがありますのでご注意ください。
・番組を録画したVHSテープ、DVDなどの媒体を友人に貸す。

著作権について つづき

- 本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。
この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他一部の観賞用の使用に制限されています。
分解したり、改造することも禁じられています。

蛍光管について

- 本機内部に使用している蛍光管には寿命があります。
画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、新しい蛍光管ユニットに取り換える必要があります。
交換のときは、東芝家電修理ご相談センター（→裏表紙参照）にお問い合わせください。

本機を廃棄、または他の人に譲渡するとき

- 「すべての設定内容を初期化する場合」（→245ページ）を行い、暗証番号や個人情報（データ放送でのお客様のポイント数など）なども含めて、初期化することをおすすめします。
- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。
本機の内部で使用している蛍光管の中には水銀が含まれています。廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

免責事項について

- 地震・雷などの自然災害、火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損害、事業の中断、視聴料金の損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 何らかの原因によって、メモリーカードや外部接続した記録機器等の故障または記録データの消失等があった場合、それらメモリーカードや機器等の補償、記録（録画・録音など）されていた内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。たいせつなデータ等は、お客様の責任で普段からこまめにバックアップされるようお願いします。
- 何らかの原因によって、録画／録音機器に正しく記録（録画、録音など）できなかった内容の補償、および付随的な損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器やソフトウェアなどとの組み合わせによる誤動作や動作不能などから生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気等のノイズの影響を受けたとき、本機に記憶または保存されたデータ等が変化・消失するおそれがあります。これらの場合について、当社は一切の責任を負いません。
- 番組表や番組情報などで表示される内容について、当社は一切の責任を負いません。
- 番組表や番組情報などの表示は、本機が番組情報を取得するタイミング、突発的な事件や緊急番組、スポーツ中継などの延長によって、実際の放送時間や番組内容と異なる場合があります。
その場合、番組の変更情報が反映されず、ご希望の番組が正しく録画できないことがありますが、あらかじめご了承ください。
- 番組検索の結果は指標としてお使いいただけます。使用結果については保証いたしません。
- インターネットを使用して提供されるサービス（地上アナログ放送の番組表など）は、お客様への予告なく一時的に停止されたり、サービス自体が終了される場合があります。あらかじめご了承ください。
- 故障・修理のときなどに、データ放送の双方向サービス等で本機のメモリーに記憶されたお客様の登録情報やポイント情報等の一部あるいはすべてが変化したり消失した場合の損害や不利益について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 設置スタンド（別売品）の取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。
- 据付不備によって発生した損害に関しては、当社は一切の責任を負いません。

必ずお読みください

毎日２時間以上、本機の電源を待機状態（リモコンで電源を切った状態）にしてください

－番組情報取得のためです－

● デジタル放送の場合、番組についての情報（番組名や放送時間など）が放送電波の中にはいって送られてきます。
テレビはその番組情報を取得して、番組表表示や番組検索、予約などに使用します。
そのため、番組情報の取得ができていないときには、番組表が正しく表示されないといったことが起きます。
番組情報の取得は電源待機時に行われます。
（本体の電源ボタンで電源を「切」にした場合や電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定を「取得しない」に設定している場合（→163ページ）には、番組情報は一切取得できません。）

［詳しい説明］
電源が「入」のときにも番組情報の取得は行われますが、今ご覧のデジタル放送以外の放送については、番組情報を取得できない場合があります。（デジタル放送の種類や本機のそのときのモードによって、取得できる内容は異なります。）
また、本体の電源ボタンで電源を「切」にした場合や電源プラグを抜いている場合、および番組情報取得設定を「取得しない」に設定している場合（→163ページ）には、番組情報は取得できません。

● 以上から、番組情報を取得するために、番組情報取得設定を「取得する」（→163ページ）にして毎日2時間以上、リモコンの電源ボタンで本機の電源を待機状態にしておくことをおすすめします。（電源待機の間に本機は自動的に番組情報を取得します。）

お客様登録をしてください

● ダウンロードのお知らせをお送りすることなどを目的とした、お客様登録をお願いしています。
付属の「お客様登録のお願い」のハガキでお客様登録をしてください。
「お客様登録のお願い」をご覧の上、インターネットでもお客様登録が行えます。

お問い合わせ先について

● 受信契約など放送受信については、各放送事業者にお問い合わせください。

同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて

● B-CASカードは、常に本体に挿入しておいてください。（→170ページ）
※B-CASカードは、デジタル放送の有料放送の受信や、著作権保護（コピー制御）された無料の民間放送の受信に必要となります。
B-CASカードの登録や取り扱いの詳細は、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。
● B-CASカードを紛失したり、盗難にあった場合や、破損したり、よごれた場合には、（株）ビーエス･コンディショナルアクセスシステムズ（カードが貼ってある台紙を参照）にご連絡ください。

デジタル放送の録画について

● 地上／BSデジタルテレビ放送局は、著作権保護のために電波に「1世代のみ録画可能」のコピー制御信号を加えて放送しています。
これによって、デジタル録画機器に録画した番組を他のデジタル録画機器にコピーすることはできなくなります。
詳しくは録画機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の現在時刻の表示（→54ページの図を参照）について

● デジタル放送を受信していない場合は、現在時刻表示のずれが大きくなる場合があります。
［詳しい説明］
・ 本機は、デジタル放送から現在時刻を取得しています。
デジタル放送を受信していない場合は、補助的にインターネットから時刻情報を取得します。
● デジタル放送を受信しない場合で、インターネットの常時接続をしていない場合は、本機の現在時刻表示はでません。

地上アナログ放送の番組表や番組情報を使用した機能について

● はじめに
- 本機はDEPG™(Dynamic Electronic Program Guide)システムによる地上アナログ放送の番組表機能を搭載しています。これによって、デジタル放送だけでなく地上アナログ放送でも以下の機能が使えます。
  - 番組表をテレビ画面に表示させて、選局や視聴予約をする(→40ページ)
  - 裏番組リストを使う(→48ページ)
  - 番組情報や番組説明を見る(→54ページ)
  - ジャンルなどを指定して番組を検索する(→46ページ)

● 地上アナログ放送の番組表を使うには
- 地上アナログ放送の番組表を使うにはインターネットの常時接続と設定が必要です。
- 接続は、「LAN端子の接続」(→182ページ)、設定は「通信接続設定」(→227ページ)をご覧ください。

※ 地上アナログ放送の番組表のご利用にあたっては免責事項(→17ページ)もよくお読みください。

● 地上アナログ放送のみ受信している場合には、番組情報が自動的に更新されないことがあります。番組情報が表示されず、現在時刻も表示されないときには、番組表で番組情報の取得を行ってください。(→41ページ)

この取扱説明書について

● この取扱説明書に記載されているテレビ画面表示は、実際に表示される画面と文章表現などが異なる場合があります。画面表示については実際のテレビ画面でご確認ください。
● 受信画面の図などに記載されている番組名などは架空のものです。
● 記載されている機能の中には、放送サービス側がその運用をしていない場合には使用できないものがあります。
● 特にデジタル放送に関連した部分で、専門的な用語が使われている場合があります。
それらの用語については、271ページをご覧ください。
● 画面に表示されるアイコン(絵文字)については、「アイコン一覧」(→270ページ)をご覧ください。
● この取扱説明書では、以下の略語を使用しています。

略語	意味
デジタル放送	地上デジタル放送、BSデジタル放送、および110度CSデジタル放送
地上A、地上アナログ	地上アナログ放送
地上D、地上デジタル	地上デジタル放送
BS	BSデジタル放送
110度CS、CS	110度CSデジタル放送
メモリーカード	「SDメモリーカード」、「マルチメディアカード」、「スマートメディア™」、「メモリースティック」など
ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)、ビデオレコーダー	東芝製HDD&DVDビデオレコーダー
LAN端子	LAN(10BASE-T/100BASE-TX)端子

ソフトウェアのバージョンアップについて

● お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、本機内部のソフトウェアをバージョンアップする場合があります。本機の自動ダウンロード機能を「する」の状態に設定しておくと、放送電波の中に入れられたソフトウェアを受信することによって、自動的にソフトウェアをバージョンアップさせることができます。(お買い上げ時は、「する」の状態に設定されています。)
ソフトウェアのバージョンアップや自動ダウンロードについては、247ページをご覧ください。

インターネットで情報を・・・

● ホームページに最新の商品情報やサービス･サポート情報、その他のお知らせなどを掲載しておりますので、ご参照ください。

■ http://www.toshiba.co.jp/product/tv/

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。このような場合は、お手数ですが、東芝総合ホームページ(http://www.toshiba.co.jp/)をご参照ください。

● また、東芝総合ホームページからもさまざまな情報を提供しております。

デジタル放送（地上D、BSデジタル、110度CSデジタル）について

● デジタル放送は、最新のデジタル技術を活用することによって、高画質（ハイビジョン放送）・多チャンネルのテレビ放送や、デジタルラジオ放送、データ放送などさまざまな魅力を満載して放送されています。
● デジタル放送は音声信号を効率よく圧縮して放送することができますので（デジタルオーディオ：MPEG-2 AAC方式）、原音に近い高音質な音声をお楽しみいただけます。さらに5.1チャンネルステレオのサラウンド放送も行われています。

テレビ放送の特長

● デジタルハイビジョン放送を中心に、4種類の放送フォーマットがあります。

	デジタルハイビジョン放送		プログレッシブ放送	通常放送
放送フォーマット	1125i(1080i)放送	750p(720p)放送	525p(480p)放送	525i(480i)放送
走査線の数	1125本(有効1080本)	750本(有効720本)	525本(有効480本)	525本(有効480本)
走査の方式	インターレース（飛び越し走査）	プログレッシブ（順次走査）	プログレッシブ（順次走査）	インターレース（飛び越し走査）
画面サイズ	16：9	16：9	16：9	16：9、4：3

● デジタルハイビジョン放送1番組と通常放送3番組程度を時間帯によって切り換えて放送する、マルチチャンネル放送もあります。
※本機はすべての放送フォーマットをデジタル処理によって、画面（液晶パネル）の画素数に合わせて表示します。

ラジオ放送の特長

● ラジオ放送は、BSデジタルおよび110度CSデジタル放送で行われています。
（110度CSデジタル放送では、2004年12月現在ラジオ放送は放送されていません。）
● 地上デジタル放送にはラジオ放送はありません。
（音声放送としては、地上デジタル音声放送が地上デジタルテレビ放送とは別の団体で規格化されています。本機はこの放送には対応していません。）
● 静止画や動画を使ったデータつきのラジオ放送もあります。

データ放送の特長

● テレビ番組やラジオ番組に関連するデータ放送（番組連動データ放送）と、番組とは無関係の独立したデータ放送（独立データ放送）の2種類があります。
● 番組連動データ放送では、番組を視聴しながらいろいろな情報をチェックするなどの使いかたができます。
● 独立データ放送では、天気予報などのいろいろな情報がご覧になれます。

■ 地上デジタル放送について

●地上デジタル(テレビジョン)放送とは?

地上波のUHF帯を使用したデジタル放送のことです。
(この取扱説明書では、「地上デジタル放送」と略して記載しています。)
現在行われているアナログ方式の地上放送(以後「地上アナログ放送」と記載します)は、今後この地上デジタル放送に変わっていきます。

●地上デジタル放送の特長

これまでの地上アナログ放送に比べて、以下のメリットがあります。

(1) デジタルハイビジョン放送を中心とした高画質放送・多チャンネル放送
(→前ページ「テレビ放送の特長」を参照)

(2) 高音質放送(MPEG-2 AAC方式)

(3) ゴーストの影響を受けにくいため、画像が鮮明

(4) データ放送や双方向通信サービス
通常の番組に加えて、地域に密着したニュースや天気予報などのデータ放送が予定されています。
また、電話回線等を使った双方向通信サービスによる、オンラインショッピングや視聴者参加型のクイズ番組なども予定されています。

(5) 移動体受信・部分受信サービス
車や電車などでの移動体受信サービスや携帯電話などで受信できる部分受信サービスも予定されています。
※本機は移動体受信サービスは受信できますが、部分受信サービスは受信できません。

●BSデジタルや110度CSデジタル放送との違いは?

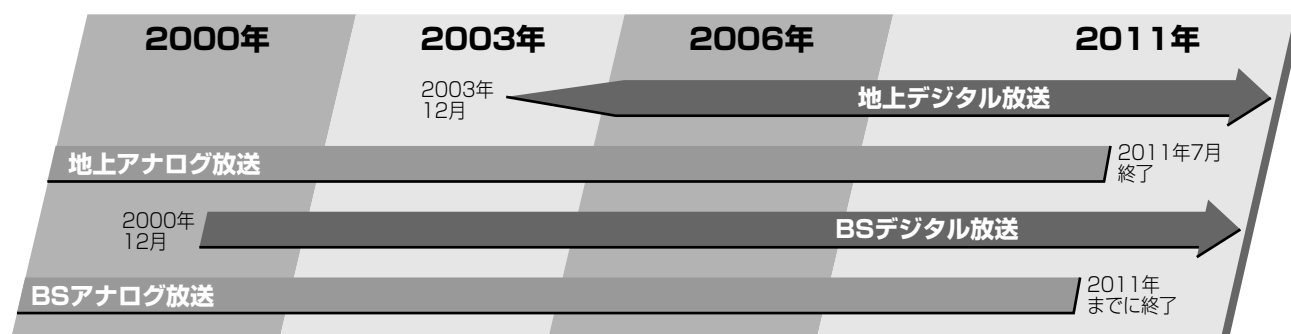
BSデジタルや110度CSデジタル放送の場合 …… 衛星を使った放送であり、日本全国どこでも同じ番組をお楽しみいただけます。
地上デジタル放送の場合 …………………………… 放送は各地域の放送局から送信されます。
地域に密着した放送・番組が多く提供される予定です。

●地上デジタル放送を受信するには

本機のほかに、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
(ほかに、混合器や分波器が必要な場合もあります。)
必要となる機器の目安については、174ページをご覧ください。

■ アナログ放送からデジタル放送への移行について

●デジタル放送への移行スケジュール

● 地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

準備（接続・設定）早わかり

● 以下の手順に従って、準備をしてください。

お客様登録をする （→18ページ）

付属品を確認する （→24ページ）

リモコンに乾電池を入れる （→30ページ）

テレビの設置、接続、設定をする （→168～193ページ）

・内容は、以下のとおりです。

・テレビの設置をする → 168～169ページ
・B-CAS（ビーキャス）カードを挿入する＊ → 170～171ページ
・「アンテナ線の接続と設定」をする → 172～178ページ
・「電話回線の接続」をする＊ → 179～181ページ
・「LAN端子の接続」をする → 182～183ページ
・「はじめての設定」をする → 184～193ページ

●次ページもご覧ください。

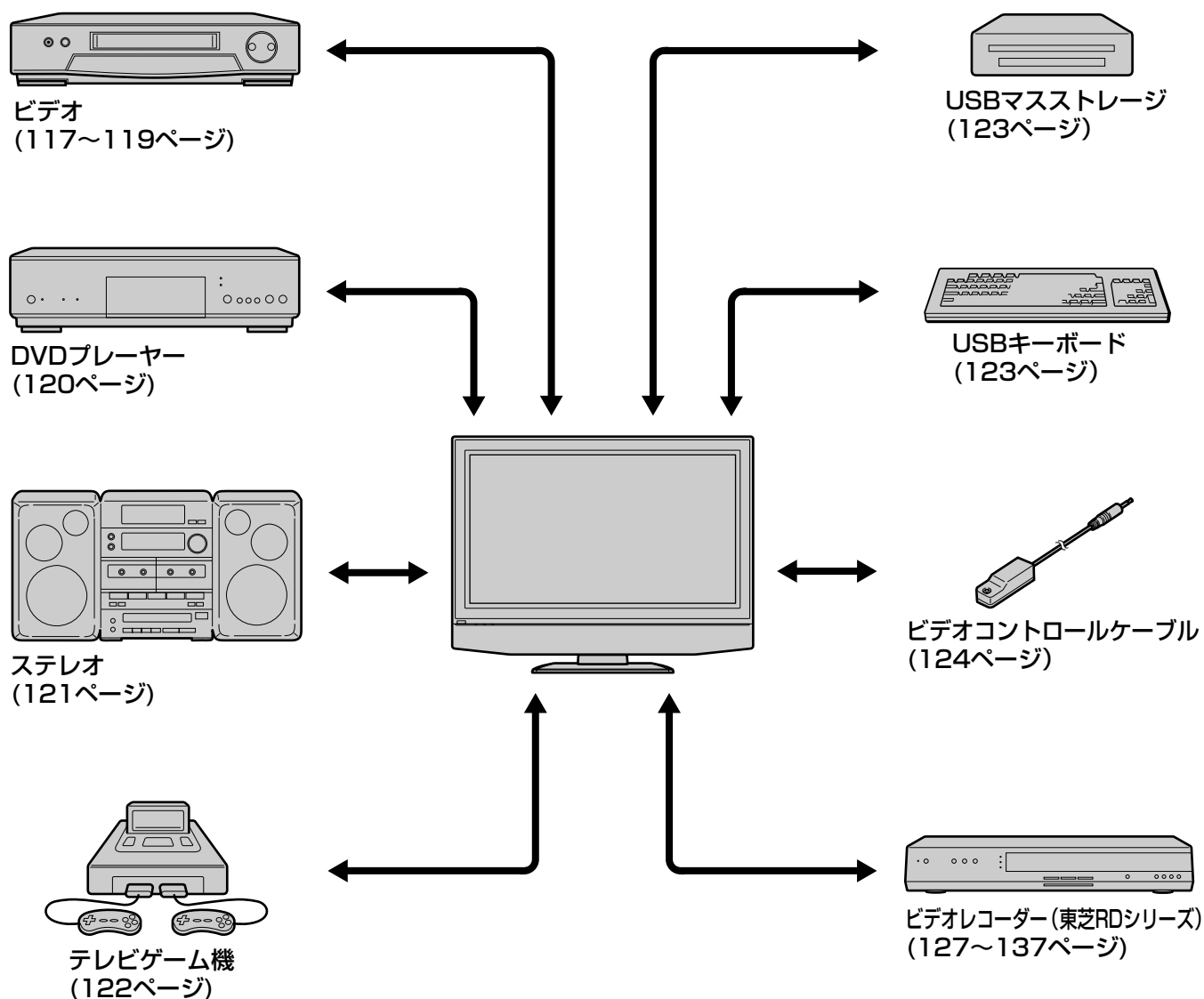
B-CAS（ビーキャス）カードの登録をする＊（B-CASカードに添付されている説明紙を参照）

受信契約をする（付属のBS・110度CSデジタル放送受信契約申込書を参照）

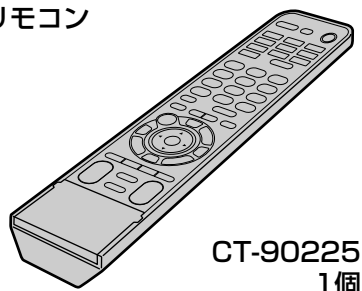
● B-CASカードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」を受信契約申込書に必ず貼ってください。

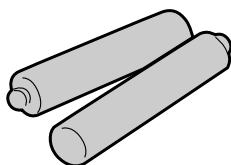
● ＊印付きの項目は、デジタル放送をご覧になるとき必要になる場合があります。

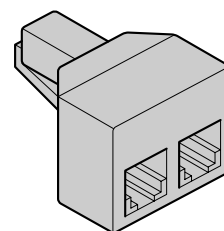
外部機器をつなぐ場合の早わかり

- このテレビは、いろいろな機器と組み合わせて楽しめます。
- LDプレーヤーなども、ビデオ入力端子に接続することができます。
- 116ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。

付属品

● 本機には以下の付属品があります。お確かめください。

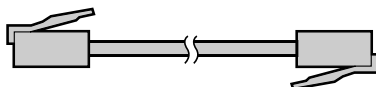
リモコン

CT-90225
1個

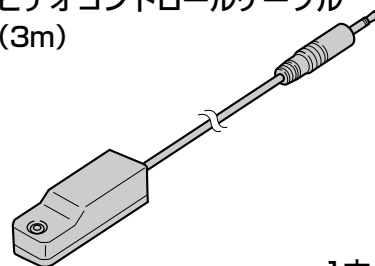
単四形乾電池（R03）

2個

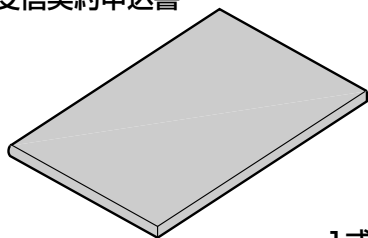
モジュラー分配器

1個

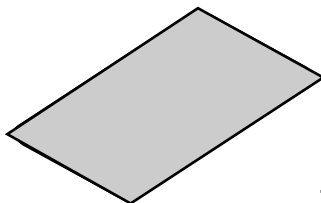
同軸ケーブル（1.5m）

1本

電話機コード（10m）

1本

ビデオコントロールケーブル
（3m）

1本

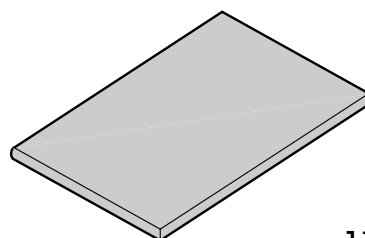
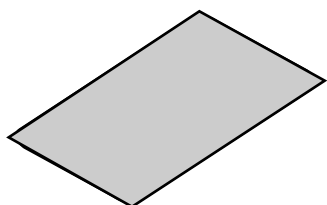
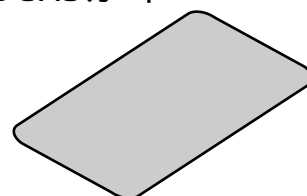
BS・110度CSデジタル放送
受信契約申込書

1式

「お客様登録のお願い」のハガキ

1枚

取扱説明書（本書）

1部

簡単ガイド

1枚

B-CAS（ビーキャス）カード

B-CAS カードは説明紙に付いています。

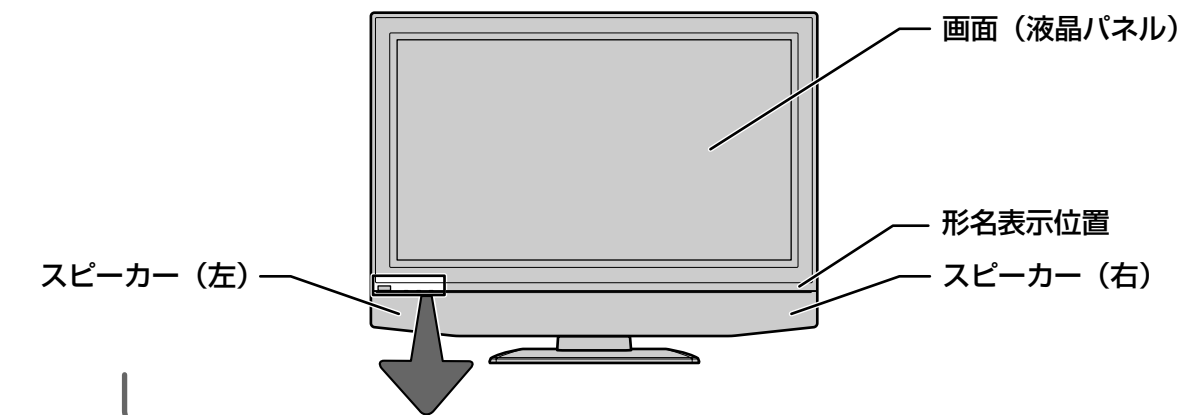
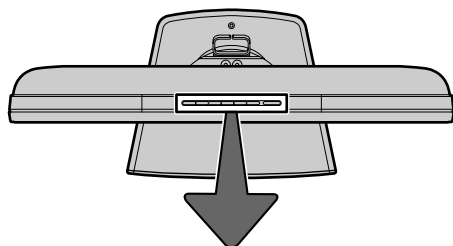
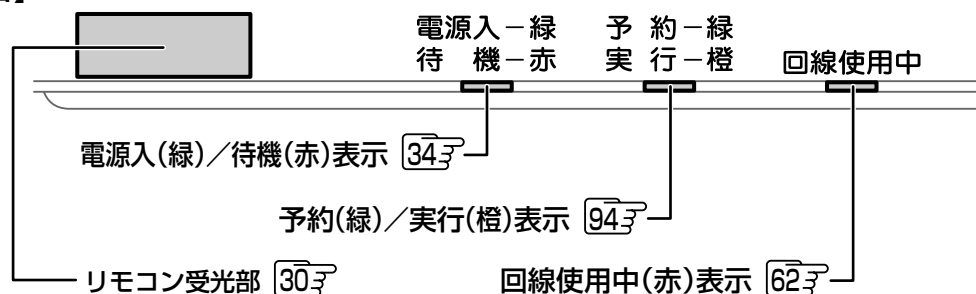
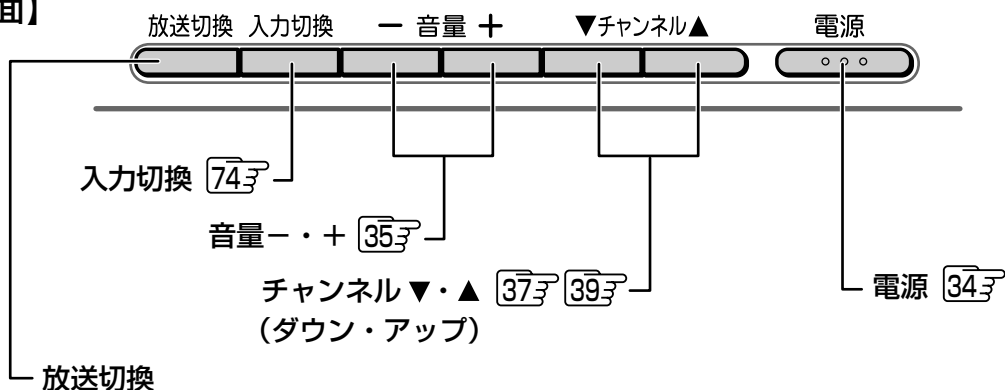
※ B-CAS カードは、（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズより供給されたものを同梱しています。

1枚

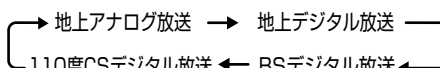
各部のなまえ

● イラストは、見やすくするために誇張や省略などがされており、実際とは多少異なります。

前面(表示灯)／上面

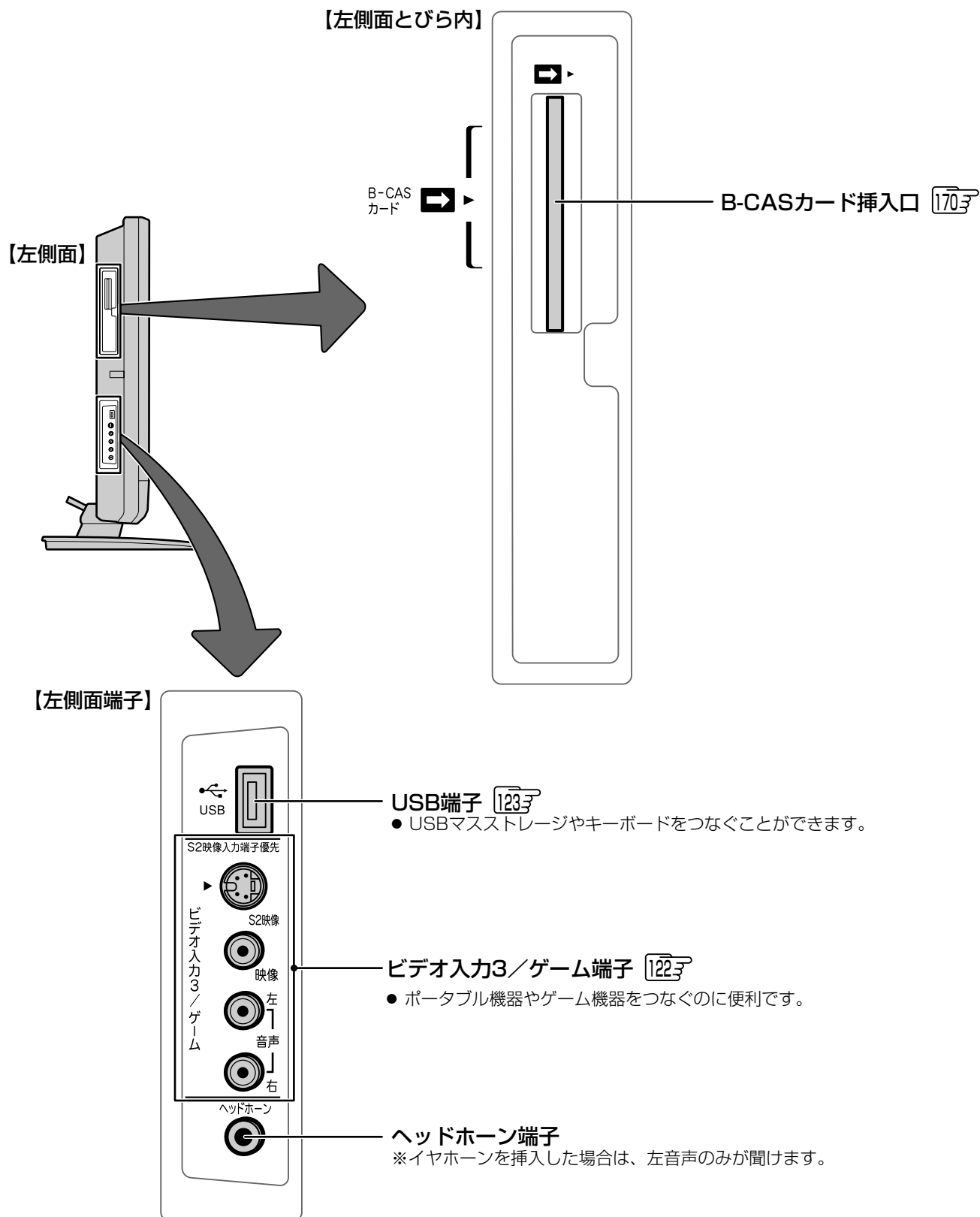
● 詳しくは　内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

● 押すごとに放送の種類が次のように切り換わります。

※切り換えられるのは、テレビ放送のみです。
　地上デジタル放送は受信不可のときは選べません。

※現在番組録画や録画予約などは、上記のようにならない場合があります。

各部のなまえ つづき

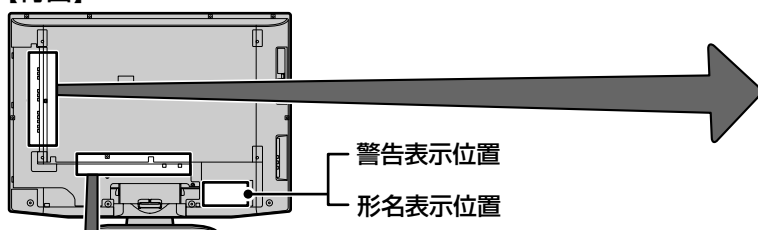
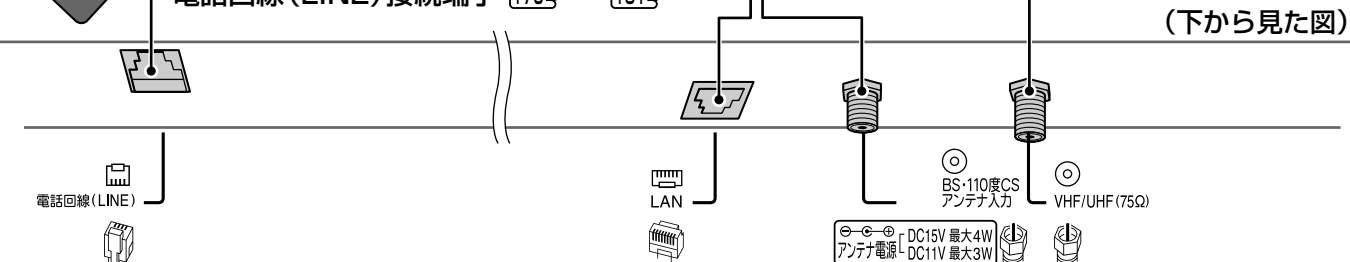
● イラストは、見やすくするために誇張や省略などがされており、実際とは多少異なります。

左側面

● 詳しくは 内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

背面

● 詳しくは内のページをご覧ください。（代表的なページを示しています。）

● **外部機器をつなぐ場合は「外部機器をつなぐ場合の早わかり」（→ 116 ページ）をご覧ください。**

映像信号	映像の走査線数	方式
525i(480i)	525本(有効480本)	インターレース
525p(480p)	525本(有効480本)	プログレッシブ
750p(720p)	750本(有効720本)	プログレッシブ
1125i(1080i)	1125本(有効1080本)	インターレース

■本機のS2映像端子について

●A/V機器のS映像端子、S1映像端子、S2映像端子に接続できます。S映像接続コードをお使いください。

●S2映像端子のあるA/V機器からフルモードの信号が入力されたときは、テレビの画面サイズがフルモードになり、レターボックス信号が入力されたときは、ズームモードの画面になります。（→55ページ）

●S1映像端子のあるA/V機器からフルモードの信号が入力されたときは、テレビの画面サイズがフルモードになります。

各部のなまえ つづき

● イラストは、見やすくするために誇張や省略などがされており、実際とは多少異なります。

リモコン

● 詳しくは内のページをご覧ください。(代表的なページを示しています。)

リモコンのとびらの開けかた

左右の突起部に
指をかけて、とびらを
手前に起こします。

【とびら内】

メニュー 53ﾖ 185ﾖ

● 設定や便利な機能を使うことができます。

ラジオ/データ 37ﾖ 39ﾖ

● デジタル放送の放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を順に切り換えます。

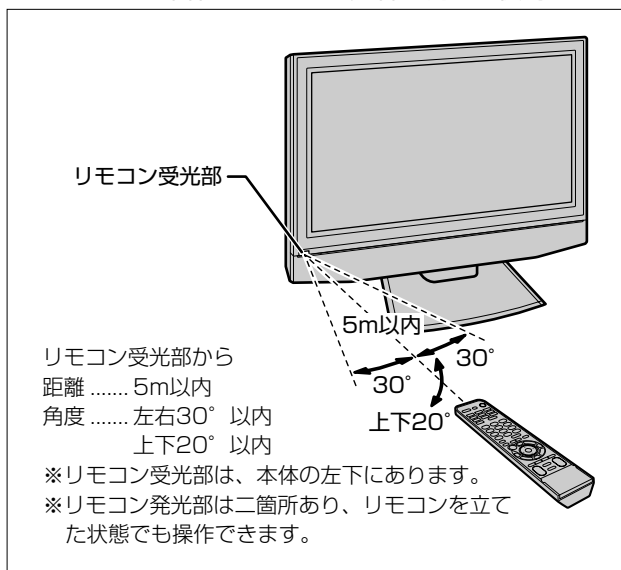
字幕 57ﾖ

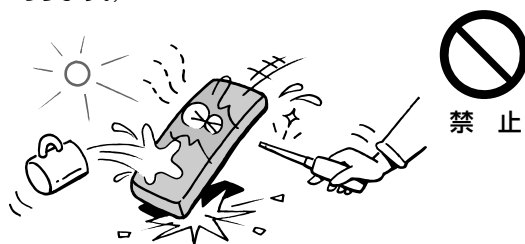
● デジタル放送で字幕放送サービスが行われている番組の場合、画面に字幕を表示させることができます。

リモコンの準備

リモコンの使用範囲

● リモコンは、本体のリモコン受光部に向けて使用してください。

※リモコン受光部は、本体の左下にあります。
※リモコン発光部は二箇所あり、リモコンを立てた状態でも操作できます。

お願い **リモコンについて**

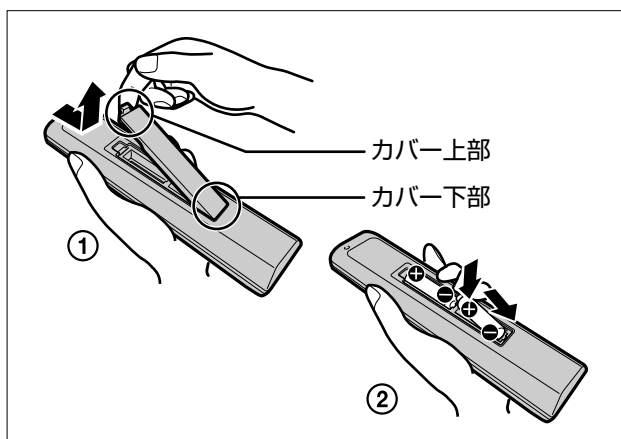
- 落としたり、振りまわしたり、衝撃などを与えないでください。
- 水をかけたり、ぬれたものの上に置かないでください。
- 分解しないでください。
- 高温になる場所や湿度の高い場所に置かないでください。
- リモコン受光部に強い光を当てないでください。
（強い光が当たっていると、リモコンが動作しないことがあります。）

乾電池の入れかた

⚠注意

■ **リモコンに使用している乾電池は**

- **指定以外の乾電池は使用しない**
- **極性表示⊕と⊖を間違えて挿入しない**
- **充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない**
- **乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池はリモコンに入れておかない**
- **種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しない**

これらを守らないと、液もれ・破裂などによって、やけど・けがの原因となることがあります。
もれた液が目にはいったり、皮膚についたりすると、目や皮膚に障害を与えるおそれがあります。目や口にはいったり、皮膚についたときは、きれいな水でよく洗い流し、直ちに医師に相談してください。衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

● 単四形乾電池R03またはLR03を2個ご使用ください。

■ **カバーをはずし、乾電池を入れる**

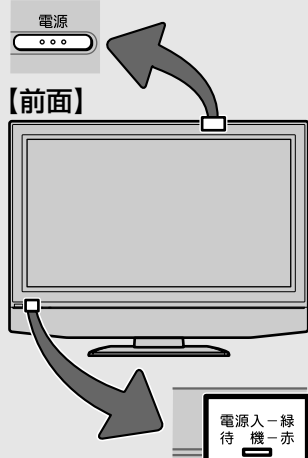
- カバーをはずすには、カバー上部の▽部分を矢印方向に押しながら、すくい上げるようにします。
- 極性表示⊕と⊖を間違えないように入れます。
- カバーを閉めるときは、カバー下部の突起をリモコン本体のみぞに差し込んで、パチンと音がするまで押し込みます。

お願い **乾電池について**

- 乾電池の寿命はご使用状態によって変わります。リモコンが動作しにくくなったり、操作できる距離が短くなったら2個とも新しい乾電池と交換してください。

第2章 テレビの操作をする

操作早わかり

● ここでは、基本の操作だけを記載しています。
● 各機能について、詳しくは（　）内の参照ページをご覧ください。
● **お買い上げ後は、最初に「準備（接続・設定）早わかり」（→ 22 ページ）を行ってください。**

●電源を入れるには（詳しくは34ページ）

●表示ランプが消えているとき

● 本体の電源ボタンを押す

●表示ランプが赤色に点灯しているとき（待機状態のとき）

● リモコンの電源ボタンを押す

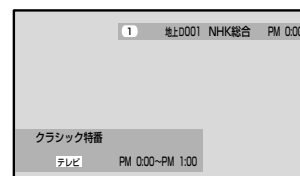
・はじめて電源を入れたときだけ「自動ダウンロードについて」が表示されます。
画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押してください。
（「自動ダウンロード」については、247ページをご覧ください。）

●番組を選ぶ

地上放送を見る（詳しくは36、37ページ）

●チャンネルを直接選ぶ

① 以下の操作で放送の種類を選ぶ
● 地上アナログ放送 ⇒ 地上Aボタン（地上A）を押す
● 地上デジタル放送 ⇒ 地上Dボタン（地上D）を押す

② 地上ダイレクト選局ボタン（1～12）を押す

（例）地上デジタル放送の場合

●チャンネルボタン∧・∨ で選ぶ

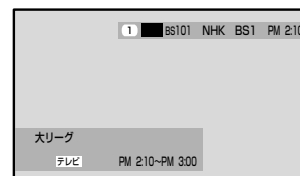
① 以下の操作で放送の種類を選ぶ
● 地上アナログ放送　⇒　地上Aボタン（地上A）を押す
● 地上デジタル放送　⇒　地上Dボタン（地上D）を押す

② チャンネルボタン∧・∨ でチャンネルを選ぶ

BS、110度CSデジタル放送を見る（詳しくは38、39ページ）

●チャンネルを直接選ぶ

① 以下の操作で放送の種類を選ぶ
● BSデジタル放送　⇒　BSボタン（BS）を押す
● 110度CSデジタル放送　⇒　CSボタン（CS）を押す

② BS/CSダイレクト選局ボタン（1 NHK1～10 スター）を押す

（例）BSデジタル放送の場合

●チャンネルボタン∧・∨ で選ぶ

① 以下の操作で放送の種類を選ぶ
● BSデジタル放送　⇒　BSボタン（BS）を押す
● 110度CSデジタル放送　⇒　CSボタン（CS）を押す

② チャンネルボタン∧・∨ でチャンネルを選ぶ

■放送メディアを変えたいとき（地上・BS・110度CSデジタル放送の場合）

● ラジオ／データボタン（ラジオ/データ）（リモコンとびら内）で、放送メディアを選ぶ
押すごとに、次のように切り換わります。

テレビ放送 → ラジオ放送 → 独立データ放送

※ 地上デジタル放送には、ラジオ放送はありません。

●こんなこともできます!

番組表から番組を選ぶ (詳しくは40ページ)

※地上アナログ放送の番組表をご覧になるには、インターネットの常時接続と設定が必要です。

① 番組表ボタン( )を押す

② カーソルボタン▲·▼·◀·▶で現在放送中の番組を選ぶ
- カーソルボタン◀·▶でチャンネルを選ぶ
- カーソルボタン▼·▲で時間を移動

※ 放送を切り換える場合
- 地上アナログ放送 ⇒ 地上Aボタン(地上A)を押す
- 地上デジタル放送 ⇒ 地上Dボタン(地上D)を押す
- BSデジタル放送 ⇒ BSボタン(BS)を押す
- 110度CSデジタル放送 ⇒ CSボタン(CS)を押す

※ 番組表のページを切り換えるには ・・・を押す

今、選んでいる番組です。

③ 決定ボタン(決定)を押す

④ カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定ボタン(決定)を押す
- デジタル放送の場合でビデオなどに録画するときは「録画する」を選んでください。(→76ページの「現在番組録画」を参照)
- 今後放送される番組を選んだ場合は予約設定画面に進みます。(→83ページの「録画予約や視聴予約をする」を参照)

faceネットを使っていろいろな機能を楽しむ (詳しくは140ページ)

- faceネットは、いろいろな機能への入り口です。
  簡単な操作でご希望の機能を探して、楽しむことができます。

便利な選局の方法

- 3桁チャンネル番号を指定して選ぶ(デジタル放送の場合)(→50ページ)
  · 見たい放送の3桁チャンネル番号を指定して選びます。
- 裏番組リストで選ぶ(→48ページ)
  · 今放送中の番組リストを表示して選局できます。

●こんなことがしたいとき

番組についての情報が見たいとき (詳しくは54ページ)

● 番組を受信しているときに、画面表示ボタン(画面表示)を押す

· 番組についての情報が表示されます。
(数秒たつと、チャンネル表示以外の表示は消えます。)
· 表示を消すには、もう一度画面表示ボタンを押してください。

● 番組を受信しているときに、番組説明ボタン(番組説明)を押す

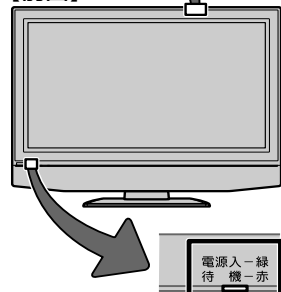
· 現在視聴中の番組についての説明が表示されます。
· 番組説明画面を消すには、決定ボタンを押してください。

操作の途中で通常の画面に戻りたいとき

● 選局操作や設定の途中などで、通常の画面に戻りたい場合は、終了ボタン( )を押す

はじめに…

電源を入れるには

● 最初の設置・接続・電源を入れたあとの設定については 168 ～ 193 ページをご覧ください。

表示ランプが消えているとき

● 本体の電源ボタンを押す

●「電源入（緑）/待機（赤）」表示が緑色に点灯します。
● 電源がはいり、映像が出ます。
（電源を入れてから映像が出るまでしばらく（十数秒程度）時間がかかります。）

表示ランプが赤色に点灯しているとき（待機状態のとき）

● リモコンの電源ボタンを押す

●「電源入（緑）/待機（赤）」表示が緑色になります。
● 電源がはいり、映像が出ます。
（電源を入れてから映像が出るまでしばらく時間がかかります。）

■はじめて電源を入れたとき

● お買い上げ後、はじめて電源を入れたときだけ「自動ダウンロードについて」（右画面）が表示されます。「自動ダウンロード」については247ページをご覧ください。

自動ダウンロードについて

本機はデジタル放送の電波を利用して自動でソフトウェアをバージョンアップするダウンロード機能に対応しています。お買い上げ時は、本機がダウンロードを自動で行う設定（「自動ダウンロード」：ダウンロードする）になっているため、お客様が操作や設定をすることなく、常に最新のソフトウェアでお楽しみいただけます。自動でダウンロードを行いたくない場合は、設定メニューの「自動ダウンロード」を「ダウンロードしない」に変更してください。詳しくは、取扱説明書の「バージョンアップするには」をご覧ください。

決定 を押す

● 確認後、表示を消すには、決定ボタンを押す

● 本体の入力切換ボタンでも表示を消すことができます。

はじめに…

電源を切るには

■以下の場合は自動的に電源が切れ、待機状態になります。
- 「省エネ設定」をしている場合（→163ページ）
  ※お買い上げ時の状態については246ページの表をご覧ください。
- オフタイマーを設定している場合（→98ページ）

※本機への通電を完全に切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
（本体やリモコンの電源ボタンを押して画面を消した場合は、本機への通電は完全には切れていません。）

待機状態にするには

● リモコンの電源ボタンを押す

●「電源入（緑）/待機（赤）」表示が赤色になります。

電源を切るには

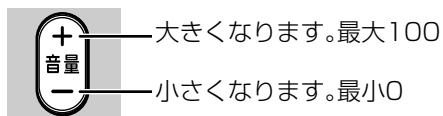
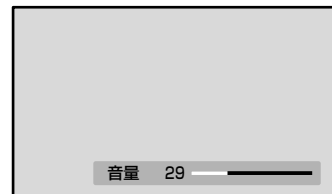
● 本体の電源ボタンを押す

●「電源入（緑）/待機（赤）」表示が消えます。

はじめに…

音量を調整するには

● 音量ボタン＋・ーを押して、音量を調整する

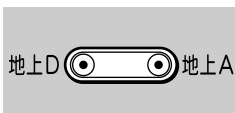
お知らせ

● 本体上面の音量ボタンー・＋（→25ページ）でも同じ操作ができます。

はじめに…

音を一時消すには

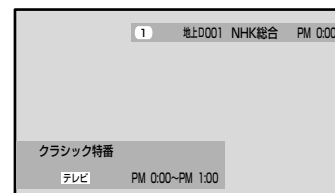
● 消音ボタンを押す

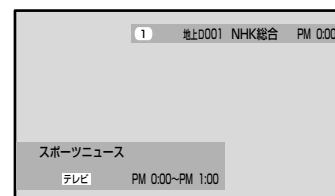
● テレビの音を一時消します。
もう一度、消音ボタンを押すと音が出ます。

地上放送を見る（基本の操作）

チャンネルを直接選ぶ

1　以下の操作で、放送の種類を選ぶ

- 地上デジタル放送 ➔ 地上Dボタンを押す
- 地上アナログ放送 ➔ 地上Aボタンを押す

※今視聴しているのと同じ種類の放送を見る場合は、この操作は省略できます。（例：地上デジタル放送を見ているときに、別の地上デジタル放送のチャンネルを選ぶ場合など。）

2　地上ダイレクト選局ボタン（1〜12）を押してチャンネルを選ぶ

- 地上ダイレクト選局ボタンに設定されている内容については、下の「お知らせ1」をご覧ください。

お知らせ1　**■地上ダイレクト選局ボタンに設定されている内容について**

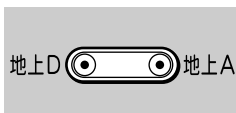
- 地上アナログ放送の場合
  - ・お買い上げ時には、VHF1〜12チャンネルが設定されています。

- 地上デジタル放送の場合
  - ・「はじめての設定」（➝184ページ）や「チャンネル設定」（➝194ページ）で設定した内容となっています。
  - ・設定されている内容は、「放送局名」リストで確認できます。（➝48ページ手順**1**以降を参照）
  - ・地上ダイレクト選局ボタンに放送メディアが設定されている場合（➝203ページ手順**5**）は、ボタンを押すごとに、設定されている放送局のメディアについて、チャンネルが順に選局されます。具体的な操作方法については、BSデジタル放送の場合を参考にしてください。（➝38ページの「お知らせ」）
  - ・地上デジタル放送の場合、新たに開局したチャンネルを追加設定する場合は、「再スキャン」（➝198ページ）機能をご使用ください。（新たに開局した場合だけでなく、中継局が新設、変更された場合も同様です。）

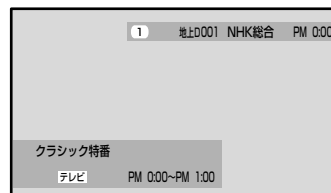
お知らせ2　**■その他**

- 地上アナログ放送の場合
  - ・「番組表」機能を使用しない場合や番組情報を取得していない場合は、番組名は表示されません。（チャンネル設定をしないと使用できません。）
  - ・設定を変更したり、未使用のリモコンボタンに新たにCATV（ケーブルテレビ）などお住まいの地域で受信できるチャンネルを追加する場合は、手動設定の「地上アナログ放送の場合」（➝200ページ）を行ってください。

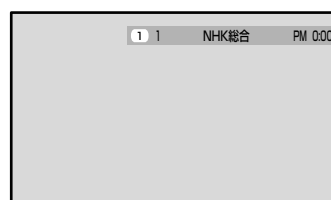
- 地上デジタル放送の場合
  - ・現在番組録画や録画予約実行中のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。
  - ・「初期スキャン」（➝197ページ）を行わないと地上デジタル放送は選局できません。
  - ・「自動スキャン」（➝52ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。
    受信できるチャンネルについては、「放送局名」リストで確認できます。（➝48ページ手順**1**以降を参照）

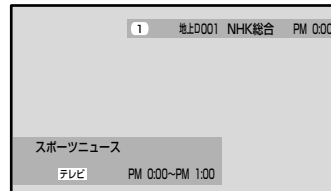
チャンネルボタン︿·﹀で選ぶ

1 以下の操作で、放送の種類を選ぶ

● 地上デジタル放送 ➜ 地上Dボタンを押す
● 地上アナログ放送 ➜ 地上Aボタンを押す

※今視聴しているのと同じ種類の放送を見る場合は、この操作は省略できます。（例：地上デジタル放送を見ているときに、別の地上デジタル放送のチャンネルを選ぶ場合など。）

2 チャンネルボタン︿·﹀でチャンネルを選ぶ

地上アナログ放送の場合

● リモコンの地上ダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルが順次切り換わります。CATVチャンネルを設定している場合は、CATVチャンネルも順次切り換わります。

地上デジタル放送の場合

● 選んでいる放送メディア（テレビ、独立データのいずれか）の中で、受信できるすべてのチャンネルを選ぶことができます。

放送メディアを変えたいとき

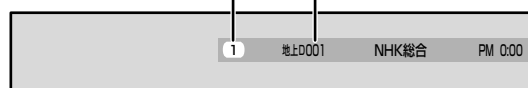
● **地上デジタル放送を選んでいるときに、ラジオ／データボタン（リモコンとびら内）を押す**
・押すごとに次のように切り換わります。

※ 地上アナログ放送には、ラジオ放送やデータ放送はありません。
地上デジタル放送にはラジオ放送がないため、ラジオ放送には切り換わりません。
テレビ放送、ラジオ放送、データ放送については、20ページをご覧ください。

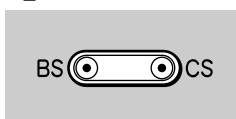
● スキップ設定されたチャンネルは選局できません。
● テレビ本体上面のチャンネルボタン▼·▲では、テレビ放送のチャンネルだけが選局できます。
● 現在番組録画や録画予約実行中には、チャンネルを変えることができない場合があります。
● 地上デジタル放送の場合
・一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
・「自動スキャン」（➝52ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「放送局名」リストで確認できます。（➝48ページ手順**1**以降を参照）

■地上デジタル放送の場合

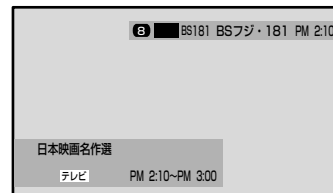
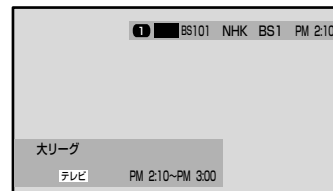
● **枝番について**
・地上デジタル放送のチャンネル番号は、リモコンの番号（1～12）ですが、これとは別に3桁チャンネル番号があります。
［チャンネル番号（1～12）は放送局を指定し、3桁チャンネル番号は、その放送局が行っている個々のチャンネルを指定します。］
・この地上デジタル放送の3桁チャンネル番号は、域内放送（➝271ページ）の中では重複しません。
しかし、域外放送（➝271ページ）も受信している場合には、3桁チャンネル番号が重複する場合があります。その場合は、3桁チャンネル番号の次に付く、枝番と呼ばれる1桁の番号で区別して選局します。
（通常選局する際には枝番は表示されません。枝番は「番組説明」（➝54ページ）で確認できます。）

● **チャンネルボタン︿·﹀で選局するときのチャンネルの順番について**
・域内放送（➝271ページ）のみを受信している場合は、3桁チャンネル番号の順番になります。
・域外放送（➝271ページ）も受信している場合には、3桁チャンネル番号の順番にならない場合があります。（このときは、放送の運用規定の順番になっています。）

（地上デジタル放送を選局したときの画面）

BS、110度CSデジタル放送を見る（基本の操作）

チャンネルを直接選ぶ

1 以下の操作で、放送の種類を選ぶ

- BSデジタル放送 ➜ BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送➜ CSボタンを押す

※今視聴しているのと同じ種類の放送を見る場合は、この操作は省略できます。（例：BSデジタル放送を見ているときに、別のBSデジタル放送のチャンネルを選ぶ場合など。）

2 BS／CSダイレクト選局ボタン（1 NHK1～10 スター）を押してチャンネルを選ぶ

■BS ／ CS ダイレクト選局ボタンに設定されているチャンネルの内容

- 「チャンネル設定」（→194ページ）で設定した内容となっています。
- 設定されている内容は、BS、110度CSデジタル放送については「放送局名」リストで確認できます。（→48ページ手順**1**以降を参照）
- 設定を変更する場合は、手動設定の「BSデジタル放送の場合」（→204ページ）「110度CSデジタル放送の場合」（→205ページ）を行ってください。
- お買い上げ時の設定内容は、下表のとおりです。（放送名は変更される場合があります。）

※ お買い上げ時に設定されている内容

● 手順 1 で BS ボタンを押したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1 NHK1（NHK1）	NHK BS1	101	BSデジタル放送
2 NHK2（NHK2）	NHK BS2	102	
3 NHKh（NHKh）	NHKハイビジョン	103	
4 BS日テレ（BS日テレ）	BS日テレ	BSテレビのチャンネル	
5 BS朝日（BS朝日）	BS朝日		
6 BS-i（BS-i）	BS-i		
7 BSJ（BSJ）	BSジャパン		
8 BSフジ（BSフジ）	BSフジ		
9 WOW（WOWOW）	WOWOW		
10 スター（ｽﾀｰﾁｬﾝﾈﾙ）	スターチャンネル		

● 手順 1 で CS ボタンを押したとき

リモコンのボタン	放送	チャンネル	放送の種類
1 NHK1（NHK1）	CSプロモーションCH	001	１１０度ＣＳデジタル放送
2 NHK2（NHK2）	CSプロモーションCH	100	

＊ 他のボタンには設定されていません。

- BSデジタル放送の場合で、BS／CSダイレクト選局ボタンに放送メディアが登録されている場合（→204ページ手順**5**）は、ボタンを押すごとに、設定されている放送局のメディアについて、チャンネルが順に選局されます。
  例）9 WOW（WOWOW）の場合
  ・9 WOWボタンを押すごとに191➜192➜193と選局できます。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。（→購入のしかたは68ページ）
- 現在番組録画や録画予約の実行中のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。

チャンネルボタン∧·∨で選ぶ

1 以下の操作で、放送の種類を選ぶ

● BSデジタル放送 → BSボタンを押す
● 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

※今視聴しているのと同じ種類の放送を見る場合は、この操作は省略できます。(例:BSデジタル放送を見ているときに、別のBSデジタル放送のチャンネルを選ぶ場合など。)

2 チャンネルボタン∧·∨でチャンネルを選ぶ

● 選んでいる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データのいずれか)の中で、受信できるすべてのチャンネルを選ぶことができます。

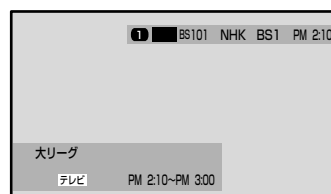
放送メディアを変えたいとき

● **ラジオ/データボタン(リモコンとびら内)を押す**
· 押すごとに次のように切り換わります。

テレビ放送 → ラジオ放送 → 独立データ放送 →(テレビ放送へ戻る)

※テレビ放送、ラジオ放送、データ放送については、20ページをご覧ください。

お知らせ

- スキップ設定されたチャンネルは選局できません。
- 一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネルだけの選局となります。
- テレビ本体上面のチャンネルボタン▼·▲では、テレビ放送のチャンネルだけが選局できます。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。(→購入のしかたは68ページ)
- 現在番組録画や録画予約実行中には、チャンネルを変えることができない場合があります。
- 110度CSデジタルの各放送メディア内では放送の種類(ネットワーク)に区別なく選局できます。

番組表で選ぶ

- お買い上げ直後は、番組内容の表示に時間がかかります。
- デジタル放送の場合は、最新の番組表を表示させるために、毎日２時間以上、本機の電源を待機状態にして、番組情報を取得しておくことをおすすめします。（詳しくは 18ページ）

※ 地上アナログ放送の番組表をご覧になるには、インターネットの常時接続と設定が必要です。詳しくは、「地上アナログ放送の番組表や番組情報を使用した機能について」（→ 19ページ）をご覧ください。

番組の選びかた

1 番組表ボタンを押す

- 番組表が表示されます。（次ページ上図）
  ※ 電源を「入」にした直後や、ネットワーク（地上デジタルの各チャンネル、BSデジタル、110度CSデジタルのSKY PerfecTV!110 PとSKY PerfecTV!110 S）を変えた直後は番組内容が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

放送の種類を変えるには

- 地上A、地上D、BSまたはCSボタンを押す

放送メディアを変えるには（詳しくは37、39ページの手順2）

- ラジオ／データボタン（リモコンとびら内）を押す

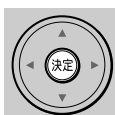
2 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で番組を選ぶ

- カーソルボタン◀･▶でチャンネルを選べます。
- カーソルボタン▲･▼で先の（次の）時間帯に進むことや、前の時間帯に戻ることができます。（現在の日時より前の時間帯には戻れません。）

番組表のページを切り換えるには

- ページ切換ボタン ・ ・ ・ を押す
  ※現在の日時より前のページに切り換えることはできません。

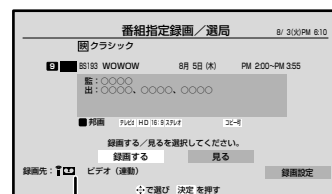
番組についての説明を見たいとき（詳しくは54ページ）

① 番組説明ボタンを押す
② 番組説明画面を消すには、決定ボタンを押す

3 決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

- 右の画面が表示されます。
- 選局だけをする場合は、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「見る」を選び、決定ボタンを押してください。

番組指定録画／選局
録画する／見るを選択してください。
録画する　見る
録画先：ビデオ（連動）
録画設定

※**録画もするとき**（地上アナログ放送は録画できません。）
- **以下に操作の概要を説明します。準備も含めて詳しくは「現在番組録画」（→76ページの手順2の操作以降）をご覧ください。**
  ①**録画先などを確認する**
  ②**カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す**
  - 録画が始まります。番組の終了時刻になると録画も終了します。

今後放送される番組を選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定をしてください。（→84ページの手順**2**の操作以降）
  予約設定が終わると番組表画面に戻ります。予約した番組には予約アイコン「◕」が表示されます。
  番組表表示を終了するには、終了ボタンを押してください。
- すでに予約済みの番組を選んだ場合は、予約内容確認/取り消しの画面になります。（→93ページの手順**4**）

※**地上アナログ放送の場合、録画予約できません。（視聴予約はできます。）**

- 番組表は最後に表示した日時で表示されます。
  最後に表示した日時が過去の場合は、今の日時で表示されます。

画面説明

※ 番組表に表示されるチャンネルの順番については、42 ページの「お知らせ 2」をご覧ください。

■番組表画面ではこんなこともできます！

今の時間の表示にする

● **番組表の画面で、青ボタンを押す**
・今の時間帯の番組表が表示されます。

指定した日時の番組表にする

● **番組表の画面で、赤ボタンを押す**
・右下の画面が表示されます。
以下の操作で設定してください。

① **カーソルボタン◀·▶で日付を選ぶ**

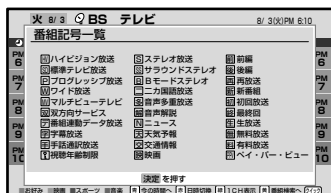
② **カーソルボタン▲·▼で時間帯を選び、決定ボタンを押す**
・選んだ時間帯の番組表が表示されます。

番組記号一覧を見る

● 番組表などに表示される番組記号の一覧(説明)を見ることができます。

① **番組表の画面で、クイックボタンを押す**

② **カーソルボタン▲·▼で「番組記号一覧」を選び、決定ボタンを押す**
・番組記号一覧が表示されます。
※表示されるのは番組記号の一部のみです。

③ **番組記号一覧を消すには、決定ボタンを押す**

番組表の内容を更新するには

① **番組表の画面で、クイックボタンを押す**

② **カーソルボタン▲·▼で「番組情報の取得」を選び、決定ボタンを押す**

・今、カーソルで選んでいるチャンネルのネットワークについて番組情報を取得して、番組表の内容を更新します。詳しくは、42ページの「お知らせ1」をご覧ください。
(番組表の更新には、時間がかかる場合があります。)
・番組情報取得中は、映像、音声が出ない場合があります。
※情報取得を中止するには、クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「番組情報の取得中止」を選び、決定ボタンを押してください。

● クイックメニューの「番組情報の取得」の項目が薄く表示されているときには、番組情報の取得ができません。
(録画中は取得できない場合があります。)

条件を指定して番組を探すには

● ジャンルなどを指定して番組を探すことができます。
(→46ページ)

番組表の表示をお好みに応じて変えるには

● お好みに応じて番組表の表示を変えることができます。
(→43〜45ページ)

番組表で選ぶ つづき

番組表についてのお知らせ

■41ページの「番組表の内容を更新するには」の詳しい説明

- 番組表でクイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「番組情報の取得」を選び、決定ボタンを押すと、今カーソルで選んでいるチャンネルのネットワーク（→272ページ）について番組情報を取得して、番組表の内容を更新します。
  （他のネットワークについては番組情報は取得されず、番組表も更新されません。）
  具体的には以下のようになります。

  ・BSデジタルの場合 .... BSデジタル放送の番組情報を取得し、番組表の内容を更新します。
  ・110度CSデジタルの場合 ... 110度CSデジタル放送の中で、カーソルで選んでいる方の放送について番組情報を取得し、番組表の内容を更新します。（他のネットワーク（放送）については更新されません。）
  ・地上デジタルの場合 .... カーソルで選んでいる番組の放送局（NHKの場合は放送）について情報を取得し、番組表の内容を更新します。他のネットワーク（放送局）については更新されません。
  ・地上アナログの場合 .... 設定されている地上アナログ放送全体の番組情報を取得し、番組表の内容を更新します。

  ※上記で、放送の種類によって取得できる内容が異なっているのは、放送の方式が異なるためです。
  （デジタル放送の場合、番組情報はネットワークごとに送られているので、このような番組情報の取得のしかたになっています。）

■番組表に表示されるチャンネルの順番について

- BS、110度CSデジタルの場合 ... 3桁チャンネル番号の順番に表示されます。
- 地上デジタルの場合 .... 最初に域内（→271ページ）の放送が放送の運用規定の順番に従って表示され、次に域外（→271ページ）の放送が同様にして表示されます。
  （3桁チャンネル番号順には表示されない場合があります。）
  域内放送が表示される順番については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」（→214～215ページ）の「番組表表示の並び順」をご覧ください。
  「自動スキャン」（→52ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「放送局名」リストで確認できます。（→48ページ手順**1**以降を参照）
- 地上アナログの場合 .... 1～12のリモコン番号順に表示されます。

■その他

- データ放送を視聴しているときは、番組表に切り換わらない場合があります。その場合は、データ放送を終了してから操作してください。
- 番組表の表示中に、現在番組録画や録画予約が実行されると番組表表示は終了します。
- 臨時放送サービス、事前蓄積用データサービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは、番組表に表示されません。
- 番組表データのないチャンネルの場合は番組表の内容は表示されません。
- 番組表で表示できるのは、最大7日後までですが、チャンネルや放送メディアによって異なる場合があります。
- 番組情報取得中に、番組説明を表示したり、日時切換をしたり、番組検索や番組指定予約を選んだり、放送や放送メディアを切り換えると、番組情報取得を中止します。
- 番組が予告なく変更されたために、番組表の内容が実際の番組と異なってしまう場合があります。
- 移動体受信サービス（→21ページ）については、数番組しか表示されない場合があります。
- 地上アナログ放送の番組表は、番組の延長が発生したような場合でも更新されません。
- 地上アナログ放送の番組表には、リモコンボタンに設定されているチャンネルのみ表示されます。

■地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送の場合

- 録画中は、録画している放送についてチャンネルを変えることや、ほかのチャンネルについての情報取得はできません。

番組表の表示を変えるには

文字の大きさを変える

- 番組表に表示される文字の大きさを変えることができます。
- お買い上げ時は「標準」に設定されています。

1 番組表の画面で、クイックボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「文字サイズ変更」を選び、決定ボタンを押す

- 文字サイズ選択画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲･▼で番組表に表示される文字サイズを選ぶ

- 大きい
- 標準
- 小さい

4 決定ボタンを押す

- 選んだ文字サイズの番組表に切り換わります。

番組表で選ぶ つづき

番組表の表示を変えるには つづき

色分け表示するジャンルを変更する

● 番組表で色分け表示されているジャンルを変更することができます。

1 番組表の画面で、クイックボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ジャンル色分け設定」を選び、決定ボタンを押す

● ジャンル色分け設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼でジャンル設定を変更する色を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定したいジャンルを選ぶ

● 未登録のジャンルを選んでください。

ジャンルの色分け表示を取り消したい場合

● カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。
手順**3**で選んだ色について、ジャンルが取り消されます。

5 決定ボタンを押す

● 設定されます。
● 選んだジャンルがすでに他の色に設定されている場合は、手順**3**で選んだ色に新たに設定されます。それまでの設定は取り消されます。

ほかの色分け表示を変更するときは、手順 3 ～ 5 を繰り返す

6 カーソルボタン▲·▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

● 設定した内容が番組表に反映されます。
※この(手順**6**の)操作をしないと設定はされません。

お知らせ

● 同じジャンルを複数の色に登録することはできません。
● 各色に設定できるジャンルはそれぞれ一つです。
● この設定は、放送の種類や放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）に対して共通な設定になります。

スキップチャンネルを表示しない

● 「チャンネルスキップ設定」(➞216ページ)でスキップ設定したチャンネルを番組表に表示させないように設定できます。

1 番組表の画面で、クイックボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「スキップチャンネル非表示」を選び、決定ボタンを押す

● 「スキップチャンネル非表示」に設定していた場合は、クイックメニューに「スキップチャンネル表示」が表示されます。
「スキップチャンネル表示」を選び決定ボタンを押すと、スキップチャンネルも表示された番組表に切り換わります。

● この設定は、放送の種類や放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）に対して共通な設定になります。また、裏番組リスト（➞48ページ）やメニューの「お好み番組設定」（➞235ページ）のチャンネル設定などに対しても共通な設定になります。

代表チャンネルのみの表示にする(地上D、BSの場合)

● 地上デジタル、BSデジタルのテレビ放送の場合、放送事業者ごとの代表チャンネルのみの表示にすることができます。

● 地上デジタル放送、BS デジタル放送の番組表の画面で、緑ボタンを押す

● 緑ボタンを押すと以下のようにチャンネル表示が切り換わります。

マルチチャンネル表示 ←→ 1CH（チャンネル）表示

● 上記の操作で「マルチ（チャンネル）表示」を選んでいる場合でも「スキップチャンネル非表示」に設定している場合は、スキップ設定されているチャンネルについては表示されません。

番組を探す（ジャンルやキーワードなどで番組を探す）

● ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して番組を検索することができます。

1 番組表の画面で、黄ボタンを押す

● 番組表については、40ページをご覧ください。

2 以下の操作で番組を探す条件を指定する

(1)カーソルボタン▲·▼で指定したい項目を選び、決定ボタンを押す

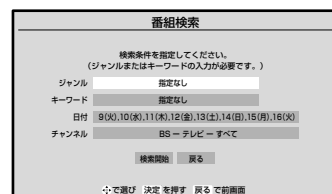
(2)以下の操作で条件を指定する

※ジャンルとキーワードは必ずどちらかは指定してください。どちらも指定しない場合は番組検索はできません。

ジャンルを指定する場合

● **ジャンル一覧画面で、指定するジャンルをカーソルボタン▲·▼·◀·▶で選び、決定ボタンを押す**

・ジャンルは、一つだけ指定できます。

※ジャンルを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。

キーワードを指定する場合

● **キーワード一覧で、指定するキーワードをカーソルボタン▲·▼·◀·▶で選び、決定ボタンを押す**

・キーワードは、一つだけ指定できます。

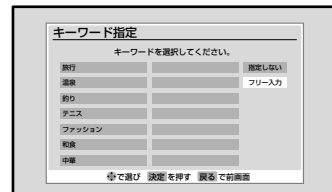
※キーワードを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。

● キーワードを自分で入力して指定する場合は、以下の操作で指定してください。

① **キーワード一覧で、「フリー入力」を選び、決定ボタンを押す**

② **文字入力ボタンでキーワードを入力する**

・文字入力については、「文字入力のしかた」（→100ページ）をご覧ください。

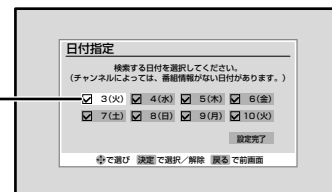
・入力が終わると、手順（1）の画面に戻ります。

日付を指定する場合

● 以下の操作で指定する日にチェックマークを付けてください。（指定できる日付は左のお知らせを参照。）

① **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で日付を選ぶ**

② **決定ボタンを押す**

・決定ボタンを押すごとに、チェックマークのオン／オフができます。

③ **日の指定がすべて終わったら、「設定完了」を選び、決定ボタンを押す**

指定する日にチェックマーク「✔」を付ける

チャンネルを指定する場合

● 番組表に表示されるチャンネルのみ指定できます。

① **カーソルボタン◀·▶で指定する項目を選ぶ**

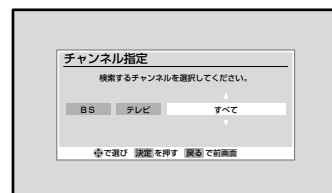
・左端：放送の種類（BS／CS／地上D／地上A／すべて）

・中央：放送メディア（テレビ／ラジオ（BS、110度CSのみ）／データ／すべて）

※地上Aの場合、放送メディアの指定はできません。

・右端：チャンネル（※「すべて」もあります。）

② **カーソルボタン▲·▼で指定する内容を選ぶ**

③ **全部の指定が終わったら、決定ボタンを押す**

※放送の種類や放送のメディアを指定すると、右の項目が「すべて」に切り換わります。

(3)手順(1)、(2)を繰り返して、指定したい条件をすべて入力する

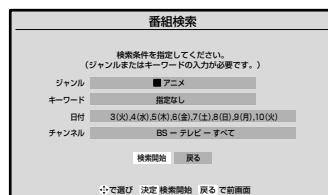
お知らせ

● デジタル放送の番組情報で使用される特殊文字（多など）は指定できません。検索の際は、番組情報内の特殊文字は自動的に除かれます。また、同じ内容や同じ人物の場合でもデジタル放送とアナログ放送では、番組情報が異なっている場合もあります。このようなときには、指定するキーワードによって見つかる番組も異なります。

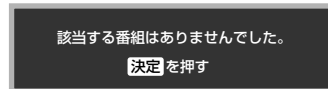
● 手順**2**で指定できる日付は、今日〜8日間です。

● 番組詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「検索開始」を選び、決定ボタンを押す

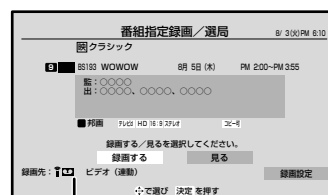
● しばらくすると検索結果が表示されます。

右のメッセージが表示された場合

● 該当する番組はありません。決定ボタンを押して、手順**2**で条件をもう一度指定して検索してください。

該当する番組はありませんでした。
決定を押す

4 カーソルボタン▲·▼で番組を選ぶ

表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⏏・⏏で切り換えられます。

5 決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

● 右の画面が表示されます。
● 選局だけをする場合は、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定ボタンを押してください。

※**録画もするとき**（地上アナログ放送は録画できません。）
· **以下に操作の概要を説明します。準備も含めて詳しくは「現在番組録画」（→76ページの手順2の操作以降）をご覧ください。**
①録画先などを確認する
②カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す
· 録画が始まります。番組の終了時刻になると録画も終了します。

すでに終了した番組を選んだとき

● 「この番組は終了しました。」と表示されます。決定ボタンを押すと、検索結果画面に戻ります。

今後放送となる番組を選んだとき

● 予約画面になります。予約の設定をしてください。（→84ページの手順**2**の操作以降）
予約設定が終わると検索結果画面に戻ります。予約した番組には予約アイコン「◕」が表示されます。検索結果表示を終了するには、終了ボタンを押してください。

「◕」予約アイコン

● すでに予約済みの番組を選んだ場合は、予約内容確認／取り消しの画面になります。（→93ページの手順**4**）
※**地上アナログ放送の場合、録画予約はできません。（視聴予約はできます。）**

裏番組リストで選ぶ

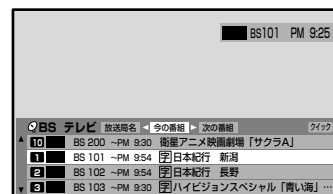
- 今放送中の番組リストを表示して選局できます。次番組のリストで予約したり、放送局名リストから選局することもできます。
- **デジタル放送の場合は、最新の裏番組リストを表示させるために、毎日２時間以上、本機の電源を待機状態にして、番組情報を取得しておくことをおすすめします。（詳しくは 18ページ）**
- 地上アナログ放送の場合、この機能を使うには接続、設定が必要です。詳しくは「地上アナログ放送の番組表や番組情報を使用した機能について」（→ 19ページ）をご覧ください。

番組の選びかた

1 裏番組ボタンを押す

- 画面の下部に現在放送されている番組のリストが表示されます。

放送局名や次の番組のリストにしたいとき

- **カーソルボタン◀･▶でリストの種類を選ぶ**

（例）放送局名リストの場合

2 カーソルボタン▲･▼で番組（またはチャンネル）を選ぶ

放送の種類を変えるには

- **地上A、地上D、BSまたはCSボタンを押す**

放送メディアを変えるには（詳しくは37、39ページ）

- **ラジオ／データボタン（リモコンとびら内）を押す**

表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⊕・⊕で切り換えられます。

番組についての説明を見たいとき（詳しくは54ページ）

①番組説明ボタンを押す
※放送局名リストでは、番組説明ボタンははたらきません。
②番組説明画面を消すには、決定ボタンを押す

3 決定ボタンを押す

今の番組または放送局名リストで選んだとき

- 選んだ番組が選局されます。

次の番組リストで選んだとき

- 予約画面になります。予約の設定を行ってください。（→84ページの手順**2**の操作以降）
  予約設定が終わると次の番組リスト画面に戻ります。予約した番組には予約アイコン「◕」が表示されます。次の番組リスト表示を終了するには、終了ボタンを押してください。
- すでに予約済みの番組を選んだ場合は、予約内容確認／取り消しの画面になります。（→93ページ手順**4**）

「◕」予約アイコン

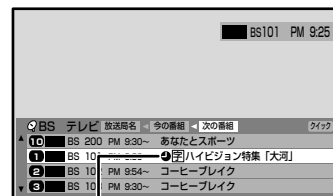
※地上アナログ放送の場合、録画予約はできません。（視聴予約はできます。）

- 臨時放送サービス、事前蓄積用データサービス、蓄積専用データサービス、エンジニアリングサービス、部分受信サービスは番組のリストおよび放送局名リストには表示されません。
- 裏番組リストの表示中に、現在番組録画や録画予約が実行されると裏番組リスト表示は終了します。

■地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送の場合

- 録画中は、録画している放送についてチャンネルを変えることや、ほかのチャンネルについての情報取得はできません。

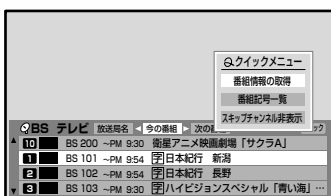
■地上デジタル放送の場合

- 「自動スキャン」（→52ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「放送局名」リストで確認できます。（手順**1**以降を参照）

■ 裏番組リスト画面ではこんなこともできます！

※ 以下の機能は、次の番組リストや放送局名リストでも使用できます。

裏番組リストの内容を更新するには

① **裏番組リストの画面で、クイックボタンを押す**

② **カーソルボタン▲·▼で「番組情報の取得」を選び、決定ボタンを押す**

・表示しているチャンネルのネットワークについて番組情報を取得して、裏番組リストの内容を更新します。詳しくは、42ページの「お知らせ1」で、「番組表」を「裏番組リスト」に読み替えてご覧ください。
（裏番組リストの更新には、時間がかかる場合があります。）

・番組情報取得中は、映像、音声が出ない場合があります。

※ 情報取得を中止するには、クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「番組情報の取得中止」を選び、決定ボタンを押してください。

・録画中は番組情報が取得できない場合があります。

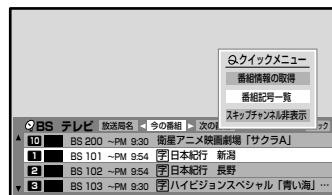
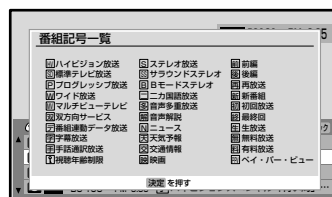
- 番組情報取得中に番組説明を表示したり、番組指定予約に進んだり、放送や放送メディアを切り換えると、番組情報取得を中止します。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、「今の番組」と「次の番組」表示が、現在時刻表示と合わなくなることがあります。

番組記号一覧を見る

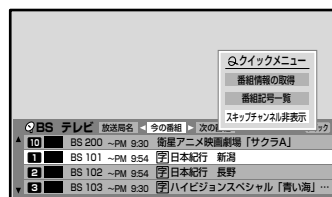
● 裏番組リストに表示される番組記号の一覧（説明）を見ることができます。

① **裏番組リストの画面で、クイックボタンを押す**

② **カーソルボタン▲·▼で「番組記号一覧」を選び、決定ボタンを押す**

・番組記号一覧が表示されます。
※ 表示されるのは番組記号の一部のみです。

③ **番組記号一覧を消すには、決定ボタンを押す**

スキップチャンネルを表示しない

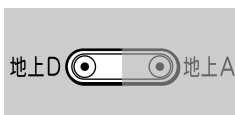
● 「チャンネルスキップ設定」（→216ページ）でスキップ設定したチャンネルを裏番組リストに表示させないように設定できます。

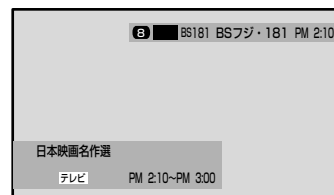
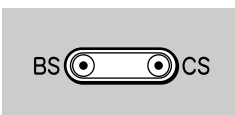
① **裏番組リストの画面で、クイックボタンを押す**

② **カーソルボタン▲·▼で「スキップチャンネル非表示」を選び、決定ボタンを押す**

・「スキップチャンネル非表示」に設定していた場合は、クイックメニューに「スキップチャンネル表示」が表示されます。
「スキップチャンネル表示」を選び決定ボタンを押すと、スキップチャンネルも表示された裏番組リストに切り換わります。

- この設定は、放送の種類や放送メディア（テレビ、ラジオ、独立データ）に対して共通な設定になります。また、番組表（→40ページ）やメニューの「お好み番組設定」（→235ページ）のチャンネル設定などに対しても共通な設定になります。

3桁チャンネル番号を指定して選ぶ（デジタル放送の場合）

1 以下の操作で、放送の種類を選ぶ

- 地上デジタル放送 → 地上Dボタンを押す
- BSデジタル放送 → BSボタンを押す
- 110度CSデジタル放送 → CSボタンを押す

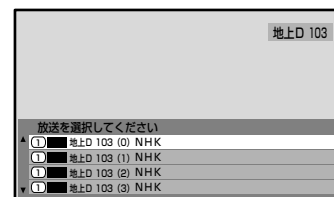
BS181 BSフジ・181 PM 2:10
日本映画名作選
テレビ PM 2:10~PM 3:00

2 3桁入力ボタンを押し、続けて数字ボタンを押して、チャンネルを選ぶ

- たとえば、BSチャンネルを選んでいる状態で BS103チャンネルを選ぶ場合

  （3桁入力）（1）（10）（3） と押す

- 地上デジタル、110度CSチャンネルも同様に選べます。
- 存在しないチャンネルは選べません。

右図のように放送一覧が表示された場合

- 地上デジタル放送の場合、同じ3桁チャンネル番号で異なる放送局の放送がある場合があります。その場合には右図のように放送一覧が表示されます。カーソルボタン▲·▼でご覧になりたい放送を選んで決定ボタンを押してください。
  （左図リモコンの数字ボタンで枝番（右画面のカッコ内の数字）を指定して選ぶこともできます。）

見たいチャンネルの3桁の番号がはっきりとわからないとき

- ⁎ボタン（（11））を使って、次のように選ぶことができます。

· 例1：BSデジタル放送を選んでいる状態で、300番台のBSチャンネルを見たいとき

（3桁入力）（3）（11） と押す

→300番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

· 例2：BSデジタル放送を選んでいる状態で、450番台のBSチャンネルを見たいとき

（3桁入力）（4）（5）（11） と押す

→450番台で放送されている一番小さい番号のBSチャンネルが選局されます。
放送されているチャンネルがない場合は、その上のチャンネルから選局されます。

· 地上デジタル、110度CSチャンネルも同様に選ぶことができます。

■本機の出荷後、新たに追加されたり変更された110度CSのチャンネルを選局する場合

- お買い上げ直後や「設定の初期化」（→244ページ）を行ったあとなどには、50ページの操作では選局できない場合があります。
  その場合には、次の操作を行ってください。
  ①CSボタンを押し、110度CSデジタル放送を選ぶ
  ②チャンネルボタン∧·∨を押して、受信したい放送の種類（ネットワーク）のチャンネル（どのチャンネルでも構いません）を選んでしばらく待つ
  ・手順②の操作でチャンネルを受信したあとは、50ページに記載されている方法で選局できるようになります。

■50ページ手順1で放送の種類を選ぶとき

- 3桁入力ボタンを使って選ぶこともできます。
  3桁入力ボタンを押すごとに、デジタル放送の種類が順次切り換わります。
- ペイ・パー・ビュー番組を選んだ場合は、購入しなければ視聴できません。（→購入のしかたは68ページ）
- 現在番組録画や録画予約のときなど、チャンネルを変えることができない場合があります。
- 今選んでいる放送と同じ種類の放送を選ぶ場合は、50ページの手順**1**の操作は不要です。

■地上デジタル放送を選局する場合

- 「自動スキャン」（→52ページ）や新しい放送の開始、放送の変更などによって、本機で受信できるチャンネルが自動的に変更される場合があります。受信できるチャンネルについては「放送局名」リストで確認できます。（→48ページ手順**1**以降を参照）

自動スキャンについて

● 地上デジタル放送で、放送局の変更（放送局の開局や中継局の変更など）があった場合の対応方法について説明します。

■はじめに

- 地上デジタル放送の場合、チャンネル設定は最初は「初期スキャン」(→186、197ページ)で行います。
  その後、新たに放送が始まった場合や放送チャンネルが変更された場合は、「再スキャン」(→198ページ)を行って対応してください。
  この「再スキャン」以外に放送局の変更に対応する機能として、「自動スキャン」があります。

■自動スキャンとは

- 自動スキャンは、電源待機時などに自動的にチャンネルのスキャンを行い、放送局の変更(放送局の開局や中継局の変更など)が見つかったときには、本機のチャンネル設定の内容を自動的に変更して、同時に「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でご連絡する機能です。
  ※状況によっては、自動スキャン後に再スキャンが必要な場合もあります。詳しくは以下の「自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合」をご覧ください。
- お買い上げ時には、自動スキャンをするように設定されていますが、チャンネル設定の内容を自動変更させたくない場合には、次ページの操作で、自動スキャンをしないように設定できます。
- **「初期スキャン」(→186、197ページ)が行われていないと、自動スキャンは実行されません。**

- 自動スキャンは、電源待機時に不定期に行われます。したがって、「自動スキャンする」（→53ページ）に設定していても、本機のチャンネル設定が最新になっていない場合があります。特に録画予約の際にはご注意ください。
  ※放送局の変更があった場合(もよりの放送局などからそのような情報を得た場合)は、再スキャンをされることをおすすめします。
- 電波が弱い場合には、自動スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■自動スキャンで放送局の変更が見つかった場合

放送局の変更がありました。

放送局の変更（追加・削除など）がありました。ダイレクト選局ボタンの設定を変更する場合は、設定メニューの「再スキャン」や「手動設定」を行ってください。

図1

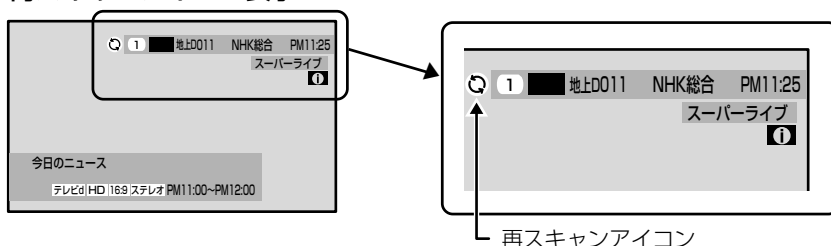
放送局の変更がありました。

放送局の変更（追加・削除など）がありました。放送局の変更によりデータ放送用のメモリーが割り当てられていない放送局がありますので、設定メニューの「再スキャン」を行ってください。

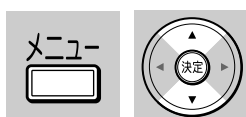
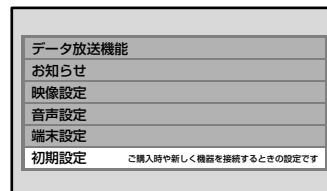
図2

- 本機のチャンネル設定の内容を自動変更し、「本機に関するお知らせ」(左の図1または図2)でご連絡します。(「本機に関するお知らせ」については99ページ参照)
- 受信できるチャンネルについては、「放送局名」リストで確認できます。(→48ページ手順**1**以降参照)
  ※枝番(→37ページ)のみが変更されている場合もあります。

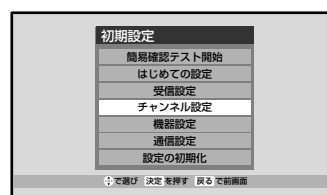
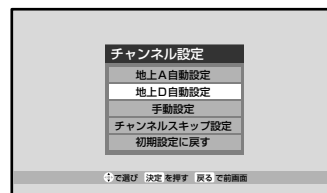
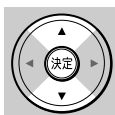
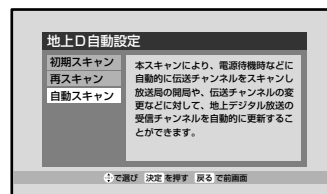
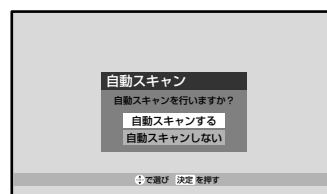
※左の図2の場合
- ・チャンネル設定の内容は変更しましたが、データ放送用メモリーの割り当て(→193ページ)については、変更していません。(これは、受信できている放送局の数が、データ放送用メモリーを割り当てできる数を超えているためです。)
- ・このときには、チャンネル選局時などに再スキャンアイコンを表示してお知らせします。(下図参照)
  データ放送用メモリーの割り当てを変更するには、「再スキャン」(→198ページ)を行ってください。(「データ放送用メモリーの割り当て」は再スキャンの最後に行います。)

再スキャンアイコン表示

自動スキャンの設定

● 自動スキャンをする、しないの設定をします。
お買い上げ時には、自動スキャンをするように設定されています。

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲・▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

●「初期設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

●「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲・▼で「地上D自動設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲・▼で「自動スキャン」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲・▼で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」を選び、決定ボタンを押す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

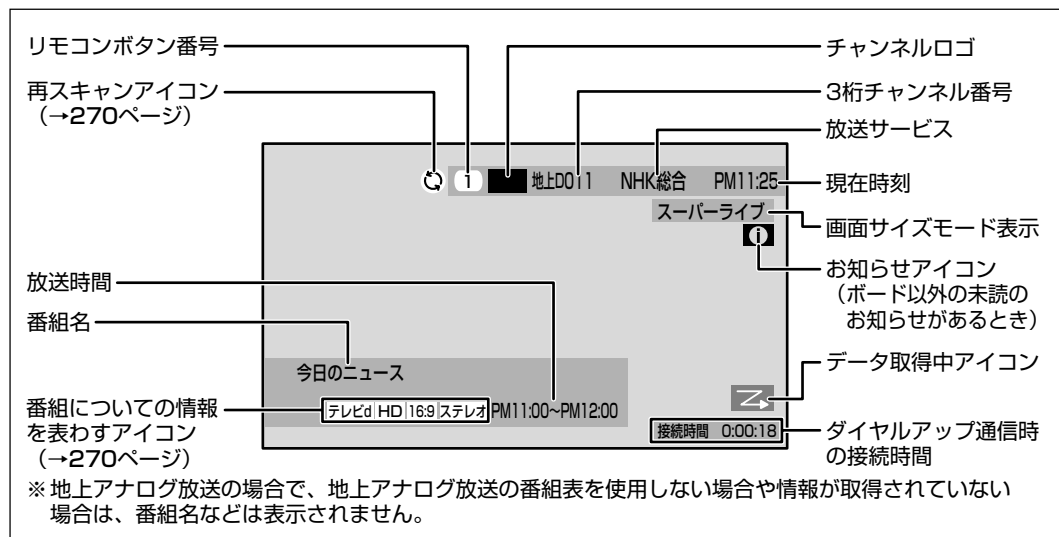
こんなことがしたいとき

番組についての情報を見る

番組についての情報を見るには

● 画面表示ボタンを押す

- 以下のように現在受信しているチャンネルや番組の情報が表示されます。（数秒たつと、チャンネル表示以外の表示は消えます。）
- 表示を消すには、もう一度画面表示ボタンを押してください。
- 選局時にも、チャンネルや番組の情報が表示されますが、一部省略された状態で表示されます。

※ 地上アナログ放送の場合で、地上アナログ放送の番組表を使用しない場合や情報が取得されていない場合は、番組名などは表示されません。

番組についての説明を見るには

1 番組説明ボタンを押す

地上デジタル放送では、3桁チャンネル番号の次に枝番がつきます。（詳しくは37ページ）

枝番表示	内容
(0)	域内の放送
(1)～(9)	域外の放送　(通常)

表示の上、下に▲・▼マークがある場合は、カーソルボタン▲・▼で先に進めます。

番組についての情報を表わすアイコン（→270ページ）

2 ［さらに詳しい説明を見るには］
カーソルボタン▼を押す

- 詳細情報が表示されます。（詳細情報がない場合は表示されません。）
- 詳細情報のデータをまだ取得していない場合は、説明欄の<番組詳細情報>に「詳細情報を取得していません」が表示されます。黄ボタンを押してデータを取得してください。
- 詳細情報取得中は、映像、音声が出ない場合があります。
- 詳細情報取得中に、もう一度黄ボタンを押すと、詳細情報の取得を中止します。
- ページ切換ボタン⏏・⏏でも、ページを切り換えることができます。
- 録画中は番組情報が取得できない場合があります。

3 番組説明画面を消すには、決定ボタンを押す

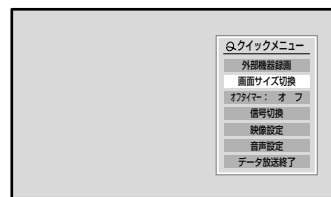
■録画、録音が制限されている場合

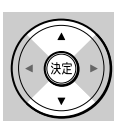
- 番組によっては、録画、録音が制限される場合があり、その場合は番組説明の画面でアイコンを表示してお知らせします。アイコン表示については270ページをご覧ください。

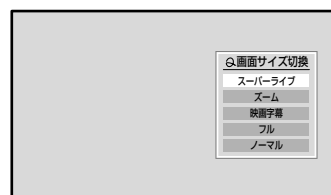
- 番組情報や番組説明の画面に表示されるアイコンについては、「アイコン一覧」（→270ページ）をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかる場合があります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、番組情報の表示が、現在時刻表示と合わなくなることがあります。

画面サイズを切り換える

- 画面サイズ(画面の横と縦の比)が16:9の信号を受信したときは自動的に最適なサイズになり、切り換えることはできません。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲・▼で「画面サイズ切換」を選び、決定ボタンを押す

「画面サイズ切換」が薄く表示されたときは切り換えられません。
※ゲーム入力画面のときは、次ページをご覧ください。

2 カーソルボタン▲・▼でご希望の画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタン▼(▲は逆回り)を押すごとに以下の順に切り換わります。

→スーパーライブ→ズーム→映画字幕→フル→ノーマル

- 画面サイズモードについては、以下をご覧ください。

・スーパーライブ	:	通常(4:3)のテレビ番組をワイド画面で楽しむモードです。
・ズーム	:	映画の上下が黒い帯などになっている横長映像(映画など)を楽しむモードです。
・映画字幕	:	字幕がはいった横長映像を表示するモードです。
・フル	:	DVDなどのスクィーズ信号(縦に長い映像の信号)やハイビジョン放送などの画面の横と縦の比が16:9のテレビ番組を、そのままの画面の横と縦の比で表示するモードです。(画面の左右いっぱいに広げて、正常な映像にします。)
・ノーマル	:	通常の映像(4:3の映像)をそのままの横と縦の比で表示します。

- 営利目的、または公衆に視聴されることを目的として、喫茶店、ホテルなどで画面の大きさを変えるなどの特殊機能(送られてくる映像の縦横比を変えるなど)を使用すると、著作権法で保護されている著作権を侵害するおそれがあります。
- D4映像入力端子に1125i信号または、750p信号を入力したときは、フルモードになり画面サイズは切り換えられません。
- S2映像出力端子のあるA/V機器で、S2またはD映像出力端子から本機に接続された場合、フルモードの信号が本機に入力されたときは、テレビ画面サイズがフルモードになり、レターボックス(4:3で上下に黒い帯が表示されるもの)の信号が入力されたときはズームモードの画面になります。
そのあとに、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- S1映像出力端子のあるA/V機器で、S1またはD映像出力端子から本機に接続された場合、フルモードの信号が本機に入力されたときは、テレビ画面サイズがフルモードになります。
そのあとに、お好みの画面サイズに切り換えることもできます。
- デジタル放送の場合、番組によっては、いくつかの子画面や選択項目などが画面に表示されて、カーソルボタン▲・▼・◀・▶でそれらを選択できるものがあります。
その場合、画面サイズを「スーパーライブ」、「ズーム」、「映画字幕」のいずれかでご覧になるときに、選択している部分の枠がずれて表示されることがありますが、これは故障ではありません。
- 画面サイズ切換のモードによっては、映像の上下や左右が一部欠ける場合があります。
- 画面サイズをノーマルモードに切り換えたときに、画面の左右に出る帯の明るさを設定することができます。「グレーレベルの設定」(→166ページ)をご覧ください。
- 「スーパーライブ」モードのとき、放送内容によっては画面の左右にノイズや黒い帯が出ることがあります。
- 1035iの放送信号を受信した場合は、画面上下に黒い帯が出ます。

こんなことがしたいとき つづき

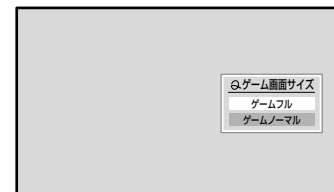
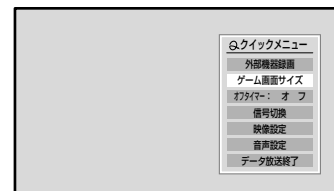
画面サイズを切り換える つづき

ゲーム入力画面のとき(ビデオ入力表示を「ゲーム」に設定していたとき(→165ページ))

● 以下の操作を行う

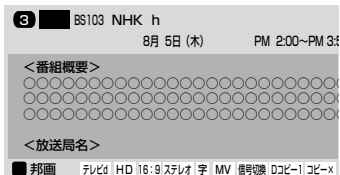
①クイックボタンを押し、カーソルボタン▲･▼で「ゲーム画面サイズ」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼でゲーム画面サイズモードを選び、決定ボタンを押す

・ カーソルボタン▼(▲は逆回り)を押すごとに以下の順に切り換わります。

字幕を見る（地上D、BS、110度CSのみ）

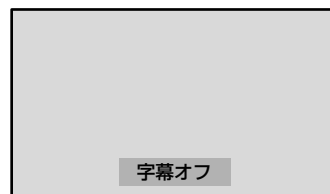
● デジタル放送で字幕放送サービスが行われている場合は、画面に字幕を表示させることができます。
● お買い上げ時は、「字幕オフ(字幕を表示しない)」に設定されています。
※地上アナログ放送の字幕放送には対応していません。

はじめに 字幕放送がある場合、番組説明ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

● 字幕アイコンが薄く表示されている場合、視聴中の番組は字幕放送ではありません。
(字幕アイコンが薄く表示されている場合でも、放送信号に字幕データがある場合があります。)
※字幕アイコンが表示されている場合でも、放送信号に字幕データがない場合があります。

● 字幕ボタン（リモコンとびら内）を押す

● 押すごとに、「字幕オン」↔「字幕オフ」と交互に切り換わります。

(例)「字幕オン」の場合

(例)「字幕オフ」の場合

● 受信する番組によって選べる言語が異なります。
● 字幕を見ないときは「字幕オフ」に設定してください。
● 字幕付きペイ･パー･ビュー番組は、購入後に字幕表示ができます。

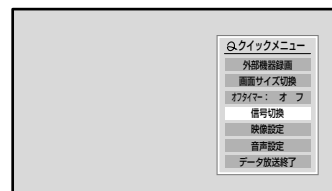
● 番組によっては、最大二つの言語の字幕が送られます。
● 番組によっては、字幕設定画面上に言語名ではなく、「字幕1」「字幕2」と表示される場合もあります。
● テレビ放送の場合で、字幕と放送画面の文字が重なる場合は、58ページの操作で重ならないようにすることができます。
● 字幕が画面表示するように設定されている場合でも、背面の「デジタル放送録画出力」端子からは、字幕は出力されません。
● 字幕表示中、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）をすると、字幕表示が欠けることがあります。また、番組表や番組検索画面を表示した場合、字幕表示は消えます。通常画面に戻ると再び字幕を表示します。
● 以下の操作でも字幕を切り換えることができます。
①クイックボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「字幕切換」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲･▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、決定ボタンを押す

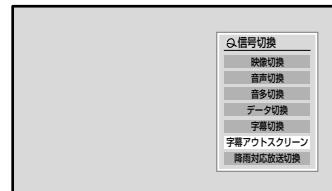
こんなことがしたいとき つづき

字幕を見る（地上D、BS、110度CSのみ）つづき

●字幕と画面の文字などが重なって見づらいとき

● 画面を通常よりも小さく表示させせることによって、字幕と画面表示の重なりを少なくすることができます。（これを字幕アウトスクリーン表示と呼びます。）
字幕アウトスクリーン表示ができる番組で、字幕が表示されるように設定されているときのみ、このアウトスクリーン表示にすることができます。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「字幕アウトスクリーン」を選び、決定ボタンを押す

● 画面が縮小して表示され、字幕と画面表示の重なりが少なくなります。
● カーソルボタン▲·▼で画面表示位置を移動できます。

※ 字幕アウトスクリーン表示にできない場合は、薄く表示されます。

3 通常の表示に戻すには、終了ボタンを押す

● 次の場合にも通常の表示に戻ります。
・ チャンネル、ビデオ入力、放送メディアを変えたとき
・ メニューや番組表などを表示したとき
・ 字幕をオフにしたとき
・ 電源を「待機」や「切」にしたあと、など

● 字幕アウトスクリーン表示中は、画面サイズを切り換えることはできません。
● 字幕アウトスクリーン表示中は、番組連動データ放送に切り換えることはできません。
● 字幕アウトスクリーン表示中は、画面の上部または下部が欠けることがあります。
● 字幕の表示位置によっては、画面と重なることがあります。

音声多重放送を聞くには

- 二重音声放送の場合、主音声、副音声、主音声＋副音声を切り換えることができます。（この機能のことを音多切換といいます。）
- お買い上げ時は「主音声」に設定されています。
- 視聴している番組が二重音声でない場合は、音多切換の操作はできません。
- デジタル放送の場合、音声多重放送のほかに、複数の音声信号のある場合があり、それらで英語放送などが行われる場合もあります。その場合の音声信号の選びかたは60ページをご覧ください。

はじめに

二重音声放送の場合、画面表示ボタンを押したときに画面にアイコンが表示されます。

今日のニュース
テレビd SD 16:9 二重音声 PM11:00~PM12:00
アイコン

画面表示

● 音多切換ボタンを押す

音多切換

- 押すごとに以下のように切り換わります。

主音声→副音声→主音声：副音声

（例：主音声が日本語、副音声が英語の場合）

主音声

副音声

主音声＋副音声

はい!　YES!
主：副

	（左）	（右）	（左）	（右）	（左）	（右）
スピーカー →						
音声出力 →	主音声	主音声	副音声	副音声	主音声	副音声

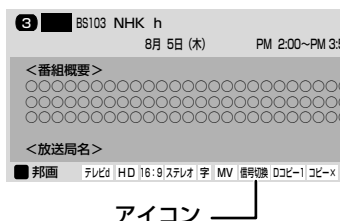
お知らせ

- 音多切換は、二重音声放送の受信時に行えます。
- デジタル放送、地上アナログ放送それぞれについて上記で最後に設定した状態が保たれます。したがって、選局などの操作をしても、自動的に最後に設定された状態になります。
- 現在番組録画、録画予約を実行中のときなど、デジタル放送の音多切換ができない場合があります。
- 以下の操作でも音声多重放送を切り換えることができます。
  ①クイックボタンを押す
  ②カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す
  ③カーソルボタン▲·▼で「音多切換」を選び、決定ボタンを押す
  ④カーソルボタン▲·▼で「主音声」、「副音声」、「主：副」を選び、決定ボタンを押す

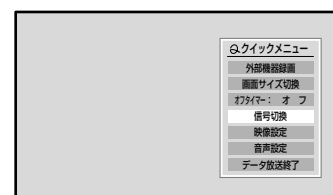
こんなことがしたいとき つづき

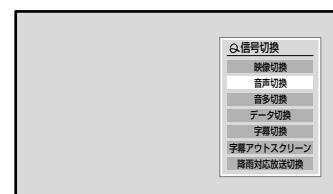
映像、音声、データを切り換える

● デジタル放送の場合、一つの番組の中に複数の信号(映像や音声、データ)がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。

はじめに 複数の信号がある場合、番組説明ボタンを押したときにアイコンが表示されます。

アイコン

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

文字

2 カーソルボタン▲·▼で切り換えたい項目(「映像切換」「音声切換」「データ切換」のいずれか)を選び、決定ボタンを押す

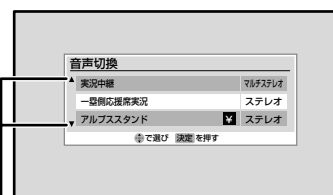
● 選んだ項目の画面(次の手順の画面)になります。

※ 信号が複数ない場合は、薄く表示されます

3 カーソルボタン▲·▼でお好みの信号を選ぶ

¥が表示されている信号について

● 視聴するには追加料金が必要です。
● 「選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合」(→61ページ)の操作を行ってください。

音声切換で二重音声(主:副)を選んだ場合

● スピーカーから出る音声を切り換えるには「音声多重放送を聞くには」(→59ページ)をご覧ください。

(「音声切換」を選んだ場合)
表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、カーソルボタン▲·▼で先に進めます。

4 決定ボタンを押す

● 映像、音声、データの切り換えは、デジタル放送の受信時に行えます。
● 映像を切り換えると、それに伴って音声が自動的に切り換わる場合もあります。(これをマルチビューサービスといいます。)
● 選局の操作を行うと、手順**3**で選んだ状態は取り消されます。
● VHSやS-VHSなどで現在番組録画、録画予約を実行中のときなど、信号切換ができない場合があります。

選んだ信号を視聴するのに追加料金が必要な場合

はじめに

- **60ページの手順3で追加料金が必要な信号を選んだ場合**
  - ・右の画面が表示されます。視聴するには以下の操作を行ってください。

1 決定ボタンを押す

- 右の画面になります。

この信号を購入しますか？
アルプススタンド
購入料金：¥500
購入する　購入しない
で選び 決定 を押す

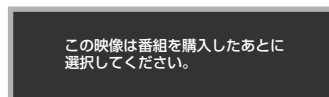
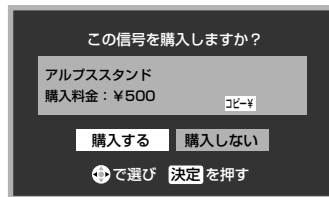
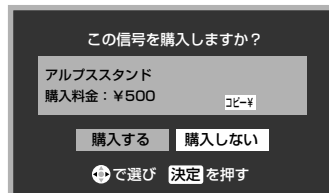
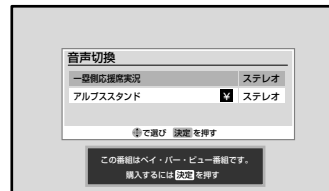
2 カーソルボタン◀・▶で「購入する」を選ぶ

3 決定ボタンを押す

- 選んだ信号が購入されます。
- 購入金額が、あらかじめ設定してある限度額を超えた場合は、暗証番号の入力画面になります。
  購入する場合は、暗証番号(→240ページ)を数字ボタン0〜9(10〜9)で入力してください。
  購入しない場合は、終了ボタンを押してください。

ペイ・パー・ビュー番組をまだ購入していない場合

- 右のメッセージが表示されます。以下のように、ペイ・パー・ビュー番組を購入してから、ご希望の映像や音声、データを購入してください。
  ①終了ボタンを押す
  ・通常画面に戻ります。
  ②ペイ・パー・ビュー番組を購入する(→68ページ)
  ③「映像切換」または「音声切換」または「データ切換」(→60ページ)の操作をする

この映像は番組を購入したあとに選択してください。

■暗証番号について（→240ページ）

- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

データ放送を楽しむ（デジタル放送の場合）

データ放送を楽しむ

データ放送の種類

■番組連動データ放送

● デジタル放送の番組に関連したデータ放送
　例　・野球放送中に他球場の速報を放送
　　　・クイズ番組への参加　など

■独立データ放送

● 番組とは無関係の独立したデータ放送
　例　・ショッピング（オンライン通販）
　　　・天気予報　など

■双方向通信サービス

● 電話回線などを使用した双方向のサービスです。
番組連動データ放送や独立データ放送で、画面に表示される操作ガイドによって操作をします。
● 双方向通信サービスに使用される通信方式としては以下の3種類があります。
※使用される通信方式は双方向通信サービスを行う事業者によって異なります。詳しくは、各事業者にお問い合わせください。

(1)電話回線を使用した基本通信
- 本機の電話回線接続端子を使った通信です。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送で使用されます。
- 接続は「電話回線の接続」（→179ページ）、設定は「電話回線設定」（→189ページ、221ページ）をご覧ください。

(2)イーサネット通信
- 本機のLAN端子を使用したネットワーク通信です。ADSLやCATVなどによる通信があります。
- 地上デジタル放送で使用されます。
- 接続は「LAN端子の接続」（→182ページ）、設定は「通信接続設定」（→227ページ）をご覧ください。

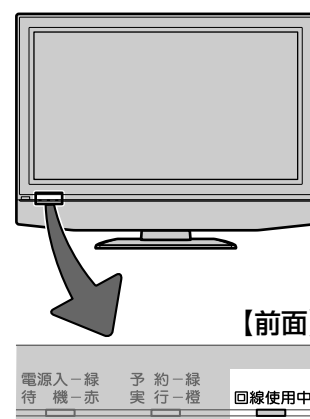
(3)ダイヤルアップ通信
- 本機の電話回線接続端子を使用したネットワーク通信です。
- 地上デジタル放送では、番組（コンテンツ）によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。また、ダイヤルアップ通信を使用する場合は、「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。（お買い上げ時は「イーサネット優先」に設定されています。詳しくは228ページ）

※将来はBSや110度CSデジタル放送でもダイヤルアップ通信やイーサネット通信が使用される可能性があります。

お知らせ1　**■ダイヤルアップ通信の場合**

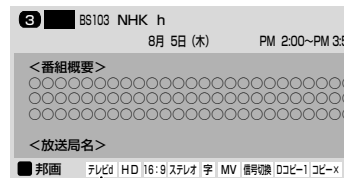
- ダイヤルアップは、放送局からの指示時間で自動的に切断されます。
- ダイヤルアップの接続や切断のときに、メッセージを表示させることができます。（→233ページ）
- ダイヤルアップ通信時に、画面表示ボタンを押すと、接続されている時間を画面に表示します。（→54ページ）
- ダイヤルアップ通信の場合、通信に時間がかかることがあります。

■その他

- 現在番組録画、録画予約実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 電話回線を使用しているときは、本体の「回線使用中」表示（右図）が点灯します。
- 放送サービスによって料金がかかる場合があります。

番組連動データ放送を楽しむ

はじめに

- **画面表示ボタンを押したときに、画面にテレビ放送の場合はテレビd、ラジオ放送の場合はラジオdアイコンが表示された場合、以下の操作で番組連動データ放送をお楽しみになれます。**

※「テレビd、ラジオd」アイコンが表示されている場合でも、放送信号に番組連動データ放送がない場合があります。
- データ取得中は画面にマークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。

1 dデータボタンを押す

- 番組連動データ放送がはじまります。
- 放送によっては、dデータボタンを押さなくても自動的にデータ放送がはじまる場合もあります。

2 画面に表示される操作指示に従って、操作をする

※ 操作指示に従って操作をすると、自動的に独立データ放送に切り換わる場合があります。

3 [データ放送を終了するには] クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「データ放送終了」を選び、決定ボタンを押す

独立データ放送を楽しむ

1 データ放送の番組を選ぶ

- 選局のしかたは「番組表で選ぶ」(→40ページ)や「裏番組リストで選ぶ」(→48ページ)などをご覧ください。
- データ取得中は画面にマークが表示されます。データ取得が終了すると表示は消えます。

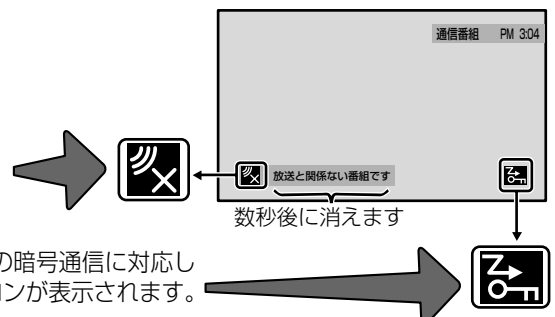
2 画面に表示される操作指示に従って、操作をする

3 [データ放送を最初から受信し直すには] クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「データ放送終了」を選び、決定ボタンを押す

■地上デジタル放送の双方向通信サービスについて

- 地上デジタル放送の双方向通信サービスには、リンク型と非リンク型の二つの種類があります。

・**リンク型サービス**
放送番組に関連した通信サービス。

・**非リンク型サービス(通信番組)**
放送番組とは無関係な通信サービス。
放送の映像・音声などは参照できません。
(右図のようにアイコンなどが表示されます)

- 本機はSSL(Secure Sockets Layer)などの暗号通信に対応しています。そのサービスの際は画面右下にアイコンが表示されます。

お知らせ1

- データ放送受信中は、リモコンや本体の一部のボタンが動作しない場合があります。
- 画面に表示される操作指示で、「テレビd、ラジオd」ではなく、「データボタン」、「データ放送ボタン」などと表示される場合があります。その場合もdデータボタンを押して操作してください。

お知らせ2

- 放送の運用規定どおりでないサービスの場合には、正しく表示されない場合があります。

データ放送を楽しむ（デジタル放送の場合）つづき

データ放送を楽しむ つづき

ブックマーク機能を使う

- ブックマーク機能とは…
  現在視聴しているデータ放送やデータ放送に関連したサービスなどを記録しておき、リストからそのサービスを選ぶことができる機能です。

■ブックマーク記録をする

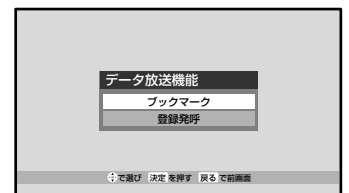
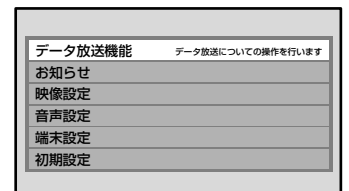
1 画面でブックマーク付きのサービスであることを確認する

- データ放送視聴中で、ブックマークがあることが画面表示でお知らせされているときにブックマーク記録ができます。
  ※お知らせのしかたはデータ放送サービスによって異なります。

2 画面の操作説明に従って、ブックマーク記録を行う

■ブックマークを選ぶ

1 以下の操作で「ブックマーク」一覧画面にする

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲·▼で「データ放送機能」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「ブックマーク」を選び、決定ボタンを押す
・ブックマーク一覧が表示されます。
記録されたブックマークがない場合は、その旨のメッセージが表示されます。
・有効期限が切れたブックマークがあるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。決定ボタンを押すと削除され、手順**2**に進みます。

2 カーソルボタン▲·▼でブックマークを選ぶ

選んでいるブックマークについての説明を見るには

①黄ボタンを押す
②前画面に戻るには、決定ボタンを押す

▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⇧·⇩でページを切り換えられます。

ブックマーク一覧ではこんなこともできます！

- **ブックマークを削除する**（→65ページ）
- **ブックマークをロックする**（→65ページ）

3 決定ボタンを押す

- リンク先のチャンネルや通信サービスにジャンプします。リンク先のチャンネルや通信サービスがない場合は、ジャンプすることができません。
  リンク先がない場合はその旨のメッセージが表示されます。

次のメッセージが表示された場合

- 決定ボタンを押してください。このブックマークが削除されます。
- ロックされているブックマークは削除できません。（その旨のメッセージが表示されます。）
  ロックを解除したあと（→65ページ）、削除してください。

有効期限が切れたブックマークを削除します。
（ロック設定されたブックマークは削除されません。）
決定 を押す

お知らせ

- ブックマーク一覧表示は、右記の「ブックマークを選ぶ」の手順**1**のほかにデータ放送の操作で表示できる場合もあります。
  その操作方法については、データ放送画面でご確認ください。
- **通信サービスにジャンプするときは、電話料金がかかる場合があります。**

■ブックマークを削除する

● 指定したブックマークを削除したり、ブックマークすべてをまとめて削除することもできます。

1 **64ページの「ブックマークを選ぶ」の手順1の操作で、「ブックマーク」一覧画面にする**

● ロックされているブックマークは削除できませんので、あらかじめロックを解除してください。(→以下の「ロックを解除する」を参照)

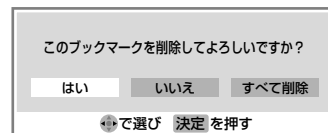
2 [指定したブックマークのみを削除する場合]
カーソルボタン▲·▼で削除したいブックマークを選ぶ

▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⏏·⏏でページを切り換えられます。

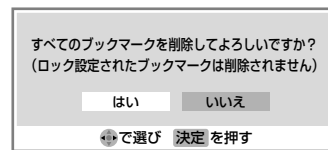
3 **赤ボタンを押す**

4 **以下の操作で削除する**

手順2で指定したブックマークのみを削除する場合

● **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
ロックされている場合は削除できません。
(その旨のメッセージが表示されます。)
ロックを解除したあと(→以下の「ロックを解除する」を参照)、削除してください。

記録されているブックマークすべてを削除する場合

① **カーソルボタン◀·▶で「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す**
② **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・ ブックマークがすべて削除されます。
(ロックされているブックマークは削除されません。)

すべてのブックマークを削除してよろしいですか?
(ロック設定されたブックマークは削除されません)
はい　いいえ
で選び 決定 を押す

(②の画面)

■ブックマークをロックする(ロックを解除する)

●「ロック」は、記録されているブックマークを削除できなくする機能です。

1 **64ページの「ブックマークを選ぶ」の手順1の操作で、「ブックマーク」一覧画面にする**

2 **カーソルボタン▲·▼でロックをかけたい(またはロックを解除したい)ブックマークを選ぶ**

3 **緑ボタンを押す**

● 緑ボタンを押すごとに、ロック⇔ロック解除と交互に切り換わります。
ロックされると、ロックアイコン🔒が表示されます。

データ放送を楽しむ（デジタル放送の場合）つづき

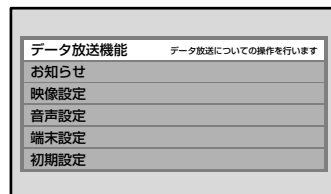
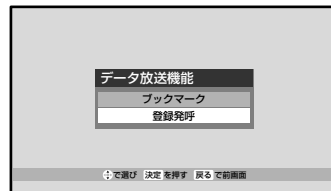
データ放送を楽しむ つづき

登録発呼機能を使う

登録発呼とは…
- データ放送で、双方向通信機能を使って本機から送信を行う際に、送信する内容を本機に保存しておき、あとで送信する機能です。
  例. アンケートなどの回答を返信する場合で、回線が混み合っていて送信できなかった場合に、本機に保存しておき、あとで送信するなど。
- 登録発呼は、登録発呼一覧から発呼したい項目を選んで行いますが、そのときに発呼する方法と予約発呼する方法があります。（予約発呼する場合、予約の時間は指定できません。）
- 登録発呼と予約発呼は、本機の電源が「入」または「待機」のときのみ行われます。
  （本体の電源ボタンで電源を「切」にしているときには行われません。）

■登録発呼をする／登録発呼の予約をする

1 以下の操作で「登録発呼」一覧画面にする

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押し、カーソルボタン▲·▼で「データ放送機能」を選び、決定ボタンを押す

②カーソルボタン▲·▼で「登録発呼」を選び、決定ボタンを押す
- 登録発呼一覧が表示されます。
  記録された登録発呼がない場合は、その旨のメッセージが表示されます。
- 有効期限が切れた登録発呼があるときは、削除する旨のメッセージが表示されます。決定ボタンを押すと削除され、手順**2**に進みます。

2 カーソルボタン▲·▼で登録発呼を選ぶ

アイコンが表示されます。（詳しくは「お知らせ」をご覧ください。）

▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⊕·⊖でページを切り換えられます。

選んでいる登録発呼についての説明を見るには

①**黄ボタンを押す**
- 選択した登録発呼についての詳細が表示されます。

②**詳細説明画面を消すには、決定ボタンを押す**

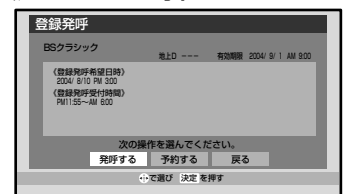
登録発呼一覧ではこんなこともできます！

- **登録発呼を削除する** （→67ページ）
- **登録発呼をロックする** （→67ページ）

3 決定ボタンを押す

予約済みの登録発呼を選んだ場合

- 67ページ右側下の「登録発呼の予約を取り消す」を行ってください。

4 カーソルボタン◀·▶で「発呼する」または「予約する」を選び、決定ボタンを押す

「発呼する」を選んだ場合

- すぐに登録発呼を行います。
  - 通信回線をほかで使用しているときには、発呼はできません。

「予約する」を選んだ場合

- 手順**5**に進んでください。
  ※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、操作できません。

5 ［手順**4**で「予約する」を選んだ場合］
右のメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、操作できません。

登録発呼の予約が完了しました。登録発呼が終了するまで本体の電源を切らないでください。本体の電源を切ると正常に登録発呼されません。

決定 を押す

- 発呼先のチャンネルがない場合（休止中の場合など）は、チャンネル番号が「−−−」になりますが、発呼は通常どおり行われます。
- 登録発呼を「予約する」にした場合、画面にアイコン「◕」が表示されます。（→手順**2**の画面参照）
- **登録発呼するときは、電話料金がかかる場合があります。**

■登録発呼を削除する

● 指定した登録発呼を削除したり、登録発呼すべてをまとめて削除することができます。

1 66ページの手順**1**の操作で「登録発呼」一覧画面にする

● ロックされている登録発呼は削除できませんので、あらかじめロックを解除してください。（右側上）

2 ［指定した登録発呼のみを削除する場合］

カーソルボタン▲･▼で削除したい登録発呼を選ぶ

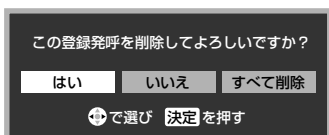
▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⏶･⏷でページを切り換えられます。

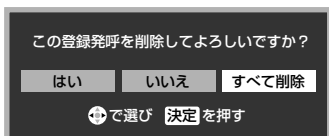
3 **赤ボタン（赤）を押す**

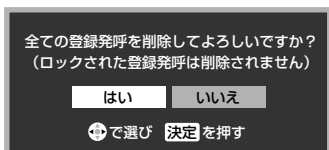
4 **以下の操作で削除する**

手順2で指定した登録発呼のみを削除する場合

● **カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

・ロックされている場合は削除できません。（その旨のメッセージが表示されます。）ロックを解除したあと（右側上）、削除してください。

記録されている登録発呼すべてを削除する場合

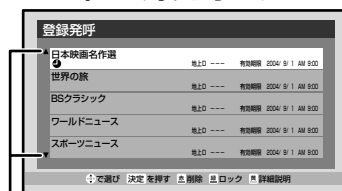
①**カーソルボタン◀･▶で「すべて削除」を選び、決定ボタンを押す**

②**カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

・登録発呼がすべて削除されます。（ロックされている登録発呼は削除されません。）

※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、削除できません。

■登録発呼をロックする（ロックを解除する）

●「ロック」は、登録されている登録発呼を削除できなくする機能です。

1 66ページの手順**1**の操作で「登録発呼」一覧画面にする

2 **カーソルボタン▲･▼でロックをかけたい（またはロックを解除したい）登録発呼を選ぶ**

▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⏶･⏷でページを切り換えられます。

3 **緑ボタン（緑）を押す**

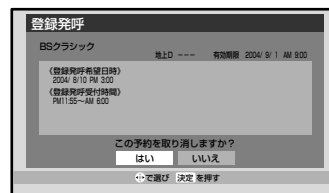
● 緑ボタンを押すごとに、ロック ⇔ ロック解除と交互に切り換わります。
ロックされると、ロックアイコン🔒が表示されます。

※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、ロックできません。

■登録発呼の予約を取り消す

1 66ページの手順**1**～**3**で、予約済みの登録発呼を選ぶ

2 **カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● 予約していた登録発呼が取り消されます。
※選択した登録発呼が発呼の動作をしているときは、予約の取り消しはできません。

3 ［通常画面に戻るには］

終了ボタンを押す

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ

●ペイ・パー・ビュー番組とは、番組ごとに視聴料金を払って購入する番組のことです。
つまり、見たい番組についてだけ料金を払ってご覧になることができます。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するための準備

● 22ページの「準備（接続・設定）早わかり」がすべて完了していることが必要です。

■ペイ・パー・ビュー番組を購入するには…

● 69ページ「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」の操作で購入してください。

■番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合

● 購入した番組に複数の映像、音声、データ信号がある場合は基本以外の信号を視聴するために、追加料金が必要な場合があります。
（61ページの操作で視聴したい信号を購入できます。）

■ペイ・パー・ビュー番組の録画について

● ペイ・パー・ビュー番組の録画には、次の3とおりのサービスがあります。
・ 録画できるもの
・ 録画できないもの
・ 追加料金を払えば録画できるもの（録画購入）

「録画購入」について

● 視聴購入の場合とは、料金が別の場合があります。料金は画面の表示で確認できます。
購入のしかたは、「ペイ・パー・ビュー番組を購入する」（→69ページ）をご覧ください。

■番組購入後の変更について

● 番組購入後の取消しはできません。
ただし、録画予約したペイ・パー・ビュー番組で、まだ番組が始まっていない場合には、予約取消しができます。（→93ページ）
予約を取り消したペイ・パー・ビュー番組は購入されません。
● 番組購入後は、「視聴購入」、「録画購入」の変更はできません。

■番組購入限度額を設定するには

● ペイ・パー・ビュー番組の1番組ごとの購入限度額を設定できます。
設定のしかたは、「番組購入限度額の設定」（→239ページ）をご覧ください。

■番組購入履歴を見るには

● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。（→71ページ）

ペイ・パー・ビュー番組を購入する

1 ペイ・パー・ビュー番組を選ぶ

● 次のような画面が表示されます。

プレビュー中の場合

● 右の画面が表示されます。
● 購入する場合は、70ページの手順**2**に進んでください。
（プレビューについては、下の「お知らせ」をご覧ください。）

プレビュー中 決定 で購入

番組が始まっている場合

● 右のメッセージが表示されます。
● 購入する場合は、70ページの手順**2**に進んでください。

ペイ・パー・ビュー番組が始まっています。
購入するには 決定 を押す

視聴年齢制限がはたらいている場合

● 右のようなメッセージが表示されます。
● 番組を購入する場合は、以下の操作を行ってください。

この番組には視聴制限があります。
・視聴年齢制限を超えています。
視聴するには 決定 を押す

①決定ボタンを押す
・ 暗証番号入力の画面になります。
②数字ボタン0～9（10～9）で暗証番号を入力する
・ 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して1桁目から入力し直してください。
・ 次は、70ページの手順**3**に進んでください。

・ 右のメッセージが表示されたとき
暗証番号の設定（→240ページ）や、
視聴年齢制限の設定（→238ページ）が必要です。

次の設定をしてください。
・暗証番号設定
・視聴年齢制限設定
設定の方法は取扱説明書をご覧ください。

メッセージが表示されて、番組購入ができない場合

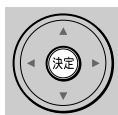
● 「以下の場合には番組を購入できません」（→70ページの「お知らせ」）をご覧ください。

■プレビューについて
● 番組によっては、番組を選んだときに、しばらくの間視聴できる場合があります。これをプレビューといいます。
プレビューは、番組購入の前に番組内容を確認するのに便利です。
（プレビューが終わったあと、チャンネルを変え、もう一度同じ番組を選んでも、プレビューを見ることはできません。）

■番組を購入できる時間について
● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。
その場合、それ以降は購入できませんのでご注意ください。

■暗証番号について（→240ページ）
● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

ペイ・パー・ビュー番組を購入する つづき

2 決定ボタンを押す

右のメッセージが表示された場合

①決定ボタンを押す
・ 暗証番号入力の画面になります。
②数字ボタン0～9(10～9)で暗証番号を入力する

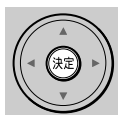
この番組には視聴制限があります。
・番組購入限度額を超えています。
視聴するには 決定 を押す

3 以下の操作を行う

右の画面が表示されている場合

● カーソルボタン◀・▶で「購入する」を選ぶ
・ 購入しない場合は、「購入しない」を選んでください。

右の画面が表示されている場合

● この場合は、録画するためには視聴とは別の料金が必要です。
カーソルボタン◀・▶で、「視聴購入」か「録画購入」を選ぶ
・ 購入しない場合は、「購入しない」を選んでください。

4 決定ボタンを押す

● 「番組を購入しました。」が表示されます。
これで購入の操作は終了です。

すでに購入している番組や予約している番組と時間が重なっている場合

● 決定ボタンを押すと、右のメッセージが表示されます。
①番組を購入する場合は、カーソルボタン◀・▶で「はい」を選ぶ
・ 購入しない場合は、「いいえ」を選んでください。
②決定ボタンを押す

すでに購入された番組と時間が重なっています。
購入を続けますか？
はい　いいえ
で選び 決定 を押す

お知らせ

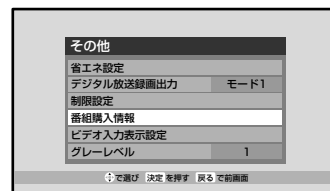
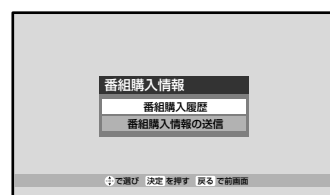
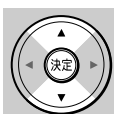
■**以下の場合には番組を購入できません。**（画面にメッセージが表示されます。）
● 番組を購入できる時間が終了している場合
● 電話回線が正しく接続されていないため、購入情報が送信されていない場合
・「番組購入情報の送信」（→72ページ）を行ってください。
・電話回線の接続と設定を確認してください。（→179、189、221ページ）

■**番組によっては、録画が制限される場合があり、その内容は番組説明画面で確認できます。**（→54ページ）

番組購入履歴を見る

● ペイ・パー・ビュー番組を購入した履歴を画面で見ることができます。

1 以下の操作で「番組購入情報」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲･▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲･▼で「番組購入情報」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「番組購入履歴」を選び、決定ボタンを押す

3 番組購入履歴を見る

● 購入状況が以下のように表示されます。

・ **購入済み**
・ **購入エラー**
録画予約実行時に受信障害、停電、番組が放送されなかったなどの理由で購入されなかった場合に表示されます。
この場合は購入料金はかかりません。
・ **取消**
録画予約実行前に、取り消された場合に表示されます。

表示の上、下に▲･▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⏏･⏏でページを変えることができます。

番組購入履歴をすべて削除したい場合

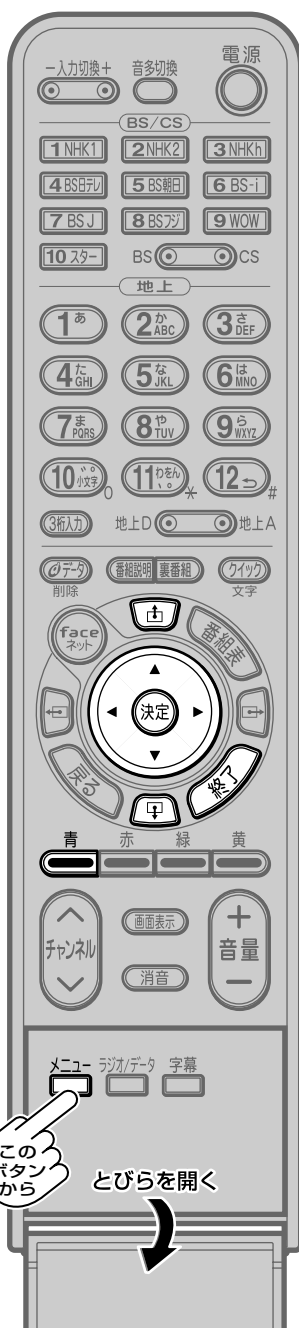
①青ボタンを押す
②カーソルボタン◀･▶で「はい」を選ぶ
③決定ボタンを押す
・ 番組購入履歴がすべて削除されます。

4 以下を行う

前画面に戻るには

● 決定ボタンを押す

通常画面に戻るには

● 終了ボタンを押す

● 番組購入履歴には32番組まで表示されます。
● 32番組を超えた場合は、リスト表示された古いものから順番に削除されます。
● 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→61ページ）も含みます。

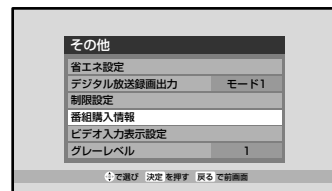
ペイ・パー・ビュー番組を楽しむ つづき

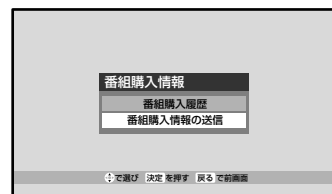
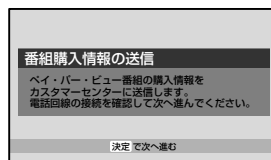
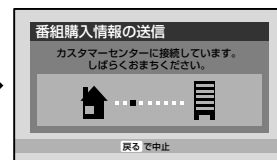
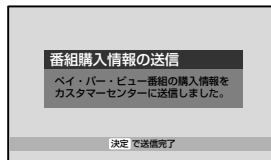
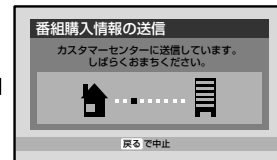
番組購入情報の送信

- 通常、ペイ・パー・ビュー番組の購入情報は電話回線を通じて自動的にセンターに送られます。
- 何らかの事情で、自動送信ができなかった場合は、以下の操作で送信してください。

はじめに
- 番組購入情報が送信されていない場合は、「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でお知らせします。
B-CASカードを挿入し、電話回線が正しく接続されていることを確認したあと(→170、179ページ)、以下の操作で送信してください。

1 以下の操作で「番組購入情報」画面にする

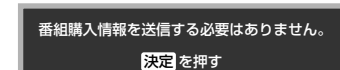
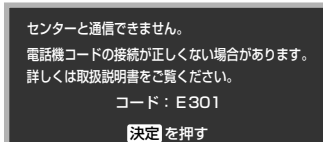
①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「番組購入情報」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「番組購入情報の送信」を選び、決定ボタンを押す

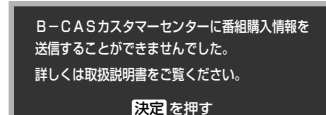
- 以下のメッセージに応じて決定ボタンを押してください。
- 送信が完了したら、決定ボタンを押してください。

初期画面

B-CASカスタマーセンター接続中

送信完了

B-CASカスタマーセンターに送信中

3 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■次のメッセージが表示された場合

番組購入情報を送信する必要はありません。
決定 を押す

- 現在は、番組購入情報を送信する必要はありません。

センターと通信できません。
電話機コードの接続が正しくない場合があります。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。
コード：E301
決定 を押す

- 電話回線の接続（→179ページ）および電話回線設定（→221ページ）を参照し、もう一度接続設定の状態を確認してください。

B－CASカスタマーセンターに番組購入情報を送信することができませんでした。
詳しくは取扱説明書をご覧ください。
決定 を押す

- B-CASカスタマーセンターとの通信中にエラーが発生しました。もう一度電話コードの接続を確認してください。

- B-CASカスタマーセンターについては、同梱のB-CASカード説明紙（台紙）をご覧ください。

降雨対応放送について

●衛星を利用した放送では、雨や雪などの影響で衛星からの電波が弱まり、放送が受信できなくなる場合があります。
その場合でも、BS、または110度CSデジタル放送で、降雨対応放送が行われているときには、以下の操作で放送をご覧になることができます。

降雨対応放送に切り換えるには

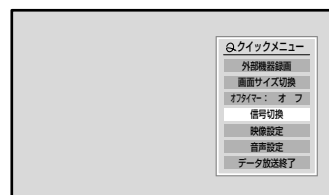
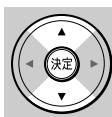
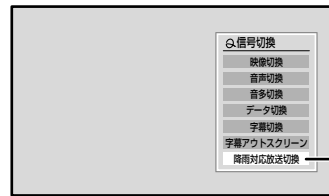
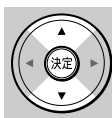
はじめに

●BSまたは110度CSデジタル放送を選んでいて、右のメッセージが表示された場合は、以下の操作で、降雨対応放送に切り換えることができます。

電波の受信状態が良くありません。
クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。
コード：E201

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「信号切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送切換」を選び、決定ボタンを押す

※ 降雨対応放送が行われていない番組の場合は、薄く表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼で「降雨対応放送」を選ぶ

● 選んだ状態に放送が切り換わります。
● 通常の放送に戻すには、「通常の放送」を選んでください。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 電波が強くなると、降雨対応放送から通常の放送に自動的に戻ります。
- 降雨対応放送は、通常の放送に比べて画質などの品位が落ちる場合があります。
- 現在番組録画や録画予約実行中は、このページの操作で降雨対応放送に切り換えることはできません。（降雨対応放送に自動的に切り換わることはあります。）

ビデオなどの外部機器を楽しむ

● ビデオなどをテレビの「ビデオ入力」につないだ場合について説明します。
（接続のしかたや詳しい操作方法は、116 ページをご覧ください。）

1 見たい機器の電源を入れる

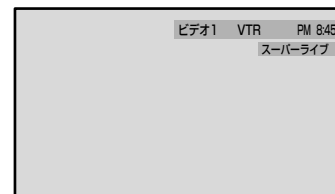
2 入力切換ボタン－・＋で「ビデオ入力」を選ぶ

－入力切換＋

ビデオ1　VTR　PM 8:45
スーパーライブ

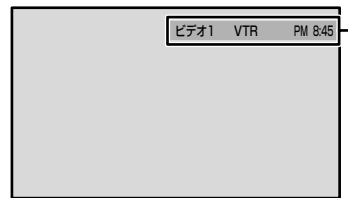
● 入力切換ボタン＋を押すごとに以下のように切り換わります。
（切り換わりには少し時間がかかります。）
入力切換ボタン－を押すと、－を押すごとに逆方向に切り換わります。

※入力切換ボタン＋を押した場合

地上デジタル・地上アナログ・BS・110度CS →ビデオ1→ビデオ2 →ビデオ3

3 ビデオなどを操作する

■次のようにすると、入力切換の操作が素早くできます！

● **手順2で、入力切換ボタンを繰り返し押す**

・画面に表示される文字が順次変わります。
ご希望の状態になったら、ボタンを押すのをやめます。しばらくすると、入力が切り換わります。

※ 押すごとに文字表示のみが順次変わります。

● テレビ本体の入力切換ボタンを使うと、上記手順**2**の入力切換ボタン＋を押した場合の操作ができます。
● 画面右上に表示されている入力表示は、VTR、DVDなどの機器名に変えることができます。（→165ページ）
● ビデオ入力3/ゲームに切り換えたときは、ゲームに適した画質と画面サイズとなるように設定されています。
ビデオなどをつなぐときは、ビデオ入力3/ゲーム端子を選んだあと、終了ボタンを押してください。
通常のビデオ入力端子として使えるようになります。
● 常時テレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示の設定」（→165ページ）をゲーム以外にしてご使用ください。

現在番組録画（今見ている番組を録画する）

● 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送の場合に、簡単操作で録画させることができます。詳しくは以下をご覧ください。

現在番組録画について

■録画できる機器と準備のしかた

録画機器の種類	説明	準備
VHSやS-VHSなどで録画する	● 付属のビデオコントロールケーブルを使ってビデオをコントロールして録画します。 ■録画できる放送 ・地上デジタル ・BSデジタル ・110度CSデジタル	①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」で、本機とビデオを接続する。（→117ページ） ②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→124ページ） ③接続されるビデオの機種設定（→125ページ）
ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を使用して、連動録画をする	● ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で、本機との連動録画ができる場合には、本機の操作をするだけでビデオレコーダー側の録画操作もできます。 ■録画できる放送 ・地上デジタル ・BSデジタル ・110度CSデジタル	●「東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき」をご覧ください。（→127ページ）

※VHSやS-VHSなどで録画するとき
- 上の表の準備③で「該当なし」に設定した場合は、録画の操作（録画開始、停止とも）はビデオ側で行ってください。
- デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）や字幕、データ放送は出力されません。

■録画の方法

- 今見ている番組を録画する方法には、次の2種類があります。
（上の表で記載した「準備」は、以下のどちらの場合にも必要です。）

方法1.　番組表で番組を指定して録画する　→76ページ

方法2.　番組の終了時刻を指定して録画する（これを「外部機器録画」と呼びます）　→78ページ

- 操作の簡単さから上記の「方法1」をおすすめします。
次の番組も録画するときなどに「方法2」をご使用ください。

■重要なお知らせ

- 停電した場合（電源プラグを抜き差しした場合）や、本体の電源が「切」にされた場合は、録画を中止します。
このとき、本機は録画機器を録画停止や、電源「切」にはコントロールしません。したがって、その場合、録画機器が録画状態のままとなることがありますのでご注意ください。
- 現在番組録画は予約の機能を使って動作します。
- **万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。**
- **「現在番組録画についての注意事項」（→82ページ）もよくお読みください。**

現在番組録画（今見ている番組を録画する） つづき

方法1. 番組表で番組を指定して録画する

● 録画をする前の準備については、75ページをご覧ください。
※地上アナログ放送は、録画できません。

はじめに

[ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に録画する場合]
ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の電源を入れる
● ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）は、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 番組表ボタンを押す

● 番組表が表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で現在放送されている番組を選び、決定ボタンを押す

● 現在放送されている番組を選んでください。
● 今後放送される番組を選んだ場合は、予約に進みます。（→83ページ）

■次のメッセージが表示された場合
●「番組視聴ができません。次の設定をしてください。」
・「暗証番号の設定」（→240ページ）、「視聴年齢制限の設定」（→238ページ）をしてください。

■次のメッセージが表示された場合は、92ページをご覧ください。
●「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

3 [録画をする場合] 録画先を画面で確認する

● 下図のようにご確認ください。
変更する場合は、「録画設定を変更する場合」（→86ページ）で行ってください。
●「お知らせ」もご覧ください。

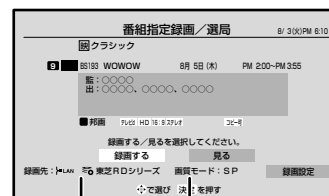
（VHSやS-VHSなどの場合）

① 録画先
（「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」になっていることを確認する）

（ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の場合）

② 画質モード

① 録画先
「東芝RDシリーズ」になっていることを確認する

ほかの録画設定の内容を確認、変更したいとき

● 録画設定の内容（録画する信号など）の確認·変更は「録画設定を変更する場合」（→86ページ）で行ってください。

● 独立データ放送は、録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、録画できません。
● 現在番組の録画は、以下のときにもできます。
・番組検索結果 ... 46ページ
・お好み番組 141ページ

4 以下の準備をする

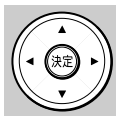
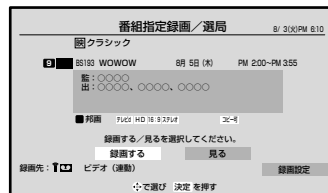
VHSやS-VHSなどで録画するとき

● ビデオコントロールケーブルを使って録画する場合
①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する(→124ページ)
②録画機器の準備をする
・ 録画するビデオテープを録画機器に入れる
・ 録画機器の入力切換をする(本機が接続されている入力に切り換える)
・ 録画機器の電源を切(待機)にする

● ビデオコントロールケーブルを使わない場合
・ 録画機器で録画の設定をしてください。

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を使用して、連動録画をするとき

● 準備については、81ページ手順**5**をご覧ください。

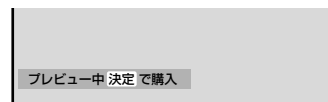
5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

● 録画が始まります。(本体の「実行(橙)」表示が点灯します。)
● 録画が禁止されている番組の場合には、録画はできません。
(その場合は、メッセージでお知らせします。)

VHSやS-VHSなどで録画するとき

● ビデオコントロールケーブルを使って録画する場合
・録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
・番組終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源がもとの状態(「切」または待機状態)になります。
● ビデオコントロールケーブルを使わない場合
・ビデオで録画を開始してから決定ボタンを押してください。
録画の停止も録画機器側で行ってください。

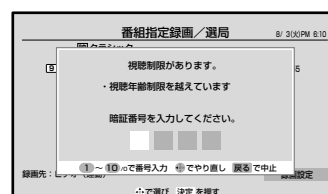
ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を使用して、連動録画をするとき

● 番組終了時刻になると録画も自動的に終了します。
● 東芝RDシリーズに関してのメッセージが表示された場合は、81ページ手順**6**の表をご覧ください。

ペイ・パー・ビュー番組の場合

● 番組購入の操作が必要です。
(→69ページ)

(ペイ・パー・ビュー番組の表示例)

次の画面が表示されたとき

● 番組に視聴制限がはたらいています。
・録画をする場合は、数字ボタン0～9(10～9)で暗証番号を入力する
・間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押し、もう一度1桁目から入力してください。

現在番組録画（今見ている番組を録画する） つづき

方法2. 番組の終了時刻を指定して録画する

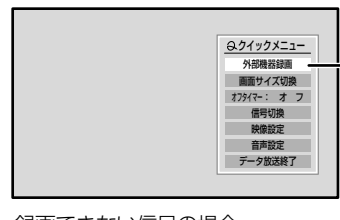
VHSやS-VHSなどで録画するとき

● 録画をする前の準備については、75ページをご覧ください。

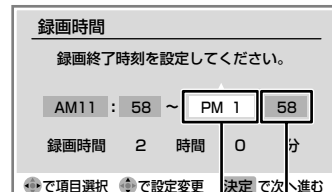
1 地上デジタル、BSデジタル、または110度CSデジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

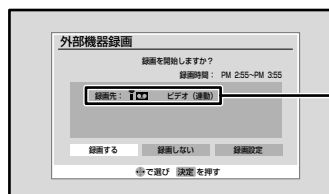
2 カーソルボタン▲･▼で「外部機器録画」を選び、決定ボタンを押す

● 番組によっては、録画できない場合があります。（その内容のメッセージが画面に表示されます。）

録画できない信号の場合、「外部機器録画」は薄く表示されます。

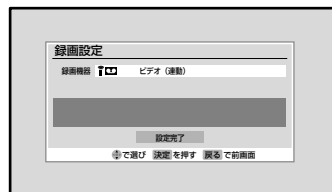
3 以下の操作で録画の終了時刻を設定する

①カーソルボタン◀･▶で終了時刻の設定場所を選ぶ
②カーソルボタン▲･▼で「時」を設定する
③同様にして「分」も設定する
④決定ボタンを押す
※ 終了時刻は、最初は2時間後が表示されています。
上記の操作で変更してください。
設定できる時間は最大23時間59分です。
設定時刻に誤りがある場合は、メッセージが表示されますので、決定ボタンを押して時刻設定をやり直してください。

終了の「時」を設定する
終了の「分」を設定する

4 録画先を画面で確認する

● 下図のようにご確認ください。

① 録画先
（「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」になっていることを確認する）

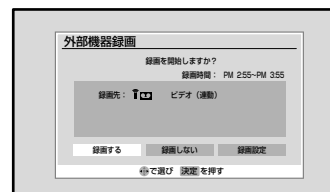
録画先を変更したいとき

①カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼で「録画機器」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」を選び、決定ボタンを押す
・「ビデオ（連動）」は「ビデオ機種設定」（→125ページ）でメーカーを設定した場合のみ表示されます。
④カーソルボタン▲･▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す
・ 外部機器録画の画面に戻ります。

● 独立データ放送は、録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、録画できません。
● 二重音声については、録画前に設定していた状態となります。

5 以下の準備をする

①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する
（→124ページ）
②録画機器で、以下の準備をする
- 録画するビデオテープを録画機器に入れる
- 録画機器の入力切換をする（本機が接続されている入力に切り換える）
- 録画機器の電源を切（待機）にする

6 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

- 録画が始まります。（本体の「実行（橙）」表示が点灯します。）
- 録画機器によっては、録画が開始されるまでにしばらく時間がかかる場合があります。
- 設定した終了時刻になると録画も自動的に終了し、録画機器の電源がもとの状態（「切」または待機状態）になります。
- 「ビデオ（非連動）」に設定した場合は、ビデオで録画を開始してから決定ボタンを押してください。
  録画の停止も録画機器側で行ってください。

現在番組録画（今見ている番組を録画する） つづき

方法2. 番組の終了時刻を指定して録画する つづき

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を使用して、連動録画をするとき

● 録画をする前の準備については、75ページをご覧ください。
● 82ページの「連動録画についての注意事項」もよくお読みください。

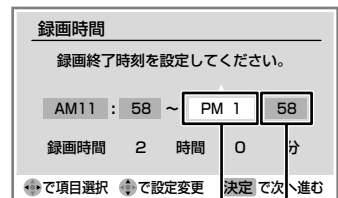
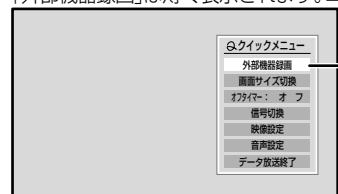
はじめに ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の電源を入れる
● ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)は、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 地上デジタル、BSデジタル、または110度CSデジタル放送を受信している状態で、クイックボタンを押す

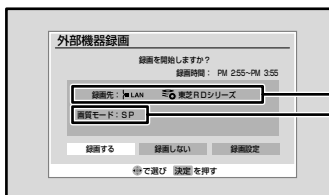
2 カーソルボタン▲·▼で「外部機器録画」を選び、決定ボタンを押す

録画できない信号の場合、「外部機器録画」は薄く表示されます。

3 以下の操作で録画の終了時刻を設定する

①カーソルボタン◀·▶で終了時刻の設定場所を選ぶ
②カーソルボタン▲·▼で「時」を設定する
③同様にして「分」も設定する
④決定ボタンを押す
※ 終了時刻は、最初は2時間後が表示されています。上記の操作で変更してください。設定できる時間は最大23時間59分です。設定時刻に誤りがある場合は、メッセージが表示されますので、決定ボタンを押して時刻設定をやり直してください。

終了の「時」を設定する
終了の「分」を設定する

4 録画先、画質モードを画面で確認する

● 下図の①、②をご確認ください。

① 録画先
「東芝RDシリーズ」になっていることを確認する
② 画質モード

録画先、画質モードなどを変更したいとき

①カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲·▼で録画機器、画質モードなど変更したい項目を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で設定する内容を選び、決定ボタンを押す
· 設定する内容は、下表をご覧ください。

項目	設定する内容	説明
録画機器	東芝RDシリーズ	「東芝RDシリーズ」に設定してください。
画質モード	SP／LP／MN1. 4～MN9. 2	音質モードでL-PCMを選択しているときは、SP／LP／MN8. 2以上は設定できません。
音質モード	M1／M2／L-PCM	画質モードでSP／LP／MN8. 2以上を選択しているときは、L-PCMは設定できません。
DVD互換	切／入(主音声)／入(副音声)	DVD互換の入／切を設定します。DVD互換を入にする場合で、主音声を記録する場合は「入(主音声)」に設定し、副音声を記録する場合は「入(副音声)」に設定してください。(これはDVD-Videoの規格によるものです。)
記録先	HDD／DVD	ビデオレコーダーの記録先を設定します。

④カーソルボタン▲·▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す
· 外部機器録画の画面に戻ります。

● 独立データ放送は、連動録画はできません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、録画はできません。
● DVD互換を「入(主音声)」や「入(副音声)」に設定すると、音多切換(→59ページ)も「主音声」や「副音声」に自動的に切り換わります。

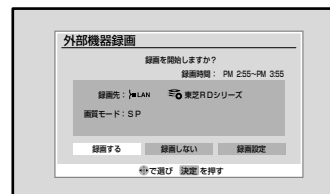
5 ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の準備をする

- DVDに録画する場合は、録画するDVDをビデオレコーダーに入れてください。
- HDDに録画する場合は、HDDの残量と番組の録画数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。

6 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す

- 録画が始まります。(本体の「実行(橙)」表示が点灯します。)
- 設定した終了時刻になると録画も自動的に終了します。

外部機器録画
録画を開始しますか？
録画時間： PM 2:55~PM 3:55
録画先：LAN　東芝RDシリーズ
画質モード：SP
録画する　録画しない　録画設定
で選び 決定 を押す

- 次のメッセージが表示された場合は、表の説明をご覧ください。

メッセージ	詳しい説明･対処方法･ほか
東芝RDシリーズの動作によって登録できません。	ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の動作との競合によって、今は録画できません。
東芝RDシリーズの予約がいっぱいです。	ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)側の予約数がいっぱいのため、録画できません。
東芝RDシリーズの予約と重複するため、登録できません。	ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)側の予約と重複しているため、録画できません。
指定した時刻情報では録画情報を登録できません。	指定した時刻で予約設定できるかをビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の取扱説明書でご確認ください。
東芝RDシリーズに時刻が設定されていません。	ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の現在時刻が設定されていないため、録画できません。
東芝RDシリーズに録画情報を登録できませんでした。	ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で、以下をご確認ください。 ･電源は、はいっていますか？ ･本機とビデオレコーダーは正しく接続されていますか？(➝131～133ページ) ･ネットワーク設定は正しいですか？(ビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。)

現在番組録画を中止したい場合

- 現在番組録画の中止は、以下の操作で行ってください。

ご注意

※ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を使用して、連動録画をしている場合の中止について

- **以下の操作で本機側で連動録画を中止しても、ビデオレコーダー側の録画は中止されません。ビデオレコーダー側でも中止してください。(ビデオレコーダー本体の停止ボタンを2回押してください。)**

1 終了ボタンを押す

- 「録画実行中です。もう一度 終了 を押すと録画を中止します。」が表示されます。

2 上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す

- 現在番組録画が中止されます。

現在番組録画（今見ている番組を録画する） つづき

現在番組録画についての注意事項

- 現在番組録画や録画予約を実行しているときだけ、デジタル放送録画出力端子（→27ページ）から映像信号が出るように設定できます。（詳しくは、164ページ）
- 番組によってはコピー禁止のため録画できない場合がありますので、あらかじめ録画操作の前に番組説明ボタンで番組情報をご確認ください。
- ビデオ本体で予約設定をしているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しない場合があります。
- 録画中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われているとき、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画実行中は、地上アナログ放送、CATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 録画実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 録画実行中にリモコンの電源ボタンが押されたとき、電源は待機状態になりますが、録画はそのまま続行されます。また、その状態でリモコンの電源ボタンを押すと電源がはいり録画も続行されます。
- 現在番組録画実行中に録画予約の開始時刻になると、現在番組録画は中止されます。
- 現在番組録画実行中に視聴予約またはダウンロード予約の開始時刻になると、その予約を取り消して「本機に関するお知らせ」（→99ページ）でご連絡します。
- 録画中に受信障害が発生したり、B-CASカードが抜かれたなどの場合でも録画動作は継続します。（映像や音声は録画できません。）
- 録画実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をHDDビデオレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、1世代のみ録画を許された番組を、さらに録画（コピー）することはできません。

連動録画についての注意事項

- 上記の「現在番組録画についての注意事項」もお読みください。
- 連動録画の概要については、「東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーとつなぐとき」（→127ページ）をご覧ください。
- 連動録画の操作は、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の電源を「入」の状態で行ってください。
- 連動録画を中止する場合は、本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の両方でそれぞれ行ってください。
  ビデオレコーダー側で録画を中止しても、本機側は中止されません。
  また、本機側で中止の操作をしても、ビデオレコーダー側の録画は中止されません。
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で登録できる文字数を超えた番組名や番組説明の場合、登録できる文字数に切り捨てられます。
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の動作との競合によってビデオレコーダーで連動動作が正しく行われない場合があります。本機での操作後、ビデオレコーダー側でも動作の確認をしてください。
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）によっては、本機の連動録画の設定で設定できる内容に対応していない場合があります。

録画予約や視聴予約をする

●地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送の場合、番組表の画面などで番組を指定して、予約をすることができます。
　また、日と時間を指定して予約することもできます。
　ビデオなどを連動動作させて、録画予約をすることもできます。詳しくは下の表をご覧ください。

録画予約／視聴予約について

■予約の種類

● 以下の種類があります。

●録画したいとき ⇒ 録画予約（→下の表参照） [番組指定予約と日時指定予約があります。]

●視聴だけをしたいとき ⇒ 視聴予約 [番組指定予約と日時指定予約があります。]

（番組指定予約 … 番組表画面などで、番組を指定して予約をします。通常はこの方法で予約します。
日時指定予約 … 日と時間を指定して予約します。放送時間の長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。）

■予約のできる番組数

● 録画予約と視聴予約を合わせて最大32番組です。

■地上アナログ放送の場合

● 視聴予約はできますが、録画予約はできません。
● 番組指定予約をする場合は、地上アナログ放送の番組表が使用できることが必要です。（→ 19 ページの最初の項目）
● 日時指定予約をする場合は、デジタル放送を受信しているか、または地上アナログ放送の番組表を使用できることが必要です。
● デジタル放送を受信していない場合は、視聴予約の開始時刻のずれが大きくなる場合があります。

■以下の録画機器に録画できます！

録画機器の種類	説明	準備
VHSやS-VHSなどで録画するとき	● 付属のビデオコントロールケーブルを使います。 ● 予約時刻になるとビデオコントロールケーブルの発光部からビデオのリモコン信号を出してビデオをコントロールして録画します。 ■録画できる放送 ●地上デジタル ●BS デジタル ●110 度 CS デジタル ※ データ放送は録画できません。	①「ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた」で、本機とビデオを接続する。（→ 117 ページ） ②ビデオコントロールケーブルの接続と設置（→ 124 ページ） ③接続されるビデオの機種設定（→ 125 ページ） ● 下の「お知らせ」もご覧ください。
ビデオレコーダー（東芝 RD シリーズ）で「テレビ de ナビ」予約をするとき	● ビデオレコーダー（東芝 RD シリーズ）で、本機との連動予約ができる場合には、本機の録画予約設定だけでビデオレコーダー側の録画予約設定もできます。 ■録画できる放送 ●地上デジタル ●BS デジタル ●110 度 CS デジタル ※ データ放送は録画できません。	●「東芝製 HDD & DVD ビデオレコーダーとつなぐとき」をご覧ください。（→ 127 ページ）

お知らせ　「VHSやS-VHSなどで録画するとき」について

● 上の表の準備はVHSビデオなどをビデオコントロールケーブルで連動させた場合です。ビデオコントロールケーブルを使わない場合（非連動）は、本機で予約したあと、ビデオなどの録画機器でも予約の設定をする必要があります。録画機器の取扱説明書もよくお読みください。

■予約についての重要なお知らせ

● 本体の電源ボタンで電源を「切」の場合は実行されません。
　予約実行前に、本機の電源が「入」だった場合、予約終了後も電源は「入」のままです。
● 天候・停電・送信側の都合などで、予約を実行できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」（→99ページ）でご連絡します。
● 視聴予約は、本機の電源が「入」のときだけ実行されます。
　本機の電源「切」や「待機」のときは実行されません。
● 録画予約実行前に、本機の電源が「待機」だった場合、録画が開始されても本機の画面には映像や音声は出ません。録画終了後は「待機」になります。
● 日時指定予約の場合は、ペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
● **万一、本機の故障や誤動作などによって正常に録画、録音、再生ができなかった場合、その内容や番組購入料金などの補償についてはご容赦ください。**
● **予約実行時にも、B-CASカードは必ず挿入したままにしておいてください。**
● **「予約についての注意事項」（→96ページ）もよくお読みください。**

録画予約や視聴予約をする つづき

予約のしかた（番組を指定して予約する場合）

● 予約の概要や予約をする前の準備については、83ページをご覧ください。
※地上アナログ放送の場合は、録画予約はできません。（視聴予約はできます。）

はじめに

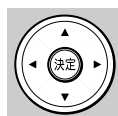
［ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に「テレビdeナビ」予約をする場合］

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の電源を入れる

● ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）は、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 番組表ボタンを押す

● 番組表が表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で、予約したい番組を選び、決定ボタンを押す

● 今後放送される番組を選んでください。
● 視聴予約をするときは、次は手順**4**に進んでください。

■次のメッセージが表示された場合

● 「番組購入情報がいっぱいのため、番組予約はできません。」
　・ 決定ボタンを押すと番組表画面に戻ります。
　　「番組購入情報の送信」（→72ページ）をしてください。
● 「番組予約ができません。次の設定をしてください。」
　・「暗証番号の設定」（→240ページ）、「視聴年齢制限の設定」（→238ページ）をしてください。

■次のメッセージが表示された場合は、92ページをご覧ください。

● 「予約数がいっぱいです。」
● 「他の予約と時間が重なっています。」
● 「ソフトウェアのダウンロード予約と時間が重なっています。」

3 ［録画予約をする場合］ 録画先を画面で確認する

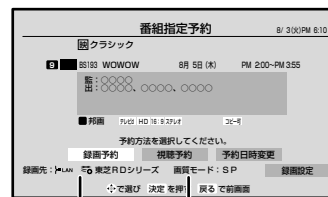
● 下図のようにご確認ください。
　変更する場合は、「録画設定を変更する場合」（→86ページ）で行ってください。
● 「お知らせ」もご覧ください。

（VHSやS-VHSなどの場合）

① 録画先
（「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」になっていることを確認する）

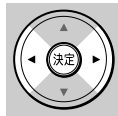
（ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の場合）

② 画質モード
① 録画先
「東芝RDシリーズ」になっていることを確認する

ほかの録画設定の内容を確認、変更したいとき

● 録画設定の内容（録画する信号など）の確認・変更は「録画設定を変更する場合」（→86ページ）で行ってください。

お知らせ

● 独立データ放送は、録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、録画できません。
● 予約は、以下のときにもできます。
　・番組検索結果 .. 46ページ
　・裏番組リスト ... 48ページ
　・お好み番組 141ページ

4 カーソルボタン◀・▶で「録画予約」、「視聴予約」のどちらかを選び、決定ボタンを押す

録画予約を選んだ場合

- 手順**5**に進んでください。

（放送時間が変更されたり中止になる可能性がある番組の場合）

- 放送時間の繰上げや放送中止などによって、正しく録画ができないおそれのある番組の場合には右の画面が表示されます。
  録画予約をする場合には、カーソルボタン◀・▶で「はい」を選んで決定ボタンを押してください。
  （本機は放送時間の繰上げには対応していません。）
- 録画が禁止されている番組の場合には、録画予約はできません。
  （その場合は、メッセージでお知らせします。）

視聴予約を選んだ場合

- これで予約設定完了です。

予約日時を変更したい場合

- 予約日を毎日、毎週などにしたり、予約時間を変更することができます。
- 詳しくは、88ページをご覧ください。

次の画面が表示されたとき

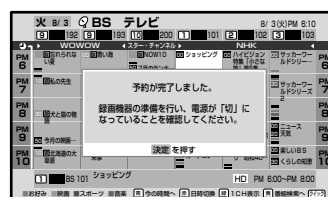
- 番組に視聴制限がはたらいています。
  - 録画予約をする場合は、数字ボタン0～9（10～9）で暗証番号を入力する
    - 間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押し、もう一度1桁目から入力してください。

- 選んだ番組はペイ・パー・ビュー番組です。
  - 録画予約する場合はカーソルボタン◀・▶で「購入する」を選び、決定ボタンを押す
    - 録画するには画面に表示された料金がかかります。
    - 購入料金表示には、信号を追加で購入した場合の料金（→61ページ）も含みます。

5 以下の準備をして、決定ボタンを押す

VHSやS-VHSなどで録画するとき

- **ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合**
  ①ビデオコントロールケーブルが正しく接続・設置されていることを確認する（→124ページ）
  ②録画機器の準備をする
  - **録画するビデオテープを録画機器に入れる**
  - **録画機器の入力切換をする（本機が接続されている入力に切り換える）**
  - **録画機器の電源を切（待機）にする**

- ビデオコントロールケーブルを使わない場合
  - 録画機器で予約の設定をしてください。

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「テレビdeナビ」予約をするとき

- 準備については、86ページをご覧ください。

録画予約や視聴予約をする つづき

予約のしかた（番組を指定して予約する場合） つづき

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で「テレビdeナビ」予約をするときの準備

- DVDに録画する場合は、録画するDVDをビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に入れてください。
- HDDに録画する場合は、録画予約開始までにHDDの残量と番組の録画数を確認し、録画ができるように不要な番組を削除してください。
- 次のメッセージが表示された場合は、表内の説明をご覧ください。

メッセージ	詳しい説明・対処方法・ほか
東芝RDシリーズの予約と一部重複があります。東芝RDシリーズでご確認ください。	録画予約の設定はできましたが、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の予約と一部重複しています。ビデオレコーダーの予約内容をご確認ください。
東芝RDシリーズで設定が変更されました。東芝RDシリーズでご確認ください。	録画予約の設定はできましたが、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側で録画設定が変更されています。ビデオレコーダー側で録画設定の内容をご確認ください。
東芝RDシリーズの動作によって登録できません。	ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の動作との競合によって、今は予約登録できません。しばらくしてからやり直してください。
東芝RDシリーズの予約がいっぱいです。	ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側の予約数がいっぱいのため、予約登録できません。
東芝RDシリーズの予約と重複するため、登録できません。	ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側の予約と重複しているため、予約登録できません。
指定した時刻情報では予約を登録できません。	指定した時刻で予約設定できるかをビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の取扱説明書でご確認ください。
東芝RDシリーズに時刻が設定されていません。	ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の現在時刻が設定されていないため、予約登録できません。
東芝RDシリーズに予約を登録できませんでした。	ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で、以下をご確認ください。 ・電源は、はいっていますか？ ・本機とビデオレコーダーは正しく接続されていますか？（→131〜133ページ） ・ネットワーク設定は正しいですか？（ビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。）

録画設定を変更する場合

- 84ページの手順**3**の画面で、録画設定の内容を変更する方法について説明します。

■設定（変更）のしかた

1 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す

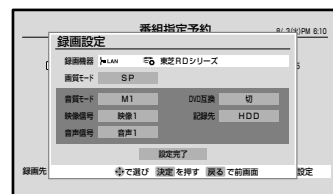
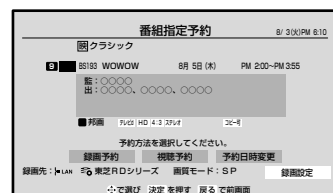
- 録画設定画面が表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で変更したい項目を選び、決定ボタンを押す

- 選んでいる録画機器によって、設定項目は異なります。
  下の「お知らせ」をご覧ください。

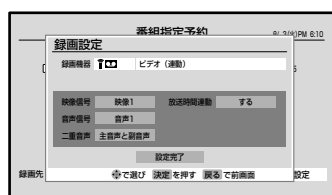
3 カーソルボタン▲·▼で設定する内容を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

- 番組指定予約の画面に戻ります。

■「録画設定」での設定項目については、詳しくは以下をご覧ください。

- VHSやS-VHSなどで録画するとき 87ページ
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「テレビdeナビ」予約をするとき 87ページ

■「録画設定」の項目について

● VHS や S-VHS などで録画するとき

（録画設定画面の表示例）

項目	設定する内容	説明
録画機器	ビデオ（連動）／ビデオ（非連動）	「録画機器」を「ビデオ（連動）」、または「ビデオ（非連動）」（どちらか表示されているもの）に設定してください。 ※「ビデオ（連動）」は「ビデオ機種設定」（→125ページ）でメーカーを設定した場合のみ表示されます。
映像信号	映像１／映像２／映像３など	選択できる信号がない場合は設定できません。 信号の追加購入のしかたは、61 ページをご覧ください。
音声信号	音声１／音声２／音声３など	
二重音声	主音声と副音声／主音声／副音声	二重音声については、詳しくは 59 ページをご覧ください。
放送時間連動	する／しない	この下の「お知らせ」を参照

■「放送時間連動」を「する」に設定した場合

- 予約番組が時間変更された場合に、自動的に時間に合わせて録画予約を実行します。最大3時間までの番組開始時刻の遅れに対応します。（番組開始時刻が早くなった場合には対応していません。）
  選んだ番組がペイ・パー・ビューの場合は自動的に放送時間連動をする設定になります。
- 放送時間連動をするように設定されていても正常に連動動作しない場合があります。（→詳しくは95ページ）

● ビデオレコーダー（東芝 RD シリーズ）で「テレビ de ナビ」予約をするとき

（録画設定画面の表示例）

項目	設定する内容	説明
録画機器	東芝 RD シリーズ	「東芝 RD シリーズ」に設定してください。
画質モード	SP／LP／MN1．4～MN9．2	音質モードでL-PCMを選択しているときは、SP／LP／MN8．2以上は設定できません。
音質モード	M1／M2／L-PCM	画質モードで SP／LP／MN8．2 以上を選択しているときは、L-PCM は設定できません。
DVD 互換	切／入（主音声）／入（副音声）	DVD 互換の入／切を設定します。 DVD 互換を入にする場合で、主音声を記録する場合は「入（主音声）」に設定し、副音声を記録する場合は「入（副音声）」に設定してください。（これは DVD-Video の規格によるものです。）
記録先	HDD／DVD	ビデオレコーダーの記録先を設定します。
映像信号	映像１／映像２／映像３など	選択できる信号がない場合は設定できません。 信号の追加購入のしかたは、61 ページをご覧ください。
音声信号	音声１／音声２／音声３など	

- VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約で録画する場合、二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

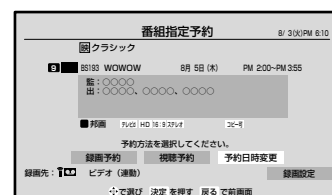
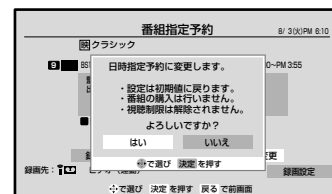
録画予約や視聴予約をする つづき

予約のしかた（番組を指定して予約する場合） つづき

予約日時を変更する場合

● 予約日を毎日、毎週などにしたり、予約時間を変更する方法について説明します。

● 予約時間の変更は次のような場合に便利です。
例：毎日または毎週同じ時間に放送される連続ドラマなどの場合、毎日・毎週などを指定して予約できるので便利です。

1 85ページ手順4の画面で、カーソルボタン◀・▶で「予約日時変更」を選び、決定ボタンを押す

2 画面の説明を読んだあと、カーソルボタン◀・▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

3 90ページ手順8以降を行う

● 予約日時を変更して予約した場合、以下のようになります。
・ペイ・パー・ビュー番組の購入は行われません。
・視聴制限は解除されません。

● VHSやS-VHSなどやテレビdeナビ予約で録画する場合、録画予約で二重音声の設定ができます。ただし、二重音声がない場合は、無効となります。

予約のしかた（日時を指定して予約する場合）

- 日と時間を指定して予約します。放送時間が長い番組の一部だけを予約したいときなどに使います。
- 毎日、毎週、月～金、月～土などの予約が選べます。
- 放送チャンネルではなく、ビデオ入力について日時指定予約をすることもできます。
- 日時指定予約は次のような場合に便利です。

例：複数番組を録画予約する場合で、前の番組の終了時刻とあとの番組の開始時刻が同じとき
・そのままでは、前の予約番組の終わり部分が少し欠けることとなりますが、あとの番組の予約開始時刻を遅い時刻に変更することで、前の予約番組を終わりまで録画することができます。（あとの番組の冒頭部分は、欠けて録画されることになります。）
※地上アナログ放送を録画予約することはできません。

はじめに

［ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に「テレビdeナビ」予約をする場合］
ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の電源を入れる
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）は、設定画面などを表示させない、通常の状態にしてください。

1 faceネットボタンを押す

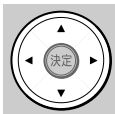
- faceネット画面になります。

2 カーソルボタン▲·▼で「録画予約したい」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「放送日時で予約する」を選び、決定ボタンを押す

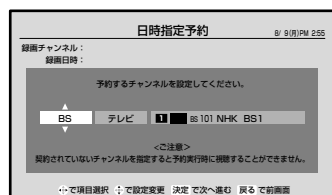
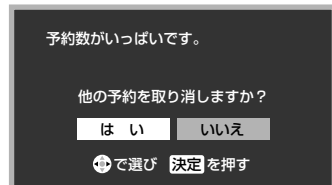
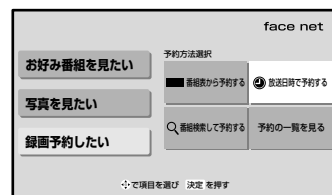
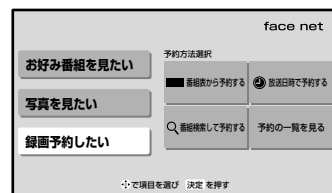
右のメッセージが表示された場合
- 92ページをご覧ください。

予約数がいっぱいです。
他の予約を取り消しますか？
は い　いいえ
で選び 決定 を押す

4 カーソルボタン◀·▶で放送の種類（左端の項目）を選び、カーソルボタン▲·▼で設定する

- カーソルボタン▲·▼を押すごとに下のように切り換わります。

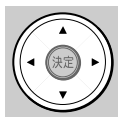
→ BS ↔ CS ↔ 地上D ↔ 地上A ←

※地上デジタル放送の「初期スキャン」（→186、197ページ）が行われていない場合は「地上デジタル放送」には切り換わりません。
- 次は以下の手順に進んでください。
地上アナログ放送を選んだ場合　⇒手順6に進む
上記以外を選んだ場合　⇒手順5に進む

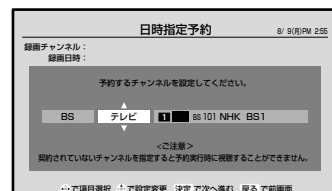
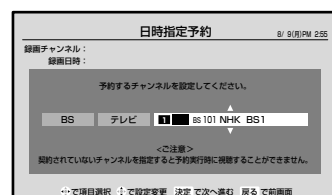
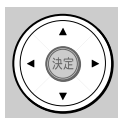
［次のページにつづく］

お知らせ
- 日時指定予約の場合、次のようになります。
  - ・日時指定予約ではペイ・パー・ビュー番組の購入はできません。
  - ・日時指定予約の録画予約では放送時間変更の設定はできません。
- 独立データ放送は、録画できません。また、番組連動データ放送の場合、映像や音声は録画できますが、データで送られている文字などの情報は、録画できません。
- 設定できるチャンネルは、受信可能なチャンネルのみです。
- 現在時刻情報が取得されていないときには、日時指定予約はできません。その場合は、しばらくデジタル放送を視聴する必要があります。

録画予約や視聴予約をする つづき

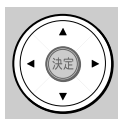
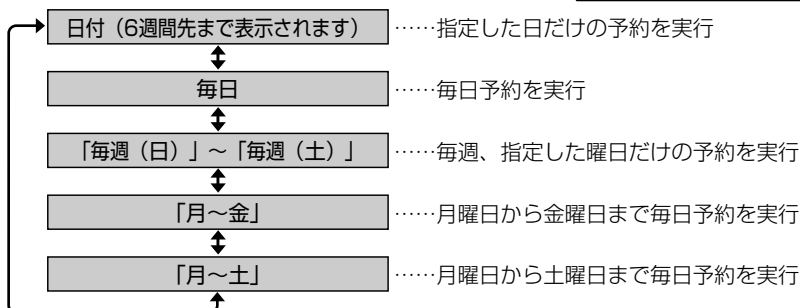
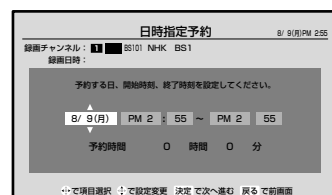
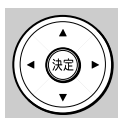
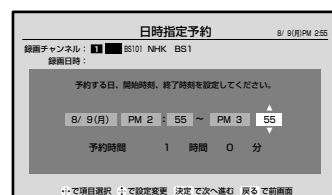
予約のしかた（日時を指定して予約する場合） つづき

5 [手順**4**でBS、CS、地上D放送を選んだ場合] カーソルボタン◀･▶でメディアタイプ(まん中の項目)を選び、カーソルボタン▲･▼で設定する

- カーソルボタン▲･▼を押すごとに下のように切り換わります。

→ テレビ ↔ ラジオ ↔ データ ←

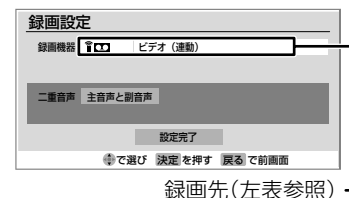
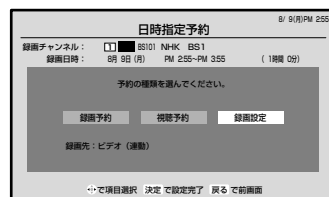
※地上デジタル放送の場合、「ラジオ」には切り換わりません。
※地上アナログ放送の場合、メディアは設定できません。

6 カーソルボタン◀･▶でチャンネル番号(右端の項目)を選び、カーソルボタン▲･▼で設定する

7 決定ボタンを押す

- 日時指定画面になります。

8 カーソルボタン◀･▶で予約日(左端の項目)を選び、カーソルボタン▲･▼で設定する

- カーソルボタン▲･▼を押すことで、次のように設定できます。

9 カーソルボタン◀･▶で予約開始時刻または終了時刻を選び、カーソルボタン▲･▼で設定して、決定ボタンを押す

- 画面下に予約時間が表示されます。
- 設定できる時間は最大23時間59分です。
- 時刻設定に誤りがある場合は、メッセージが表示されます。決定ボタンを押して、時刻設定をやり直してください。他のメッセージが表示された場合は、92ページをご覧ください。

10 ［録画設定の内容を確認する場合］以下の操作を行う

① カーソルボタン◀･▶で「録画設定」を選び、決定ボタンを押す

● 以下のようにご確認ください。
変更する場合は、「録画設定を変更する場合」（→86ページ）で行ってください。

	録画先
アナログ方式（VHS やS-VHS などで録画するとき）	「ビデオ（連動）」または「ビデオ（非連動）」
ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「テレビ deナビ」予約をするとき	「東芝 RD シリーズ」

● 「お知らせ1」もご覧ください。

② 確認が終ったら、カーソルボタン▲･▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

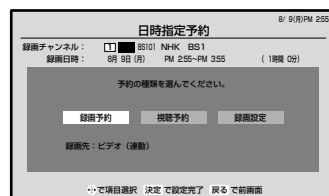
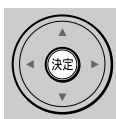
録画先（左表参照）

11 カーソルボタン◀･▶で「録画予約」または「視聴予約」を選び、決定ボタンを押す

視聴予約を選んだ場合

● これで予約設定完了です。

録画予約を選んだ場合

● 手順**12**に進んでください。
※地上アナログ放送は、指定できません。

12 以下の準備をして、決定ボタンを押す

VHSやS-VHSなどで録画するとき

● ビデオコントロールケーブルを使って録画予約する場合
①ビデオコントロールケーブルが正しく接続･設置されていることを確認する（→124ページ）
②録画機器の準備をする
· 録画するビデオテープを録画機器に入れる
· 録画機器の入力切換をする（本機が接続されている入力に切り換える）
· 録画機器の電源を切（待機）にする

● ビデオコントロールケーブルを使わない場合
· 録画機器で予約の設定をしてください。

ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「テレビdeナビ」予約をするとき

● 86ページの「ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「テレビdeナビ」予約をするときの準備」をご覧ください。

お知らせ2

● 予約設定した時間は番組表（→40ページ）の時間表示欄にピンク色の帯で反映されます。

お知らせ1

● **日時指定予約では放送時間連動、映像信号、音声信号の変更設定はできません。**
● 日時指定予約でVHSやS-VHSなどで録画予約をした場合、映像、音声、データなどで複数の信号がある番組の場合は、基本信号だけが記録されます。
● 予約実行時の番組が二重音声でない場合「二重音声」で設定した内容は無効になります。
「二重音声」の詳細については59ページをご覧ください。

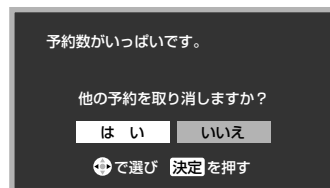
録画予約や視聴予約をする つづき

予約設定時に次のメッセージが表示された場合

● 予約設定時にメッセージ表示された場合に、録画を続けるための手順を説明します。

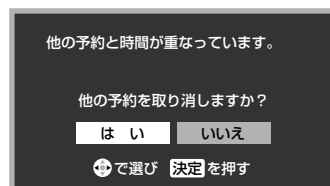
予約数がいっぱいの場合(32番組まで予約できます)

①カーソルボタン◀･▶で「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

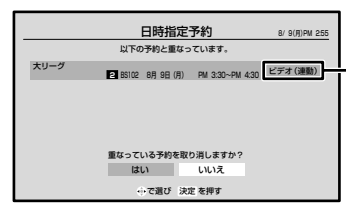
②決定ボタンを押す
- 画面は予約一覧になります。他の予約を取り消してください。
  詳しくは93ページの手順**4**以降をご覧ください。

すでに予約した番組と放送時間が重なる場合

①カーソルボタン◀･▶で「はい」を選ぶ
- 予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

②決定ボタンを押す
- 予約が重複している番組のリストが表示されます。
  - 予約が重複している番組が五つ以上ある場合は、カーソルボタン▲･▼で番組のリストを切り換えて確認できます。

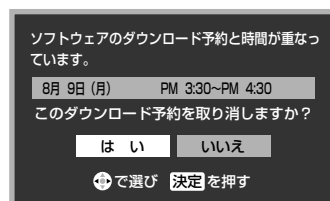
録画予約で設定した録画機器を表示します。
視聴予約の場合は、「視聴予約」と表示されます。

重複している番組を取り消す場合

● **カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
- 重複している番組がすべて取り消されます。

重複している番組を取り消さない場合

● **カーソルボタン◀･▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

ダウンロード予約と時間が重なる場合

①[ダウンロード予約を取り消す場合]
カーソルボタン◀･▶で「はい」を選ぶ
- 録画予約をやめる場合は、「いいえ」を選んでください。

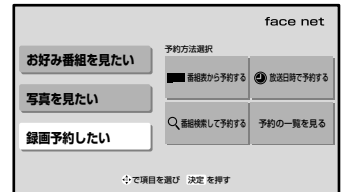
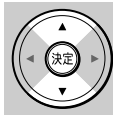
②決定ボタンを押す
- ダウンロードについては、247ページをご覧ください。

予約一覧と予約の取り消し

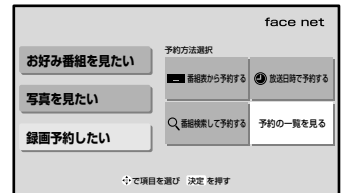
- 予約した内容を確認したり、予約を取り消すことができます。

※ テレビdeナビ予約(→127ページ)の場合、以下の操作で予約を取り消してもビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)側の予約は、取り消されません。予約を取り消す場合は、ビデオレコーダー側でも予約を取り消してください。

1 faceネットボタンを押す

- faceネット画面になります。

2 カーソルボタン▲·▼で「録画予約したい」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「予約の一覧を見る」を選び、決定ボタンを押す

- 予約一覧が表示され、予約の状況が確認できます。

4 [予約の詳しい内容を見たいときや予約を取り消したいとき] カーソルボタン▲·▼で予約番組を選ぶ

番組についての説明を見たいとき(→詳しくは54ページ)

※日時指定予約の場合ははたらきません。

①番組説明ボタンを押す

②説明画面を消すには、決定ボタンを押す

表示の上下に▲・▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⏶・⏷で切り換えられます。

予約一覧　8/ 9(月)PM 2:55

予約番組					録画機器
大リーグ	1	BS101	8月 9日 (月)	PM 2:55~PM 3:55	東芝RDシリーズ
Jリーグ	ペイ・パー・ビュー 12	地上A・	8月 9日 (月)	PM 3:30~PM 4:30	ビデオ（連動）
世界の旅	ペイ・パー・ビュー 12	地上A・	8月10日 (火)	AM 9:30~AM10:30	ビデオ（非連動）
映画名作選（前）	年齢 ペイ・パー・ビュー 12	地上A・	8月10日 (火)	PM 1:00~PM 3:00	ビデオ（連動）
映画名作選（後）	年齢 ペイ・パー・ビュー 12	地上A・	8月10日 (火)	PM 3:00~PM 5:00	ビデオ（連動）
大リーグ	1	BS101	8月11日 (水)	PM 2:55~PM 3:55	東芝RDシリーズ
Jリーグ	ペイ・パー・ビュー 12	地上A・	8月11日 (月)	PM 4:00~PM 5:00	ビデオ（連動）

で選び 決定 で予約内容確認

録画予約で設定した録画機器を表示します。
視聴予約の場合は、「視聴予約」と表示されます。

5 決定ボタンを押す

- 予約内容の画面になります。
- 画面は予約の種類によって異なります。

予約を取り消すには

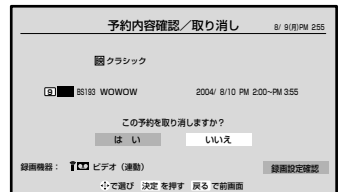
- **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
  - ・予約が取り消され、予約一覧の画面に戻ります。

予約一覧の画面に戻るには

- **カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**

詳しい録画設定の内容を見るには

- 録画予約の場合は、以下の操作で録画設定の詳細を確認できます。
  ①カーソルボタン▲·▼で「録画設定確認」を選び、決定ボタンを押す
  ②前画面に戻るには、決定ボタンを押す

6 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

- 番組表や番組検索結果のリスト、裏番組リストでの次番組リストで、すでに予約されている番組を選んだ場合も、手順**5**の画面になり、予約内容の確認や予約の取り消しをすることができます。
- 予約時刻を過ぎると、予約が実行された場合もそうでない場合（時間変更などで予約が実行されなかったなどの場合）も予約一覧から削除されます。
- 地上デジタル放送で、初期スキャン、再スキャン、自動スキャンを行った結果チャンネルがなくなった場合は、以下のようになります。
  - ・手順**4**でチャンネル番号が「－－－」に表示されます。
  - ・リストが薄く表示されます。
  - ・予約は実行されません。

録画予約や視聴予約をする つづき

【前面】

予約の動作について

● テレビを視聴中に予約が動作する場合について説明します。

予約設定後

● 録画予約の場合は、本体前面の「予約（緑）」表示が点灯します。

予約番組放送開始

● 予約番組の放送開始時刻近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。
予約を中止する場合は終了ボタンを押してください。
● 予約番組の放送開始時刻になると自動的にチャンネルが切り換わり、予約した番組が選ばれます。
● 録画予約の場合は、本体前面の「実行（橙）」表示が点灯します。

ペイ・パー・ビュー番組を視聴予約している場合……＊1

● 決定ボタンを押すと番組を購入するための画面になります。
カーソルボタン◀・▶で「購入する」を選び、決定ボタンを押してください。

視聴制限がはたらいている番組を視聴予約している場合……＊2

●「この番組には視聴制限があります。」のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押したあと、暗証番号を入力してください。

＊1、＊2は視聴予約の場合だけです。（録画予約の場合は、予約設定時にそれらの操作を行っているため、ここでは不要です。）

予約実行中

● 予約実行中にできる操作は、以下のとおりです。
■視聴予約の場合
● 通常どおり操作できます。
■録画予約の場合
● 地上アナログ放送やCATV放送の選局はできます。
それ以外の操作はできないものがあります。

録画予約を中止したい場合

①終了ボタンを押す
・「録画実行中です。もう一度（終了）を押すと録画を中止します。」が表示されます。
②上記のメッセージが表示されている間に終了ボタンを押す
・ 録画予約が中止されます。
・ 録画機器側でも中止の操作をしてください。

録画予約実行中に操作ボタンを押したとき

● 操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
● 操作できないボタンを押したときは、「＊＊＊を録画中です。（終了）を押すと録画を中止します。」または「録画実行中は切り換えられません。」が表示されます。

予約番組放送終了

● 予約を終了し、通常どおり使用できます。
● 録画予約だった場合は、本体前面の「実行（橙）」表示が消えます。ただし、ほかにも録画予約がある場合は「予約（緑）」表示は点灯したままです。

● 録画予約実行中にリモコンで電源の入/待機を切り換えると、録画中の信号にノイズがはいる場合があります。
● 予約番組の優先順位や注意事項については、95、96ページをご覧ください。

予約番組の優先順位について

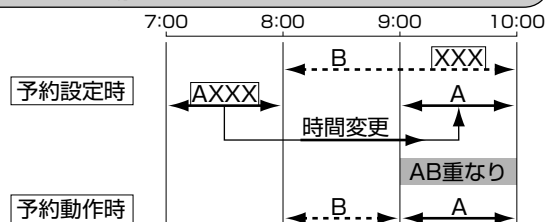
● 予約番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なった場合には、予約番組に優先順位をつけて予約を実行します。
（予約時に「放送時間連動」を「する」に設定することによって、ご希望の予約を優先して実行させることができます。）
● 例を用いて予約番組の優先順位について説明します。

←→ ：「放送時間連動」を「する」に設定した予約番組
←---→ ：「放送時間連動」を「しない」に設定した予約番組とします。
※日時指定予約は「放送時間連動」を「しない」にした場合と同じ動作になります。

（下図の XXX 印は時間変更や予約動作時に取り消されることを示します。）

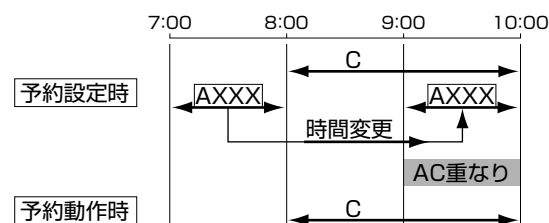
「放送時間連動」を「する」に設定した予約番組と「しない」に設定した予約番組が重なった場合

● 「放送時間連動」を「する」に設定した予約番組が優先されます。

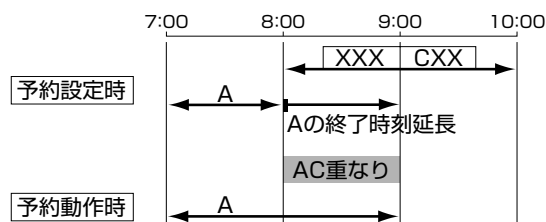
例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとBの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではA番組は「放送時間連動」が「する」に設定されているので優先して予約が実行されます。
したがって、予約実行はB番組が8～9時、A番組が9～10時となります。

「放送時間連動」を「する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

開始時刻が変更された場合

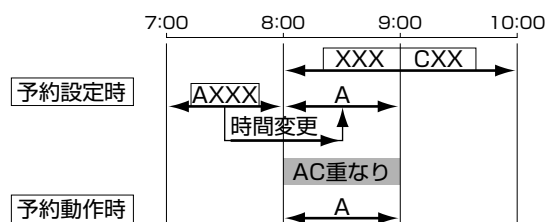
● 開始時刻の早い予約が優先されます。

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は9時から10時の間が重なっています。この場合は開始時刻の早いC番組の予約が優先して動作し、A番組の予約は取り消されます。

終了時刻が延長された場合

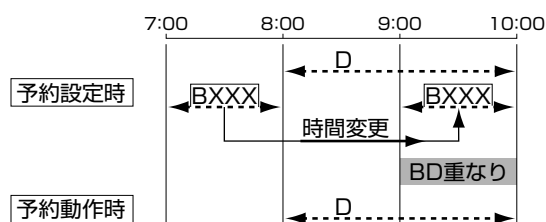
● 先に予約を実行した番組の終了時刻が優先されます。

例では、A番組の終了時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なります。この場合は先に予約を実行したA番組が優先して動作します。C番組の予約は取り消されます。

複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

● 先に予約設定した番組が優先されます。

例では、A番組の開始時刻が変更されたため、AとCの番組は8時から9時の間が重なっています。この場合は先に予約設定した番組が優先して動作し、あとに設定した番組の予約は取り消されます。

「放送時間連動」を「しない」に設定した複数の予約番組が重なった場合

● 予約設定時間どおりに予約が実行されます。

例では、B番組の開始時刻が変更されたため、BとDの番組は9時から10時の間が重なっています。この例ではBとDの番組は「放送時間連動」を「しない」に設定しているので予約設定時の時間どおりに予約が実行されます。

● 上記の優先順位で取り消された予約については、取り消された理由を「本機に関するお知らせ」でご連絡します。
（「本機に関するお知らせ」については→99ページ）

録画予約や視聴予約をする つづき

予約についての注意事項

■予約全般について
- 地上デジタル放送で放送局の変更があったときは、正常に予約を実行できない場合があります。また、「自動スキャンする」（→53ページ）に設定していてもタイミングによって正常に予約を実行できない場合があります。

■視聴予約について
- ネットdeナビ予約機能を使って東芝製HDD&DVDビデオレコーダー（→127ページ）から録画を実行しているときは、本機の視聴予約は実行されません。
- 録画予約の「放送時間連動」が「する」に設定されている場合で、録画している予約番組の放送時間が予定より延長されたために視聴予約の開始時刻と重なったときは、視聴予約が取り消されます。
- 現在番組録画実行中（→75ページ）は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。

■録画予約について

＜共通事項＞
- 現在番組録画や録画予約を実行しているときだけ、デジタル放送録画出力端子（→27ページ）から映像信号が出るように設定できます。（詳しくは、164ページ）
- 録画予約とネットdeナビ予約の録画が重なったときには、ネットdeナビ予約の録画を中止して、本機側の録画予約を実行します。ただし、HDD&DVDビデオレコーダーはそのままでは中止されないため、ビデオレコーダー側でも中止の操作をしてください。
- 「放送時間連動」を「する」に設定した予約番組の開始時刻が遅れている場合は「予約番組の開始が遅れています。このままの状態でお待ちください。」とメッセージ表示されることがあります。
- 「放送時間連動」を「する」に設定した場合、リレーサービス（番組終了時間以後、別のチャンネルで引き続きその番組の続きを放送するサービス）には自動で対応します。ただし、リレーサービスの情報送信が遅れた場合は、対応できないことがあります。
- 予約番組の「放送時間連動」を「する」に設定しても、追従できる開始時刻は最大3時間までです。3時間を超えると予約が取り消されます。また、放送局から時間変更情報が送信されていない場合は、放送時間の変更に対応できません。
- 放送時間の繰上げや放送中止などが起きた場合には、予約は正しく実行されません。
- 前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合は、前の予約で録画された最後の部分が少し欠けます。
- 録画予約実行中は、地上アナログ放送やアナログCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
- 録画予約実行中はご案内チャンネル（→271ページ）に切り換えることはできません。
- 録画予約実行中は緊急警報放送には対応しません。
- 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画がされます。
- 録画予約実行中は、データ放送には切り換えられません。
- 本機のデジタル放送録画出力からのアナログ信号をHDDビデオレコーダーなどでデジタル信号に変換して録画した場合、1世代のみ録画を許された番組を、さらに録画（コピー）することはできません。

＜ビデオコントロールケーブルを使ってVHSやS-VHSなどで録画予約をする場合＞
- ビデオの入力切換を正しく設定し（本機の映像出力をつないでいる入力に切り換える）、ビデオの電源を「切」（待機）にしてください。
- ビデオテープのツメが折れている場合には録画できません。
- 録画予約実行中に、停電した場合（電源プラグを抜き差しした場合）や、本体の電源が「切」にされた場合
  - 上記のあと、本機が電源「入」または「待機」の状態に復帰したときに、予約番組が終了していた場合、その予約が録画予約の場合でも、本機はビデオのコントロールをしません（ビデオを録画停止や、電源「切」にはコントロールしません）。これは、録画機器で設定されている予約が中止されるのを防ぐためです。したがって、その場合、ビデオが録画状態のままになることがありますので、ご注意ください。
- ビデオ本体で予約が設定されているとき（ビデオが予約待機状態になっているとき）には、正しく動作しないことがあります。
- 録画予約実行中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われているときは、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
- 録画された番組については複数映像、複数音声、二重音声、字幕を切り換えることはできません。

■ペイ・パー・ビュー番組の予約録画について
- 「放送時間連動」は自動的に「する」に設定されます。
- ペイ・パー・ビュー番組は、番組が開始した時点で購入されます。視聴しなくても料金は請求されますのでご注意ください。

テレビdeナビ予約についての注意事項

- 「予約についての注意事項」(➞96ページ)もお読みください。
- テレビdeナビ予約の概要については、「東芝製HDD&DVDビデオレコーダーとつなぐとき」(➞127ページ)をご覧ください。
- 現在番組録画や録画予約の設定は、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の電源を「入」の状態で行ってください。
- 予約を削除・変更・中止する場合は、両方の機器でそれぞれその操作をしてください。
  (ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)側で予約を削除・変更・中止しても、本機側の予約は削除・変更・中止されません。
  また、本機側で予約を削除・中止しても、ビデオレコーダー側の予約は削除・中止されません。)
- ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で登録できる文字数を超えた番組名や番組説明の場合、登録できる文字数に切り捨てられます。
- 予約番組の時刻が秒単位の指定の場合、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の予約時刻は分単位に変換されます。
- ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の動作との競合によって、ビデオレコーダーへの予約設定が正しくできない場合があります。
  予約設定後は、ビデオレコーダー側でも予約の確認をしてください。
- 日時指定予約の場合、番組名や番組説明は設定されません。
- 日時指定予約で毎日・毎週などの予約を設定した場合、すでにその日の予約開始時刻を過ぎていたときには、本機はその日の予約を実行しません。
- ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)によっては、本機の録画予約の設定で設定できる内容に対応していない場合があります。

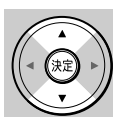
オフタイマー

●オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。

オフタイマーの設定をする

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

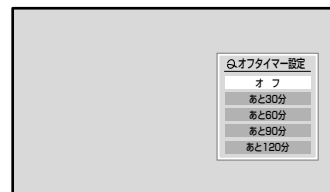
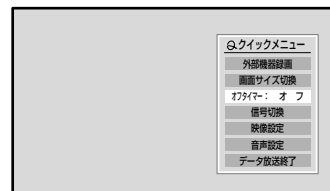
2 カーソルボタン▲·▼で「オフタイマー」を選び、決定ボタンを押す

● オフタイマーの設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定時間を選ぶ

● 以下のいずれかに設定できます。

オフ（オフタイマー切）↔ あと30分 ↔ あと60分 ↔ あと90分 ↔ あと120分 → オフ

4 決定ボタンを押す

● オフタイマーが設定され、通常画面に戻ります。
● 設定を取り消すときは、手順**3**で「オフ」を選びます。

オフタイマーの動作について

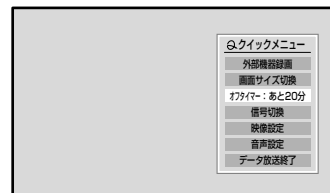
● 設定時間の約1分前になると、「まもなくオフタイマー電源が切れます」のメッセージが表示されます。
● 設定時間になると電源が切れて、待機状態になります。

残り時間の確認のしかた

● 電源が切れるまでの残り時間は、以下の方法で確認できます。

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されオフタイマーの残り時間が表示されます。

2 ［クイックメニューを消すには］
もう一度クイックボタンを押す

お知らせ

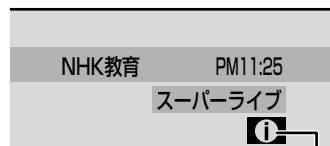
● 本体の電源を切るかまたは、待機状態にするとオフタイマーの設定は取り消されます。
● 現在番組録画または録画予約実行中にオフタイマーで設定した時間になると、画面の映像は消えますが録画は番組終了まで続けられます。

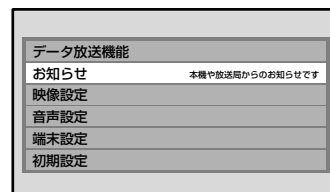
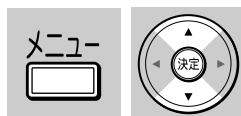
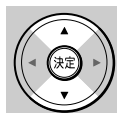
お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには（デジタル放送の場合）

お知らせ(放送局からのお知らせ、本機に関するお知らせ、ボード)を見るには

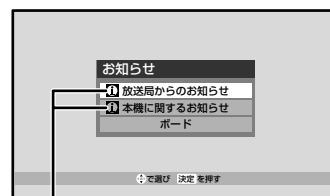
● お知らせには、「放送局からのお知らせ」、「本機に関するお知らせ」、「ボード」の3種類があります。
※「ボード」では、110度CSデジタル放送のご案内やお知らせなどを見ることができます。
（地上デジタル、BSデジタル放送には、「ボード」はありません。）

はじめに

●未読の「お知らせ」があるとき
●選局したときや、画面表示ボタンを押したときに、「お知らせ」アイコンが表示されます。

未読の「お知らせ」アイコン

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲·▼で「お知らせ」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼でお知らせの種類を選び、決定ボタンを押す

● 選んだお知らせのリスト画面が表示されます。

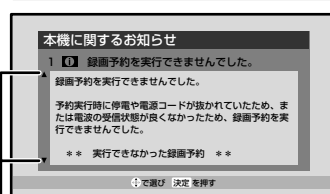
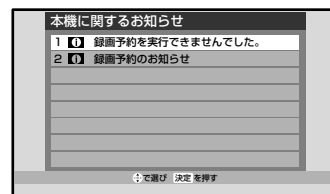
お知らせ選択画面に戻るには

●戻るボタンを押す

未読のお知らせがある場合に表示します。

3 カーソルボタン▲·▼で、読みたいお知らせを選び、決定ボタンを押す

● お知らせの本文が表示されます。

お知らせリスト画面に戻るには

●決定ボタンを押す

▲または▼が表示されている場合は、ページ切換ボタン⏶·⏷でページを切り換えられます。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

● 「放送局からのお知らせ」は、地上デジタルが7通まで記憶され、BSデジタルと110度CSデジタル放送は、合わせて基本的には24通まで記憶されますが、放送局の運用によってはそれよりも少ない場合もあります。記憶できる数を超えて受信した場合は、古いものから順に削除されます。
● 「本機に関するお知らせ」は最大で42通まで記憶されます。最大数を超えて受信した場合は、既読の古いものから順に削除されます。すべてが未読のときは、そのうちの古いものから削除されます。
● 「ボード」は110度CSデジタル放送のそれぞれに対し、今送信されているものが50通まで表示されます。

文字入力のしかた

文字入力について

- 文字入力のしかたについて説明します。
  文字入力は、データ放送(→62ページ)や通信接続設定(→227ページ)などで使われます。
  本機のリモコンを使った文字入力は、携帯電話に似た方法となっています。
- 文字入力は、文字入力ボタンで行います。

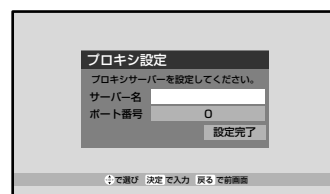
※文字入力は、上記のほかにも市販のキーボードを使って行う方法もあります。詳しくは109ページの「市販のキーボードを使う」をご覧ください。

■「文字入力」の概要(流れ)

- 詳しい説明は、各項目の参照ページをご覧ください。
- データ放送画面で文字入力する場合については、最初に107ページの⑤をご覧ください。

① 文字入力画面を表示させる(詳しくは101ページ)

メニューやデータ放送画面で文字入力する

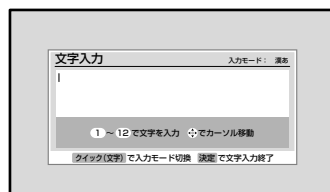
- **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字を入力する部分を選び、決定ボタンを押す**
  - データ放送によっては、文字を入力する部分を選ぶと自動的に文字入力画面が表示される場合もあります。
    ※ データ放送によっては、この操作ではなく、放送内で指定された操作によって文字入力する場合があります。

(例)プロキシ設定画面

② 文字入力モードを選ぶ(詳しくは102ページ)

1 文字ボタンを押す
- 文字入力モードのリストが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字入力モードを選び、決定ボタンを押す

③ 文字を入力する(詳しくは103ページ)

- **文字入力ボタンを押して、文字を入力する**
  - 一つのボタンに複数の文字が割り当てられており(数字を除く)、ボタンを押すごとに文字が切り換わります。

漢字に変換する場合

- 文字を入力したあと、カーソルボタン▲·▼を押すごとに漢字に変換されます。
  変換された漢字を確定するには決定ボタンを押してください。

④ 文字入力画面を消して終了する(詳しくは107ページ)

- **文字入力画面で、すべての文字が確定されている状態で、決定ボタンを押す**

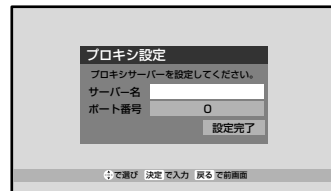
① 文字入力画面を表示させる(100ページ項目①の詳しい説明)

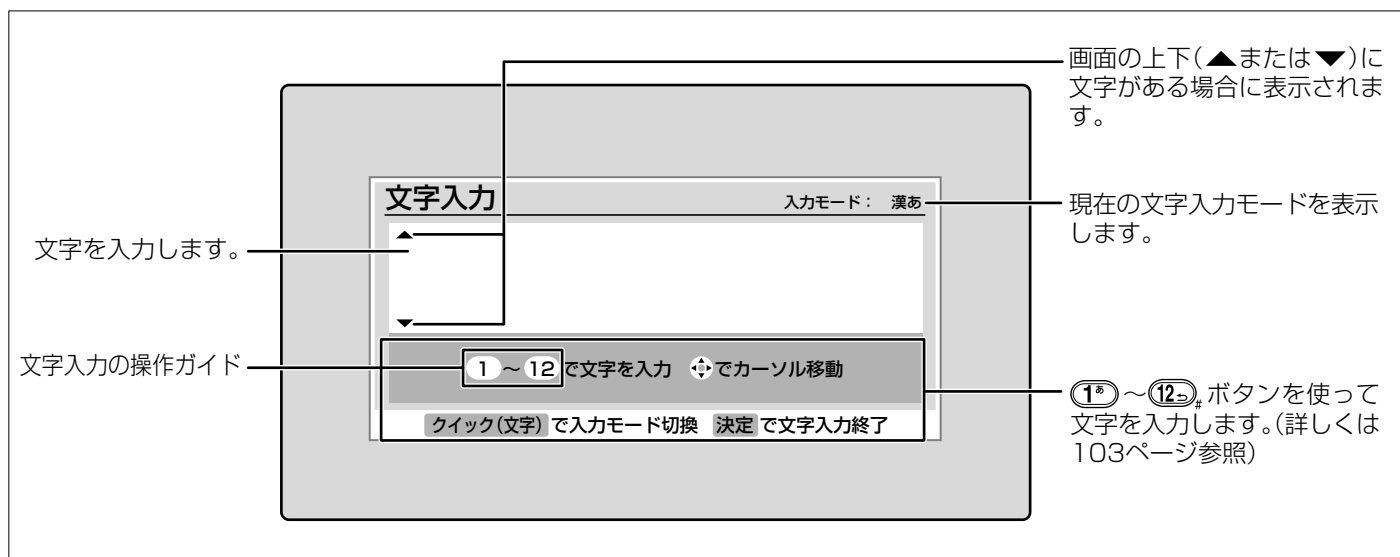
● データ放送画面で文字入力する場合は、最初に107ページの⑤をご覧ください。

メニューやデータ放送画面で文字入力する

● カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字を入力する部分を選び、決定ボタンを押す

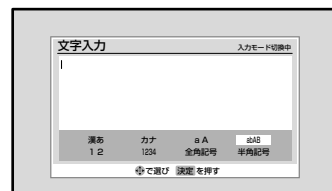
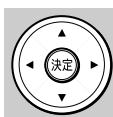
● データ放送によっては、文字を入力する部分を選ぶと自動的に文字入力画面が表示される場合もあります。

※ データ放送によっては、この操作ではなく、放送内で指定された操作によって文字入力する場合があります。

(例)プロキシ設定画面

■文字入力画面表示の説明

文字入力のしかた つづき

② 文字入力モードを選ぶ（100ページ項目②の詳しい説明）

1 文字ボタンを押す

● 文字入力モードのリストが表示されます。
● 入力する状況によって、使用できる文字入力モードは異なります。

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字入力モードを選び、決定ボタンを押す

● 以下の「文字入力モードについて」から選んでください。

記号を入力する場合

● 「、」「。」「―」「␣(スペース)」などは、漢字変換、全角カナ、全角英字モードなどでも入力できます。
(→次ページの表参照)
これら以外にも入力できる記号は多々あり、それらは全角、半角記号モードで入力できます。
(→106ページ)

■文字入力モードについて

文字入力モード	選んで決定ボタンを押したあとは…
「漢あ」：漢字変換モード ・ひらがなや漢字を入力できます。 「カナ」：全角カナモード ・カタカナを入力できます。 「aA」：全角英字モード ・全角の英字を入力できます。 「abAB」：半角英字モード ・半角の英字を入力できます。 「12」：全角数字モード ・全角の数字を入力できます。 「1234」：半角数字モード ・半角の数字を入力できます。	→ 選んで決定ボタンを押したあとは、次ページの手順 1 へ進む
「全角記号」：全角記号モード ・全角の記号を入力できます。 「半角記号」：半角記号モード ・半角の記号を入力できます。	→ 選んで決定ボタンを押したあとは、106ページの「全角、半角記号モードで記号を入力するには」の手順1へ進む

お知らせ

● 手順**2** で文字ボタンを押して、文字入力モードを選ぶこともできます。
● 手順**2**で文字入力モードを選択しているときに、文字を入力した場合も文字入力モードを確定できます。

③ 文字を入力する（100ページ項目③の詳しい説明）

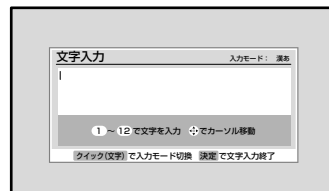
文字入力の基本

● データ放送画面で文字入力する場合については、最初に107ページの⑤をご覧ください。

1 ［全角、半角記号モード以外の場合］

文字入力ボタンを押して文字を入力する

● 一つのボタンに複数の文字が割り当てられています。ボタンを押すごとに、下表のように文字が切り換わります。（数字を除く）

● 入力後、別の文字入力ボタンを押すと自動的に次に入力されます。

同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力する場合

● 最初の文字を入力したあと、カーソルボタン▶を押してから次の文字を入力する
例：「あい」と入力したい場合

①「1あ」を押して「あ」を入力する
②カーソルボタン▶を押し、カーソルを右に移動させる
③「1あ」を2回押して「い」を入力する

入力した文字を漢字に変換する場合

● →105ページ

濁音、半濁音を入力する場合

● →104ページ

小文字 ⇔ 大文字変換 する場合

● →104ページ

■入力できる文字

リモコンボタン	文字入力モード					
	漢字変換モード	全角カナモード	全角英字モード	半角英字モード	全角数字モード	半角数字モード
1あ	あ→い→う→え→お →ぁ→ぃ→ぅ→ぇ→ぉ	ア→イ→ウ→エ→オ →ァ→ィ→ゥ→ェ→ォ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1	1
2かABC	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →ヵ→ヶ	a→b→c →A→B→C	a→b→c →A→B→C	2	2
3さDEF	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	d→e→f →D→E→F	3	3
4たGHI	た→ち→つ→て→と →っ	タ→チ→ツ→テ→ト →ッ	g→h→i →G→H→I	g→h→i →G→H→I	4	4
5なJKL	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	j→k→l →J→K→L	5	5
6はMNO	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	m→n→o →M→N→O	6	6
7まPQRS	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	p→q→r→s →P→Q→R→S	7	7
8やTUV	や→ゆ→よ →ゃ→ゅ→ょ	ヤ→ユ→ヨ →ャ→ュ→ョ	t→u→v →T→U→V	t→u→v →T→U→V	8	8
9らWXYZ	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9	9
11わをん、。 *	わ→を→ん→ゎ→、→。 →ー→␣(スペース)	ワ→ヲ→ン→ヮ→、→。 →ー→␣(スペース)	／→：→＠→、→。 →ー→␣(スペース)	/ →:→ @ → . → , → - → ~ →␣(スペース)	＊	*
10゛゜小文字 0	゛→゜→※1小文字変換	゛→゜→※1小文字変換	※1小文字変換	※1小文字変換	０	0
12⮌ #	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	＃	#

※1 ：小文字変換については、104ページをご覧ください。
※2 ：文字入力変換中に文字を送り過ぎたときに、逆方向へ戻します。
● 最後の候補までいくと、次は最初の候補に戻ります。

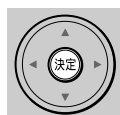
● 漢字変換モードで一度に入力可能な文字数は最大16文字です。
● 文字入力時に文字ボタンを押すと、入力中のすべての未確定文字が確定されます。
※入力した文字は、次のように表示されます。
（例：「あさ」を入力）
・ 確定されている文字「あ」
・ 入力中の文字「あ」（背景は黄色）
・ 未確定の文字「あ」（背景は白）
・ 漢字変換する部分の文字「朝」（背景は青）
● そのときのモードによっては入力できない場合があります。

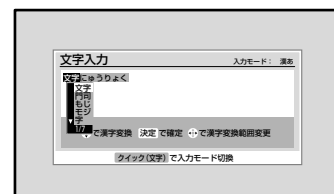
［次のページにつづく］

文字入力のしかた つづき

③ 文字を入力する つづき

文字入力の基本 つづき

2 以下の操作で、文字を確定する

漢字変換モードのとき

● 決定ボタンを押すと確定されます。

全角カナ、全角(または半角)英字モードのとき

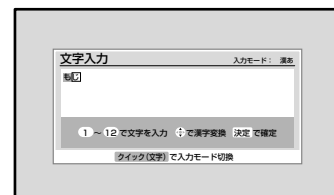
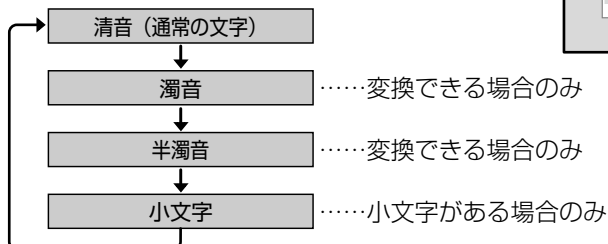
● 次のときに文字が確定されます。
・カーソルボタン◀・▶を押したとき
・入力した文字のボタンとは異なるボタンを押したとき

全角(または半角)数字モードのとき

● 文字を入力したときに自動的に確定されます。

濁音、半濁音を入力するには

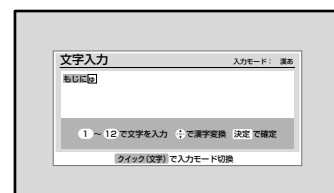
● 漢字変換モードまたは全角カナモードで文字を入力したあと、10ボタンを押す

● ボタンを押すごとに次のように変わりますので、ご希望の状態を選んでください。

※濁音、半濁音に変換できるのは以下の文字のみです。
ほかの文字は濁音、半濁音に変換できません。
・濁音、半濁音に変換できる文字：は行の文字です。
・濁音にのみ変換できる文字：か行、さ行、た行の文字と「ウ」です。

小文字⇔大文字 に変換するには

● 文字を入力したあと、10ボタンを押す

● ボタンを押すごとに上の図のように変わりますので、ご希望の状態を選んでください。

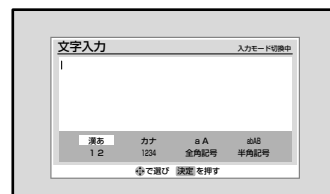
※小文字に変換できるのは、103ページの表の小文字のある文字のみです。
濁音、半濁音については、上の「濁音、半濁音を入力するには」をご覧ください。

漢字を入力するには

- 漢字変換モードでひらがなを入力したあと、カーソルボタン▲･▼で目的の漢字やカタカナに変換し、決定ボタンで確定します。
- ここでは、具体例として「明日」（あした）を入力する場合について説明します。

■漢字で「明日」（あした）を入力する場合

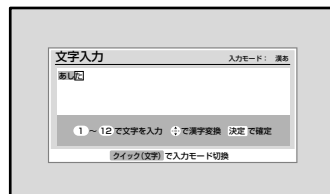
1 漢字変換モードにする

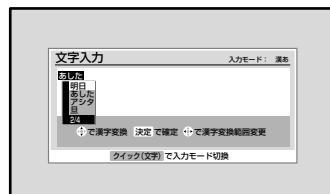
①文字ボタンを押す

②カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「漢あ」（漢字変換モード）を選び、決定ボタンを押す

2 「あした」と入力する

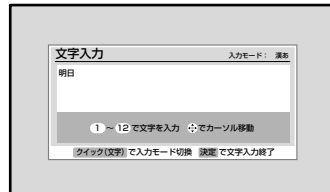
① 1ボタンを1回押す→「あ」が入力される

② 3ボタンを2回押す→「し」が入力される

③ 4ボタンを1回押す→「た」が入力される

3 カーソルボタン▼を押し、希望する漢字に変換する

- 候補が多い場合は、カーソルボタン▼を数回押すと、候補リストが表示されます。（カーソルボタン▲を押すと逆の方向に変換されていきます。）

4 希望の漢字に変換されたら、決定ボタンを押す

- 文字が確定されます。

- 一度に変換できるのは4文節までです。
  4文節以上の文章をまとめて変換する場合は、最初の4文節についてカーソルボタン▲･▼で変換し、決定ボタンを押して文字を確定したあと、次の4文節を漢字変換する操作を繰り返してください。
- 漢字変換時に、削除ボタン（または、戻るボタン）を押した場合は、変換中のすべての文字列を未確定状態に戻します。
- 未確定文字列内にカーソルがある状態で、戻るボタンを押すと、すべての未確定文字列をまとめて削除します。

■希望する漢字に変換されない場合

- カーソルボタン◀･▶を押すと変換する範囲が変わります。
  変換する範囲を変えたあと、カーソルボタン▲･▼で再度変換してください。

文字入力のしかた つづき

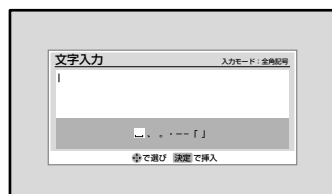
③ 文字を入力する つづき

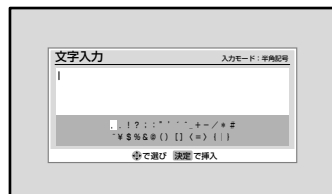
全角、半角記号モードで記号を入力するには

- 「、」「。」「—」「␣(スペース)」などは、漢字変換、全角カナ、全角英字モードなどでも入力できます。(→103ページの表参照)
  これら以外にも入力できる記号は多々あり、それらは以下の操作によって、全角、半角記号モードで入力できます。入力の場面によっては、入力できない場合もあります。

1 102ページの手順**1**を行い、手順**2**で「全角記号」または「半角記号」のモードを選び、決定ボタンを押す

- 記号一覧が表示されます。

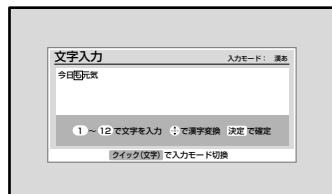
2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で記号を選び、決定ボタンを押す

全角記号モードの場合

- 全角記号モードと半角記号モードでは、入力できる記号が異なります。
- パスワード入力には、「␣(スペース)」は使えません。

半角記号モードの場合

文字の挿入、削除をするには

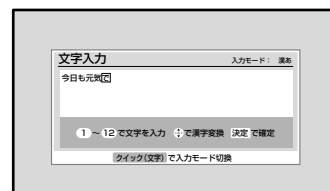
■文字を挿入する

● カーソルボタン▲·▼·◀·▶で文字を挿入する場所を選び、文字を入力する

- 確定されている文字列に挿入できます。
- 漢字変換モードのときには、未確定の文字列にも挿入できます。

文字の挿入、削除をするには つづき

■文字を削除する

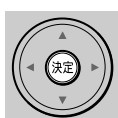
● 削除ボタンをポンと1回押す

- カーソルの右に文字がない場合は、カーソルより左の1文字を削除します。
- カーソルの右に文字がある場合は、カーソルより右の1文字を削除します。

削除ボタンを押し続けた場合

- 文字列が確定されている場合
  - ・カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字をすべて削除します。
  - ・カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字をすべて削除します。
- 文字列が未確定の場合
  - ・カーソルより右に文字列がない場合は、カーソルより左の文字を一文字削除します。
  - ・カーソルより右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字を一文字削除します。

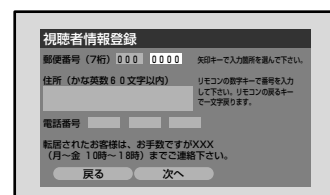
- 漢字変換前の未確定の文字列の場合は、未確定の文字列内で削除します。
- 漢字変換時に、削除ボタン（または、戻るボタン）を押した場合は、変換中のすべての文字列を未確定状態に戻します。
- 未確定文字列内にカーソルがある状態で、戻るボタンを押すと、すべての未確定文字列をまとめて削除します。

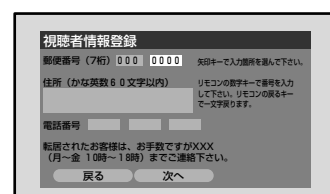
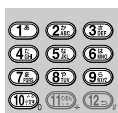
④ 文字入力画面を消して終了する（100ページ項目④の詳しい説明）

● 文字入力画面で、すべての文字が確定されている状態で、決定ボタンを押す

- 文字入力画面が消えて終了します。

⑤ データ放送画面で文字を入力する場合

- 放送によっては、以下のように文字入力画面が表示されずに、文字を直接入力する場合があります。

1 データ放送を受信しているとき、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で、文字を入力する部分を選ぶ

（画面は一例です。）

2 数字ボタン0～9（10～9）を押して、直接入力する

文字入力のしかた つづき

文字入力についてのご注意

■ 使用できる文字入力モードについて

● 文字入力の画面が表示されているときに、使用できる入力モードと切り換わる順番は、次のようになります。
ただし、使用できる入力モードは、文字入力の場面によって異なります。

文字入力の場面		使用できる入力モードと切り換わる順番
データ放送のとき		漢字変換↔全角カナ↔全角英字↔半角英字↔全角数字↔半角数字
テレビ de ナビ設定をするとき (→ 135 ページ)	ユーザー名・パスワードなど	半角英字↔半角数字↔半角記号
通信接続設定をするとき（→ 227 ページ）	IP アドレス	半角数字
	サーバー名	半角英字↔半角数字↔半角記号

■ 文字入力中に文字入力以外のボタンが押された場合

● 次のようになります。

	電源ボタンが押されたとき	終了ボタンが押されたとき	メニューボタン（リモコンとびら内）やチャンネルボタン∧・∨などが押されたとき
データ放送の文字入力をしているとき	入力文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。	入力文字が破棄され、独立データ放送ではデータ放送を最初から受信し直します。番組連動データ放送では、データ放送を終了します。	入力文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。
テレビ de ナビ設定をするとき（→ 135 ページ）	入力文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。	左記に同じ	左記に同じ
通信接続設定をするとき（→ 227 ページ）	入力文字が破棄され、押されたボタンの動作をします。	左記に同じ	左記に同じ

■ 入力できる文字数を超えた場合

● 各入力モードで入力できる文字数を超えた場合はメッセージが表示されます。

● 上記は代表的な文字入力ができる場面です。上記以外にも文字入力をする場合があります。

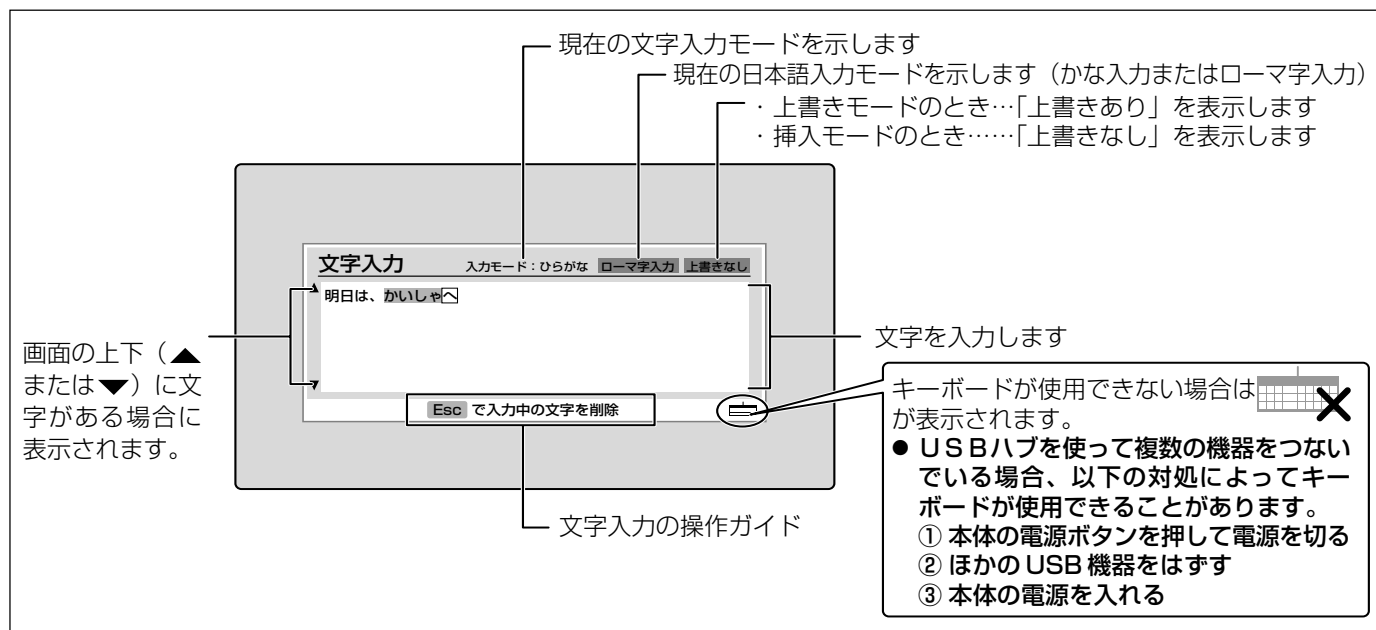
市販のキーボードを使う

● 本機のUSB端子に市販のキーボードをつないで使うと、文字入力やその他のいくつかの機能を、キーボードで行うことができます。
● 接続については、123 ページの「USB キーボードとのつなぎかた」をご覧ください。

はじめに

● 本機で使用できるキーボードについては281ページをご覧ください。
● キーのイラスト(□など)は一例です。キーボードによって表示は異なります。
● 以後の説明でたとえば「A+B」は、Aキーと Bキーを同時に押すことを表します。
● **文字入力の基本については「文字入力について」(→100ページ)をよくお読みください。**

基本の操作

● 文字入力画面表示の説明(キーボードを使用する場合)

(1) 日本語入力モードの切り換え

● Alt と カタカナ ひらがな ローマ字 を同時に押すと、ローマ字入力とかな入力が切り換わります。

(2) 文字入力モードの選択

● 文字入力モードは以下の四つから選びます。
(ひらがな/カタカナ/全角英数/半角英数)
※キーボード入力では定型文モードは使用できません。
●モード間の切り換えは以下のとおりです。

入力モードの切り換わり	押すキー
ひらがな⇔カタカナ	無変換
ひらがな⇔英数	CapsLock 英数
全角英数⇔半角英数	Shift ＋ 無変換

(3) 文字の入力について

※キーを押したときに入力される文字については「各キーの基本動作」(→110ページ)をご覧ください。
※「ローマ字入力」モードで入力する場合は111ページをご覧ください。

漢字を入力する場合

● ひらがなモードで文字を入力してから、スペースキーで漢字に変換してください。

特殊な文字を入力する場合(ローマ字入力の場合)

● ちいさい文字(「ぁ」など)を入力する場合には、入力したい文字の前に「X」または「L」をつけます。(例:「ぁ」を入力する場合は、X A または L A と押す)
● つまる音(促音)の場合は、子音を二回入力します。(例:「きって」を入力する場合は、K I T T E と押す)

市販のキーボードを使う つづき

各キーの基本動作

● そのときのモードによっては、動作が異なる場合があります。

キー	はたらき
Alt+ひらがな／カタカナ	ローマ字入力／かな入力を切り換えます
Shift＋無変換	全角英数モードと半角英数モードを切り換えます
無変換	ひらがなモードと全角カタカナモードを切り換えます
英数／CapsLock	英数モードとひらがなモードを切り換えます
半角／全角／漢字	英数モードでの半角モードと全角モードを切り換えます
Shift＋CapsLock	英数モードでの大文字↔小文字を切り換えます
Esc	・漢字変換時に押すと、変換中の文字列が削除されます ・未確定文字列内にカーソルがある状態で押すと、すべての未確定文字列を消去します
Enter	未確定文字がある場合、変換中の文字を確定します 未確定文字がない場合、改行します （改行が必要な場合は、文字入力モードを終了します）
Delete	1文字削除します
BackSpace	前文字削除します
Space	・変換中の文字がある場合、文字変換します ・変換中の文字がない場合、スペースが入力されます
Home	文字カーソルを行頭に移動します
End	文字カーソルを行末に移動します
↑	文字カーソルを矢印の方向に移動します
↓	文字カーソルを矢印の方向に移動します
←	文字カーソルを矢印の方向に移動します
→	文字カーソルを矢印の方向に移動します

キー	はたらき
Shift＋↑	選択範囲を指定します
Shift＋↓	選択範囲を指定します
Shift＋←	選択範囲を指定します
Shift＋→	選択範囲を指定します
Ctrl+x	選択範囲を切り取ります
Ctrl+c	選択範囲をコピーします
Ctrl+v	切り取り、コピーした文字を貼り付けます
Windows	このキーは無効です
tab	半角8文字分スペースが入力されます
前候補、変換	文字変換します
Shift＋前候補、変換	前変換します
App	このキーは無効です
PrintScan	このキーは無効です
Insert	挿入モードと上書きモードを切り換えます
ScrollLock	このキーは無効です
Pause	このキーは無効です
PageUP ※	画面表示の中に▲·▼のマークがある場合は、ページを切り換えることができます
PageDown ※	
NumLock	10キーの操作を切り換えます
ファンクション(F1)※	カラーボタン：青
ファンクション(F2)※	カラーボタン：赤
ファンクション(F3)※	カラーボタン：緑
ファンクション(F4)※	カラーボタン：黄
ファンクション(F5)	dデータ
ファンクション(F6)	クイック
ファンクション(F7~F12)	このキーは無効です

● ※印については、リモコンボタンと同じはたらきをします。

10キー操作（NumLockオフの場合）

キーの種類	はたらき
/	"/"が入力されます
*	"*"が入力されます
0／ins	挿入モードと上書きモードを切り換えます
Insert	挿入モードと上書きモードを切り換えます
1／End	文字カーソルを行末に移動します
2／↓	文字カーソルを移動します
3／PgDn	このキーは無効です
4／←	文字カーソルを移動します
5	このキーは無効です
6／→	文字カーソルを移動します
7／Home	文字カーソルを行頭に移動します
8／↑	文字カーソルを移動します
9／PgUp	このキーは無効です
.／Del	1文字削除します
−	"−"が入力されます
+	"+"が入力されます
Enter	変換中の文字を確定します

10キー操作（NumLockオンの場合）

● 通常の10キー操作になります。

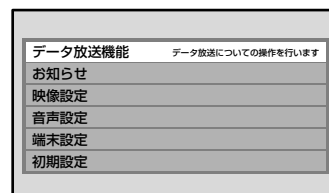
■「ローマ字入力」モードで使うとき

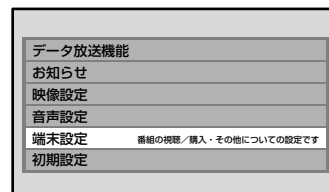
- 以下の表に従って入力してください。
- ひらがなとカタカナの切り換えは「無変換キー」を押してください。

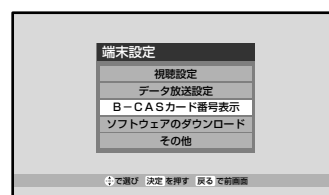
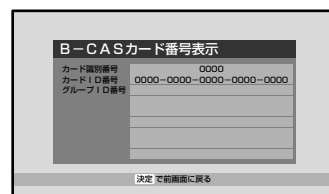
入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作	入力する文字	キー操作
あ	a	よ	yo	ゔぇ	ve	ひゅ	hyu	ぢゅ	dyu
い	i	ら	ra	ゔぉ	vo	ひぇ	hye	ぢぇ	dye
う	u	り	ri	きゃ	kya	ひょ	hyo	ぢょ	dyo
え	e	る	ru	きぃ	kyi	ふぁ	fa	でゃ	dha
お	o	れ	re	きゅ	kyu	ふぃ	fi	でぃ	dhi
か	ka	ろ	ro	きぇ	kye	ふぇ	fe	でゅ	dhu
き	ki	わ	wa	きょ	kyo	ふぉ	fo	でぇ	dhe
く	ku	うぃ	wi	しゃ	sya	ふゃ	fya	でょ	dho
け	ke	う	wu	しゃ	sha	ふぃ	fyi	びゃ	bya
こ	ko	うぇ	we	しぃ	syi	ふゅ	fyu	びぃ	byi
さ	sa	を	wo	しゅ	syu	ふぇ	fye	びゅ	byu
し	shi	ん	nn	しゅ	shu	ふょ	fyo	びぇ	bye
し	si			しぇ	sye	みゃ	mya	びょ	byo
す	su	が	ga	しぇ	she	みぃ	myi	ぴゃ	pya
せ	se	ぎ	gi	しょ	syo	みゅ	myu	ぴぃ	pyi
そ	so	ぐ	gu	しょ	sho	みぇ	mye	ぴゅ	pyu
た	ta	げ	ge			みょ	myo	ぴぇ	pye
ち	chi	ご	go	ちゃ	tya	りゃ	rya	ぴょ	pyo
ち	ti	ざ	za	ちゃ	cya	りぃ	ryi		
つ	tsu	じ	zi	ちゃ	cha	りゅ	ryu	ぁ	xa
つ	tu	じ	ji	ちぃ	tyi	りぇ	rye	ぁ	la
て	te	ず	zu	ちぃ	cyi	りょ	ryo	ぃ	xi
と	to	ぜ	ze	ちゅ	tyu	ぎゃ	gya	ぃ	li
な	na	ぞ	zo	ちゅ	cyu	ぎぃ	gyi	ぅ	xu
に	ni	だ	da	ちゅ	chu	ぎゅ	gyu	ぅ	lu
ぬ	nu	ぢ	di	ちぇ	tye	ぎぇ	gye	ぇ	xe
ね	ne	づ	du	ちぇ	cye	ぎょ	gyo	ぇ	le
の	no	で	de	ちぇ	che	じゃ	zya	ぉ	xo
は	ha	ど	do	ちょ	tyo	じゃ	ja	ぉ	lo
ひ	hi	ば	ba	ちょ	cyo	じゃ	jya	ゃ	xya
ふ	fu	び	bi	ちょ	cho	じぃ	zyi	ゃ	lya
ふ	hu	ぶ	bu	てゃ	tha	じぃ	jyi	ぃ	xyi
へ	he	べ	be	てぃ	thi	じゅ	zyu	ぃ	lyi
ほ	ho	ぼ	bo	てゅ	thu	じゅ	ju	ゅ	xyu
ま	ma			てぇ	the	じゅ	jyu	ゅ	lyu
み	mi	ぱ	pa	てょ	tho	じぇ	zye	ぇ	xye
む	mu	ぴ	pi	にゃ	nya	じぇ	je	ぇ	lye
め	me	ぷ	pu	にぃ	nyi	じぇ	jye	ょ	xyo
も	mo	ぺ	pe	にゅ	nyu	じょ	zyo	ょ	lyo
や	ya	ぽ	po	にぇ	nye	じょ	jo	っ	xtu
い	yi	ゔぁ	va	にょ	nyo	じょ	jyo	っ	ltu
ゆ	yu	ゔぃ	vi	ひゃ	hya	ぢゃ	dya		
いぇ	ye	ゔ	vu	ひぃ	hyi	ぢぃ	dyi		

B-CAS カード番号表示

● B-CAS カードに登録されている番号をテレビ画面で確認できます。

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押す

● メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「B-CASカード番号表示」を選び、決定ボタンを押す

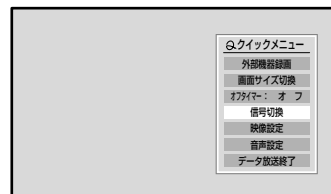
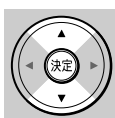
● テレビ画面にB-CASカードの情報が表示されます。

4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

クイックメニューを使う

● クイックボタンを押すと、そのときに使うと便利な機能がメニューとして表示され、それらの機能を使うことができます。
● クイックメニューは、本機の状態によって、選択できる項目が変わります。
● 以下の項目は、通常画面での場合です。番組表画面（→40ページ）など、クイックメニューの項目が異なる場合があります。（詳しくは各機能のページをご覧ください。）

基本操作

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で項目を選び、決定ボタンを押す

その時に使用できない項目は薄く表示されます。

3 選んだ項目に従って、操作する

● 詳しくは各項目の該当するページをご覧ください。

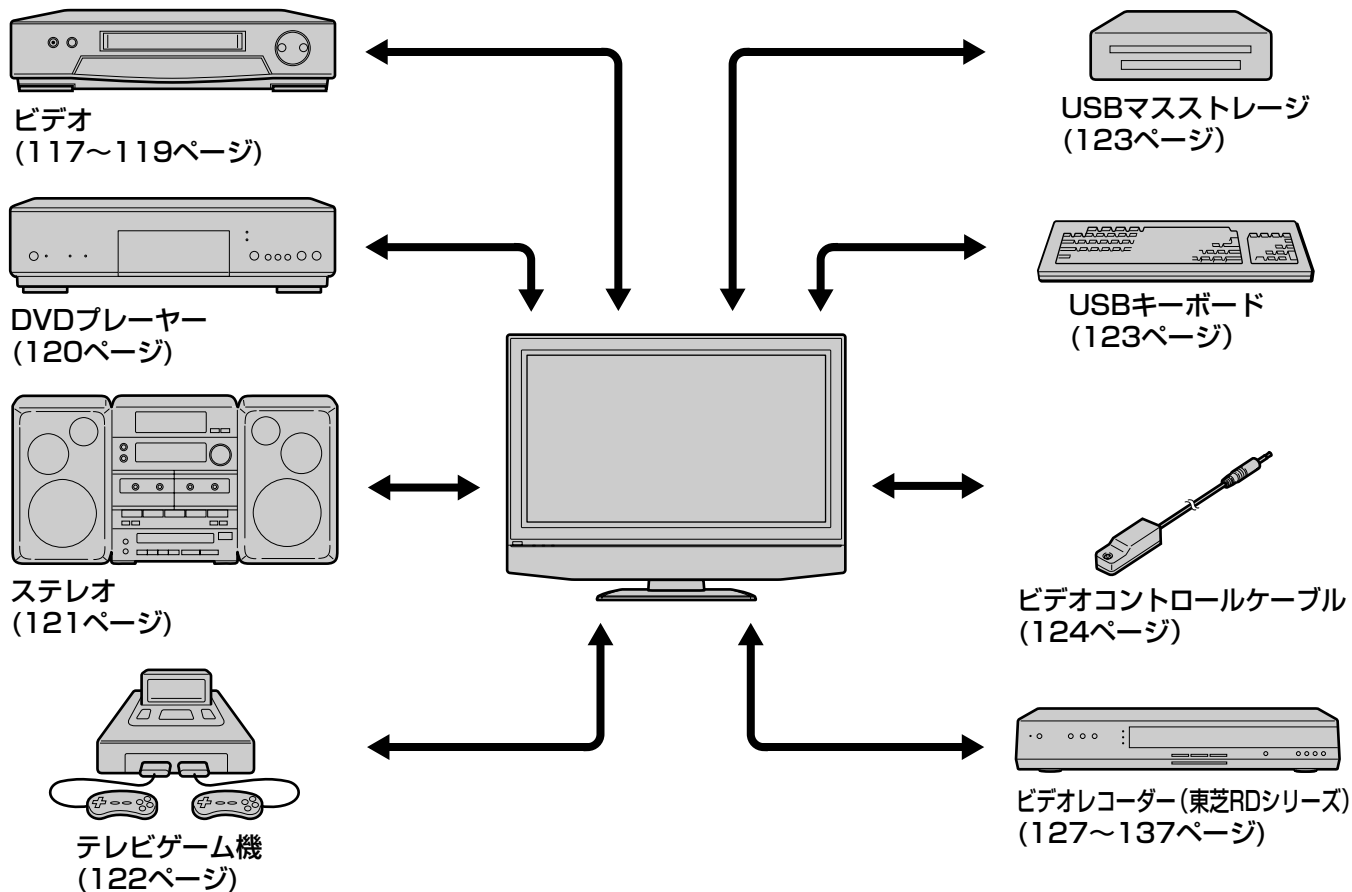
クイックメニュー	サブメニュー	できる機能·はたらき	参照ページ
外部機器録画		今見ている番組を録画できます。	78
画面サイズ切換		画面サイズを切り換えて迫力あるワイド画面が楽しめます。	55
オフタイマー		設定時間後に電源が切れて、待機状態になります。	98
信号切換	映像切換	デジタル放送の場合、一つの番組の中に複数の信号（映像や音声）がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。	60
	音声切換		
	音多切換	二重音声放送の場合、主音声、副音声、主音声+副音声を切り換えることができます。	59
	データ切換	デジタル放送の場合、一つの番組の中に複数の信号（データ）がある場合があり、お好みに応じて切り換えることができます。	60
	字幕切換	字幕放送の場合は、画面に字幕を表示できます。	57
	字幕アウトスクリーン	字幕と画面表示が重ならないようにすることができます。	58
	降雨対応放送切換	降雨対応放送が行われているときに切り換えられます。	73
映像設定		メニューの映像設定が表示され、お好みの映像に調整できます。	152
音声設定		メニューの音声設定が表示され、お好みの音声に調整できます。	160
データ放送終了		データ放送を終了することができます。	63

第3章 他の機器をつないで楽しむ

(ビデオなどをつなぐ)

外部機器をつなぐ場合の早わかり

接続の早わかり

- このテレビは、いろいろな機器と組み合わせて楽しめます。
- LDプレーヤーなども、ビデオ入力端子に接続することができます。

■ **接続全般についてのお願い**

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 他の機器を接続するときは、必ずテレビおよび接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機のS2映像入力端子と映像入力端子に同時に接続したときは、S2映像入力端子を優先します。
- 本機のビデオ入力1のD4映像入力端子と映像入力端子に同時に接続したときは、D4映像入力端子を優先します。
- 接続機器の音声出力がモノラルのときは、別売のステレオ／モノラル変換コード（TSC-AX05など）をご使用ください。
- 録画または録音したものは個人的に楽しむほかは、著作権法によって権利者に無断で使用することはできません。

ビデオで録画／再生するとき

ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた

● 116ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

(背面端子)　(背面)

1 D4映像 映像 左 音声 右

ビデオ入力端子

2 S2映像 映像 左 音声 右

(ビデオ)

デジタル放送録画出力

デジタル放送録画出力 S1映像 映像 左 音声 右

オーディオ出力（固定） 左 右

ビデオコントロール

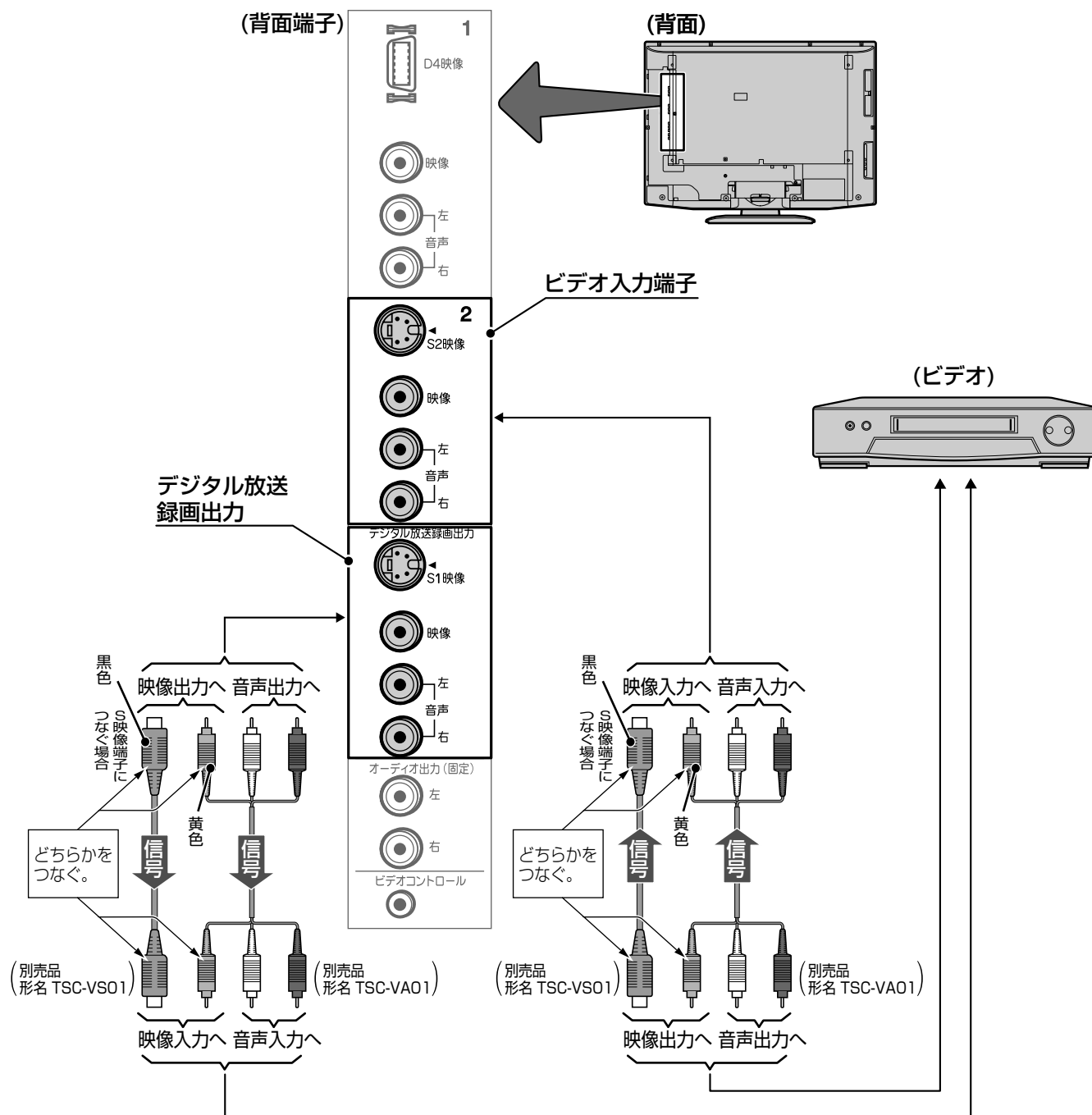
黒色　映像出力へ　音声出力へ　S映像端子につなぐ場合　黄色　どちらかをつなぐ。　信号　信号

(別売品 形名 TSC-VS01)　(別売品 形名 TSC-VA01)

映像入力へ　音声入力へ

黒色　映像入力へ　音声入力へ　S映像端子につなぐ場合　黄色　どちらかをつなぐ。　信号　信号

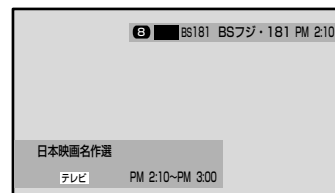
(別売品 形名 TSC-VS01)　(別売品 形名 TSC-VA01)

映像出力へ　音声出力へ

● 「デジタル放送録画出力の設定」を「モード2」にしているときは、現在番組録画や録画予約の実行中以外は映像信号は出力されません。（詳しくは164ページ）

ビデオとの基本的なつなぎかたと操作のしかた つづき

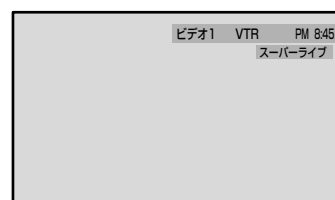
【使いかた】

デジタル放送を録画するとき（基本の操作）

1 デジタル放送のチャンネルを選ぶ

2 ビデオを外部入力モードにして、録画する

- 外部入力モードの切り換えかたについてはビデオの取扱説明書をお読みください。

再生して見るとき

1 リモコンの入力切換ボタン－・＋で、つないでいるビデオ入力を選ぶ

2 ビデオを再生する

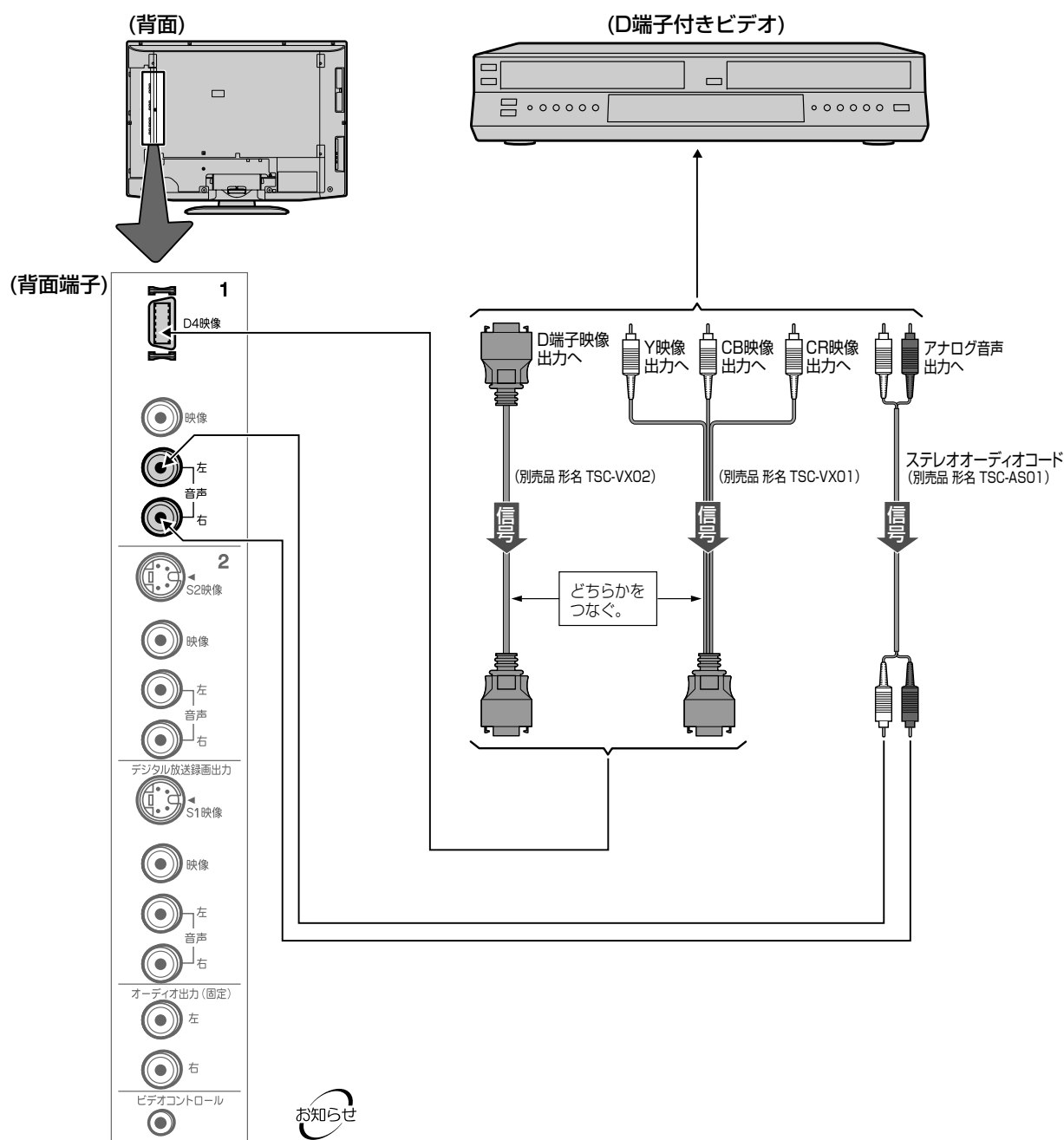
■ デジタル放送をアナログ録画（VHSやS-VHS方式などでの録画）するとき
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送については、「現在番組録画」（→75ページ）を使うと放送中の番組をより簡単に録画できます。
- 地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル放送を留守録する場合は、「録画予約」（→83ページ）を行ってください。
- デジタル放送録画出力端子からは、文字画面表示（番組名の表示やメニュー表示など）や字幕、データ放送は出力されません。
- 「省エネ設定」を設定している場合は、自動的に電源待機状態になり、デジタル放送録画出力から信号が出力されなくなる場合がありますので、上記の操作で録画する際にはご注意ください。（→163ページ）
- 「デジタル放送録画出力の設定」（→164ページ）を「モード2」にしているときには上記の方法では録画ができません。「現在番組録画」（→75ページ）、または「録画予約」（→83ページ）で録画してください。
- 現在番組録画や録画予約実行中は、本機を電源待機にしても、デジタル放送録画出力端子からは信号が出力されます。（通常は、電源待機の時には出力されません。）
- 本体の電源を切った場合は、デジタル放送の録画はできません。

D端子付きビデオの場合

● 本機のD4映像入力端子とD端子付きビデオのD端子映像出力、またはコンポーネント信号出力（Y、CB、CR映像出力）をつなぐと、より高画質で楽しめます。
● D4映像入力端子には、D端子付きビデオのほかに、将来も互換性のある映像機器を接続できます。
（コンポーネント映像信号の525i、525p、750p、1125iに対応しています。）
● **116ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。**

【つなぎかた】

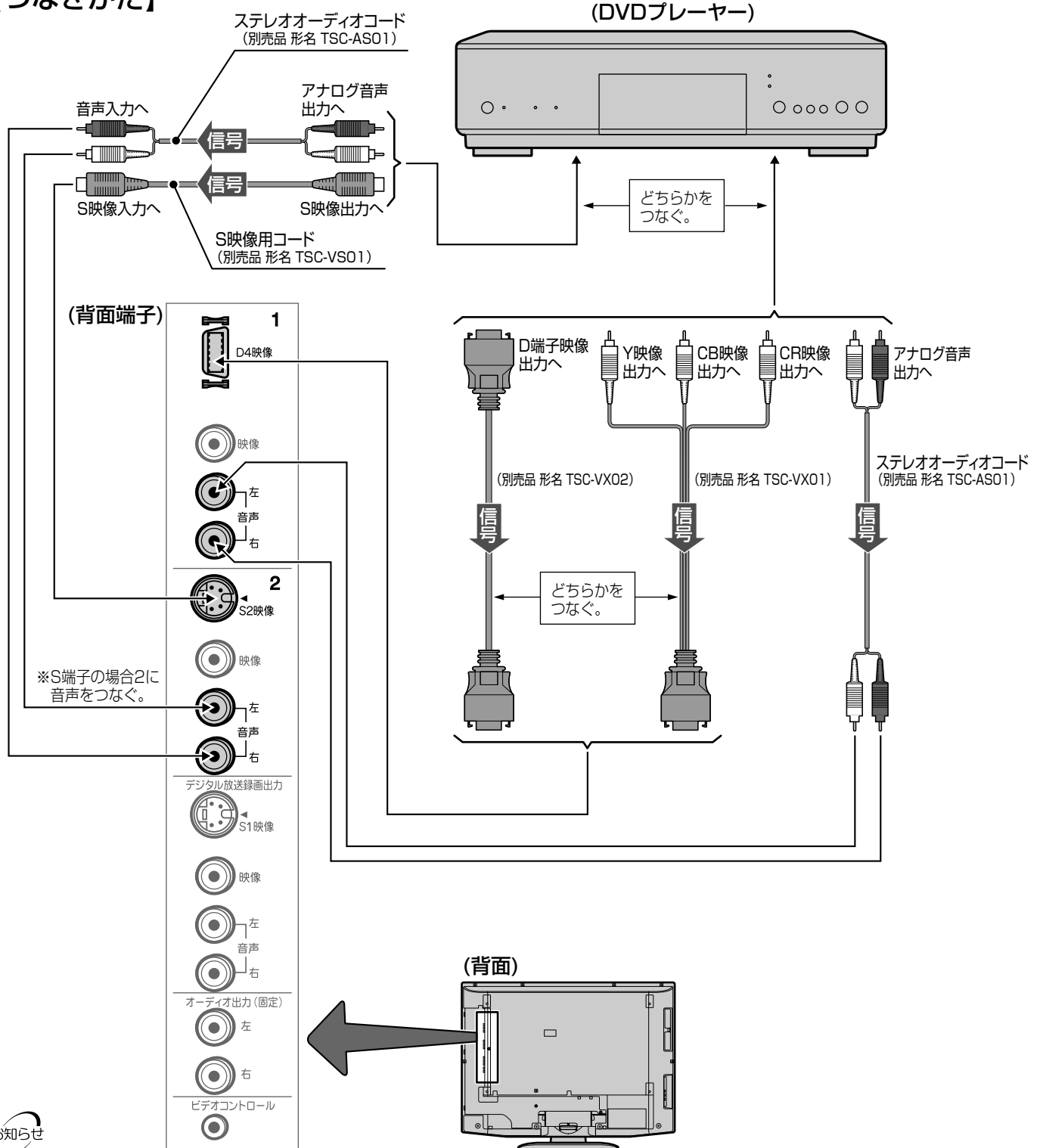
● 本機の「ビデオ入力1」を使用した場合の例

お知らせ

● 接続するD端子付きビデオの取扱説明書もよくお読みください。

DVD プレーヤーをつなぐとき

- 本機の D4 映像入力端子と DVD プレーヤーの D 端子映像出力、またはコンポーネント信号出力（Y、CB、CR 映像出力）をつなぐと、より高画質で楽しめます。
- D4 映像入力端子には、DVD プレーヤーのほかに、将来も互換性のある映像機器を接続できます。
（コンポーネント映像信号の 525i、525p、750p、1125i に対応しています。）
- **116 ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。**

【つなぎかた】

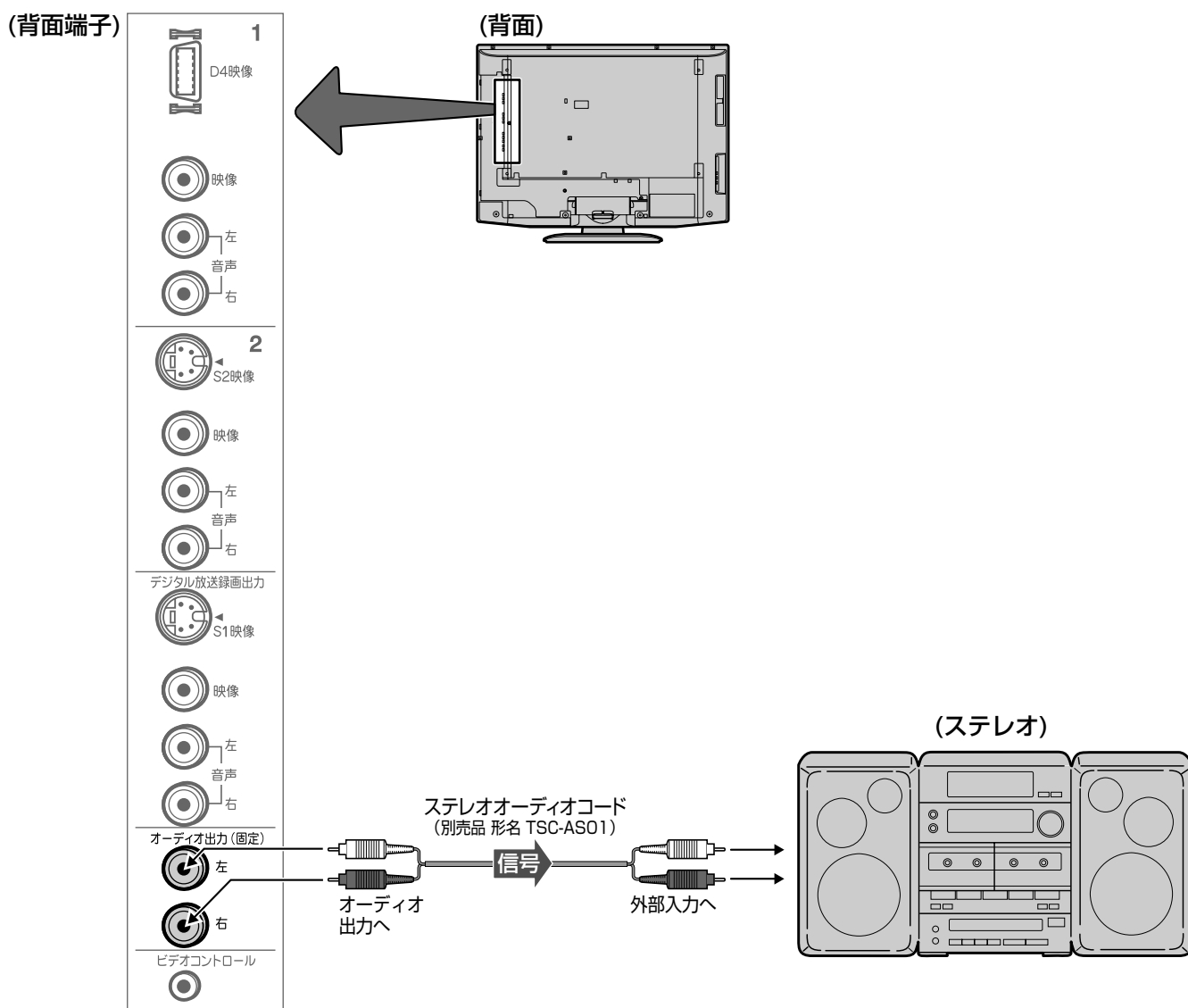
お知らせ

- 接続するDVDプレーヤーの取扱説明書もよくお読みください。
- 外部入力（ビデオ1～3）の映像や音声には若干の遅れが生じます。
以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じる場合があります。
・ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
・DVD やビデオなどの音声を、直接 AV アンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

ステレオ装置で楽しむとき

映像はテレビで、音声はステレオ装置で迫力ある音声で楽しむとき

● 116ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

■オーディオ出力（固定）端子を使ってつなぐ場合

【使いかた】

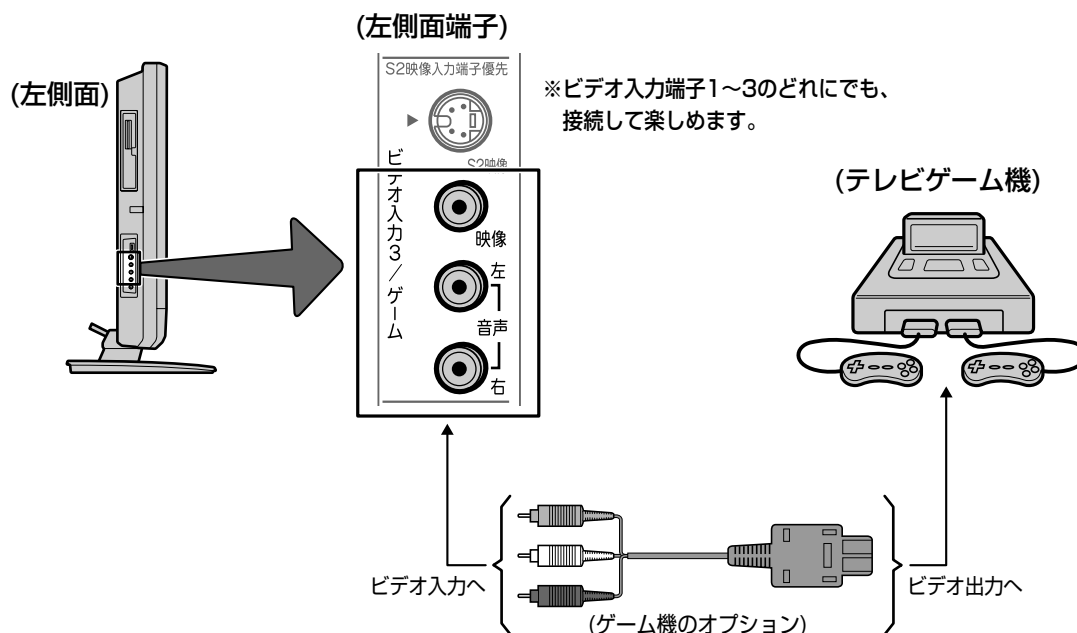
1 テレビの音量をゼロにする

2 音量はステレオ装置で調整する

他の機器をつないで楽しむ

テレビゲーム機をつなぐとき

● 116ページの「接続全般についてのお願い」もよくお読みください。

【つなぎかた】

テレビゲーム機をつないだときの設定

● 接続したビデオ入力端子に合わせて、「ビデオ入力表示設定」を「ゲーム」にしてください。(→165ページ)
● お買い上げ時は、本体左側面端子板の「ビデオ入力3/ゲーム」端子が「ゲーム」に設定されています。

● 一時的にテレビゲーム機をはずし、他の機器につなぎかえてご覧になるときは、終了ボタンを押してください。
● 常時、テレビゲーム機以外の機器をつなぐときは、「ビデオ入力表示設定」でゲーム以外に設定してください。(→165ページ)
● テレビ画面に向けて光線銃などを使用するゲームの場合、正しく動作しないことがあります。
● 外部入力（ビデオ1～3）の映像や音声には若干の遅れが生じます。

以下の場合にはこの遅れによる違和感を感じる場合があります。
・ゲーム、カラオケなどを接続して楽しむ場合
・DVDやビデオなどの音声を、直接AVアンプなどの外部機器に接続して視聴する場合

【使いかた】

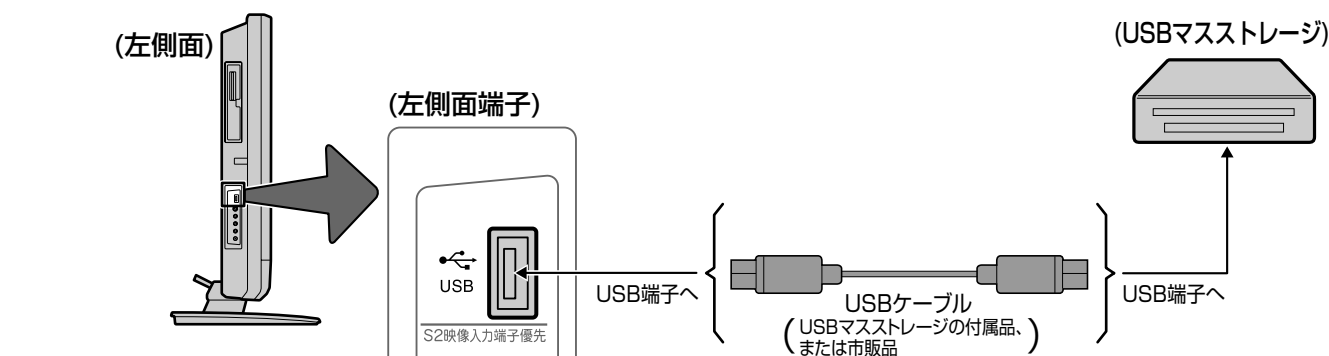
1 リモコンの入力切換ボタンー・＋を押し、テレビゲーム機をつないだビデオ入力を選ぶ（→74ページ）
● ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。
※画面サイズの切り換えかたは、56ページの「ゲーム入力画面のとき」をご覧ください。

2 テレビゲームを楽しむ

USB マスストレージとのつなぎかた

● USBマスストレージクラスに対応しているメモリーカードリーダー（ライター）やデジタルカメラなどをつないで静止画（JPEG ファイル）をテレビ画面でご覧いただけます。（操作については 143 ページ「写真を見たい」を参照）
● 本機の USB 端子に接続できる機器については、281 ページをご覧ください。

【つなぎかた】

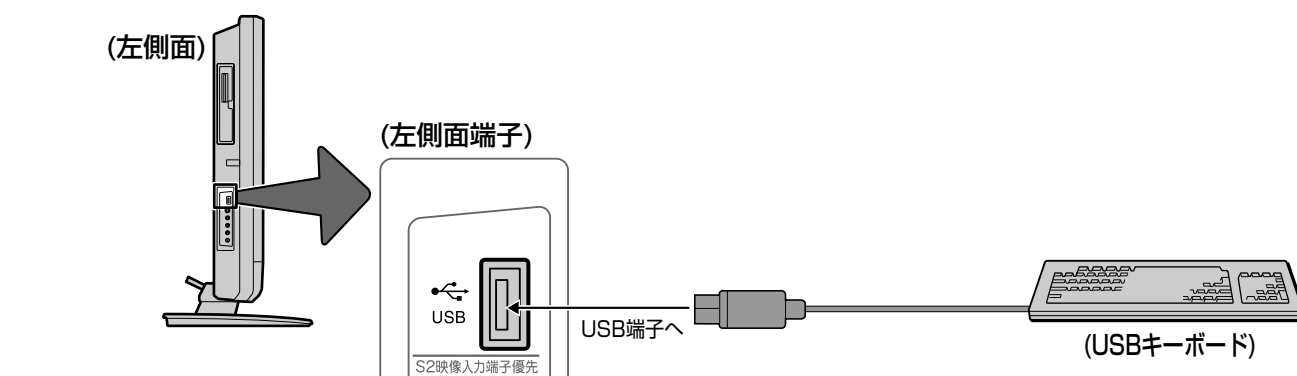
お願い

● USBマスストレージを本機に接続するときや抜くときは、必ず本体の電源を「切」にした状態で行ってください。
● USBケーブルを接続するときは、端子の向きにご注意ください。
● USBマスストレージの動作中には本体の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
● メモリーカードリーダー（ライター）にメモリーカードを挿入するときや抜くときは、必ず本体の電源を「切」にした状態で行ってください。本機の電源が「入」や「待機」の状態で行うと、メモリーカードのデータが破壊されるおそれがあります。メモリーカードにアクセス（再生）しているときには、メモリーカードを取り出したりしないでください。
● USBマスストレージの動作や取り扱いなどについては、USBマスストレージの取扱説明書もよくお読みください。

● USBハブを使って複数の機器をつないだ場合は、281ページの「USB端子に接続できる機器について」の表に記載されている機器でも正常に使用できなくなる場合があります。
● 上記のUSBハブを使用して同時に複数の機器を接続した場合、同時に認識できるUSB機器の数は最大8台です。
スロットを複数持つメモリーカードリーダー（ライター）などの場合は、1スロットで1台と換算されます。

USB キーボードとのつなぎかた

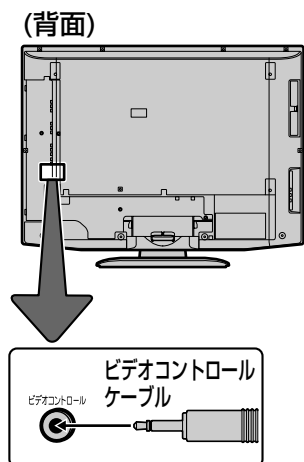
● 接続できる USB キーボードについては、281 ページをご覧ください。

【つなぎかた】

お願い

● USBケーブルを接続するときは、端子の向きにご注意ください。
● USBキーボードの取扱説明書もよくお読みください。
● 上の項目の「お知らせ」もよくお読みください。

付属のビデオコントロールケーブルのつなぎかた

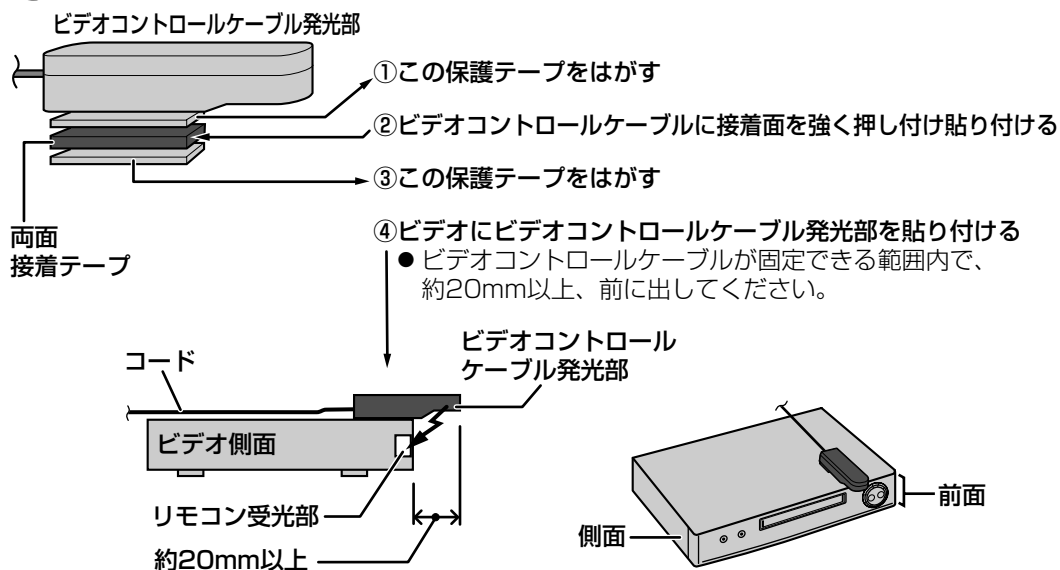
●付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオをコントロールし現在番組録画や録画予約をすることができます。
●**ビデオコントロールケーブルの接続後、接続されるビデオの設定をすることが必要です。（→ 125 ページ）**
●ビデオによっては付属のビデオコントロールケーブルを使用して録画ができない機種があります。下の「お知らせ」をご覧ください。

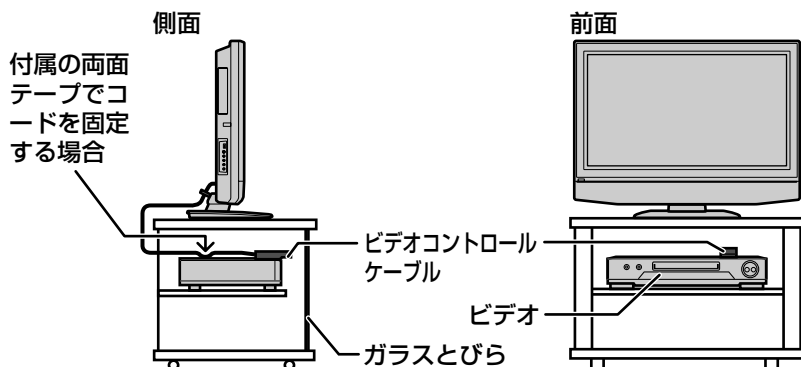
（背面）

付属のビデオコントロールケーブルをつなぐ

1 本機の「ビデオコントロール」端子にビデオコントロールケーブルをつなぐ

2 ビデオコントロールケーブルの取り付け位置を決める

- ビデオのリモコン受光部の近くで、発光部が取り付けられそうな場所を選びます。
  ガラスとびら付きテレビ台をご使用の場合は、開閉でビデオコントロールケーブル発光部やコードがぶつからないようにしてください。
- 「ビデオ機種設定」(→126ページ)の操作の手順**7**で、ビデオの電源が「入」や「切(待機)」など動作する場所を選んでください。

3 固定する

- ビデオコントロールケーブル発光部と、ビデオのリモコン受光部との距離が50cm以内を目安に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部をよく確かめ、ビデオコントロールケーブルを多少動かしても充分動作する位置に設置してください。
- ビデオのリモコン受光部については、ご使用のビデオの取扱説明書をご覧ください。

- 機種によっては録画ができないビデオがあります。
  126ページの手順**7**の操作でそれぞれの機能が動作しないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使って録画できません。

上図のように、ビデオコントロールケーブルのコードを途中で固定したい場合

- 付属の両面テープ（小さいほう）と、ご自宅にあるセロハンテープなどのテープを使います。
- ケーブルがピンと張らずに、多少たるんだ状態となる場所を選んでください。

①**両面テープの片側の保護テープをはがし、その場所に貼り付ける**
②**両面テープのもう一方の保護テープをはがし、コードを貼り付ける**
　・ コードを仮固定します。
③**セロハンテープなどを、両面テープとコードの上から貼り、しっかりと押さえる**

ビデオ機種設定

- 付属のビデオコントロールケーブルを使用して、ビデオへの現在番組録画や録画予約を行う場合、あらかじめ、この設定をしておくことが必要です。
- 手順**7**の操作は、本体上面部のボタンで行ってください。
- お買い上げ時のビデオの機種設定は、「東芝1」に設定されています。

はじめに
- 付属のビデオコントロールケーブルを正しく接続、設置する(→124ページ)

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押す

- メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲・▼で「機器設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲・▼で「ビデオ機種設定」を選び、決定ボタンを押す

5 画面の説明に従って、連動させるビデオの準備をする

①ビデオの電源が、ビデオのリモコンで入/切(待機)できることを確認する
②消去してもよいビデオテープをビデオに入れる
③ビデオの電源を切(待機)にする
④以上が終ったら、決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

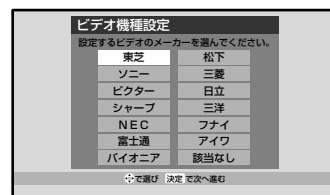
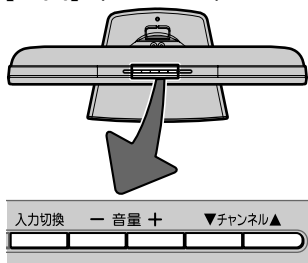
- 録画実行中は、ビデオ機種設定はできません。

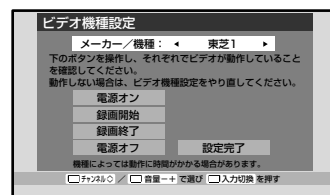
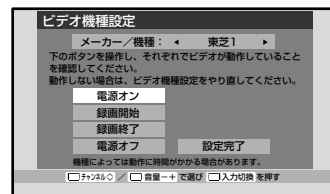
ビデオ機種設定 つづき

6 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で設定するビデオのメーカーを選び、決定ボタンを押す

ビデオ機種設定
設定するビデオのメーカーを選んでください。
東芝 松下
ソニー 三菱
ビクター 日立
シャープ 三洋
NEC フナイ
富士通 アイワ
パイオニア 該当なし
で選び 決定 で次へ進む

該当するメーカーがない場合

- 「該当なし」の場合は、現在番組録画や録画予約をする際は「ビデオ（非連動）」になります。
- この場合は、ビデオコントロールケーブルを使用して現在番組録画や録画予約をすることはできません。
  ビデオ側で録画予約や録画の操作をしてください。
- 「該当なし」を選んで決定ボタンを押すと、手順**4**に戻ります。
  通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。

7 以下の操作でそれぞれの機能が動作することを確認する

入力切換

①本体のチャンネルボタン▼･▲で「メーカー／機種」を選び、音量ボタン－･＋でリモコンの信号形式を選んで、入力切換ボタンを押す
・「東芝１」～「東芝８」などで選び、以下の機能が動作することを確認してください。

②本体のチャンネルボタン▼･▲で「電源オン」を選び、入力切換ボタンを押す
・ビデオの電源が「入」になることを確認してください。
※選んだ信号形式によっては電源「入」になるまでしばらく時間がかかる場合があります。（信号形式によっては１分ほどかかる場合もあります。）

ビデオの電源が「入」にならない場合

- この場合は、付属のビデオコントロールケーブルを使用して現在番組録画や録画予約をすることはできません。ビデオ側で録画予約や録画の操作をしてください。
  通常画面に戻るには、終了ボタンを押してください。

③同様にして「録画開始」「録画終了」「電源オフ」が動作することを確認する
・「録画開始」…ビデオの録画が開始することを確認してください。
・「録画終了」…ビデオの録画が終了することを確認してください。
・「電源オフ」…ビデオの電源が「切（待機）」になることを確認してください。
※選んだ信号形式によっては電源「切（待機）」になるまでしばらく時間がかかる場合があります。（信号形式によっては１分ほどかかる場合もあります。）

ビデオのそれぞれの機能が動作しない場合

- **手順①で別のリモコンの信号形式を選び、もう一度手順②～③を行う**
  ・どの信号形式でも、ビデオが動作しない場合は、付属のビデオコントロールケーブルを使用して現在番組録画や録画予約をすることはできません。終了ボタンを押して、設定を中止してください。

④本体のチャンネルボタン▼･▲または音量ボタン－･＋で「設定完了」を選び、入力切換ボタンを押す

8 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

【上面】（→25ページ）

入力切換 －音量＋ ▼チャンネル▲

お知らせ

- 手順**7**の操作でそれぞれの機能が動作しないビデオは、付属のビデオコントロールケーブルを使って録画できません。
- ビデオによっては「ビデオ1」などのように、ビデオ側でリモコンの信号形式を選べるものあります。お使いのビデオ付属の取扱説明書でご確認ください。それらの数字（「ビデオ１」など）と手順**7**の画面の数字（東芝1など）とは関連ありません。
- 「該当なし」を選んだ場合は、前にビデオの機種を設定していた場合も、その設定内容は削除されます。
- 本体上面部の入力切換ボタンとリモコンの決定ボタン、入力切換ボタン＋は同じ動作をします。（手順**7**については、リモコンは使わずに本体の入力切換ボタンで操作してください。）

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）

はじめに

- 東芝製HDD&DVDビデオレコーダーには、ネットdeナビ機能を持ち、本機と連動予約や連動録画ができるものがあります。
  ※この取扱説明書の中では「東芝製HDD&DVDビデオレコーダー」を「ビデオレコーダー」、「東芝RDシリーズ」などと省略して記載している場合があります。
- 連動予約や連動録画ができるビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）　―2004年12月1日現在―
  - 形名：RD-XS24、RD-XS31、RD-XS34、RD-XS36、RD-XS40、RD-XS41、RD-XS43、RD-XS46、RD-XS53、RD-X3、RD-X4、RD-X5

■連動予約とは…

- 連動予約とは、本機側だけ（またはビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側だけ）で予約設定をすれば、本機とビデオレコーダーの両方の予約設定ができる機能のことで、次の2種類があります。

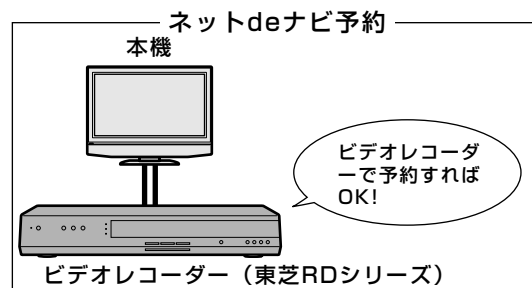
●テレビdeナビ予約（本機で予約設定する場合）

- 本機で番組指定予約、または日時指定予約をすることで録画予約をします。
  ［ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側の予約設定は自動的に行われます。その際、番組指定予約の場合には、番組名と番組説明、チャンネル名もビデオレコーダーに設定されます。（詳細情報は取得されません。）］
- 予約できるのは、地上･BS･110度CSデジタル放送です。
  従来の地上アナログ放送については、予約できません。

※本機で予約の設定をする際は、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の電源を「入」にし、ビデオレコーダーで設定画面などを表示させない状態にしてください。（このようにしないとビデオレコーダーに予約設定されません。）

- 128ページまたは129ページで準備をしてください。

●ネットdeナビ予約（ビデオレコーダーで予約設定する場合）

- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で、iEPG（インターネットの番組表）機能を使って録画予約をします。
  （本機側の予約設定は自動的に行われます）
- 予約できるのは、BSデジタル放送のテレビ放送だけです。
  （機種によっては、地上デジタルや110度CSデジタルのテレビ放送も予約できる場合もあります。）
- 130ページで準備をしてください。

■連動録画とは…

- 連動録画とは、本機の操作だけでビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の操作をすることなく、現在番組録画ができる機能です。
  （あらかじめ、ビデオレコーダーの電源を入れておく必要はあります。）
- 連動録画できるのは、地上･BS･110度CSデジタル放送です。
  従来の地上アナログ放送については、連動録画できません。
- 128ページまたは129ページで準備をしてください。

- 操作の簡単さや対応している放送の種類などの点から、「テレビdeナビ予約」での予約をおすすめします。
- ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側での録画予約設定のしかた、ネットdeナビ機能の詳細については、ビデオレコーダー付属の取扱説明書、またはビデオレコーダーのホームページ上で配付されている取扱説明書をご覧ください。
  （http://www.rd-style.com/user/の「RD Seriesダウンロード用取扱説明書」の項目をご覧ください。）
- 「連動録画についての注意事項」（→82ページ）や、「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→97ページ）もよくお読みください。
- iEPGはソニー株式会社が提唱しているインターネットでの録画予約方式です。

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

「連動予約」や「連動録画」をするには（接続から操作までの早わかり）

●「テレビdeナビ予約（本機で予約設定する場合）」と「連動録画」の場合

（1）インターネット常時接続の環境の場合

1. 本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）、ルーター、パソコンをつなぐ（→131ページを参照）
   ※接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。
   ・130ページ「お知らせ1」のビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の取扱説明書も参照してください。

2. 最初にルーターの電源を「入」にし、次に、ルーターに接続されているすべての機器の電源を「入」にする

3. ルーターのDHCP機能が有効の状態に設定されていることを確認する
   ・出荷時点で有効の状態に設定されているのが一般的ですが、詳しくはルーターの取扱説明書をご覧ください。

4. 本機の「LAN端子設定」（→229〜232ページ）を以下のように設定する
   ・「IPアドレス自動取得」と「DNSアドレス自動取得」を「する」に設定してください。
   ※お買い上げ時はこの状態に設定されています。設定を変えていない場合は、そのまま次に進んでください。

5. ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「DHCP」が使うに設定されていることを確認する
   ①ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を「ネットワーク設定」画面にする
   ・「初期設定」→「管理設定」→「ネットワーク設定」でこの画面にします。
   ・詳しい手順については、130ページ「お知らせ1」に記載されている取扱説明書をご覧ください。
   ②「DHCP」が「使う」に設定されていることを確認する

   「使わない」に設定されている場合

   ・ビデオレコーダーの取扱説明書に従って「ネットワーク設定」をしてください。
   「DHCP」は「使う」の状態に設定し、設定した内容を保存させてください。

   ※接続環境によって、「DHCP」を「使わない」の状態で使用する場合は、130ページの「お知らせ3」をご覧ください。

6. 「テレビdeナビ設定」をする（→135ページ）

7. 現在番組録画（→75ページ）や録画予約（→83ページ）を行い、動作を確認する
   ・現在番組録画の場合
   連動録画が正しく動作していることを確認してください。
   ・録画予約の場合
   本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に予約が設定されていることを確認してください。
   ※「連動録画についての注意事項」（→82ページ）や「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→97ページ）もよくお読みください。

（2）本機とビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を直接つなぐ場合

● 本機とビデオレコーダーのみをイーサネット接続する場合です。

1. 本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）をつなぐ（→133ページを参照）
※接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。
・LANケーブルの接続には、ビデオレコーダー付属のクロスケーブルをご使用ください。
　次ページ「お知らせ1」のビデオレコーダーの取扱説明書も参照してください。

▼

2. 本機の「LAN端子設定」（→229～232ページ）を以下のように設定する
①「IPアドレス設定」を以下に設定する（→229ページ）
・IPアドレス自動取得　：　しない
・IPアドレス　：　192.168.1.20
・サブネットマスク　：　255.255.255.0
・デフォルトゲートウェイ　：　192.168.1.1
②「DNS設定」を以下に設定する（→230ページ）
・DNSアドレス自動取得　：　しない
・DNSアドレス（プライマリ）　：　192.168.1.1
※DNSアドレス（セカンダリ）の入力は不要です。
③「プロキシ設定」を「使用しない」に設定する（→231ページ）

▼

3. ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で以下の設定をする
・詳しい手順については、次ページ「お知らせ1」に記載されている取扱説明書をご覧ください。
①ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を「ネットワーク設定」画面にする
・「初期設定」→「管理設定」→「ネットワーク設定」でこの画面にします。
②以下のように設定する
・DHCP　：　「使わない」に設定する
・IPアドレス　：　192.168.1.15
・サブネットマスク　：　255.255.255.0
・デフォルトゲートウェイ　：　192.168.1.1
・DNSサーバー　：　192.168.1.1
※上記の数値は、ビデオレコーダーの取扱説明書に記載されている数値と異なっている場合がありますが、問題ありません。
［詳しい説明］
・ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）のIPアドレスは、本機に設定したIPアドレスと同じにならないように設定します。
・サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーは本機の設定と同じにします。
③上の②以外の項目について、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の取扱説明書に従って設定する
④設定した内容を保存する

▼

4. 「テレビdeナビ設定」をする（→135ページ）

▼

5. 現在番組録画（→75ページ）や録画予約（→83ページ）を行い、動作を確認する
・現在番組録画の場合
　連動録画が正しく動作していることを確認してください。
・録画予約の場合
　本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）に予約が設定されていることを確認してください。
※「連動録画についての注意事項」（→82ページ）や「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→97ページ）もよくお読みください。

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

「連動予約」や「連動録画」をするには（接続から操作までの早わかり）つづき

●ネットdeナビ予約（ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で予約設定する場合）

1. 本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）、ルーター、パソコンをつなぐ（→131ページを参照）
   ※接続は、すべての機器の電源が「切」の状態で行ってください。
   ・「お知らせ1」も参照してください。

▼

2. IPアドレスの設定が必要な場合は、設定をする（→229ページ）
   ※通常は、設定不要です。詳しくは、「お知らせ2」をご覧ください。

3. 「ネットdeナビ制御」設定を行う（→134ページ）

4. ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の設定をする
   ・「お知らせ1」も参照してください。

5. 「ネットdeナビ予約の動作について」を読む（→137ページ）

6. ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の取扱説明書を読み、操作をする
   ・「お知らせ1」も参照してください。

● ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）側での録画予約設定のしかた、ネットdeナビ機能の詳細については、ビデオレコーダー付属の取扱説明書、またはビデオレコーダーのホームページ上で配付されている取扱説明書をご覧ください。
（http://www.rd-style.com/user/の「RD Seriesダウンロード用取扱説明書」の項目をご覧ください。）

● お買い上げ時はIPアドレスは「自動取得する」に設定されています。通常（ルーターなどのDHCPサーバー機能を使用する場合）は、IPアドレスは自動的に取得されるので、設定は不要です。

128ページでDHCPを使わない状態で使用する場合

● 128ページの手順**5**の代わりに、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）で「DHCP」を「使わない」に設定し、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーなどをネットワーク環境に合わせて設定してください。
その際、IPアドレスが他の機器と重ならないように設定してください。

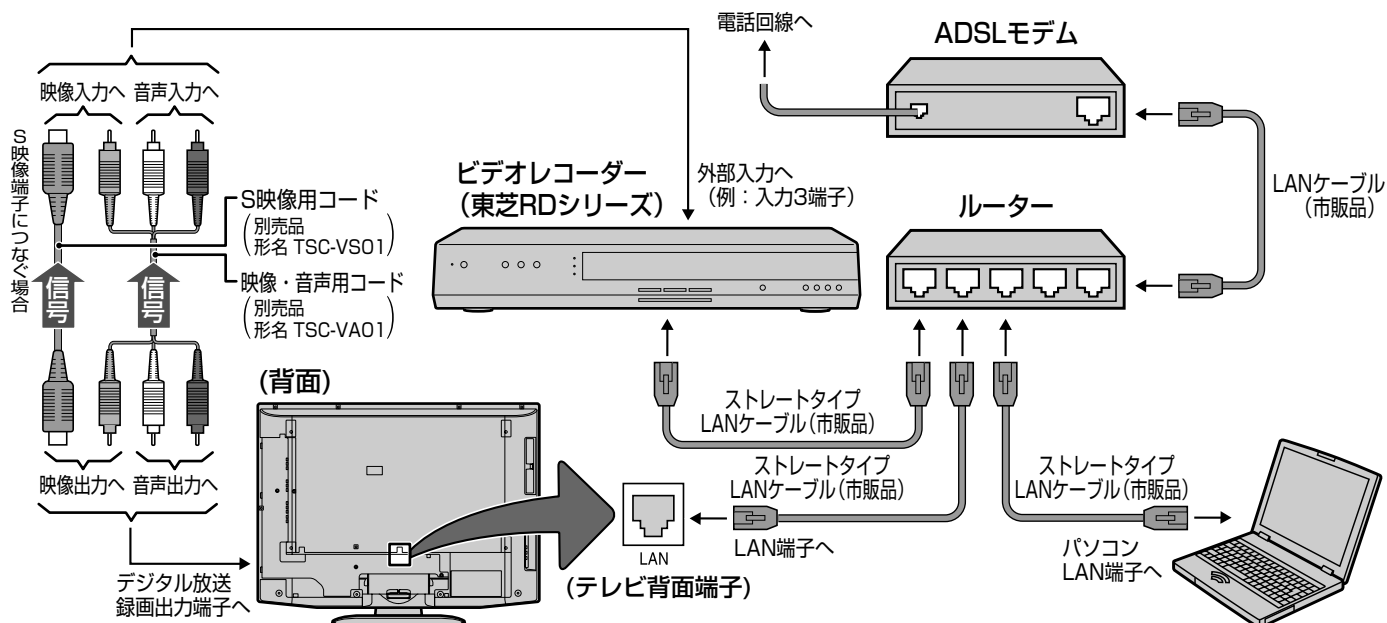
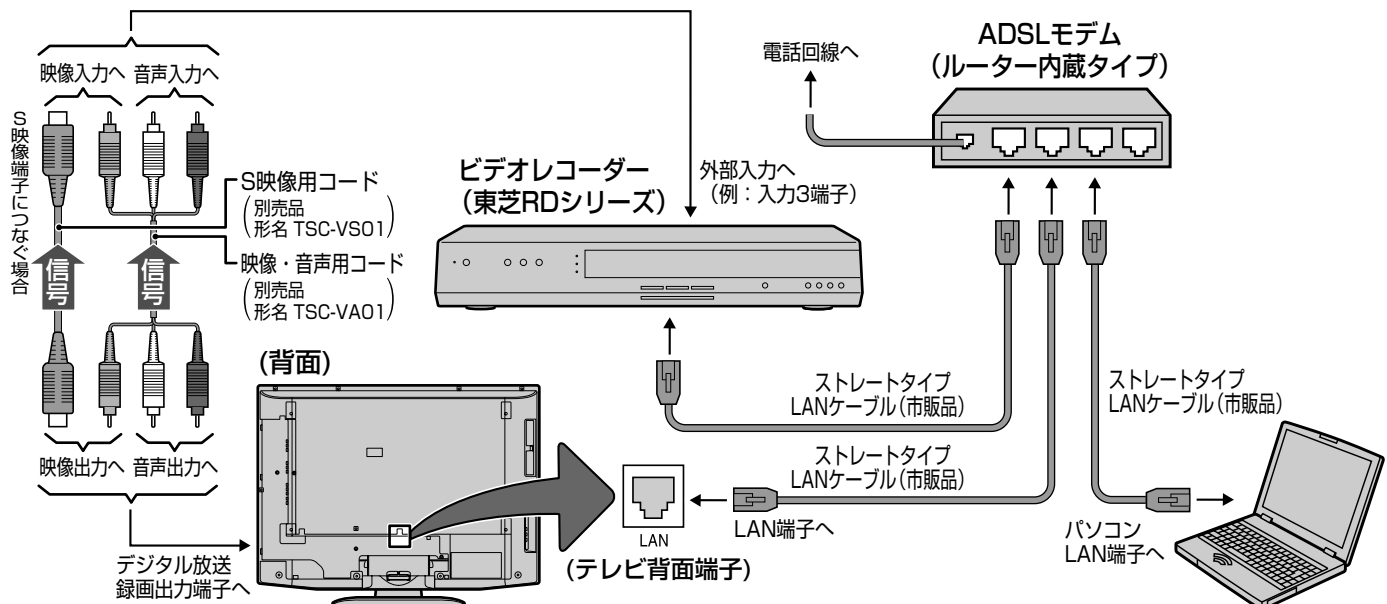
つなぎかた

(1) インターネット常時接続の環境の場合

- 以下の例のように、必ずルーターを通して接続をしてください。
- 132ページの「お知らせとご注意」と133ページの「(3)接続の際のお願いとお知らせ」もよくお読みください。
- ここでの接続についてのお問い合わせは、「テレビのネットワーク接続についてのご相談は」(→287ページ)をご覧ください。

はじめに

- ここではイーサネット通信(ADSLなど)ができる環境であることを前提とした説明になっています。
  - ・ご使用のモデムやルーターなどの取扱説明書もご覧ください。
  - ・イーサネット通信ができる環境をお持ちでない場合は、導入や契約などについてお買い上げの販売店、またはADSLなどの回線事業者にご相談ください。
- 本機では、ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどの設定はできません。
  ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどによっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

例1:ルーター機能がないADSLモデムを使用している場合

例2:ルーター機能のあるADSLモデムを使用している場合

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

つなぎかた つづき

お知らせとご注意

■本機が接続できるルーターについて

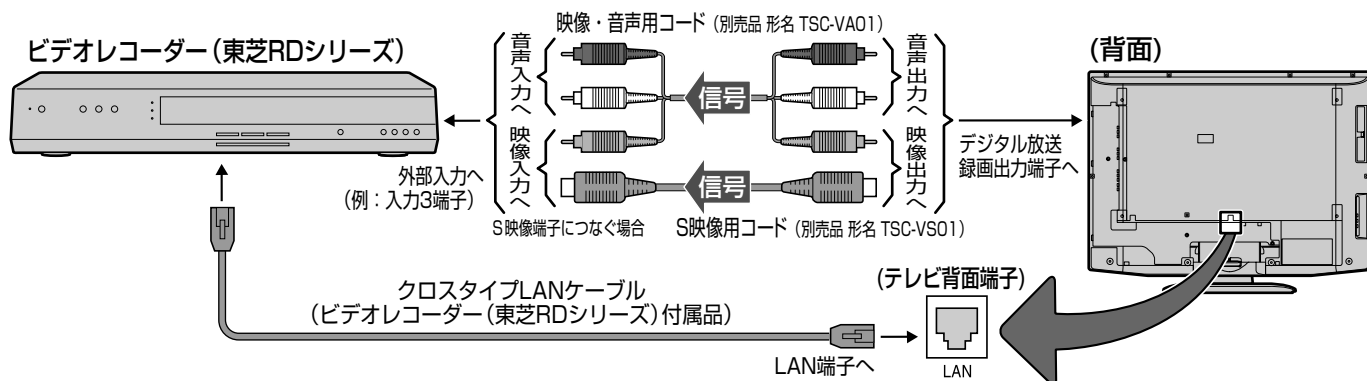
- 以下の製品については正常に通信できることが確認されています。
以下の製品以外の場合には、正常に通信できない場合があります。
また、以下の製品でもワイヤレス（無線）LAN機能を使用した場合に、正しく動作しない場合があります。
- 接続できるルーターについては、ホームページで順次公開していく予定です。
（ホームページについては19ページを参照）

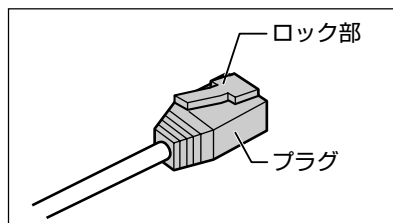
メーカー名	形　名
プラネックスコミュニケーションズ（株）	BLW-04FMG

■ご注意

- イーサネット通信機能は、本機が動作状態のときにだけ使用できます。
- プロバイダ（インターネット接続事業者、以下同じ）側の設定や制限によっては、LAN機能の一部が使用できない場合があります。
電話通信事業者およびプロバイダとの契約費用および通信に使用される通信費用は、お客様ご自身でお支払いください。
- ADSLでご利用いただくには、ADSLモデムが必要です。通信事業者やプロバイダが採用している接続・契約借款等によって、本製品をご利用いただけない場合や同時接続する台数に制限や条件がある場合があります。（契約が一台に制限される場合、すでに接続されているパソコンがあると、本機を二台目として接続することが認められていないことがあります。）
- 基本的には、カテゴリ5（CAT5）と表示された10BASE-T／100BASE-TXのLANケーブルをご使用ください。ただし、接続機器がすべて10BASE-Tの場合は、カテゴリ3のケーブルも使用できます。
- 以下の場合やご不明な点は、ご契約のADSL回線事業者やケーブルテレビ会社、プロバイダにお問い合わせください。
  - ・ご契約によっては､本機やパソコンなどの機器を複数接続できないことがあります。
  - ・一部のインターネット接続サービスでは､本機をご利用できないことがあります。
  - ・プロバイダによっては､インターネットに接続できる機器の台数が制限されている場合があります。
  - ・プロバイダによっては､ルーターの使用を禁止あるいは制限している場合があります。
  - ・ADSL回線の状況によっては､うまく通信できないことがあります。
  - ・ADSLモデムやケーブルモデムについてご不明な点など。
- ご使用のモデムなどによっては、正常に通信できない場合があります。
- 131ページの接続図以外の機器が接続されているときは、正常に通信できない場合があります。

（2）本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を直接つなぐ場合（テレビdeナビ予約の場合のみ）

- **この接続は、テレビdeナビ予約をする場合にだけ使用できます。ネットdeナビ予約には使用できません。**
  テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約については、127ページをご覧ください。
- インターネットもつなぐ場合は、131ページの例1または例2の接続でご使用ください。
- **ここでの接続についてのお問い合わせは、「テレビのネットワーク接続についてのご相談は」（→287ページ）をご覧ください。**

（3）接続の際のお願いとお知らせ

- **電話機コードのプラグをLAN端子にはつながないでください。LAN端子がこわれる場合があります。**
- LANケーブルの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（下図を参照）

- 接続を変更した場合は、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源を入れ直してください。
- LANケーブルとは、ネットワークケーブルやイーサネットケーブルのことで、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。131ページの例1または例2の接続には、ストレートケーブルをご使用ください。上記「（2）本機とビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）を直接つなぐ場合」の接続には、クロスケーブルをご使用ください。それ以外の接続には、各機器が指定しているLANケーブルをご使用ください。

- 接続するLANケーブルは付属されていません。（市販品をご使用ください。）
- 「デジタル放送録画出力の設定」を「モード2」にしているときは、デジタル放送録画出力端子からは、連動予約などによる現在番組録画や録画予約の実行中以外は映像信号は出力されません。（詳しくは164ページ）

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき
（連動予約機能を使うとき）つづき

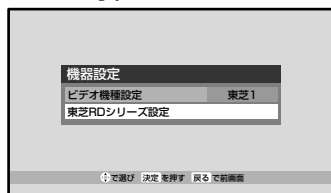
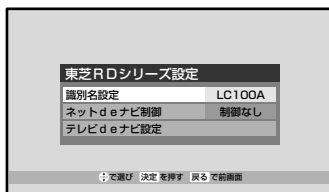
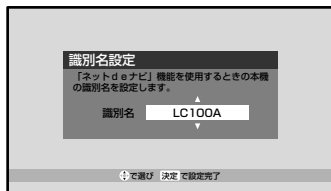
東芝RDシリーズ設定

識別名設定

- 「ネットdeナビ予約」を使用するときの、本機の識別名の設定です。
- お買い上げ時は「LC100A」に設定されており、通常ここでの設定は必要ありません。
- LC100（他の画面サイズのものも含みます。）を複数台（最高5台）LAN端子を使って、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）と接続する場合は、以下の操作で本機の識別名を設定してください。
- その場合、本機の識別名をビデオレコーダー側でも設定する必要があります。詳しくは130ページ「お知らせ1」に記載されている取扱説明書をご覧ください。

1 以下の操作で「機器設定」画面にする

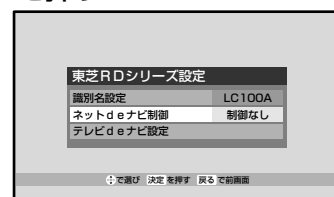
①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「機器設定」を選び、決定ボタンを押す

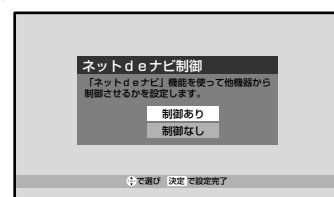
2 カーソルボタン▲·▼で「東芝RDシリーズ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「識別名設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で本機の識別名を「LC100A」～「LC100E」で選び、決定ボタンを押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

ネットdeナビ制御

- ネットdeナビ機能（ネットdeナビ予約）を使ってビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）から本機を制御させるかどうかを設定します。
- お買い上げ時は「制御なし」に設定されています。

1 左側の手順1、2を行う

2 カーソルボタン▲·▼で「ネットdeナビ制御」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「制御あり」または「制御なし」を選び、決定ボタンを押す

- 「制御あり」… ネットdeナビ機能を使って、ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）から本機を制御できます。
- 「制御なし」… ネットdeナビ機能でビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）から本機を制御できません。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

テレビdeナビ設定

●「テレビdeナビ予約」(→127ページ)をするための設定です。

はじめに

●以下の手順でビデオレコーダー（東芝 RD シリーズ）の設定を確認する

① ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)を「ネットワーク設定」画面にする
・ 詳しくはビデオレコーダー取扱説明書のネットdeナビの項目をご覧ください。(→130ページ「お知らせ1」参照)

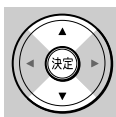
② ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の「ネットワーク設定」の以下の設定内容を確認し、メモする

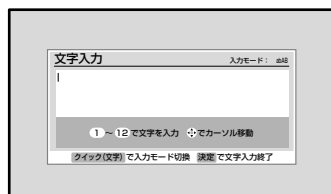
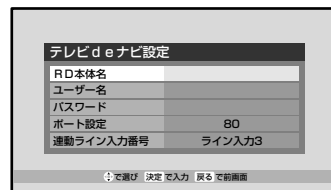
ビデオレコーダーの項目	ビデオレコーダーに設定されている内容を確認する
RD本体名	
本体ユーザー名	
本体パスワード	※パスワードは他の方に見られないようにご注意ください。
本体ポート番号	

③ ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の「ネットワーク設定」画面を終了して、通常画面に戻る

④ ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)の本機をつないでいるライン入力番号を確認する
・ 本機のデジタル放送録画出力を接続したビデオレコーダーの外部入力端子のライン入力をご確認ください。
(例:ライン入力3など)

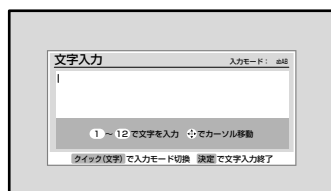
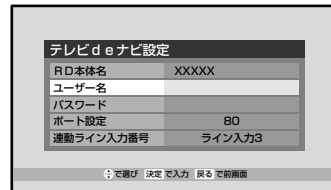
1 134ページ左側の手順**1**、**2**を行う

2 カーソルボタン▲·▼で「テレビdeナビ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「RD本体名」を選び、決定ボタンを押す

●文字入力モードになります。
「はじめに」の②で確認したRD本体名を正しく入力してください。
●文字入力のしかたは100ページをご覧ください。

4 以下を行う

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で「本体セキュリティ」を「あり」に設定している場合

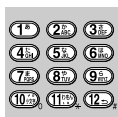
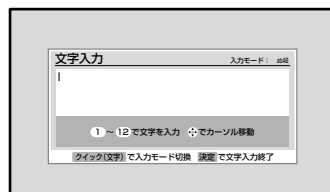
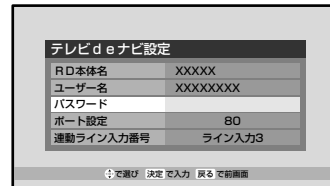
①カーソルボタン▲·▼で「ユーザー名」を選び、決定ボタンを押す
・ 文字入力モードになります。

②文字入力ボタンで「ユーザー名」を入力する
・「はじめに」の②で確認した本体ユーザー名を正しく入力してください。
・ 文字入力のしかたは100ページをご覧ください。

[次のページにつづく]

東芝製HDD & DVDビデオレコーダーとつなぐとき（連動予約機能を使うとき）つづき

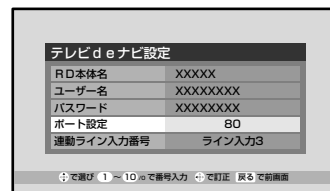
東芝RDシリーズ設定 つづき

テレビdeナビ設定 つづき

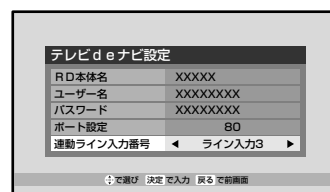
③カーソルボタン▲·▼で「パスワード」を選び、決定ボタンを押す
- 文字入力モードになります。

④文字入力ボタンで「パスワード」を入力する
- 前ページの「はじめに」の②で確認した本体パスワードを正しく入力してください。
- 文字入力のしかたは100ページをご覧ください。
- 手順**5**に進んでください。

ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)で「本体セキュリティ」を「なし」に設定している場合

- ユーザー名およびパスワードの設定は不要です。
- 手順**5**に進んでください。

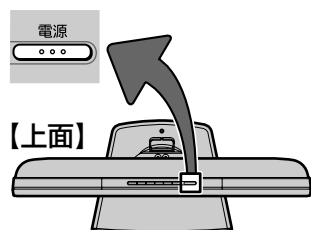
5 カーソルボタン▲·▼で「ポート設定」を選び、数字ボタン0～9(⑩～⑨)でポート番号を入力する

- 前ページの「はじめに」の②で確認した本体ポート番号を正しく入力してください。
  間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して、もう一度入力し直してください。
  ※通常は 80 です。（本機で設定できる数値は 0～65535です。ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）の取扱説明書のネットdeナビの項目もよくお読みください。）

6 カーソルボタン▲·▼で「連動ライン入力番号」を選び、カーソルボタン◀·▶で接続されているライン入力を選ぶ

- 前ページの「はじめに」の④で確認したライン入力番号を選んでください。
- カーソルボタン◀·▶で以下のように切り換わります。

→ライン入力1 ↔ ライン入力2 ↔ ライン入力3 ←

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

8 ［設定した内容を有効にするには］
電源を入れ直す

- 本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度入れてください。

「ネットdeナビ予約」(→127ページ)の動作について

■はじめに

● 本機は、ダウンロード実行中にはビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御を受け付けません。
よって、「ネットdeナビ予約」を使って録画予約をする際には、以下のようにしてください。
・「自動ダウンロード」設定(→248ページ)を「ダウンロードしない」にする
・ 任意ダウンロード予約(→249ページ)の時間と重ならないようにする

■録画番組放送開始

● 録画予約番組の放送時間近くになると、テレビ画面にメッセージを表示してお知らせします。
録画予約を中止する場合は、終了ボタンを押してください。
● 録画予約番組の放送時間になると自動的にチャンネルが切り換わり予約した番組が選ばれます。
● 録画予約実行中は、本機前面の「実行」(橙)表示が点灯します。

■録画予約実行中

● 地上アナログ放送やアナログCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。

録画予約を中止したい場合

① **終了ボタンを押す**
・[「ネットdeナビ」で録画実行中です。もう一度(終了)を押すと録画を中止します。]が表示されます。
② **上記のメッセージが表示されている間に、もう一度、終了ボタンを押す**
・ 録画予約を中止します。
・ 本機の操作でビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの録画を中止した場合、本機の動作は中止されますが、ビデオレコーダー側の録画動作は中止されません。ビデオレコーダー側でも録画中止の操作をしてください。

録画予約実行中に操作ボタンを押したとき

● 操作可能なボタンを押したときは、押したボタンの動作が実行され、録画予約もそのまま続行されます。
● 操作できないボタンを押したときは、[「ネットdeナビ」で＊＊＊を録画中です。(終了)を押すと録画を中止します。]または、[録画実行中は切り換えられません。]が表示されます。
※録画予約実行中にリモコンで電源の入/待機を切り換えると、録画中の信号にノイズがはいる場合があります。

■録画予約番組放送終了

● 録画予約を終了し、通常どおり使用できます。
● 録画予約だった場合は、本機前面の「実行」(橙)表示が消えます。ただし、ほかに本機で設定した録画予約がある場合は「予約」(緑)表示は点灯したままです。

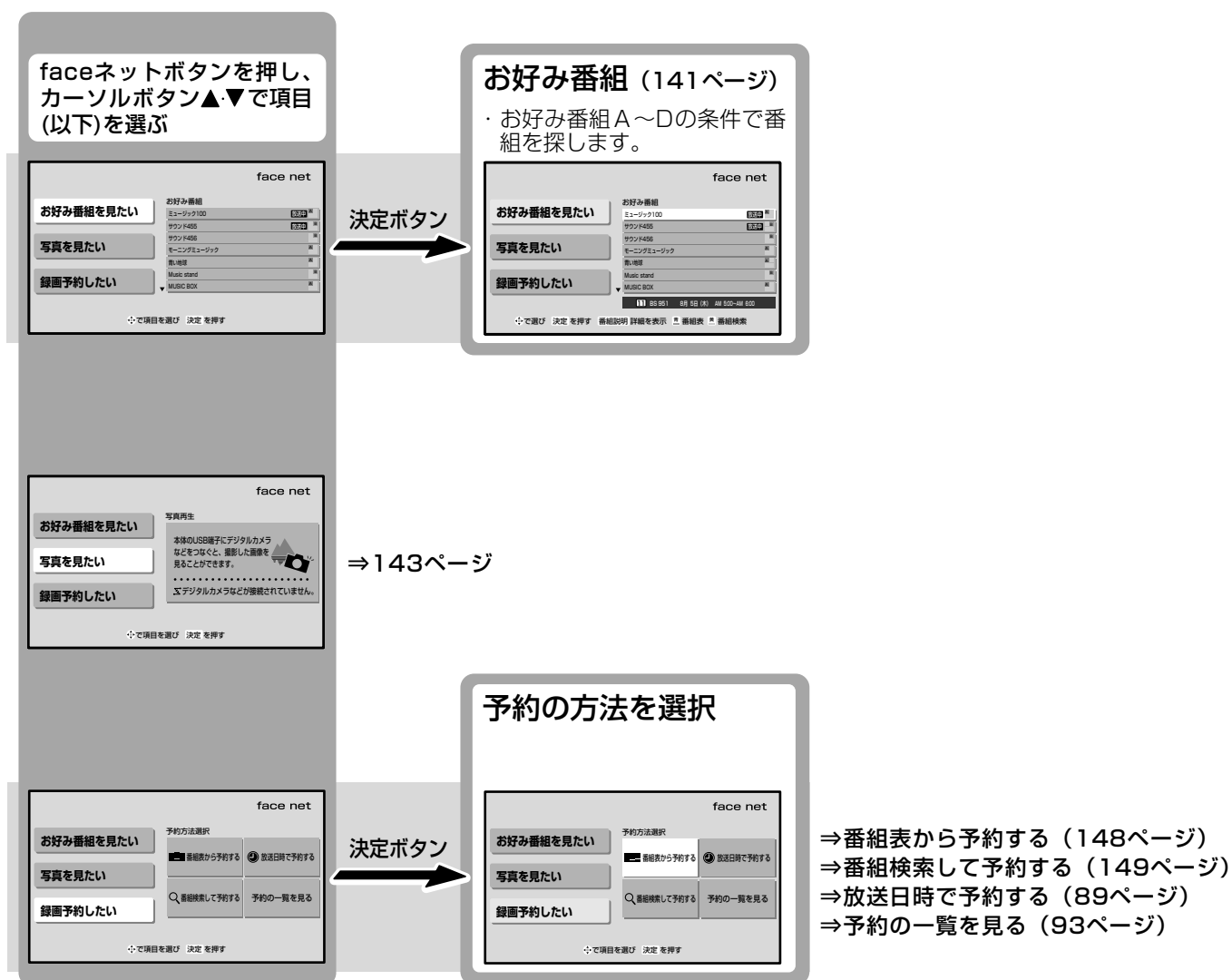
■ご注意

● 本体の電源が「切」の場合、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御は受け付けません。
● ダウンロード実行中の場合、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御は受け付けません。
● 現在番組録画実行中の場合、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御は受け付けません。
● 録画予約実行中の場合、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御は受け付けません。
● 本機での録画予約と時間が重なった場合は、ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの録画予約が中止されます。
● 本機の「ネットdeナビ制御」設定(→134ページ)でビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御が「制御なし」の場合には、ビデオレコーダーからの制御は受け付けません。ビデオレコーダーから制御したい場合は「ネットdeナビ制御」を「制御あり」に設定してください。
● ペイ・パー・ビュー番組の購入は行われません。
(ペイ・パー・ビュー番組の録画はできません。)
● 視聴年齢制限は解除されませんので、ネットdeナビ予約をする場合はあらかじめ視聴年齢制限を「20歳(制限しない)」に設定してください。(→238ページ)
● 二重音声は、通常視聴時の設定で本機から出力されます。
● 映像、音声で複数の信号がある番組の場合は、基本の信号だけが本機から出力されます。
● 「ネットdeナビ予約」で録画中に地上アナログ放送やCATV放送の選局はできます。それ以外の操作はできないものがあります。
● ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御前に、本機の電源が「待機」だった場合、ビデオレコーダーからの録画予約が開始されても、画面には映像やスピーカーから音声は出ません。ビデオレコーダーからの録画予約終了後は「待機」になります。
● ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御中は、ご案内チャンネル(→271ページ)に切り換えることはできません。
● ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御中は、緊急警報放送には対応しません。
● 番組の途中で受信障害になったときや非契約の場合、無信号状態で録画が行われます。
● ビデオレコーダー(東芝RDシリーズ)からの制御中に雨などの影響で電波が弱くなり、通常の放送が受信できなくなった場合で、降雨対応放送が行われている場合は、降雨対応放送に自動的に切り換わります。電波の状態が復帰すると、通常の放送に自動的に戻ります。
● 「ネットdeナビ予約」での録画中は、視聴予約の開始時刻になっても録画を継続します。(視聴予約は実行されません。)

第4章 faceネットを使っていろいろな機能を楽しむ

face ネット早わかり

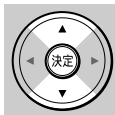
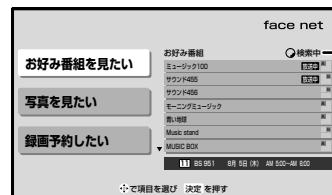
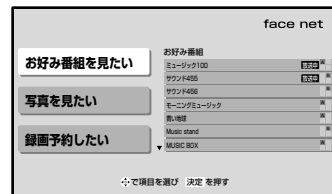
● face ネットは、いろいろな機能への入り口です。
簡単な操作でご希望の機能を、楽しむことができます。

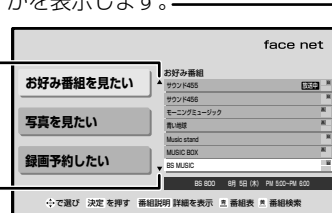
● 下の図は、face ネットでできることを表しています。
（※ 図はイメージです。実際の画面とは異なります。）

お好み番組を見たい

● お好み番組を検索して、選局や予約ができます。
※ あらかじめ検索する条件（ジャンルやキーワードなど）を設定しておく必要があります。（→ 187、235 ページ）

1 faceネットボタンを押す

● faceネット画面になります。

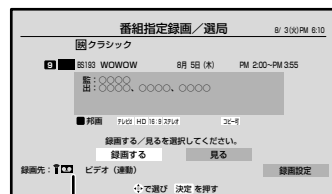
2 カーソルボタン▲·▼で「お好み番組を見たい」を選び、決定ボタンを押す

● お好み番組の検索が行われます。
（検索にはしばらく時間がかかります。）
● 検索する条件で該当する番組が存在しない場合は、その旨のメッセージが表示されます。

お好み番組検索中に表示されます。

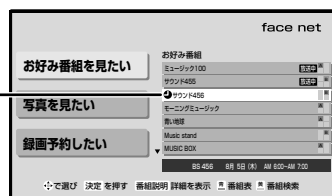
3 カーソルボタン▲·▼で番組を選び、決定ボタンを押す

お好み番組設定(→187、235ページ)のどの条件に合致したのかを表示します。

表示の上、下に▲·▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⏏·⏏で切り換えられます。

現在放送中の番組を選んだとき

● 右の画面が表示されます。
● 選局だけをする場合は、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「見る」を選び、決定ボタンを押してください。

※ **録画もするとき**（地上アナログ放送は録画できません。）
· **以下に操作の概要を説明します。準備も含めて詳しくは「現在番組録画」(→76ページの手順2の操作以降)をご覧ください。**
① **録画先などを確認する**
② **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画する」を選び、決定ボタンを押す**
· 録画が始まります。番組の終了時刻になると録画も終了します。

今後放送される番組を選んだとき

● 予約画面になります。予約の設定をしてください。（→84ページの手順**2**の操作以降）
予約設定が終わるとお好み番組画面に戻ります。予約した番組には、予約アイコン「◕」が表示されます。
お好み番組表示を終了するには、終了ボタンを押してください。
● すでに予約済みの番組を選んだ場合は、予約内容確認／取り消しの画面になります。(→93ページ手順**4**)
※ **地上アナログ放送の場合、録画予約はできません。（視聴予約はできます。）**

「◕」予約アイコン

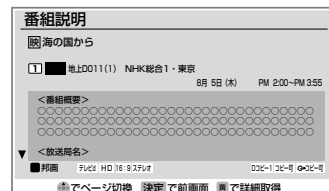
■お好み番組の検索結果について
● 表示される番組数は、最大35番組です。
● 表示される順番は、放送開始時刻の早い番組順です。放送については以下の順番になります。
地上Ａ→地上Ｄ→ＢＳ→110度CS

お好み番組を見たい つづき

こんなこともできます！

■番組についての説明を見たいとき（詳しくは54ページ）

① カーソルボタン▲･▼で番組を選び、番組説明ボタンを押す

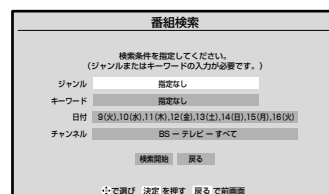
② 説明画面を消すには、決定ボタンを押す

■番組表を表示するには

● お好み番組リスト画面で、青ボタンを押す

・番組表が表示されます。
番組表の詳細については、40ページをご覧ください。

■番組検索をするには

● お好み番組リスト画面で、黄ボタンを押す

・番組検索画面が表示されます。
番組検索の詳細については、46ページをご覧ください。

写真を見たい

- USB マスストレージ（メモリーカードリーダー（ライター）など）に記録した写真（JPEG ファイルの画像）をテレビ画面で見ることができます。
- **USB マスストレージを使用する場合は、あらかじめ接続が必要です。（→ 123 ページ）**
  下の「メモリーカードリーダー（ライター）（USB マスストレージ）を使用するときのお願いとご注意」と 147 ページもよくお読みください。

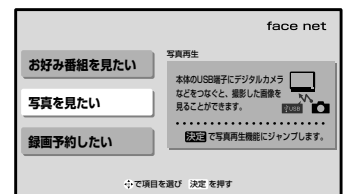
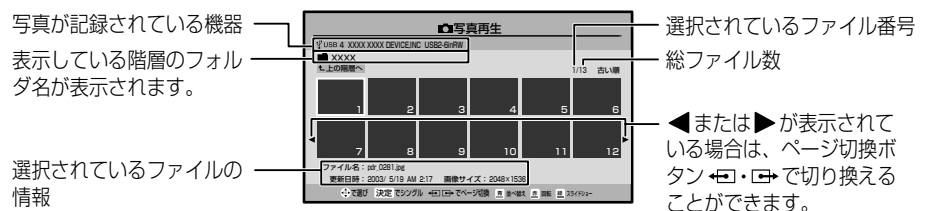
※データのバックアップをとることをおすすめします。

- **本機でご使用になったことでデータが破壊された場合の補償はできませんので、たいせつなデータは本機で使用する前に、あらかじめバックアップをとっておくことをおすすめします。**

1 faceネットボタンを押す

- faceネット画面になります。

2 カーソルボタン▲・▼で「写真を見たい」を選び、決定ボタンを押す

- 最後に使用した機器（USBマスストレージ）の写真やフォルダがマルチ表示されます。
  （電源を切ったり待機にすると、最後に使用した機器にならない場合があります。）

（例）マルチ表示

フォルダを指定する場合

- フォルダの中の写真を見る場合は、以下を行ってください。
  ① **カーソルボタン▲・▼・◀・▶でフォルダを選び、決定ボタンを押す**
  ② **手順①を繰り返して、写真のマルチ表示画面にする**
- 上の階層に移動する場合は、カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「上の階層へ」を選び、決定ボタンを押してください。

［次のページにつづく］

お知らせ

■USBマスストレージについて

- 本機は、マスストレージクラスに対応したUSB機器に対応しています。この取扱説明書ではこの機器のことをUSBマスストレージと呼びます。（USBマスストレージのつなぎかたについては、123ページ参照）

■メモリーカードリーダー(ライター)(USB マスストレージ) を使用するときのお願いとご注意

- USBマスストレージを本機に接続するときや抜くときは、必ず本体の電源を「切」にした状態で行ってください。
- USBマスストレージの動作中には本体の電源を切ったり、電源プラグを抜いたりしないでください。記録されているデータが破壊されるおそれがあります。
- メモリーカードリーダー（ライター）にメモリーカードを挿入するときや抜くときは、必ず本体の電源を「切」にした状態で行ってください。
  本機の電源が「入」や「待機」の状態で行うと、メモリーカードのデータが破壊されるおそれがあります。メモリーカードにアクセス（再生）しているときには、メモリーカードを取り出したりしないでください。
- USBマスストレージの動作や取り扱いなどについては、USBマスストレージの取扱説明書もよくお読みください。

右のメッセージが表示されたとき

- 以下を行ってください。
  ①決定ボタンを押したあと、本体の電源ボタンを押して電源を切る
  ②使用しないUSB機器をはずす
  ③本体の電源を入れる

写真を見たい つづき

3 以下の操作で写真を見る

● 写真をシングル表示で見る場合

- **カーソルボタン▲·▼·◀·▶で写真を選び、決定ボタンを押す**
  - ・選んだ写真が拡大され、シングルで表示されます。

（例）シングル表示

ページ切換ボタン⇐·⇒で最初や最後の写真に切り換えることができます。

前や次の写真を見たいとき

- **カーソルボタン◀·▶で写真を選ぶ**

マルチ表示画面に戻るには

- **戻るボタンを押す**

● スライドショー表示で見る場合

- **マルチ表示やシングル表示のときに、緑ボタンを押す**
  - ・スライドショーモードになります。現在選んでいる写真から自動的に順番に表示されます。

（例）スライドショー表示

ページ切換ボタン⇐·⇒で最初や最後の写真に切り換えることができます。

スライドショーを一時止めるには

- **青ボタンを押す**
  （写真を表示途中の場合はその写真がすべて表示されたところで止まります。）
  - ・再度、青ボタンを押すと、再開されます。

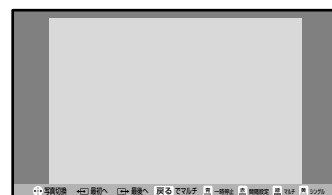
見たい写真を選ぶには

- **カーソルボタン◀·▶で写真を選ぶ**

スライドショー表示を止めて、マルチ表示に戻るには

- **緑ボタンを押す**
  - ・または戻るボタンを押します。

スライドショー表示を止めて、シングル表示に戻るには

- **黄ボタンを押す**

4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

お知らせ

- 手順**3**で写真以外の情報表示を消すには、画面表示ボタンを押します。もう一度画面表示ボタンを押すと、再び表示されます。
- 写真の並べ替え、回転などの機能を使うことができます。（→145ページ）
- スライドショーの表示時間の間隔を変えることもできます。（→145ページ）

こんなこともできます！

● 写真を表示しているときには、以下の機能が使えます。
※147ページもよくお読みください。

表示画面	できる内容	説明ページ
マルチ表示のとき	マルチ表示の写真を並べ替える	145
	写真を回転させる	145
	シームレス表示と通常表示を切り換える	146
	写真が記録されている機器の一覧表示をする	146
シングル表示のとき	写真を回転させる	145
スライドショー表示のとき	スライドショーの表示時間の間隔を変える	145

■マルチ表示の写真を並べ替える

● 写真を更新日時の「古い順」か「新しい順」に並べ替えることができます。お買い上げ時は、「古い順」に設定されています。
※ シームレス表示（→146ページの「本機での写真表示の種類について」参照）のときには、この機能は使用できません。

● マルチ表示でフォルダまたは写真を選んでいるときに、青ボタンを押す

・ 青ボタンを押すごとに次のように切り換わります。
古い順 ←→ 新しい順

・「古い順」‥‥写真やフォルダを更新日時の古い順から表示します。
・「新しい順」‥写真やフォルダを更新日時の新しい順から表示します。

● 写真とフォルダは混合せず、フォルダを先に表示します。

（例）古い順

1ページの左から右へ順番に表示します。

（例）新しい順

■写真を回転させる

● マルチ表示やシングル表示のときに、回転させたい写真を選び、赤ボタンを押す

・ 現在選んでいる画像を時計回りに90度回転させることができます。
・ 赤ボタンを押すごとに90度ずつ回転できます。4回押すともとに戻ります。
※ 写真の回転状態は保存されません。

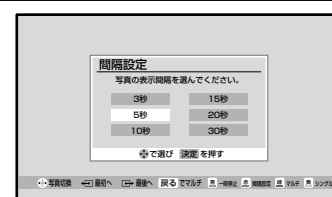
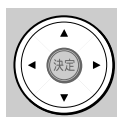
■スライドショーの表示時間の間隔を変える

● スライドショー表示のときに、赤ボタンを押す

・「間隔設定」画面が表示されます。
※ 表示時間の間隔とは、写真の表示を完了してから次の写真の表示をはじめるまでの間のことです。お買い上げ時は、「5秒」に設定されています。
・ 以下の操作で設定してください。

① カーソルボタン▲・▼・◀・▶で表示時間の間隔を選ぶ
・ 3秒、5秒、10秒、15秒、20秒、30秒が設定できます。

② 決定ボタンを押す
・ スライドショー表示に戻ります。

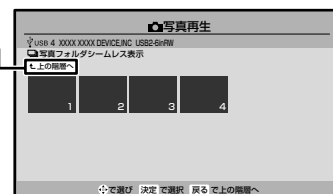
写真を見たい つづき

こんなこともできます！ つづき

■シームレス表示と通常表示を切り換える

※通常表示、シームレス表示については、下の表をご覧ください。

シームレス表示から通常表示に切り換えるには

- カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「上の階層へ」を選び、決定ボタンを押す

(例)シームレス表示

通常表示からシームレス表示に切り換えるには

- USBマスストレージやメモリーカードの第１階層のフォルダ内容を表示しているときに、カーソルボタン▲·▼·◀·▶でシームレス表示アイコンを選び、決定ボタンを押す

(例)通常表示

■写真が記録されている機器の一覧表示をする

① マルチ表示の通常表示のときにカーソルボタン▲·▼·◀·▶で「機器選択」を選び、決定ボタンを押す
- ·「保存機器一覧」が表示されます。

② カーソルボタン▲·▼で機器(写真が記録されている機器やメモリーカード)を選び、決定ボタンを押す
- · 写真やフォルダがマルチ表示されます。(表示には時間がかかる場合があります)

(例)保存機器一覧

■保存機器一覧の表示について

- USBマスストレージの表示される機器数は最大8ですが、複数のスロットを持つUSBマスストレージは、1スロットで1と数えます。最大8を超えた機器、またはスロットについては表示されません。

※本機での写真表示の種類について

表示の種類	説明
マルチ表示	複数の写真やフォルダ（→ 272 ページ）を表示します。 マルチ表示には、通常表示とシームレス表示があります。 **■通常表示** ・複数の写真と、フォルダがある場合にはフォルダも表示されます。 ・表示できる枚数は、フォルダと JPEG ファイルの合計が最大 1000 枚までです。 ※フォルダの階層が深い場合やフォルダ、ファイルの名前が長い場合には表示できない場合があります。 **■シームレス表示** ・複数の写真が表示されます。フォルダは表示されません。 ・第 1 階層にある DCIM フォルダ※1 やその中のフォルダにある JPEG ファイルで、第 6 階層までのフォルダに保存されているファイルのみが表示されます。 ・表示できる枚数は、最大 1000 枚です。 ・写真（JPEG ファイル）の数が多い場合や DCIM フォルダ※1 やその中のフォルダに JPEG 以外のファイルがある場合は表示に時間がかかる場合があります。
シングル表示	1 枚の写真を表示します。
スライドショー表示	写真を自動的に順次表示していきます。

※ 1「DCIM フォルダ」とは … デジタルカメラで写真を撮ったときにその画像ファイルが保存されるフォルダのことで、通常は自動的に作成されます。(詳しくはデジタルカメラの取扱説明書を参照)

■本機で再生できる写真(静止画ファイル)について

- 本機で再生できるファイルの仕様は、下表のとおりです。
  下表以外の場合は再生できません。また、下表の場合でもパソコンのアプリケーションを使って加工や編集をした写真は、再生できないことがあります。
  ※JPEG圧縮ではないファイル(非圧縮のファイルも含みます)や動画ファイルは再生できません。
  ※この取扱説明書で記載している「写真」とは、JPEGファイルを指します。
- **下の「お願い1、2」と「お知らせ1、2」もよくお読みください。**

●本機で再生できる写真(静止画ファイル)

圧縮方式	JPEG 準拠
静止画ファイルフォーマット	Exif ver2.2 準拠
ファイルサイズ	6000pixel x 4000pixel　24MB 以内

■本機が写真再生に対応しているUSBマスストレージのフォーマット

ファイルシステム	FAT12／FAT16／FAT32

- **メモリーカードリーダー(ライター)などへのアクセス中(再生中)は、メモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。**
  記録されているデータが破壊されるおそれがあります。

  ※アクセス中は画面に「アクセス中」アイコン(右図)が表示されます。

【画面】

「アクセス中」アイコン

- メモリーカードの金属部(金色の部分)にゴミや異物がつかないように、また触れないように注意してください。よごれは乾いた柔らかい布でふいてください。
- 正しく再生されないときは、メモリーカードの金属部(金色の部分)をきれいにして挿入してください。
- メモリーカードのインデックスエリアには、各メモリーカードに付属のインデックスラベルを使用してください。市販のラベルなどは貼らないでください。カードの出し入れの際にはがれてカードが取り出せなくなったり、ラベルが残って故障の原因になったりすることがあります。

■以下のメッセージが表示されたときは画像を再生できません。

メッセージ表示	原因・対処のしかた
「JPEGファイルが表示できませんでした。」	●規格外で画像の読み出しができません。本機で対応しているフォーマット(上の表)の画像を使用してください。
「フォルダ、JPEGファイルがありません。」	●表示できるファイルがありません。画像データの記録されたメモリーカードを使用してください。
「機器(メディア)にアクセスできません。」	●フォーマットエラーの可能性があります。上の「本機が写真再生に対応しているUSBマスストレージのフォーマット」のファイルシステムでフォーマットされていることをご確認ください。また、本機で対応している静止画のフォーマット(上の表)のファイルであることをご確認ください。 ●USBマスストレージに正常にアクセスできなくなった可能性があります。本体の電源を「切」にしてから、USBケーブルが接続されていることや、メモリーカードが奥までしっかり挿入されていることをご確認ください。
「機器(メディア)が挿入されていません。」	●USBマスストレージを正しくつないでください。またはメモリーカードを挿入してください。

- メモリーカードなどに記録されている容量によっては、記録されているファイルをすべて再生できない場合があります。
- メモリーカードの容量やメーカーによっては、使用できない場合があります。
- 本機で認識できるファイル名、ファイル数、フォルダ数などには制限があります。パソコン上で表示されるファイルやフォルダが本機では表示されない場合があります。

録画予約したい

●以下ができます。

・番組表から予約する ⇒ 148ページ
・番組を検索して予約する ⇒ 149ページ
・放送日時で予約する ⇒ 89ページ
・予約の一覧を見る（予約内容確認／取り消し）⇒ 93ページ

番組表から予約する

1 faceネットボタンを押す

●faceネット画面になります。

2 カーソルボタン▲·▼で「録画予約したい」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「番組表から予約する」を選び、決定ボタンを押す

●番組表が表示されます。
（番組表の詳細については、40ページをご覧ください。）

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で番組を選び、決定ボタンを押す

現在放送中の番組を選んだとき

●右の画面が表示されます。
●選局だけをする場合は、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「選局」を選び、決定ボタンを押してください。

※ **録画もするとき**（地上アナログ放送は録画できません。）

・**以下に操作の概要を説明します。準備も含めて詳しくは「現在番組録画」（→76ページの手順2の操作以降）をご覧ください。**

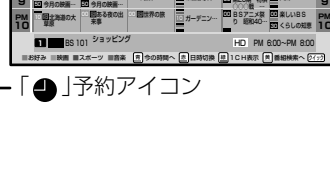
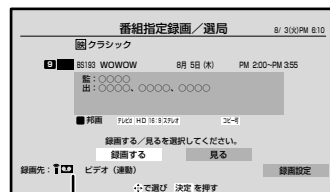
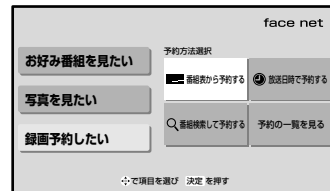
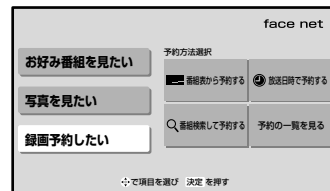
① 録画先などを確認する

② カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「録画」を選び、決定ボタンを押す

・録画が始まります。番組の終了時刻になると録画も終了します。

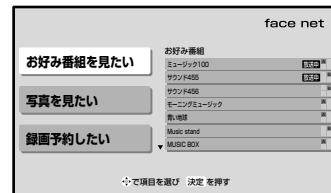
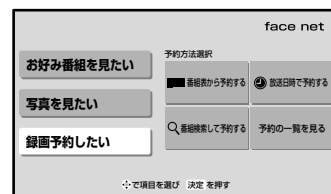
今後放送される番組を選んだとき

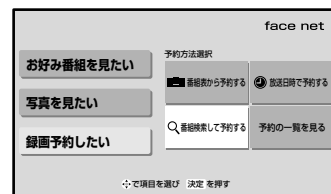
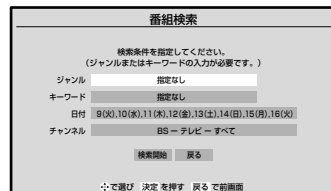
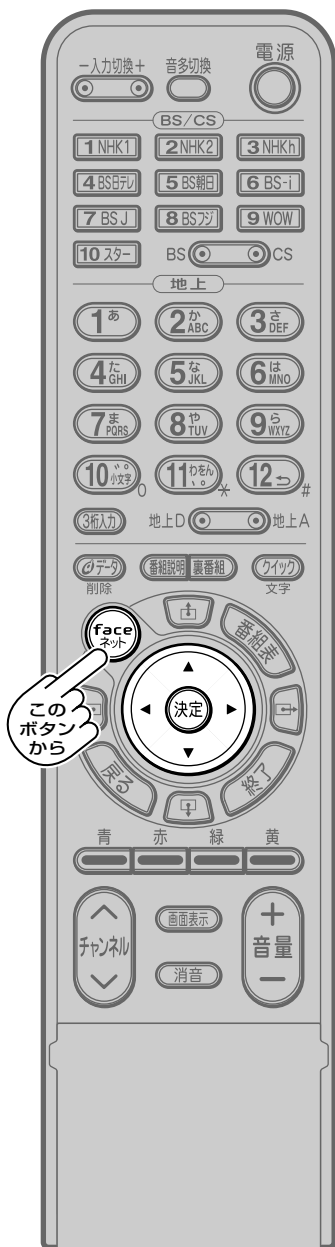
●予約画面になります。予約の設定をしてください。（→76ページの手順**2**以降の操作）
予約設定が終わるとfaceネットの番組表画面に戻ります。予約した番組には、予約アイコン「◕」が表示されます。
番組表表示を終了するには、終了ボタンを押してください。
●すでに予約済みの番組を選んだ場合は、予約内容確認／取り消しの画面になります。（→93ページ手順**4**）

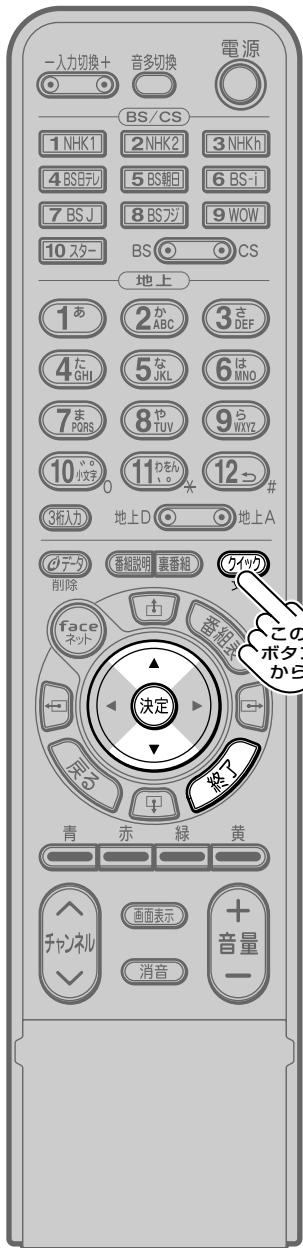
※地上アナログ放送の場合、録画予約はできません。（視聴予約はできます。）

「◕」予約アイコン

番組を検索して予約する

1 faceネットボタンを押す

● faceネット画面になります。

2 カーソルボタン▲･▼で「録画予約したい」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「番組検索して予約する」を選び、決定ボタンを押す

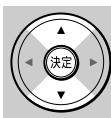
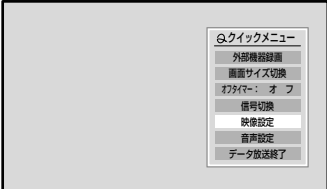
●番組検索画面が表示されます。
（番組検索の詳細については、46ページをご覧ください。）

4 46ページ手順2以降を行う

第5章 お好みやご使用状態に合わせて設定する

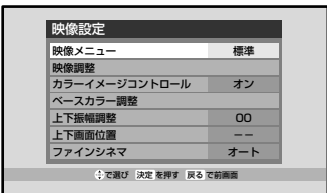
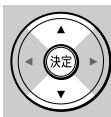
映像の設定

お好みの映像を映像メニューから選ぶ

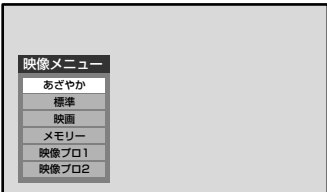
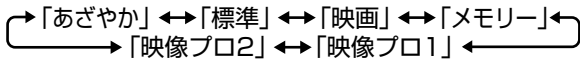
● お買い上げ時は「標準」に設定されています。

1 クイックボタンを押す

● クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲・▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

● 映像設定メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲・▼で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

● 映像メニューが表示されます。

4 カーソルボタン▲・▼でお好みの映像を選び、決定ボタンを押す

● カーソルボタン▼(▲は逆まわり)を押すごとに以下の順に切り換わります。

→「あざやか」↔「標準」↔「映画」↔「メモリー」←
「映像プロ2」↔「映像プロ1」←

※詳しくは、下表をご覧ください。

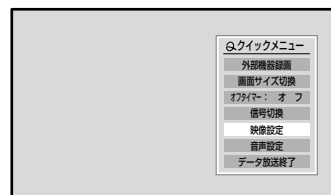
5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

● メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。
● 「あざやか」「標準」「映画」の設定状態から「映像調整」(次ページ参照)をすると自動的に「メモリー」モードになります。
● ゲーム画面のときは映像メニューの切り換えはできません。

映像メニュー	内　容
あざやか	明るく、迫力ある映像で楽しむとき
標準	お部屋で落ち着いた雰囲気で楽しむとき
映画	お部屋を少し暗くして映画館のような雰囲気で楽しむとき （暖かみのある色あいを再現します。）
メモリー	お好みに調整した映像で楽しむとき （調整方法は153ページをご覧ください。）
映像プロ1、 映像プロ2	上の「メモリー」とは別の調整した映像を選べます。 （154ページをご覧ください。）

お好みの映像に調整する

● 調整した映像は、映像メニューの「メモリー」に記憶されます。ただし、「映像プロ1」「映像プロ2」を選んでいた場合は、映像プロ1、映像プロ2に設定されます。(→154ページ)

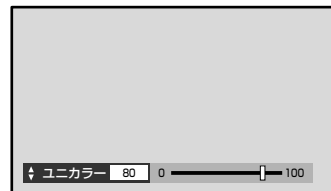
1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲・▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「映像調整」を選び、決定ボタンを押す

● 「映像調整」画面になります。

3 カーソルボタン▲・▼で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

● 調整項目の詳しい内容については、下表をご覧ください。
● 「詳細調整」をする場合は、155ページをご覧ください。

4 カーソルボタン◀・▶でお好みの映像に調整し、決定ボタンを押す

● 調整画面では、カーソルボタンを押さないと、数秒で「映像調整」画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

調整項目	内　容	カーソルボタン ◀・▶
ユニカラー	コントラスト・明るさ・色の濃さが同時に調整できます。	00 〜 100 淡くなる⇔濃くなる
明るさ	お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。	00 〜 100 暗くなる⇔明るくなる
黒レベル	黒の階調を調整します。(黒髪などの見やすさを調整できます。)	−50 〜 +50 暗くなる⇔明るくなる
色の濃さ	色の濃さが調整できます。	−50 〜 +50 淡くなる⇔濃くなる
色あい	肌色などが調整できます。	−50 〜 +50 紫っぽくなる⇔緑っぽくなる
画質	映像の鮮明さが調整できます。	−50 〜 +50 やわらかい映像になる⇔くっきりした映像になる
詳細調整	さらに細かく映像を調整できます。	155ページをご覧ください。
初期設定に戻す	調整した項目をお買い上げ時の状態に戻します。	

● メニューボタン(リモコンとびら内)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。
● 手順**4**でカーソルボタン▲・▼を押すと、他の調整項目に移ります。

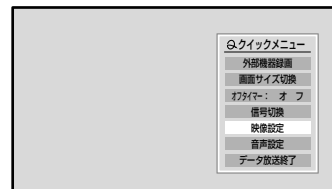
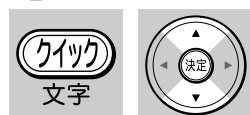
映像の設定 つづき

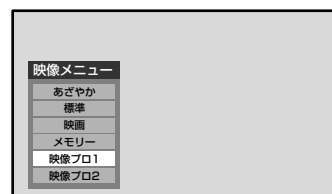
お好みの映像に調整する つづき

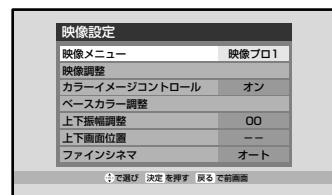
映像プロ1、映像プロ2に設定する場合

- 通常は「あざやか」、「標準」、「映画」、「メモリー」の映像設定でご覧いただけます。
- さらに、お好みに調整した状態を「映像プロ１」、「映像プロ2」に別々に保存して、使用することができます。調整項目とはたらきは、どちらもまったく同じです。

■映像プロ 1、映像プロ 2 に設定する

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「映像メニュー」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「映像プロ1」または「映像プロ2」を選び、決定ボタンを押す

4 153ページの手順**2**〜**5**の操作で映像を調整する

- 調整が終わると、映像プロ1、または映像プロ2に記憶されます。

（映像プロ1を選んだ場合）

- メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

詳細調整をする場合

- さらに細かく映像を調整できます。

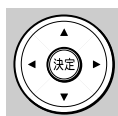
1 153ページの手順3で「詳細調整」を選び、決定ボタンを押す

- 「詳細調整」画面になります。

2 カーソルボタン▲·▼で調整する項目を選び、決定ボタンを押す

- 調整項目については下の表をご覧ください。

3 カーソルボタン◀·▶または▲·▼でお好みの映像に調整し、決定ボタンを押す

- 数字の調整項目は、カーソルボタン◀·▶で調整してください。それ以外は、カーソルボタン▲·▼でレベルを選び、決定ボタンを押してください。

いくつもの項目を調整するときは、手順 2、3 を繰り返す

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■「詳細調整」の項目について

映像の何を調整するか？	詳細調整項目		調整レベル	映像状態
色あいの調整 映像のホワイトバランスや肌色などを好みに合わせて生彩にします。	色温度[※1]		「低」「中」「高」	色調を調整します。 低：暖色系、高：寒色系
	色温度「低」「中」「高」	Gドライブ[※2]	−15〜00〜+15	明るい部分の色温度を微調整します。 「+」方向で緑(G)または青(B)が強くなります。
		Bドライブ[※2]	−15〜00〜+15	
階調の調整 映像の明部と暗部のコントラストのバランスを細かく調整します。	ダイナミックガンマ		「オン」「オフ」	それぞれのシーンに最適な階調を調整し、メリハリ感のある映像に補正します。
ノイズ量の調整 映像のノイズ量を調整します。	MPEG NR		「オフ」「弱」 「中」「強」	デジタル放送、DVDなどの画像の細かなちらつきを減らす機能です。 ・強くかけると精細感をそこなう場合があります。
	DNR[※3]		「オフ」「弱」「中」 「強」「オート」	画像のざらつきノイズを減らす機能です。 ・強くかけると残像が気になる場合があります。 通常は「オート」に設定してご使用ください。

※ 1 色温度調整は、まずカーソルボタン▲·▼で「低」「中」「高」を選び、決定ボタンを押します。そのあと、GドライブとBドライブのそれぞれの調整をしてください。
※ 2 Gドライブ、Bドライブの2項目は、明るい画面と暗い画面の色温度が最適になるようにそれぞれ交互に調整してください。
※ 3 DNRは、525i(480i)の信号を受信しているときのみはたらきます。

映像調整をお買い上げ時の状態に戻すとき

- 153ページの手順3で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す

色を細かく調整する場合(カラーイメージコントロール)

カラーイメージコントロールのオン／オフを設定する

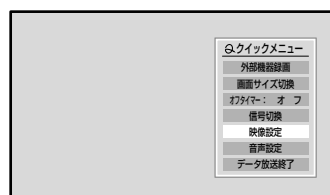
- 「ベースカラー調整」(→157ページ)を使用する場合には「オン」に設定します。
  (お買い上げ時は「オン」に設定されています。)

1 クイックボタンを押す

クイック 文字

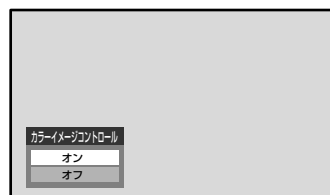
- クイックメニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

クイックメニュー
外部機器録画
画面サイズ切換
オフタイマー： オ フ
信号切換
映像設定
音声設定
データ放送終了

3 カーソルボタン▲·▼で「カラーイメージコントロール」を選び、決定ボタンを押す

映像設定	
映像メニュー	映像プロ1
映像調整	
カラーイメージコントロール	オン
ベースカラー調整	
上下振幅調整	00
上下画面位置	ーー
ファインシネマ	オート

で選び 決定 を押す 戻る で前画面

4 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- メニューボタン(リモコンとびら内)を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

ベースカラーの調整をする

● レッド、グリーン、ブルーなどの色ごとに色あいや色の濃さを調整できます。

1 以下の操作で、「ベースカラー調整」の画面にする

① クイックボタンを押す
② カーソルボタン▲·▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「ベースカラー調整」を選び、決定ボタンを押す

映像設定	
映像メニュー	映像プロ1
映像調整	
カラーイメージコントロール	オン
ベースカラー調整	
上下振幅調整	00
上下画面位置	−−
ファインシネマ	オート

2 カーソルボタン▲·▼で調整したい色を選び、決定ボタンを押す

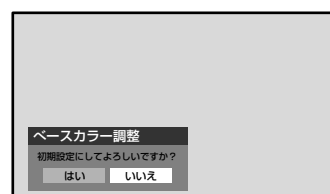
ベースカラー調整	色あい	色の濃さ
レッド	00	00
グリーン	00	+03
ブルー	00	+06
イエロー	00	00
マゼンタ	00	00
シアン	00	00
初期設定に戻す		

3 以下の操作でお好みの色に調整する

① カーソルボタン◀·▶で色あいを調整する
・ 調整中に赤ボタンを押すと、調整前の色に戻ります。

② 青ボタンを押し、カーソルボタン◀·▶で色の濃さを調整する
③ 色の調整が終わったら、決定ボタンを押す

調整した色をお買い上げ時の状態に戻す場合

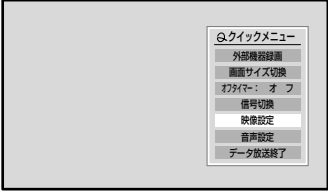
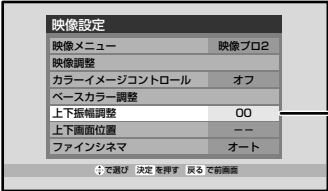
● 以下の操作をすると、すべての色がお買い上げ時の状態に戻ります。
① カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す
② カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

いくつもの色を調整する場合は、手順 2、3 を繰り返す

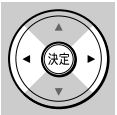
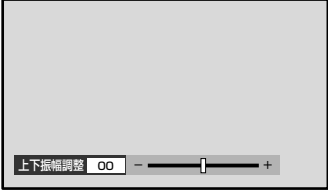
4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

● ベースカラーの調整範囲は−15〜＋15です。
● メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

映像の設定 つづき

上下振幅調整／上下画面位置調整

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「上下振幅調整」または、「上下画面位置」を選び、決定ボタンを押す

※「－－」が表示されている場合は、調整できません。

3 カーソルボタン◀·▶でお好みの状態に調整し、決定ボタンを押す

- 上下振幅や映像の位置は、－03～＋03の範囲で調整できます。
- カーソルボタン▲·▼でも調整できます。
- 調整画面ではカーソルボタンを押さないと数秒でメニュー画面に戻ります。
- 画面サイズによっては調整できない場合があります。下の表をご覧ください。

（上下振幅調整の場合）

4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

■上下振幅調整と上下画面位置調整ができる画面サイズ

画面サイズ ＼ 調整項目	スーパーライブ	ズーム	映画字幕	フル（ゲームフル）	ノーマル（ゲームノーマル）
上下振幅調整／上下画面位置調整	○	○	○	×	×

- ○印が調整できます。×印は調整できません。

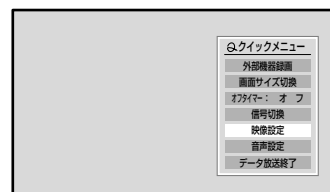
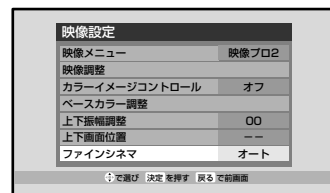
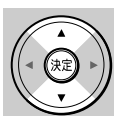
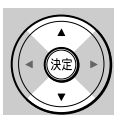
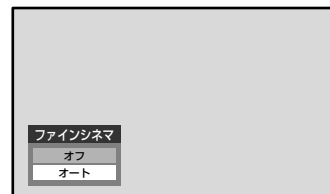
- ズームまたは映画字幕のとき調整値を大きくするとチャンネル番号やメニューの文字および放送局からのメッセージなどが隠れてしまうことがあります。
- メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

■上下振幅調整について

- ビデオの再生時などで、上下振幅調整を00～－03にすると画面の上下にノイズが出ることがあります。このノイズが気になるときは上下振幅調整で画面を大きくしてご覧ください。
- 上下振幅調整で画面を大きくした場合、画面サイズ切換をした際に、番組表などの画面表示が一部欠ける場合があります。

ファインシネマ設定

- 映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現する機能です。
- お買い上げ時は「オート」に設定されています。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「映像設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ファインシネマ」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「オート」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

- カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。
  オート←→オフ

- 以下を参考にして選んでください。
  - ・ オート… 映画ソフトなどの1秒間に24コマの映像をテレビ用の30コマに変換した映像を受信したとき、自動的に本来の映画ソフトのもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。
  - ・ オフ…… 従来の30コマに変換した映像で再現します。

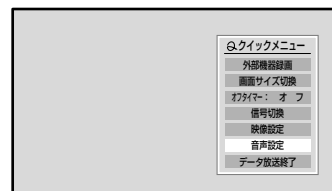
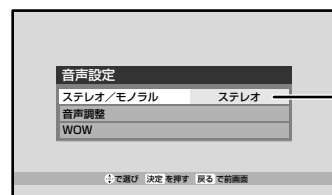
4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

- ファインシネマ機能がはたらくのは、次の場合です。
  ・地上アナログ放送、またはビデオ入力からの525i信号で、画面サイズ切換えをノーマル、フル、またはスーパーライブにしているとき。（➞55ページ）
  （デジタル放送からの信号のときは、はたらきません。）
- ファインシネマの設定を「オート」にした場合で映像に違和感がある場合には、ファインシネマの設定を「オフ」にしてご使用ください。
- メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「映像設定」を選ぶこともできます。

音声の設定

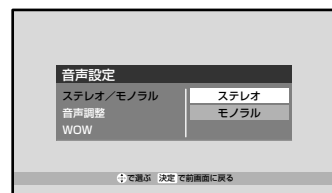
ステレオ/モノラルの設定

● 電波の弱いステレオ放送のときに、音声にノイズがでることがあります。その場合、以下の操作で「モノラル」に設定することで、聴きやすくなります。
● お買い上げ時は「ステレオ」に設定されています。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ/モノラル」を選び、決定ボタンを押す

※「－－」が表示されている場合は、設定できません。

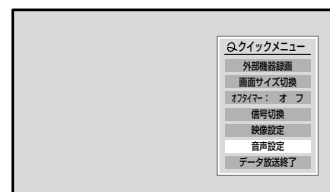
3 カーソルボタン▲·▼で「ステレオ」または「モノラル」を選び、決定ボタンを押す

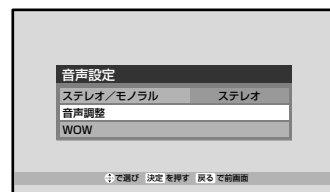
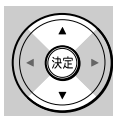
● カーソルボタンを押すごとに交互に切り換わります。

ステレオ ←→ モノラル

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

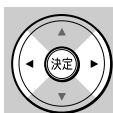
● 「モノラル」に設定されているときは、ステレオ放送のときでも「ステレオ」になりません。その場合は、表示画面右上に「モノラル選択中」と表示されます。
● ステレオ/モノラル設定は地上アナログ放送やCATV放送受信時に設定できます。ビデオ入力やデジタル放送受信時は設定できません。
● メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。

お好みの音声に調整する

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「音声調整」を選び、決定ボタンを押す

● 「音声調整」画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で調整したい項目を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン◀·▶でお好みの音声に調整し、決定ボタンを押す

● 各項目の調整画面では、カーソルボタンを押さないと数秒で「音声調整」画面に戻ります。

いくつもの項目を調整するときは、手順 3、4 を繰り返す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

調整項目	カーソルボタン ◀·▶
バランス	−50 〜 +50 左の音が強調される⇔右の音が強調される
高音	−50 〜 +50 高音が軽減される⇔高音が強調される
低音	−50 〜 +50 低音が軽減される⇔低音が強調される

■デジタル機器からのD4映像入力時の音声調整について

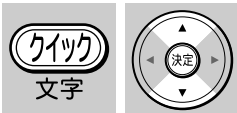
● テレビや映像入力、S2映像入力時の音声とは別に、D4映像入力用の音声設定に、自動的に切り換わります。
● お好みに調整した、高音、低音はテレビや映像入力、S2映像入力時とは別にD4映像入力時用に設定できます。
● お好みに調整した音声は、D端子をはずしても設定されていますので、続けてご利用になれます。
※同一A/V機器から、D端子映像出力とこれ以外の映像出力が本機に入力されている場合、映像の状態によってA/V機器からの出力が異なったとき、音声調整状態が変わることがあります。

お知らせ

● メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。
● 手順**4**でカーソルボタン▲·▼を押すと、他の調整項目に移ります。

WOW設定

● SRS WOWをご使用いただくと、テレビからの音声をより豊かな音場でお楽しみになれます。
SRS WOWは以下の三つの技術（下の表）を融合した音質改善技術です。
これらの三つの機能を同時に使用したときに、SRS WOWとしての効果が充分発揮されます。

1 クイックボタンを押し、カーソルボタン▲·▼で「音声設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「WOW」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で設定する項目を選び、決定ボタンを押す

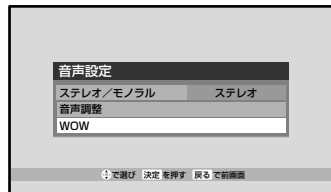
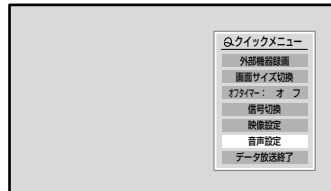
● それぞれの設定画面になります。
● 各設定項目については、下表をご覧ください。

4 カーソルボタン▲·▼で設定状態を選び、決定ボタンを押す

いくつもの項目を設定するときは、手順 3、4 を繰り返す

5 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

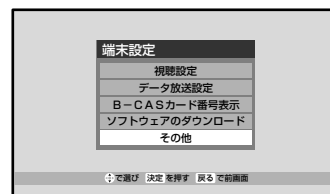
設定項目		手順 4 の設定状態と内容	お買い上げ時の状態
WOW	SRS 3D	ステレオ音声を自然な広がり感を持ったサラウンドで再生する機能です。 オン ⟷ オフ	オフ
	FOCUS	ドラマのセリフや楽器の音の輪郭を明瞭にして聞きやすくする機能です。 オン ⟷ オフ	オン
	TruBass	豊かな低音を再生する機能です。 （2段階で強調の設定ができます。） オフ → 弱 → 強	強

● WOW、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc.の商標です。
● WOWはSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

● メニューボタン（リモコンとびら内）を押してメニューから「音声設定」を選ぶこともできます。
● 音声によってはWOWの各設定項目の設定を変えても、効果が分かりにくい場合があります。
● SRS 3Dは、音声多重放送を受信しているときにははたらきません。

省エネ設定

省エネ設定

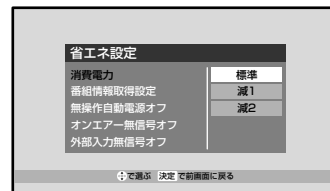
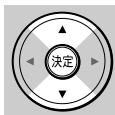
1 以下の操作で「端末設定」の「その他」画面にする

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「省エネ設定」を選び、決定ボタンを押す

- 省エネ設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定する項目を選び、決定ボタンを押す

- それぞれの設定画面になります。
- 各設定項目については、下表をご覧ください。

4 カーソルボタン▲·▼で設定状態を選び、決定ボタンを押す

いくつもの項目を設定するときは、手順 3、4 を繰り返す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

設定項目	手順 4 の設定状態と内容	お買い上げ時の状態
消費電力	画面全体の明るさを変えて、消費電力を低減するモード ・標準 ‥‥‥ 明るく迫力ある普通モード ・減 1 ‥‥‥ 明るさをおさえて、見やすい映像モード※ ・減 2 ‥‥‥ 明るさを減 1 よりさらにおさえた映像モード※	標準
番組情報取得設定	電源待機中にデジタル放送の番組情報を自動的に受信するか、しないかの設定です。 ・取得する ‥‥‥‥‥ 電源待機中に自動処理を行います。 ・取得しない ‥‥‥‥ 電源待機中に自動処理を行いません。 ［お知らせ］ ● 「取得しない」に設定した場合で電源を待機にしたときは、HDD&DVDビデオレコーダーからの「ネットdeナビ予約」を使用した制御はできません。（→134ページ） ● 「取得しない」の状態でも録画予約、視聴予約、任意ダウンロードなどは実行されます。	取得する
無操作自動電源オフ	テレビの無操作状態が約 3 時間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ‥‥‥‥ 無操作状態が約 3 時間続くと電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ‥‥‥‥ 無操作状態が続いても電源が切れません。	動作しない
オンエアー無信号オフ	放送受信時に、無信号状態が約 15 分間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ‥‥‥‥ たとえば、テレビ放送を見ていて放送が終了して、無信号状態が約 15 分間続くと自動的に電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ‥‥‥‥ 無信号状態が続いても電源が切れません。 （外部入力時は機能しません。）	待機にする
外部入力無信号オフ	外部入力時に、無信号状態が約 15 分間続くと電源を切り待機状態にします。 ・待機にする ‥‥‥‥ 無信号状態が約 15 分間続くと自動的に電源が切れ待機状態になります。 ・動作しない ‥‥‥‥ 無信号状態が続いても電源が切れません。	待機にする

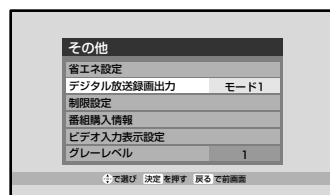
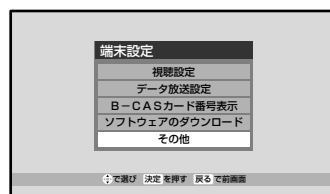
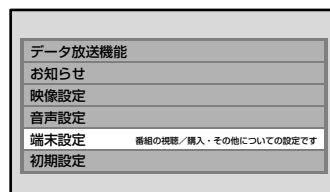
※消費電力設定を「減1」または「減2」に設定した場合は、電源を入れたときにその旨のメッセージが数秒間表示されます。

デジタル放送録画出力の設定

デジタル放送録画出力の設定

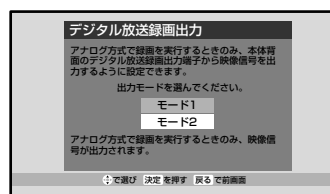
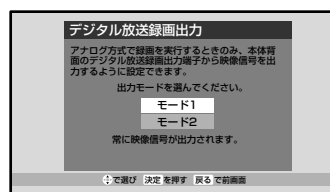
- 現在番組録画や録画予約を実行しているときだけ、本機背面の「デジタル放送録画出力」端子から映像信号が出るように設定することができます。
- ビデオの「入力自動録画機能」(ビデオの外部入力端子に信号が入力されるとビデオが自動的に録画を行う機能)を使って予約録画する場合は「モード2」に設定してください。
- お買い上げ時は「モード1」に設定されています。

1 以下の操作で「端末設定」の「その他」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「デジタル放送録画出力」を選び、決定ボタンを押す

- 「デジタル放送録画出力」設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で「モード1」または「モード2」を選び、決定ボタンを押す

- モード1‥‥ モード2以外の場合でも、背面「デジタル放送録画出力」端子から信号を出力します。
- モード2‥‥ 映像信号については、現在番組録画や録画予約の実行中のときだけ、背面の「デジタル放送録画出力」端子から信号を出力します。(音声信号は、上記の動作にかかわらず出力されます。)

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 上記の設定に関わらず、本体の電源を切った場合は、背面の「デジタル放送録画出力」端子から信号は出力されません。
  本機の電源を「待機」にした場合は、現在番組録画や録画予約の実行中のみ信号は出力されます。

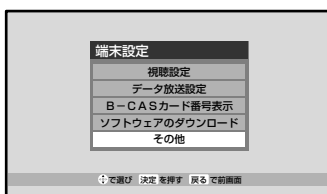
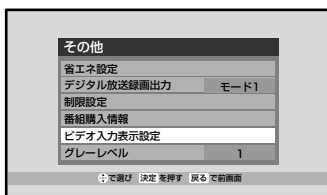
ビデオ入力表示の設定

ビデオ入力表示の設定

ビデオ入力表示を変更する

● ビデオ入力1～3を選んだときに表示される機器名(ビデオ、DVDなど)を、接続する機器に合わせて変更することができます。

1 以下の操作で「端末設定」の「その他」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ビデオ入力表示設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で設定するビデオ入力を選び、決定ボタンを押す

● 機器名のリストが表示されます。

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定する機器名を選び、決定ボタンを押す

● 表示させない場合は、「表示しない」を選んでください。

いくつものビデオ入力表示を変更するときは、手順3、4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

● 「ゲーム」に変更したビデオ入力を選ぶと、ゲームに適した画質と画面サイズに切り換わります。
● お買い上げ時の状態
ビデオ1：VTR
ビデオ2：VTR
ビデオ3：ゲーム

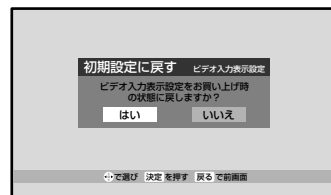
ビデオ入力表示をお買い上げ時の状態に戻す

● お買い上げ時の状態については、「お知らせ」をご覧ください。

1 左側の手順1、2の操作を行い、「ビデオ入力表示設定」画面にする

2 カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

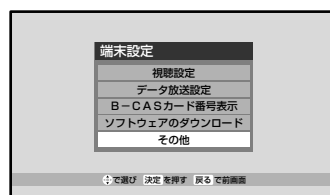
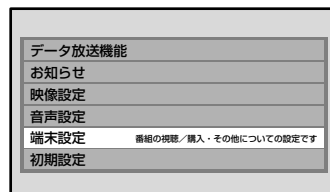
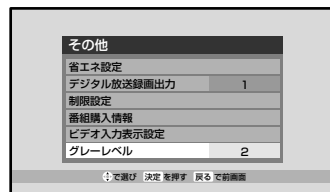
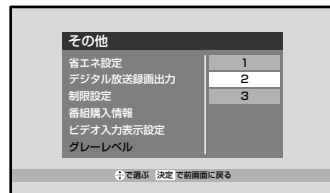
● お買い上げ時の状態に戻り、「ビデオ入力表示設定」画面になります。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

グレーレベルの設定

グレーレベルの設定

- 画面サイズをノーマルモードに切り換えたとき(→55ページ)に、画面の左右に出る帯の明るさを設定することができます。
- お買い上げ時は「2」に設定されています。

1 以下の操作で「端末設定」の「その他」画面にする

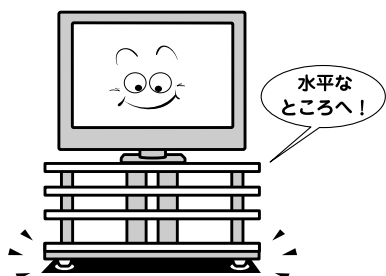
①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「グレーレベル」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼でお好みの状態を選び、決定ボタンを押す

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

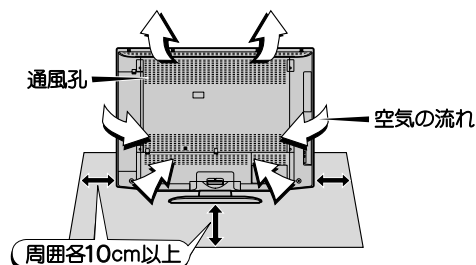
第6章 最初の設置・接続・設定

テレビを設置する

●設置の前に「安全上のご注意」、「使用上のお願いとご注意」（→９～17ページ）を必ずお読みください。

■正しい置きかた

■ 丈夫で水平な安定した所に設置してください。

■周囲からはなして置いてください。

● 通風孔をふさがないように本機から10cm以上あける。

警告

■ 本機は電源コンセントから電源プラグが抜き易いように設置する

万一の異常や故障のとき、または長期間ご使用にならないときなどに役立ちます。

■転倒防止について

● テレビにお子様が登ったり、押したりするとテレビが倒れるおそれがあります。地震などの非常時の安全確保のために、転倒防止の実施をお願いします。

注意

■ 転倒防止の処置を行うこと

転倒防止の処置を行わないと、テレビが転倒し、けがの原因となることがあります。

● 壁または柱などに固定するとき

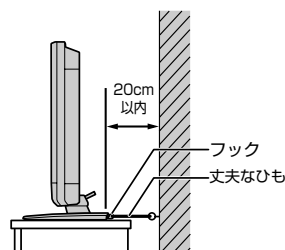
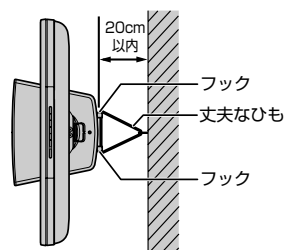
● スタンド背面のフックを使用し、確実に支持できる壁または柱などを選び、丈夫なひもで床と水平に引張り取り付けてください。移動するときは、ひもをはずしてください。

※設置後、液晶テレビを撤去したときに壁や柱に取付ネジの穴が残ります。

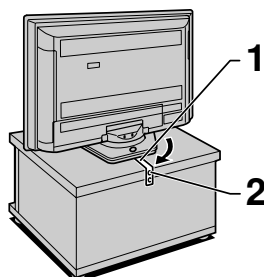
（横から見た図）

20cm以内
フック
丈夫なひも

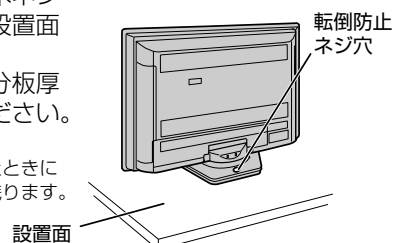
（上から見た図）

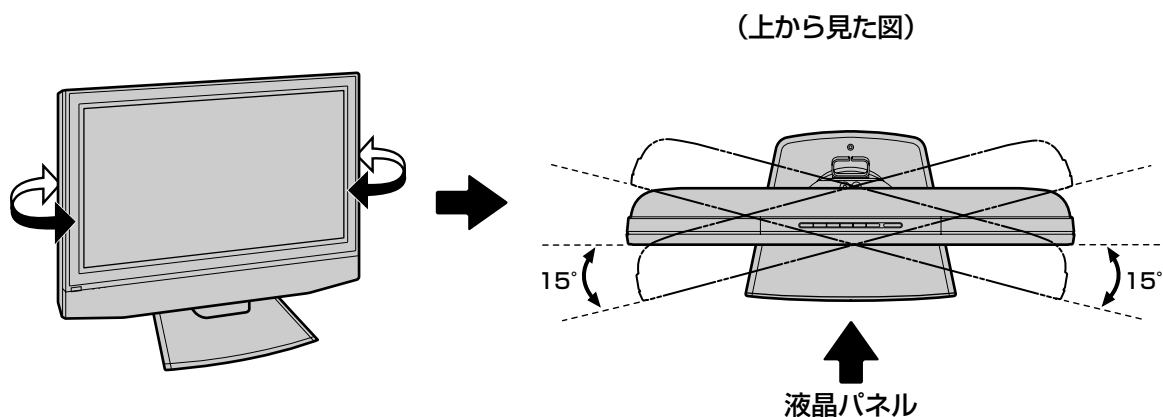
20cm以内
フック
丈夫なひも
フック

● 転倒防止バンドを使用して固定するとき

1 卓上スタンドの底面に取り付けられている転倒防止バンドを図のように回転させる

2 設置する台の、確実に支持できる背面に転倒防止バンドを木ネジ（市販品）で固定する

● 転倒防止ネジ穴を使用して固定するとき

転倒防止ネジ穴を使って木ネジ（市販品）でスタンドと設置面をしっかりと固定する。
材質のしっかりした、十分板厚のある場所に固定してください。

※設置後、液晶テレビを撤去したときに設置した面に取付ネジの穴が残ります。

■本機を見やすい角度に調整する場合

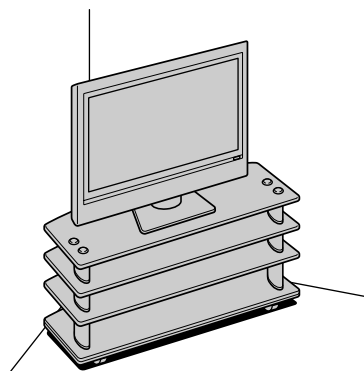
● スタンドは、左右方向に約 15°ずつ回転します。
● 見やすい角度に調整してお使いください。
（本機がずれたり倒れたりしないよう、スタンド部分をしっかり押さえて調整してください。）

■壁に取り付けて使う場合

● 本機は別売りの壁取付金具（FPT-TA7）を使って、壁に取り付けて使用することができます。
（詳しくは、壁取付金具の取扱説明書をご覧ください。）

● 壁に取り付ける場合は、安全と性能確保のため、必ずお買い上げの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
● 取りはずした部品類は、もとに戻す場合に必要となりますのでたいせつに保管してください。

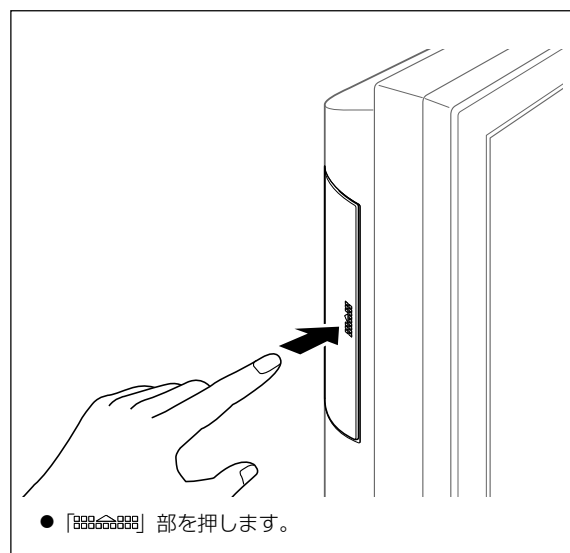
■フロアスタンドに設置する場合

● 別売りの液晶テレビ用フロアスタンド（RL-F80）に載せて設置するとコーナーにスッキリ置けます。
（詳しくは、液晶テレビ用フロアスタンドの取扱説明書をご覧ください。）

別売りの液晶テレビ用フロアスタンドには
RL-F80 のほかに、RL-F120 もあります。

B-CAS（ビーキャス）カードの装着のしかた

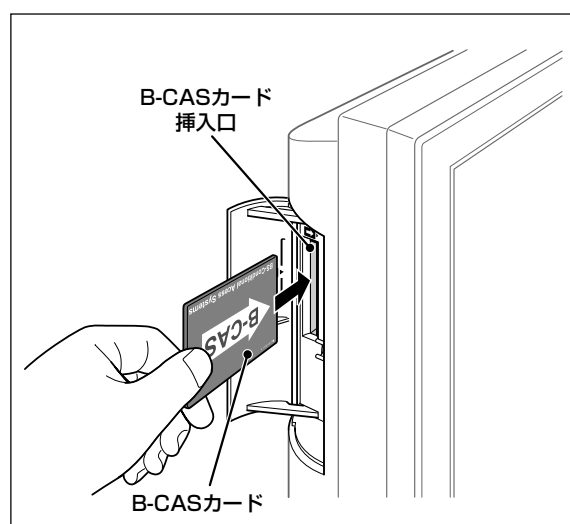
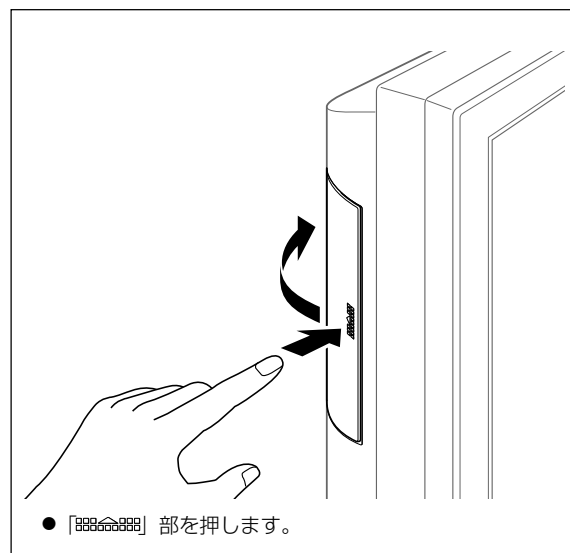
- **同梱のB-CAS（ビーキャス）カードは、放送の受信や「放送局からのお知らせ」の受信などに必要です。常に本体に挿入しておいてください。**
- 同梱のB-CAS（ビーキャス）カードの説明紙についている「加入申込書用バーコードシール」は、受信契約をする際に付属の加入申込書に必ず貼ってください。
- 「必ずお読みください」の「同梱のB-CAS（ビーキャス）カードについて」（→ 18ページ）も必ずご覧ください。

1 本体左側面のとびらをあける

●「　」部を押します。

2 B-CASカードをカード差し込み口に入れる

- B-CASカードの向きは、B-CASカードの絵柄面が本体前面側になります。左側面とびら内の表示を確認しながら間違えないように挿入してください。
- B-CASカードは奥まで差し込んでください。

3 本体左側面のとびらを閉める

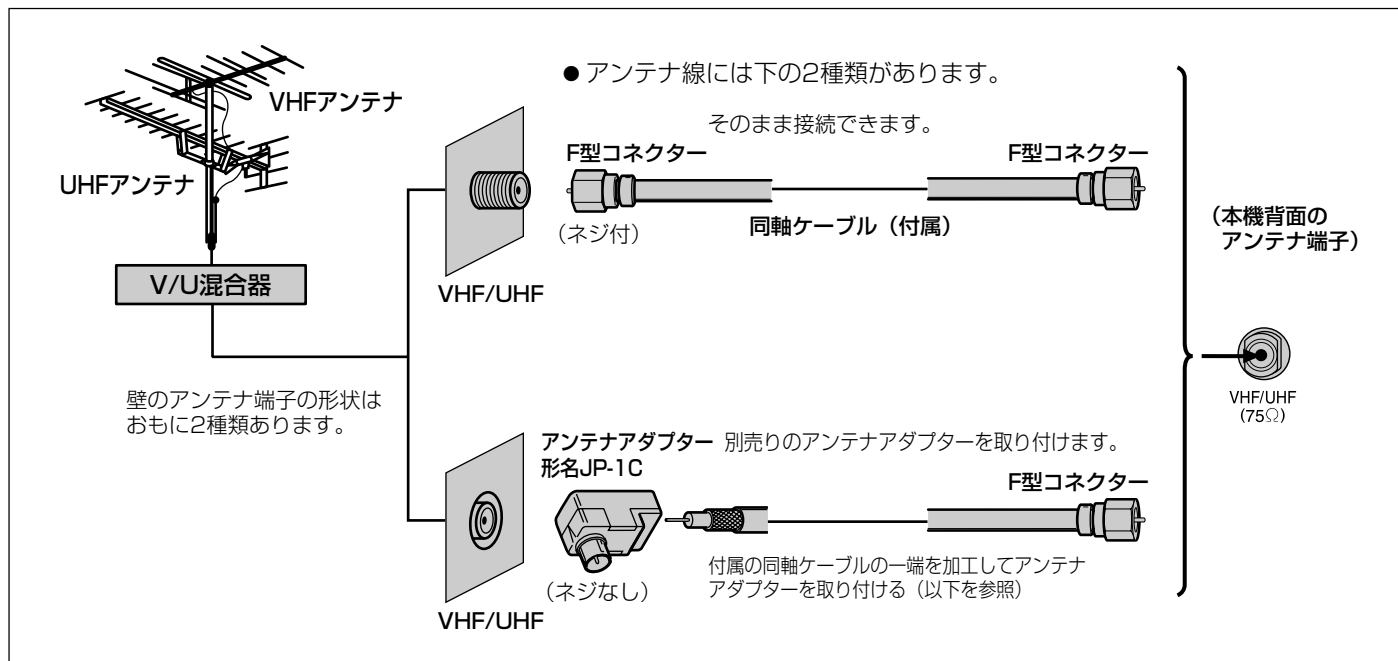
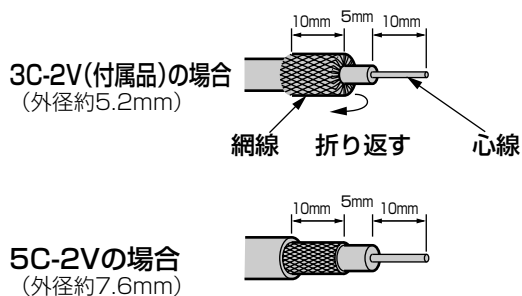
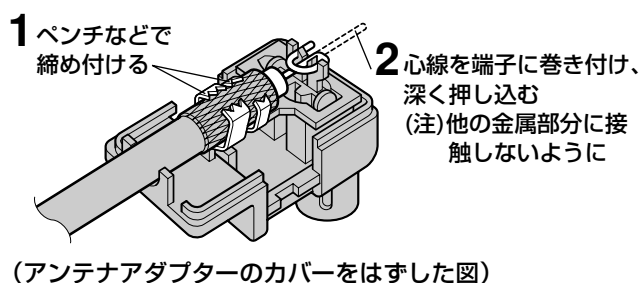
● 「」部を押します。

● 取り出す場合は、手順**2**でB-CAS（ビーキャス）カードをそのまま抜いてください。

アンテナ線の接続と設定

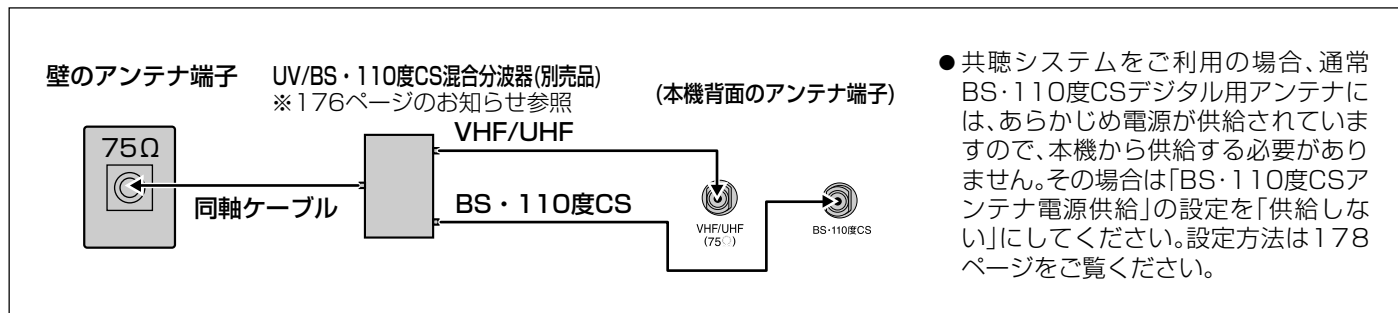
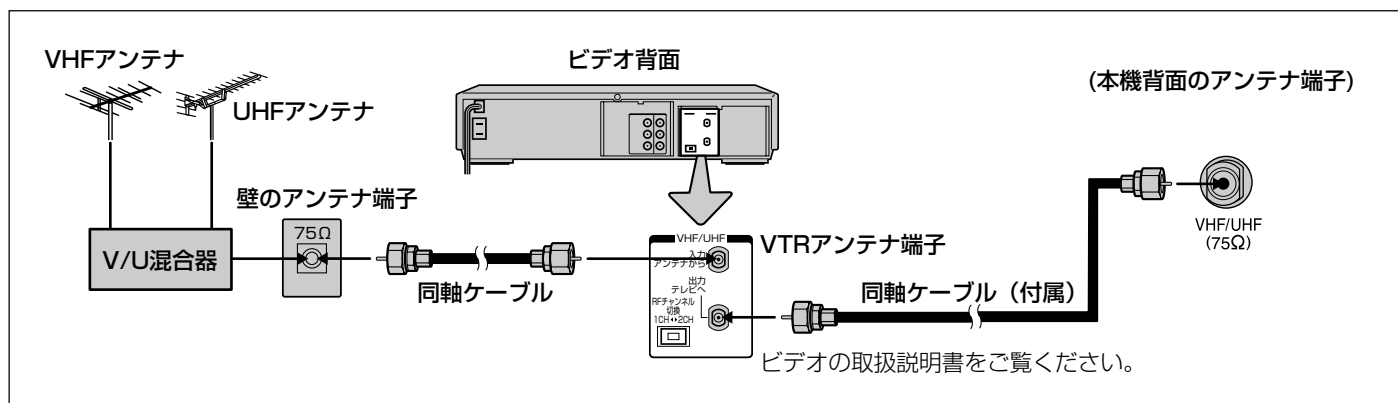
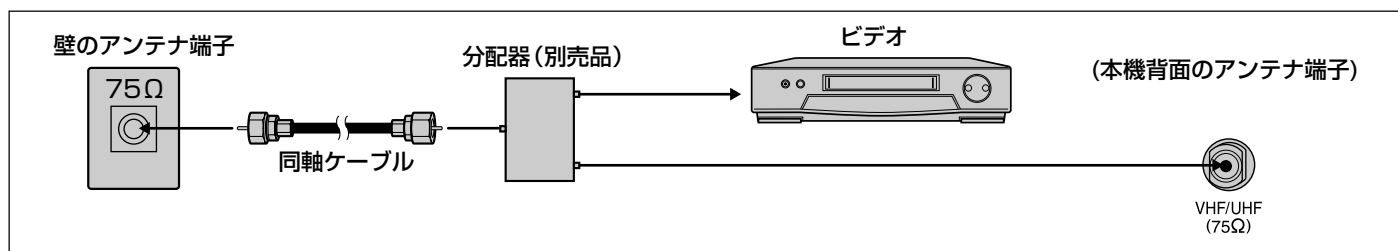
VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた

■アンテナの設置・調整について

- アンテナの設置･調整については、お買い上げの販売店にご相談ください。また、アンテナの取扱説明書もよくご覧ください。
- 地上デジタル放送を受信する場合は、174〜175ページを最初にご覧ください。

■アンテナ線がVHF/UHF混合の場合（あるいはVHFだけ、またはUHFだけの場合）

■アンテナ線とアンテナアダプターの取り付けかた

- アンテナアダプターは、いくつかのタイプがあります。（イラストは一例です。）
- 平行フィーダー線と同軸ケーブルとを同時に使うことはできません。

■マンションなどの共聴システムのとき（VHF/UHF/BS・110度CS混合のとき）

● 共聴システムをご利用の場合、通常BS･110度CSデジタル用アンテナには、あらかじめ電源が供給されていますので、本機から供給する必要がありません。その場合は「BS･110度CSアンテナ電源供給」の設定を「供給しない」にしてください。設定方法は178ページをご覧ください。

■ビデオを経由したつなぎかた（壁面端子が75Ωでビデオの入力がV・U混合のとき）

■分配器を使用したつなぎかた

■ VHFとUHFのアンテナ線がそれぞれ別になっているとき

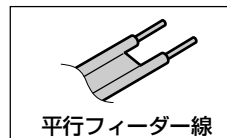
● V/U混合器、形名HMX-77など（別売品）が必要です。
● 詳しくは販売店にご相談ください。

お願い

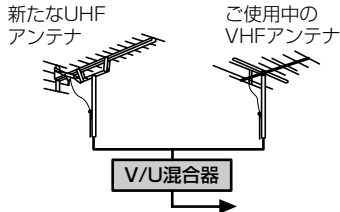
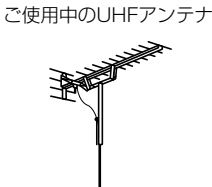
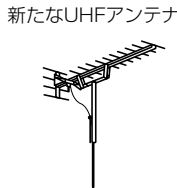
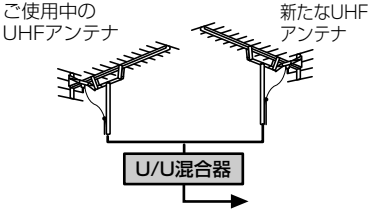
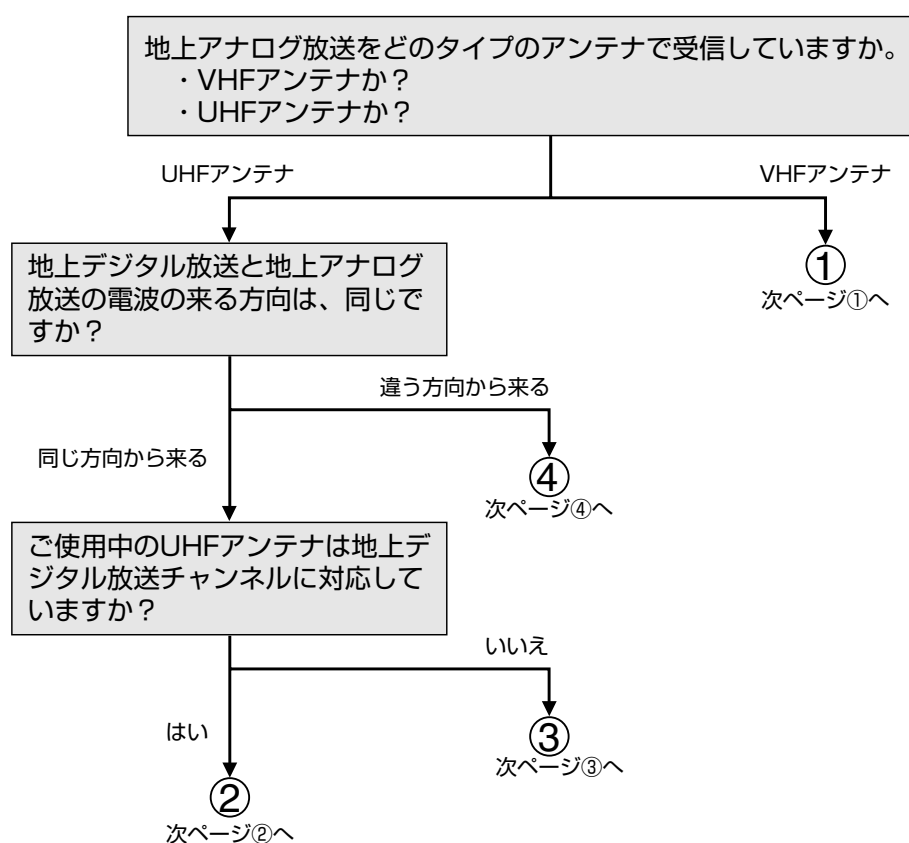
● アンテナ工事はお買い上げの販売店にご相談ください。詳しくはお買い求めになられたアンテナの取扱説明書をお読みください。
● 接続するときは必ず本機および接続機器の電源を切ってください。
● アンテナ線を他のデジタル機器に近づけないでください。
● CATVについては、お住まいの地域のCATV会社にお問い合わせください。
● VHF、UHFアンテナは定期的に点検・交換してください。通常アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特にばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くでは傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

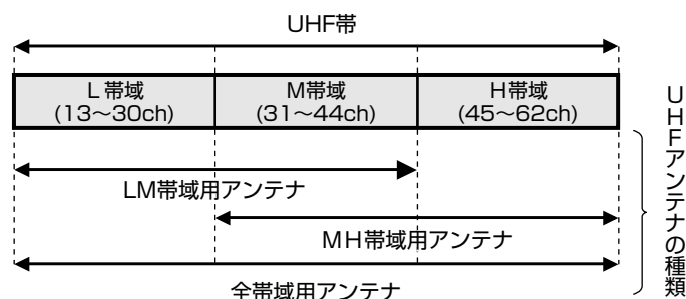
● VHF/UHFアンテナ線は同軸ケーブルをおすすめします。
平行フィーダー線を使用すると受信状態が不安定になることがあり、妨害電波を受けやすくなります。

平行フィーダー線

● やむをえず、平行フィーダー線をご使用のときは、平行フィーダー線をBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルから妨害を受けない距離まで離してください。
同軸ケーブルをご使用の場合もBS・110度CSデジタル用アンテナケーブルと離してください。（いっしょに重ねたり、束ねたりしないでください。）

VHF/UHFアンテナ線のつなぎかた つづき

■地上デジタル放送を受信する場合

※ここではアンテナの設置について記載していますが、これは目安ですので、詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。

- 地上デジタル放送を受信するには、地上デジタル放送に対応したUHFアンテナが必要です。
  ※従来のUHFアンテナでも、地上デジタル放送が受信できる場合もあります。
- 下図で確認後、次ページの「アンテナ設置の目安」をご覧ください。
  （下図の中の確認項目（電波の来る方向など）については、お買い上げの販売店にご相談ください。）

■ 地上デジタル放送を受信するためのUHFアンテナについて

- UHF帯の周波数帯域は、下図のようにL帯、M帯、H帯に分かれており、UHFアンテナとしては、現在LM帯域用、MH帯域用、全帯域用の3種類が市販されています。
  地上デジタル放送はUHF帯の周波数で放送されますが、地域によって使用される周波数が異なります。
  そのため、地上デジタル放送を受信する場合は、その地域で放送されている周波数に対応したアンテナを使用することが必要です。（全帯域用のアンテナを使用すれば、どの地域の地上デジタル放送でも受信することができます。）

前ページの図中の番号	アンテナ設置の目安	
①の場合	● 地上デジタル放送のチャンネルに対応したUHFアンテナの設置が必要です。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合は、ご使用中のVHFアンテナのほかに、V/U混合器なども必要です。	新たなUHFアンテナ / ご使用中のVHFアンテナ / V/U混合器
②の場合	● 基本的にはご使用中のアンテナで受信できます。 ただし、アンテナの劣化などで受信できない場合には、新しいアンテナへの交換や、ブースターの設置などが必要となる場合があります。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合には、UHF全帯域に対応しているアンテナへの取り替えが必要な場合もあります。	ご使用中のUHFアンテナ
③の場合	● 地上デジタル放送チャンネルに対応したアンテナが必要です。 ● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合は、UHF全帯域に対応したアンテナへの取り替えをおすすめします。	新たなUHFアンテナ
④の場合	● 2011年までの間に地上アナログ放送も受信する場合には、地上デジタル放送受信用として、地上デジタル放送チャンネルに対応したアンテナを新たに設置することが必要です。さらにU/U混合器が必要となる場合もあります。 （地上デジタルのみを受信する場合で、ご使用中のアンテナが地上デジタル放送チャンネルに対応している場合には、アンテナの方向調整のみで地上デジタル放送を受信できます。）	ご使用中のUHFアンテナ / 新たなUHFアンテナ / U/U混合器

- 接続に使用する同軸ケーブルには、減衰量が少なく、経年変化の少ないS-4C-FB以上の特性のものを、F型コネクターには、C15型をおすすめします。F型コネクターの加工法については、F型コネクター付属の説明書をご覧ください。
- 混合器、分波器、分岐器、ブースターなどは、地上デジタル放送のチャンネルに対応したものを使用し、妨害波の飛び込みなどを防ぐために空き端子は終端抵抗器(75Ω)で終端してください。
- 地上デジタル放送は一般にはUHFアンテナでの受信となりますが、CATV(ケーブルテレビ)で伝送される場合や共聴システム(VHF帯、またはUHF帯)で伝送される場合もあります。
詳しくは、共聴システム管理者(マンション管理者や管理組合など)や、お住まいの地域のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

アンテナ線の接続と設定 つづき

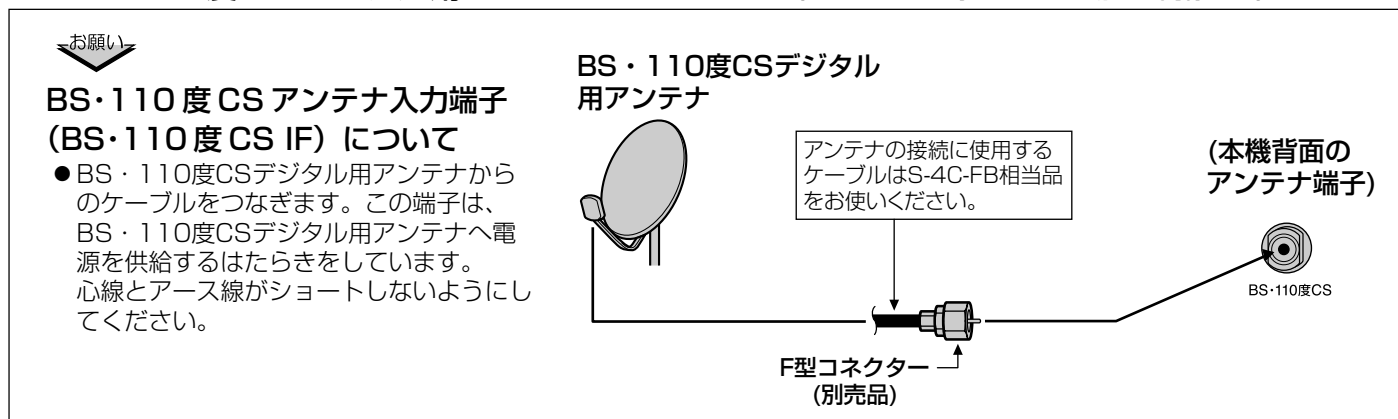
BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた

- BSデジタル放送だけご覧になる場合は、BSデジタル用アンテナを、110度CSデジタル放送も合わせてご覧になる場合は、BS･110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。(以下、これらのアンテナをBS･110度CSデジタル用アンテナと省略して記載します。)
- アンテナをつないだあとにアンテナの方向調整が必要です。(➞178ページ)
- 本機とBS･110度CSデジタル用アンテナの接続には、BS･CSデジタル対応のケーブル(S-4C-FB相当)をご使用ください。
- BS･110度CSデジタル放送用アンテナの取扱説明書もご覧ください。

■BS・110度CSデジタル用アンテナをつなぐとき (BSデジタル用アンテナの場合も同様です)

お願い

BS･110度CSアンテナ入力端子(BS･110度CS IF)について

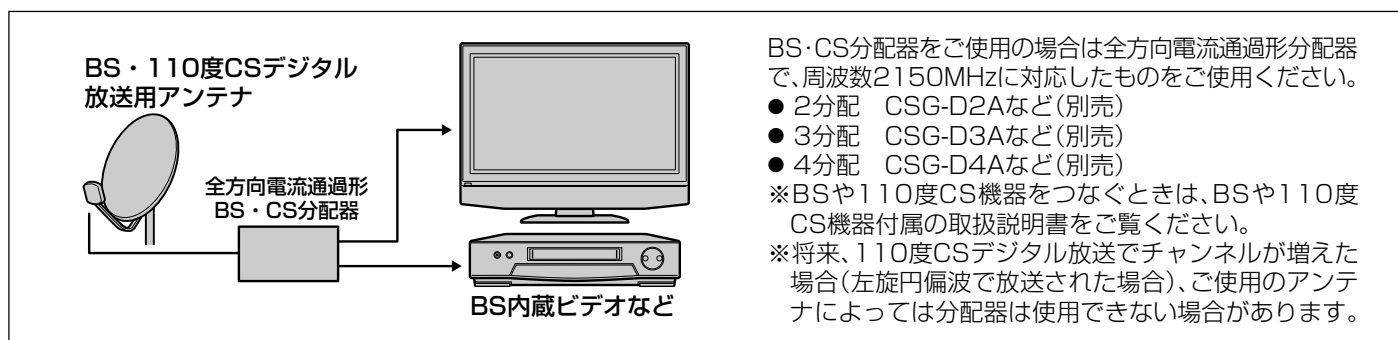
- BS・110度CSデジタル用アンテナからのケーブルをつなぎます。この端子は、BS・110度CSデジタル用アンテナへ電源を供給するはたらきをしています。
  心線とアース線がショートしないようにしてください。

■ BS・110度CSデジタル用アンテナ1台で、本機などBSや110度CS機器を2台以上つなぐ場合

(BSデジタル用アンテナの場合も同様です)

BS･CS分配器をご使用の場合は全方向電流通過形分配器で、周波数2150MHzに対応したものをご使用ください。

- 2分配　CSG-D2Aなど(別売)
- 3分配　CSG-D3Aなど(別売)
- 4分配　CSG-D4Aなど(別売)

※BSや110度CS機器をつなぐときは、BSや110度CS機器付属の取扱説明書をご覧ください。

※将来、110度CSデジタル放送でチャンネルが増えた場合(左旋円偏波で放送された場合)、ご使用のアンテナによっては分配器は使用できない場合があります。

■アンテナ電源について

- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。お買い上げ時は「供給する」に設定されています。
- 共聴システムなどで、すでに別の機器からアンテナ電源が供給されている場合は、供給する必要はありません。「BS･110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定のしかた」(➞178ページ)は「供給しない」に設定してください。
- 本体の電源を切った状態のときアンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常アンテナ電源が供給されませんが、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。
- BS内蔵ビデオ単独で録画するときなどは、本機以外からのアンテナ電源供給が必要です。

■従来のBSアンテナについて

- 従来のBSアンテナのほとんどについては、BSデジタル放送を受信することができます(110度CSデジタル放送の受信はできません)。ただし、従来のBSアンテナについては、BSデジタル放送受信に必要とされる「位相雑音性能」の規定がないため、BSデジタル放送を受信した場合、安定した受信ができないことがあります。その際には、BSデジタル用、またはBS･110度CSデジタル用アンテナをご使用ください。

■マンションなどの共同受信の場合

- お住まいのマンションの共同受信設備でBSデジタル放送や110度CSデジタル放送が受信できるかについては、マンションの管理会社や管理組合にご確認ください。
  既存の設備で受信できない場合には、BS･110度CSデジタル用アンテナの設置･接続が必要です。

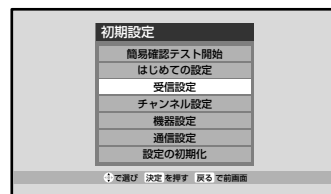
- 110度CSデジタル放送を受信する場合でブースターやBS・CS分配器をご使用になる場合は、110度CSデジタル放送(周波数2150MHz以上)に対応したものをお使いください。対応していないものを使用した場合には、110度CSデジタル放送を受信できません。
- スカイパーフェクTV!用のアンテナでは、110度CSデジタル放送を受信することはできません。

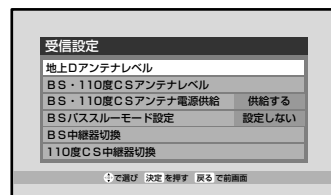
地上デジタル用アンテナの方向調整

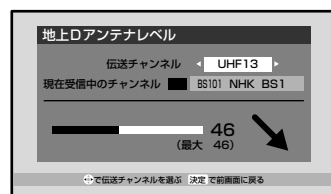
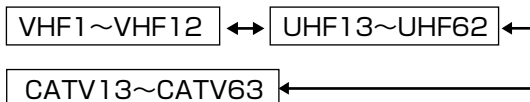
地上デジタル用アンテナの方向調整をする

- **アンテナの方向調整は、お買い上げの販売店にご相談ください。**
- ここでのアンテナ調整は、「はじめての設定」終了後に行うことをおすすめします。（放送されているチャンネルが選びやすくなります。）
- ここではアンテナレベル表示を使って、地上デジタル用アンテナの方向調整をする方法について説明します。
  アンテナレベル表示は、アンテナ設置方向の最適値を探す際に目安となるものです。
  表示される数値が最大となるようにアンテナの方向を調整してください。
  ※表示される数値は、受信C／Nを換算したものです。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

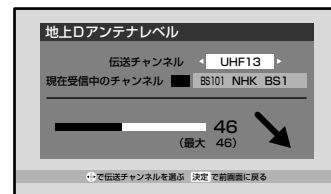
1 以下の操作で「受信設定」画面にする

① メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「地上Dアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

- 「地上Dアンテナレベル」画面が表示されます。

3 カーソルボタン◀·▶で「伝送チャンネル」を選ぶ

- 押すごとに以下のように切り換わります。

VHF1〜VHF12 ↔ UHF13〜UHF62 → CATV13〜CATV63

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がってないことを確認してください。

（例）地上デジタルチャンネルの場合（地上Dアンテナレベル）

5 アンテナを固定して、決定ボタンを押す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 174ページの「地上デジタル放送を受信する場合」もあわせてご覧ください。
- 手順**6**で「地上Dアンテナレベル」を終了すると、この設定にはいる前の入力画面に戻ります。

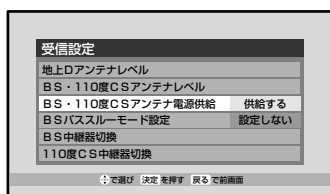
アンテナ線の接続と設定 つづき

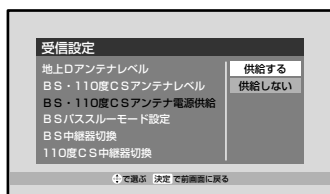
BS・110度CSデジタル用アンテナの設定と調整

BS・110度CSデジタル用アンテナ電源供給設定のしかた

- アンテナに取り付けられたコンバーターに供給する電源をアンテナ電源といいます。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
  マンションなどで、アンテナに他の機器から電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 以下の操作で「BS・110度CSアンテナ電源供給」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CSアンテナ電源供給」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「供給する」または「供給しない」を選び、決定ボタンを押す

- 項目を選ぶとその状態に設定されます。

3 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

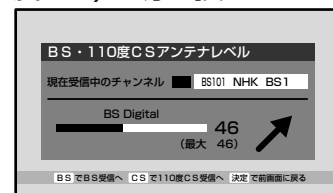
- 本体の電源を切った状態では、アンテナ電源は供給されません。
- 「供給する」に設定されている場合、本機の電源が「待機」の状態では通常はアンテナ電源が供給されません。ただし、契約情報の更新や予約実行またはダウンロード実行などの際には自動的にアンテナ電源が供給されます。
- 176ページの「BS・110度CSデジタル用アンテナ線のつなぎかた」も合わせてご覧ください。

BS・110度CSデジタル用アンテナの方向調整をする

- アンテナレベル表示を使って、BSまたは110度CSデジタル放送受信のためのアンテナの方向調整を行います。
  アンテナレベル表示は、アンテナ設置方向の最適値を探す際に目安となるものです。表示される数値が最大となるようにアンテナの方向を調整してください。
  ※表示される数値は、受信C／Nを換算したものです。
- アンテナの調整方法については、アンテナの取扱説明書をご覧ください。

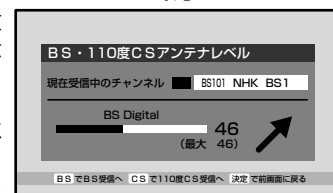
1 以下の操作で「BS・110度CSアンテナレベル」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「BS・110度CSアンテナレベル」を選び、決定ボタンを押す

2 BSボタンまたはCSボタンを押して放送の種類(BSまたは110度CS)を切り換える

3 契約しているチャンネル、または無料チャンネルを選ぶ

- チャンネルボタン∧·∨で選局できます。

4 アンテナをゆっくり動かして、「アンテナレベル」の数値が最大となるように調整する

- アンテナレベルが大きくなると ↗ が表示され、小さくなると ↘ が表示されます。
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がってないことを確認してください。

(例)BSチャンネルの場合
(BSアンテナレベル画面)

5 アンテナを固定して、決定ボタンを押す

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■映像が出ない場合

- 契約していないチャンネルを選んでいる場合があります。
  契約しているチャンネルまたは無料のチャンネルを選んで、アンテナの調整をしてください。

■アンテナ線がショートした場合

- 手順**4**の画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示されます。
  その場合は、一度本体の電源を切り、ショートの原因を取り除いてから、もう一度本体の電源を入れて手順**1**からやり直してください。

電話回線の接続

● 電話回線は、以下の場合に使用します。
- ペイ・パー・ビュー番組を購入する場合。
- BS、または110度CSデジタル放送で、双方向データ放送（クイズ番組への参加や通販番組での商品購入など）を利用する場合。

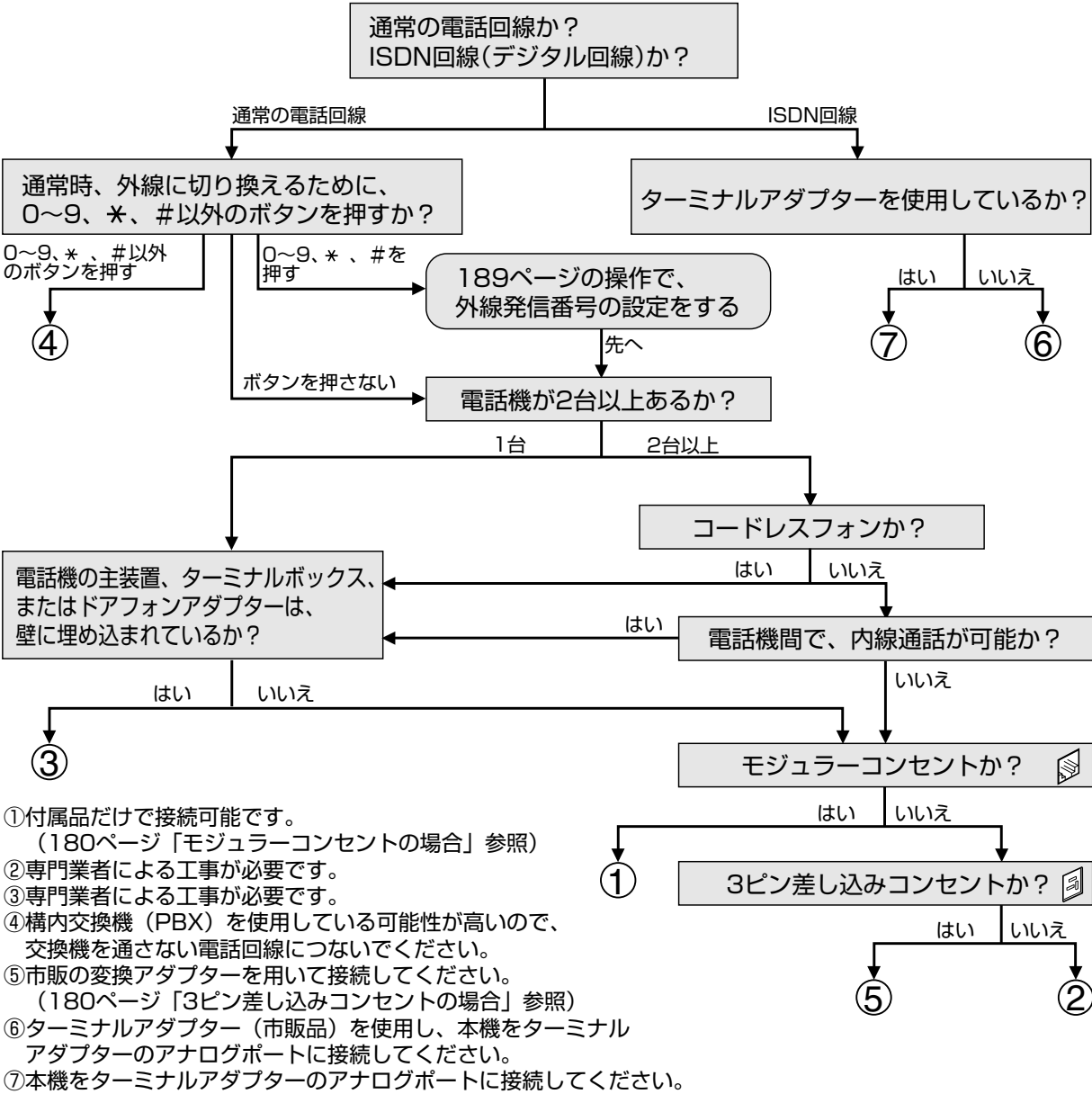
※ 地上デジタル放送でも電話回線を使用する場合があります。

⚠ 注意	■ モジュラー分配器、電話機コード、変換アダプターの端子に触れたり、分解や改造をしないこと ●電話回線には直流電圧がかかっています。ダイヤル時などに高い衝撃電流が流れますので、感電の原因となります。 ■ 正しく接続すること ●正しく接続しないと本機や他の機器の故障や火災の原因となることがあります。

●以下によって、電話回線の状態を確認してから、電話回線の接続をしてください。

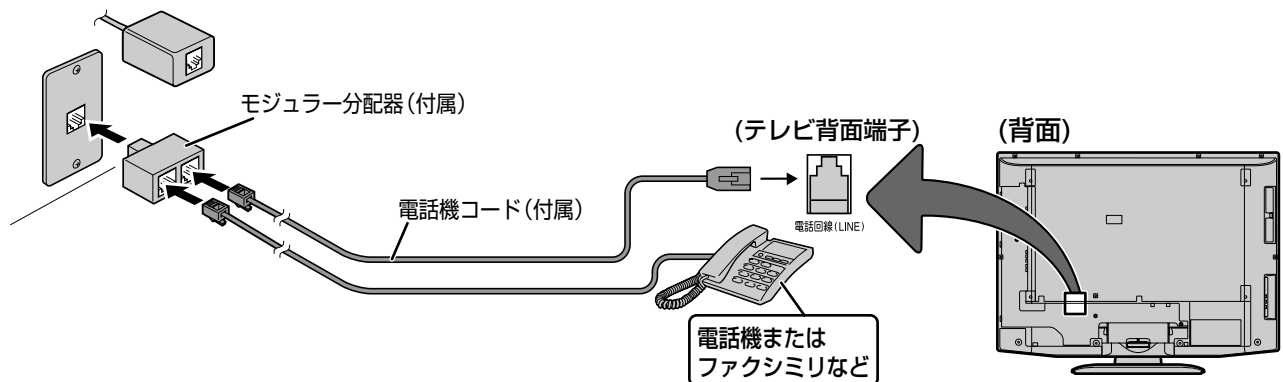
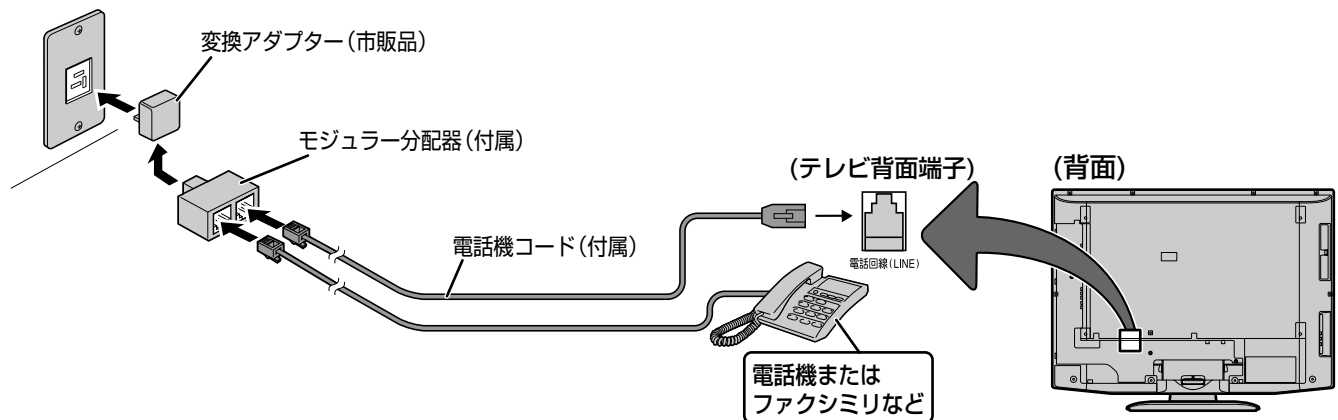
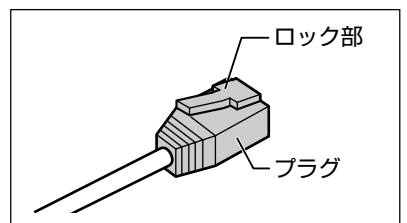
電話回線状態の確認

①付属品だけで接続可能です。
（180ページ「モジュラーコンセントの場合」参照）
②専門業者による工事が必要です。
③専門業者による工事が必要です。
④構内交換機（PBX）を使用している可能性が高いので、
交換機を通さない電話回線につないでください。
⑤市販の変換アダプターを用いて接続してください。
（180ページ「3ピン差し込みコンセントの場合」参照）
⑥ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。
⑦本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。

お願い

● ②または③の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番に工事のお問い合わせをしてください。
電話工事は、資格が必要で有料となります。無資格の方は工事できません。

電話回線の接続 つづき

電話回線とのつなぎかた

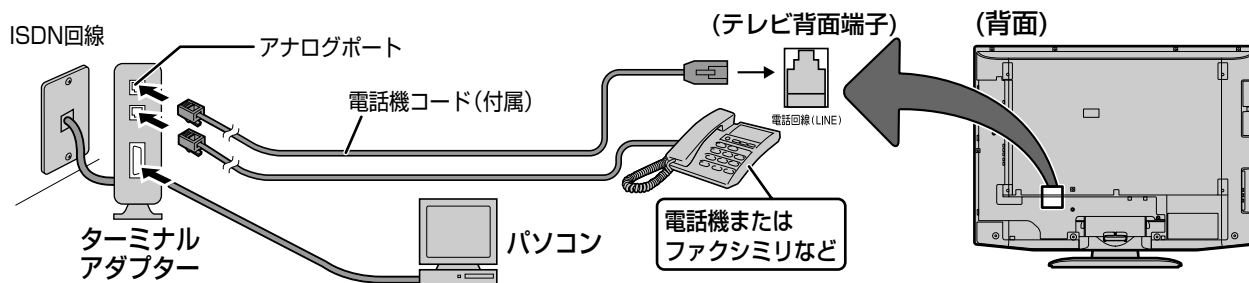
モジュラーコンセントの場合

3ピン差し込みコンセントの場合

- **電話機コードのプラグをLAN端子にはつながないでください。LAN端子がこわれる場合があります。**
- 電話機コードの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電話機コードの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、電話機コードを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）

- 本機がセンターと通信中は、電話機やファクシミリのご使用はできません。
- 本機は公衆電話、共同電話、携帯電話、PHSには接続できません。
- 構内交換機（PBX）には使用できないものがあります。
- 付属の電話機コード（10m）が短い場合は、市販の電話機コードをお求めください。
- 電話機やファクシミリをご利用にならないときは、直接電話回線につないでください。
- ホームテレホンを接続される場合は、ホームテレホンのメーカーにご相談ください。
- キャッチホン契約をされている場合は、本機の通信中に電話がかかってくると、エラーが生じ通信が終了します。
- キャッチホンⅡで契約されている場合は、通信はそのまま継続されます。
- 電話機やファクシミリを使用中のときは、本機での通信はできません。
- 一部のダイヤル式の電話機をご使用の場合には、本機が電話回線を通じてセンターと通信をしているときに、電話機の呼出音が鳴ることがあります。
  呼出音が鳴らないようにしたい場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器をご使用ください。
- ノイズの混入があると誤動作することがあります。冷蔵庫などのモーターを使った機器の近くに電話機コードを近づけないでください。

■いろいろな場合のつなぎかた

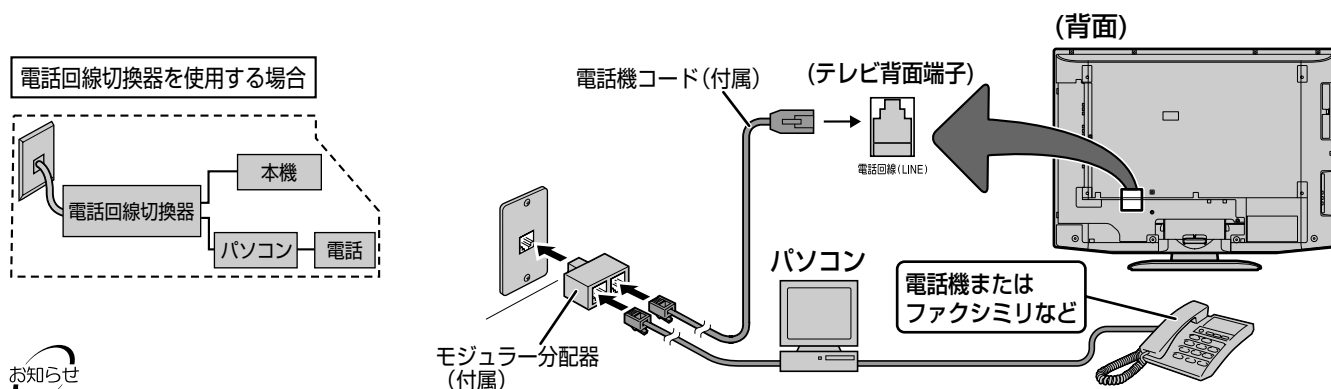
● 電話機コードのプラグをLAN端子にはつながないでください。LAN端子がこわれる場合があります。

●ISDN回線の場合

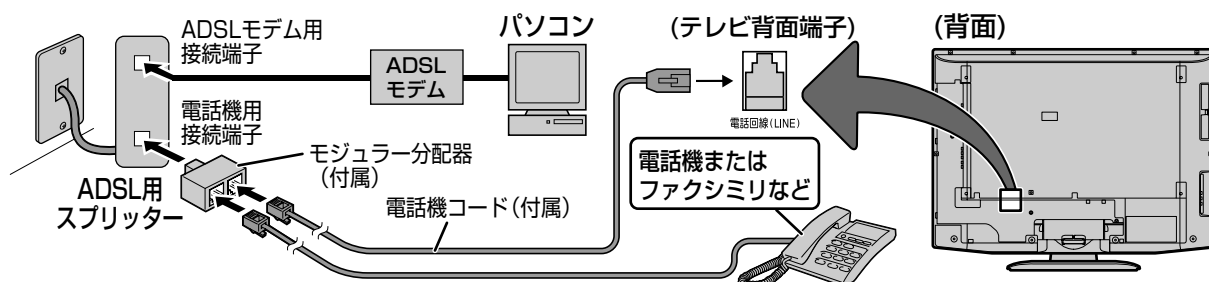
● ターミナルアダプター（市販品）を使用し、本機をターミナルアダプターのアナログポートに接続してください。詳しくは、ターミナルアダプターの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

● ISDN回線にモジュラー分配器をつないで本機を接続しないでください。
● ターミナルアダプターのアナログポートに本機を接続し、「電話回線設定」の「ダイヤル方式」で「トーン」に設定してください。（詳しくは「ダイヤル方式の設定」（221ページ）を参照してください。）

●パソコンを接続している場合

お知らせ

● 同じ電話回線に電話機やパソコン、ファクシミリなどを接続した場合、接続した機器の影響で、電話機の呼出音が鳴ることや、通信が正しく行われないことがあります。このような場合は、電話回線との接続には、付属のモジュラー分配器ではなく、市販の電話回線切換器（2口）などをご使用ください。

●ADSLモデムを使用している場合

● 電話回線にADSLモデムが接続されている場合は、ADSL用スプリッター（市販品）を使用し、ADSL用スプリッターの電話機用接続端子にモジュラー分配器（付属）をつないで本機を接続してください。詳しくは、ADSL用スプリッターの取扱説明書をご覧ください。

LAN端子の接続

つなぎかた

● 地上デジタル放送の双方向通信サービス機能をLAN端子を使って楽しむときのつなぎかたです。

■はじめに

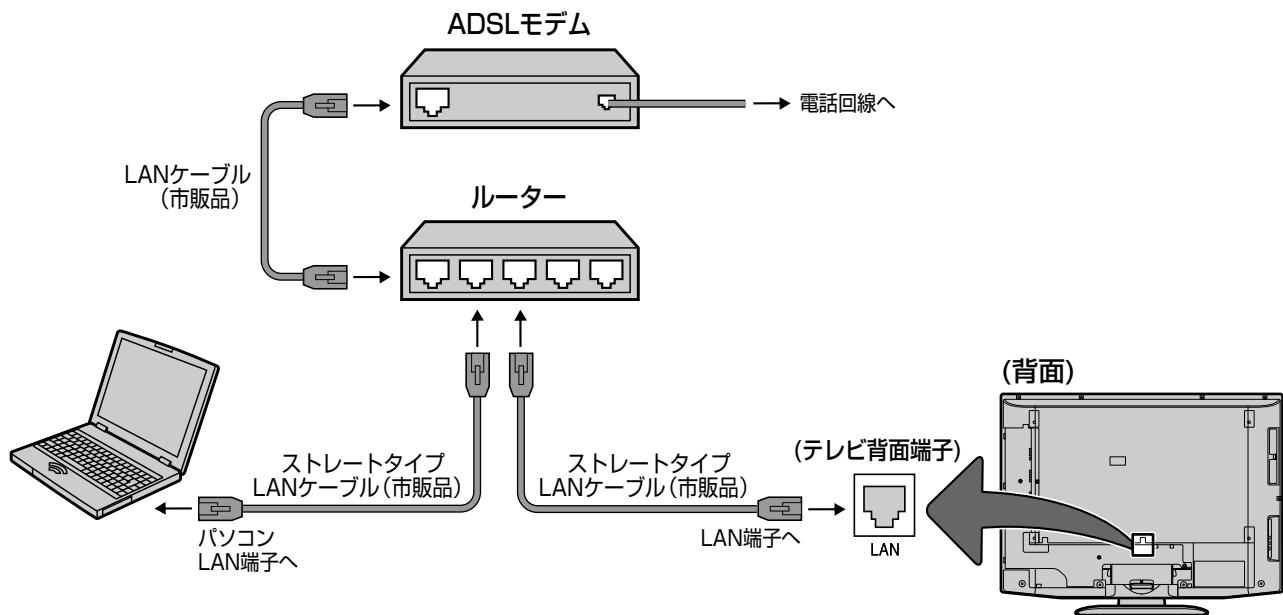
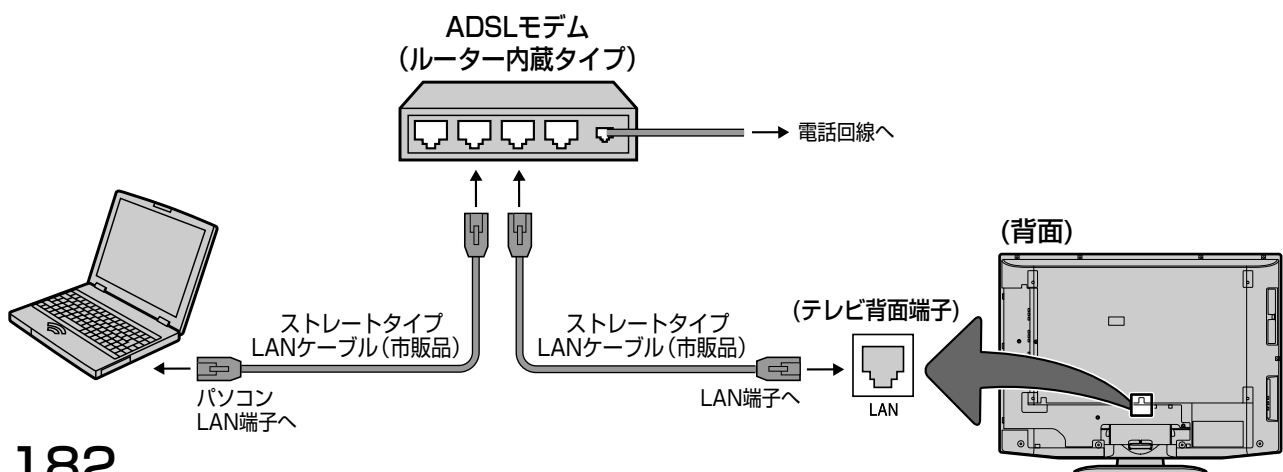
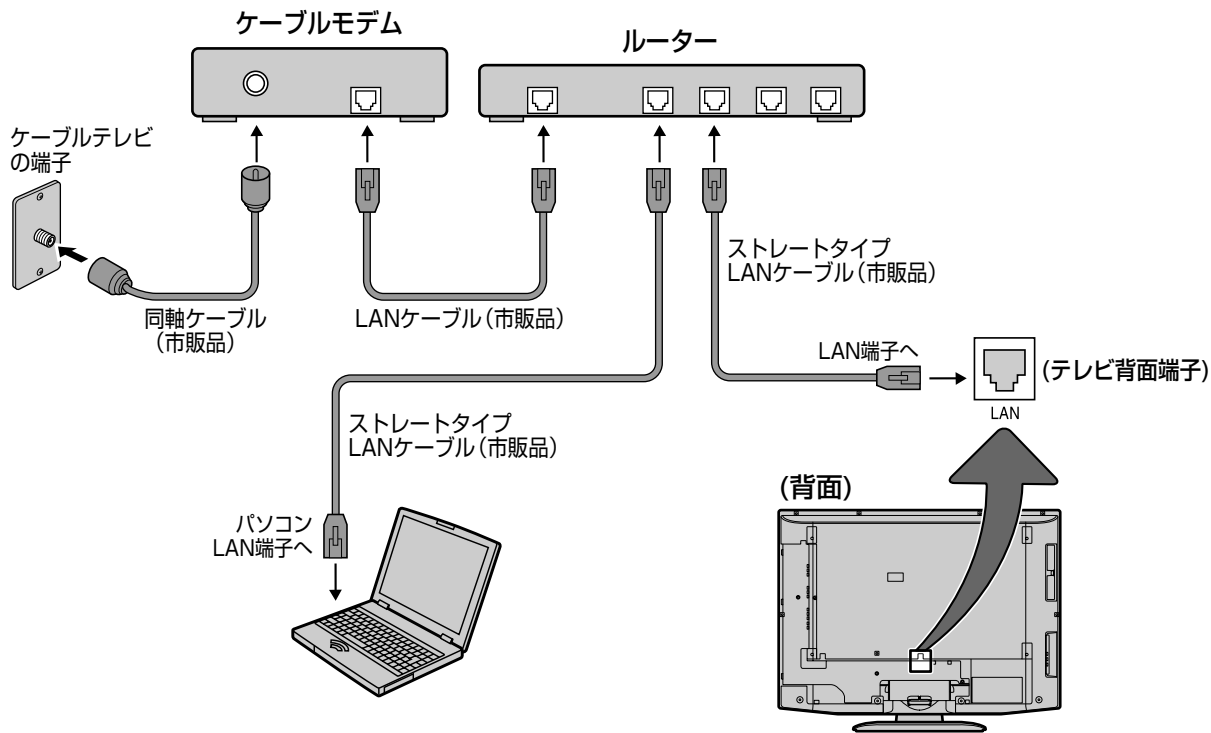
● 以下の例のように、必ずルーターを通して接続をしてください。
● 以下の場合にLAN端子の接続を行ってください。
　・地上アナログ放送で番組表機能を使うとき
　・地上デジタル放送の双方向サービスをLAN端子を使って利用するとき
● ここではLAN端子を使用した通信(ADSLなど)ができる環境であることを前提とした説明になっています。
　・ご使用のモデムやルーターなどの取扱説明書もご覧ください。
　・イーサネット通信ができる環境をお持ちでない場合は、導入や契約などについてお買い上げの販売店、またはADSLなどの回線事業者にご相談ください。
● **ここでの接続についてのお問い合わせは、「テレビのネットワーク接続(LAN端子を使った接続)についてのご相談は」(→287ページ)をご覧ください。**

■ご注意

● 本機では、ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどの設定はできません。
　ルーターやルーター内蔵ADSLモデムなどによっては、パソコンでの設定が必要な場合があります。

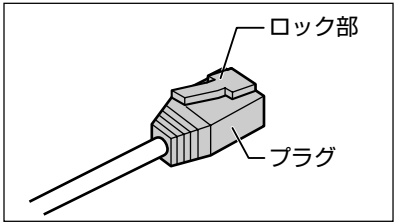
■接続したあとの設定は……

● 「通信接続設定」(→227ページ)をご覧ください。

例1:ルーター機能がないADSLモデムを使用している場合

例2:ルーター機能のあるADSLモデムを使用している場合

例3:ケーブルテレビインターネットを使用している場合

■本機が接続できるルーターについて

- 以下の製品については正常に通信できることが確認されています。
  ほかの製品の場合には、正常に通信できない場合があります。
  また、以下の製品でもワイヤレス（無線）LAN機能については、正しく動作しない場合があります。
- 接続できるルーターについては、ホームページで順次公開していく予定です。
  （ホームページについては19ページを参照）

メーカー名	形　名
プラネックスコミュニケーションズ（株）	BLW-04FMG

- **電話機コードのプラグをLAN端子にはつながないでください。LAN端子がこわれる場合があります。**
- LANケーブルの抜き差しをするときは、本機および接続機器などの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- LANケーブルの抜き差しは、プラグを持って行ってください。
  抜くときは、LANケーブルを引っ張らず、ロック部を押しながら抜いてください。（右図を参照）
- 接続を変更した場合は、本体の電源ボタンを押して電源を切り、電源を入れ直してください。

- 132ページの「お知らせとご注意」と133ページの「（3）接続の際のお願いとお知らせ」もよくお読みください。

はじめての設定をする

● 最初に必要な設定をまとめて行います。

はじめての設定

● 設定項目は下表のとおりです。
「はじめての設定」を行うと、それまでに設定していた下表の各項目のデータはすべて消去されますのでご注意ください。
各放送局ごとに本機に記憶された個人情報(たとえば、視聴ポイント数など。193ページ参照)については消去されません。

設定項目	内　容
地上Ａ／Ｄ放送 チャンネル設定	地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。 また、地域の設定も行います。
お好み番組設定	お好み番組機能を使うための設定です。
郵便番号の設定	お住まいの地域に応じたデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通して最寄のアクセスポイントでご利用いただくための設定です。
電話回線設定	デジタル放送では電話回線を利用した双方向通信サービスが行われています。 それらのサービスを楽しむための設定です。 ※ 地上デジタル放送の場合には、ダイヤルアップ通信やイーサネット通信などの接続が必要なこともあります。 （詳しくは 62 ページの「双方向通信サービス」の項目を参照）
簡易確認テスト	地上Ｄ受信テスト、BS・110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。

■地上A／D放送チャンネル設定について

● **地上アナログ放送の場合**

・入力された地方、地域に応じて、チャンネルがリモコンの地上ダイレクト選局ボタンに自動的に設定されます。
自動設定される内容については「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→206ページ）をご覧ください。

● **地上デジタル放送の場合**

・「初期スキャン」（→186ページ）を行い、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの地上ダイレクト選局ボタンに放送の運用規定に基づいて自動設定します。
自動設定は、入力された地方、地域と実際に受信できたチャンネルの情報をもとに、放送システム上の規定などに従って行われます。
・初期スキャンは（VHF1～12）→（UHF13～62）→（CATV13～63）の順で行われます。

※ 自動設定された内容の確認や変更をしたい場合は「手動設定」（→202ページ）で行ってください。
※ 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できないことがあります。

■地方と地域の設定について

● チャンネルの自動設定は、185ページの手順**5**～**7**で設定された地方、地域に基づいて行われます。
189ページでも郵便番号を設定することで地域を設定しますが、それはデータ放送（たとえば、天気予報や選挙速報など）を受信したり、電話回線を通して最寄りのアクセスポイントでご利用いただくための設定であり、185ページの手順**5**～**7**の設定とは別に設定できるようになっています。

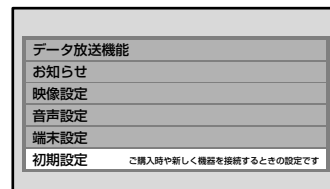
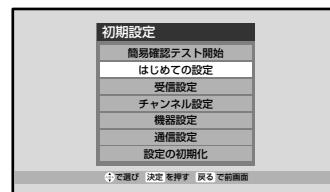
■新たに開局したチャンネルを追加登録したいとき

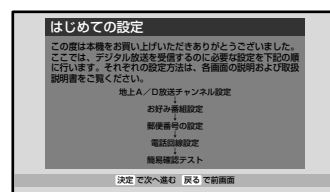
● 地上デジタル放送については、受信できたチャンネルだけが設定されます。
新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえたなど、放送に変更があった場合は「初期設定を個別に行うとき」で「再スキャン」（→198ページ）をしてください。

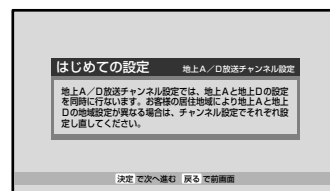
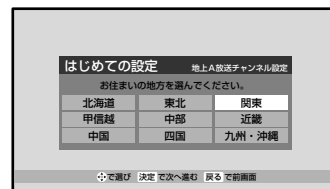
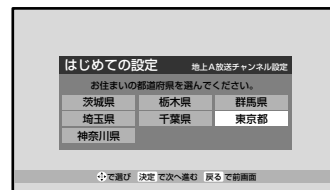
地上A／D放送チャンネル設定

- 地上アナログ放送と地上デジタル放送のチャンネル設定を同時に行います。また、データ放送の地域も同時に設定します。
- 詳しい動作については、184ページの「お知らせ」をご覧ください。

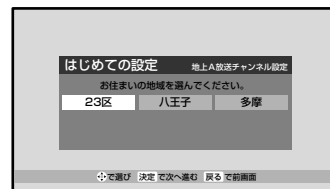
1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

- 画面に「初期設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「はじめての設定」を選び、決定ボタンを押す

3 画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押す

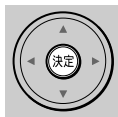
- 地上A／D放送チャンネル設定→お好み番組設定→郵便番号の設定→電話回線設定→簡易確認テストの順に続けて行います。

4 画面の説明を読んだあと、決定ボタンを押す

- のちほどチャンネル設定をやり直す場合は、194ページをご覧ください。

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの都道府県を選び、決定ボタンを押す

7 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地域を選び、決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

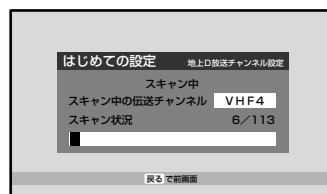
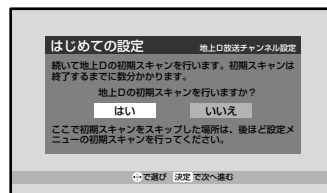
最初の設置・接続・設定

はじめての設定 つづき

地上A／D放送チャンネル設定 つづき

8 表示された地上Aチャンネル一覧の内容を確認後、決定ボタンを押す

9 画面の説明を読んだあと、以下を行う

● 地上デジタル放送の初期スキャンをする場合

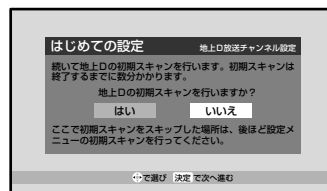
● カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。終了するまでしばらくお待ちください。
- 初期スキャンが終わると手順**10**の画面が表示されます。これで、地上デジタルチャンネルのリモコンのダイレクト選局ボタンへの自動登録が終了しました。手順**10**に進んでください。
- 設定された内容の確認や変更をしたい場合は、「はじめての設定」がすべて終了したあと、「手動設定」(→202ページ)で行ってください。
- ここで行われた地上A／D放送チャンネル設定についての詳しい説明は、184ページの「お知らせ」をご覧ください。

右の画面が表示された場合

●「データ放送用メモリーの割り当て」(→193ページ)を行ってください。「データ放送用メモリーの割り当て」が終了すると、次は手順**10**に進みます。

● 地上デジタル放送の初期スキャンをしない場合

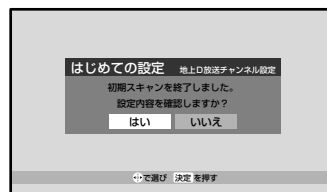
● カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

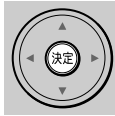
- あとで初期スキャンをする場合は、「地上D自動設定」の「初期スキャン」(→197ページ)で行ってください。
- 次は手順**11**に進みます。

10 [手順**9**で「はい」を選んだ場合]
右の画面が表示されたら、以下を行う

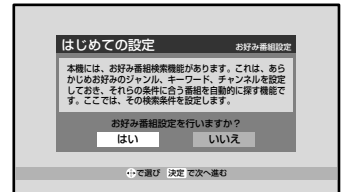
設定された内容を確認する場合

①カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
②設定内容を確認したら、決定ボタンを押す
- 次は手順**11**に進みます。

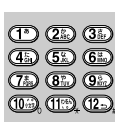
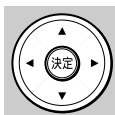
設定された内容を確認しない場合

● カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す
- 次は手順**11**に進みます。

お好み番組設定

11 画面の説明を読んだあと、ここで設定をする場合は「はい」を選び、決定ボタンを押す

● お好み番組設定画面になります。

・本機には、お好み番組検索機能があります。これは、あらかじめお好みのジャンル、キーワード、チャンネルを設定しておき、それらの条件に合う番組を自動的に探す機能です。ここでは、そのジャンル、キーワード、チャンネルを設定します。
ここで設定しないで、「はじめての設定」終了後にメニューから設定することもできます。(→235ページ)
※ お好み番組検索については、詳しくは141ページをご覧ください。

● お好み番組設定をここではしない場合

●「いいえ」を選び、決定ボタンを押す
● 次は手順**14**に進みます。

12 以下の操作でお好み番組設定を行う

● お好みA～Dの4種類の設定をすることができます。
設定する項目は、ジャンル、キーワード、チャンネルです。
● 以下は、お好みAに設定する場合の操作です。お好みB～Dも同様に設定してください。

(1)カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定する場所(右図)を選び、決定ボタンを押す

ジャンルを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。
キーワードを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。
チャンネルを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。

(2)以下の操作で設定する

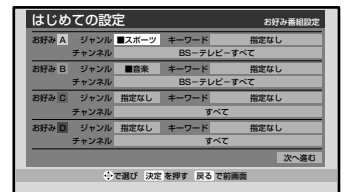
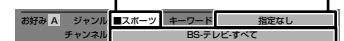
※ジャンル、キーワードは、必ずどちらかは設定してください。(どちらも設定しなかった場合は番組検索はできません。)

ジャンルを設定する場合

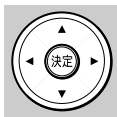
● ジャンル一覧で、設定するジャンルをカーソルボタン▲·▼·◀·▶で選び、決定ボタンを押す

・ジャンルは、一つだけ設定できます。
※ジャンルを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。

[次のページにつづく]

最初の設置・接続・設定

● キーワード一覧は変更することもできます。(→234ページ)

はじめての設定 つづき

お好み番組設定 つづき

キーワードを設定する場合

- **キーワード一覧で、設定するキーワードをカーソルボタン▲･▼･◀･▶で選び、決定ボタンを押す**
  - ・キーワードは一つだけ設定できます。
  - ※キーワードを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。
- **キーワードを自分で入力して設定する場合**は、以下の操作で設定してください。
  1. **キーワード一覧で、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「フリー入力」を選び、決定ボタンを押す**
  2. **キーワードを入力する**
     - ・文字入力については、「文字入力のしかた」(→100ページ)をご覧ください。
  3. **決定ボタンを押す**

チャンネルを設定する場合

① **カーソルボタン◀･▶で設定項目を選ぶ**

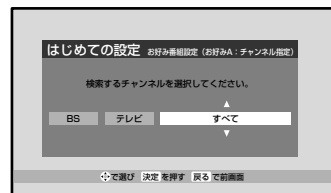
左端：放送の種類(BS／CS／地上D／地上A／すべて)
※ 受信しない放送は表示されません。

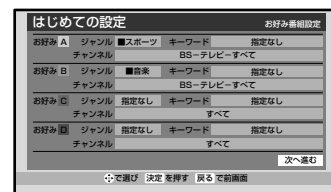
中央：放送メディア(テレビ／ラジオ(BS、CSのみ)／データ／すべて)

右端：チャンネル(※「すべて」もあります)

② **カーソルボタン▲･▼で設定する内容を選ぶ**

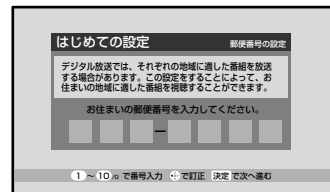
- ・放送の種類で「すべて」を選んだ場合は、放送メディア、チャンネルを指定することはできません。
- ・放送メディアで「すべて」を選んだ場合は、チャンネルを選ぶことができません。

③ **全部の設定が終わったら、決定ボタンを押す**

(3) 手順(1)、(2)を繰り返してお好みB〜Dも、同様に設定する

13 **お好み番組設定がすべて終わったら、カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「次へ進む」を選び、決定ボタンを押す**

郵便番号の設定

● お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報·選挙速報)を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ通信をするため、もよりのアクセスポイントでご利用いただくための設定です。郵便番号を設定することで、地域を指定します。

14 数字ボタン0～9(10～9)であなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

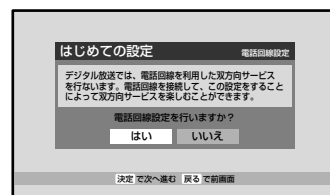
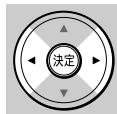
● 入力を間違えた場合は、カーソルボタン◀でカーソルを戻してからもう一度入力してください。
● 次は手順**15**に進みます。

電話回線設定(外線発信番号の設定)

15 [電話回線の設定をするには]
右の画面でカーソルボタン◀·▶を押して「はい」を選び、決定ボタンを押す

● 次は手順**16**に進みます。

はじめての設定　電話回線設定
デジタル放送では、電話回線を利用した双方向サービスを行ないます。電話回線を接続して、この設定をすることによって双方向サービスを楽しむことができます。
電話回線設定を行いますか？
はい　いいえ
決定 で次へ進む　戻る で前画面

電話回線の設定を行わない場合

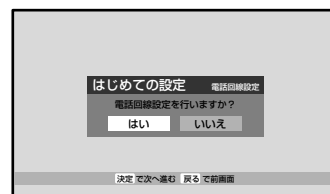
● **カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
· 次は手順**20**の確認画面に進みます。

16 右の画面で以下を行う

● ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や#などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。

はじめての設定　電話回線設定
電話回線設定を行いますか？
はい　いいえ
決定 で次へ進む　戻る で前画面

外線発信番号が必要な場合

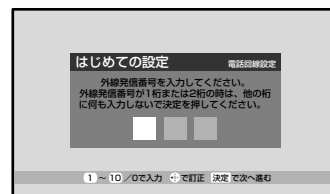
● **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
· 次は手順**17**に進みます。

外線発信番号が不要な場合

● **カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
· 次は手順**18**に進みます。

17 [手順**16**で「はい」を選んだ場合]
外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す

● 数字ボタン0～9(10～9)、#(12)、*(11)のボタンを押すことで設定します。(左詰めで入力してください)
● 最大3桁までの設定ができます。
● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、入力をやり直してください。
● 1桁、または2桁の設定を行う場合は、左詰めで入力し他の桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。
● 次は手順**18**に進みます。

[次のページにつづく]

お知らせ

■郵便番号の設定について

● データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。そのため、設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。
● 郵便番号入力で上3桁を入力して決定ボタンを押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
● 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

はじめての設定 つづき

電話回線設定（ダイヤル方式の設定）

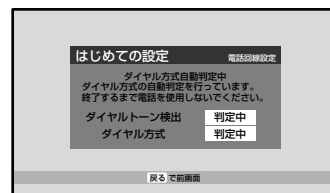
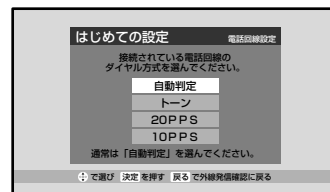
18 カーソルボタン▲·▼で設定するダイヤル方式を選び、決定ボタンを押す

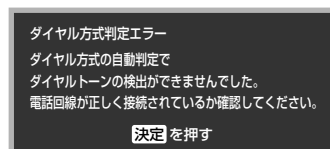
- 通常は「自動判定」を選びます。
  （お使いのダイヤル方式が分かっている場合は「自動判定」以外の項目を選びます。）

はじめての設定 電話回線設定
接続されている電話回線の
ダイヤル方式を選んでください。
自動判定
トーン
20PPS
10PPS
通常は「自動判定」を選んでください。
で選び 決定 を押す 戻る で外線発信確認に戻る

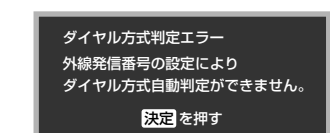
「自動判定」を選んだ場合

- 判定中は右の画面になります。
- 最初に「ダイヤルトーン検出」(電話回線が正しく接続されていることのチェック)が行われ、続いて「ダイヤル方式」の自動判定が行われます。
- 自動判定が終了すると判定結果が表示されます。次は手順**19**に進みます。

はじめての設定 電話回線設定
ダイヤル方式自動判定中
ダイヤル方式の自動判定を行っています。
終了するまで電話を使用しないでください。
ダイヤルトーン検出 判定中
ダイヤル方式 判定中
戻る で前画面

「ダイヤル方式判定エラー」が表示された場合

- 右のメッセージの場合
  - 電話回線の接続確認(→179～181ページ)をしてから、もう一度行ってください。

- 電話回線の種類によっては、自動判定できない場合があります。上記を行っても自動判定できない場合は、決定ボタンを押してダイヤル方式設定の画面に戻り、ご使用になっている電話回線のダイヤル方式(トーン、20PPS、10PPS)を選んで決定ボタンを押し、手順**19**に進みます。
- ダイヤル方式がご不明の場合は、ご加入のNTT営業所または局番なしの116番にお問い合わせください。

- 右のメッセージの場合
  - 「外線発信番号あり」に設定している場合で、さらに、222ページで外線発信後の待ち時間を設定しているときは、右のメッセージが表示され、ダイヤル方式自動判定ができません。この場合は上記「お知らせ」と同じ操作で「ダイヤル方式」を設定してください。

ダイヤル方式判定エラー
外線発信番号の設定により
ダイヤル方式自動判定ができません。
決定 を押す

自動判定が終了しない場合

- 3分以上たっても終了しない場合は、戻るボタンを押して自動判定を中止し、電話回線との接続が正しく行われているか確認してください。(→179～181ページ)

「自動判定」以外を選んだ場合

- 次は手順**20**に進みます。

19 ［手順**18**で「自動判定」を選んだとき］
判定結果を確認して、決定ボタンを押す

20 設定内容を確認する

- 設定内容を変更する場合は戻るボタンを押してください。戻るボタンを押すごとに、「はじめての設定」の各項目の最初の画面に戻ります。

設定内容によって表示は異なります。

簡易確認テストをする場合

- 次は手順**21**に進みます。

簡易確認テストをしない場合

- **カーソルボタン◀・▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す**
  - これで「はじめての設定」は終了です。
- **通常画面に戻るには、終了ボタンを押す**

簡易確認テスト

21 カーソルボタン◀・▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 簡易確認テストが開始されます。
- 受信テストは、BS⟶110度CS⟶地上Dの順に行われます。

簡易確認テスト

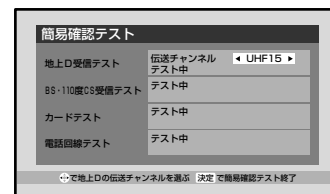
地上D受信テスト	伝送チャンネル ◀ UHF15 ▶ テスト中
BS・110度CS受信テスト	テスト中
カードテスト	テスト中
電話回線テスト	テスト中

で地上Dの伝送チャンネルを選ぶ 決定 で簡易確認テスト終了

地上デジタル放送を受信する場合

- 以下の操作で、伝送チャンネルごとの受信テストをします。
  ①**カーソルボタン◀・▶で伝送チャンネルを選ぶ**
  - 選んだ伝送チャンネルの受信テストをします。

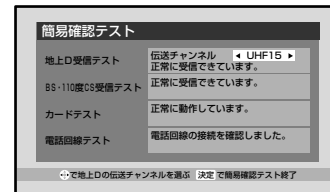
  ②**他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作をする**

- 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
- **テスト結果については、次ページをご覧ください。**

22 [簡易確認テストが終了したら] 決定ボタンを押す

- これで「はじめての設定」は終了です。
- 通常画面に戻るには、終了ボタンを押します。

簡易確認テスト

地上D受信テスト	伝送チャンネル ◀ UHF15 ▶ 正常に受信できています。
BS・110度CS受信テスト	正常に受信できています。
カードテスト	正常に動作しています。
電話回線テスト	電話回線の接続を確認しました。

で地上Dの伝送チャンネルを選ぶ 決定 で簡易確認テスト終了

[次のページにつづく]

- 手順**21**の「電話回線テスト」では、LAN端子設定の「接続テスト」（→232ページ）は行われません。

はじめての設定 つづき

簡易確認テスト つづき

■テスト結果について

テスト項目	テスト結果の表示	内容または対処のしかた
地上D受信テスト ［地上デジタル放送が受信できることをテストします。］	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。」	●「アンテナ線の接続と設定」（→172ページ）を確認してください。また、放送の停止や放送の変更などのため、受信できなかった場合があります。
BS・110度CS受信テスト ［BSデジタル放送と110度CSデジタル放送が受信できることをテストします。］	「正常に受信できています。」	――――
	「正しく受信できません。」または「BS（110度CS）は受信できますが110度CS（BS）が受信できません。」	●「アンテナ線の接続と設定」（→172ページ）と「受信設定」（→218ページ）を参照し、もう一度設定の状態を確認してください。
カードテスト ［本機で使えるB-CASカードかどうかテストします。］	「正常に動作しています。」	――――
	「このB-CASカードはご使用になれません。」	●B-CASカードを確かめてください。 ●カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
	「B-CASカードを正しく挿入してください。」	●B-CASカードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「このICカードはご使用になれません。正しいB-CASカードを挿入してください。」	●B-CASカードを正しい向きで挿入後、もう一度簡易確認テストをしてください。
	「B-CASカードが故障しています。」	●B-CASカードを交換してください。 ●カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
電話回線テスト ［電話回線が正しくつながることをテストします。］	「電話回線の接続を確認しました。」	――――
	「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。」	●「電話回線の接続」（→179ページ）および「電話回線設定」（→221ページ）を参照し、もう一度接続・設定の状態を確認してください。
	「電話回線の接続を確認できませんでした。」	●ダイヤル方式の設定が間違っているか、ターミナルアダプターを使用していることが考えられます。詳しくは181、190ページをご覧ください。
	「外線発信番号の設定によって電話回線テストができませんでした。」	●189や222ページで外線発信番号ありに設定し、さらに222ページで外線発信後の待ち時間を設定している場合は、電話回線テストはできません。電話回線が正しくつながっていることを確認するには「センターと接続できることを確認する場合」（→225ページ）を行うことをおすすめします。

データ放送用メモリーの割り当て

- 186ページの手順**9**や、197ページの手順**3**などで、データ放送用メモリーの割り当て画面が表示されたときの設定方法について説明します。

個人情報とデータ放送用メモリーの割り当てについて

- 地上デジタル放送の場合、放送局ごとに視聴者個人情報(たとえば、視聴ポイント数など)を利用したサービスが行われる場合があり、本機はその個人情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。
  通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引っ越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。
  その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割り当て画面(下の手順**1**の画面)が表示されますので、以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。
  メモリーを割り当てなかった放送局については、個人情報がすべて消去されますのでご注意ください。

はじめに

- **データ放送用メモリーの割り当て画面（右下図）が表示されていることを確認する**

1 カーソルボタン▲·▼で、メモリーを割り当てる放送局を選び、決定ボタンを押す

- 選んだ放送局にチェックマーク「✔」がついて指定されます。
  もう一度決定ボタンを押すと、指定が取り消されます。
- リモコンの地上ダイレクト選局ボタンに設定されている放送局(画面表示の放送局名表示の左側に1～12の数字が表示されています)については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。
- **このあと、手順2～4の操作をすると、メモリー割り当ての指定をしなかった放送局の個人情報はすべて消去されます。**
  消去された情報はもとに戻すことはできませんのでご注意ください。

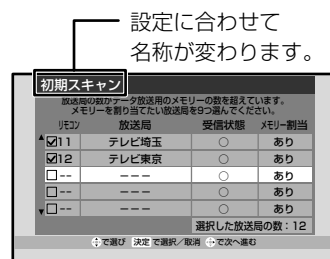
設定に合わせて名称が変わります。

初期スキャン

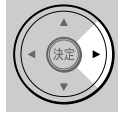
放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

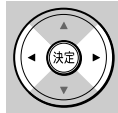
リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑11	テレビ埼玉	○	あり
☑12	テレビ東京	○	あり
□--	–––	○	あり
□--	–––	○	あり
□--	–––	○	あり

選択した放送局の数：12

で選び 決定 で選択／取消 で次へ進む

2 手順1の操作を繰り返し、九つの指定をする

- 地上ダイレクト選局ボタンについては自動的に設定されます。
  それらを除いた九つについて指定します。

3 カーソルボタン▶を押す

- 手順**4**の画面になります。(確認メッセージが表示されます。)
- 九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
  決定ボタンを押したあと、手順**1**～**2**の操作を行い、九つの指定をしてください。

4 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- 指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられます。
  それ以外放送局の個人情報はすべて消去されます。

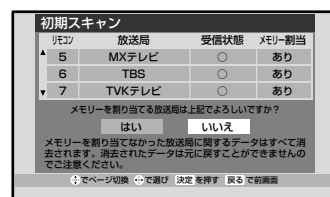
初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
5	MXテレビ	○	あり
6	TBS	○	あり
7	TVKテレビ	○	あり

メモリーを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？

はい　いいえ

メモリーを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。

でページ切換 で選び 決定 を押す 戻る で前画面

5 このページの設定をする前の操作を続ける

■「はじめての設定」の中の「初期スキャン」の場合 …… 186ページの手順**10**へ
■「初期スキャン」の場合 …………………………… 197ページの手順**4**へ
■「再スキャン」の場合 ……………………………… 198ページの手順**2**または199ページの手順**3**へ
■「手動チャンネル設定」の場合 …………………… 203ページの手順**8**へ

初期設定を個別に行うとき

チャンネル設定

チャンネル設定について

- 受信するチャンネルを本機に設定します。
- 「はじめての設定」（→184ページ）がお済みで、特に変更の必要がない場合は、「チャンネル設定」を行う必要はありません。
- チャンネル設定には、自動設定と手動設定があります。詳しくは下表とそれぞれの設定ページをご覧ください。

※通常は、自動設定で行います。

チャンネル設定の種類	放送の種類	内容	設定ページ
地上A自動設定	地上アナログ放送	● お使いになる地域に設定すると、その地域で放送されている地上アナログ放送（VHF/UHF）のチャンネルおよび各放送局名が自動的に設定されます。 ● 地上アナログ放送の自動設定されるチャンネルは「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→206ページ）をご覧ください。	195
地上D自動設定	地上デジタル放送	● 地上デジタル放送の場合、初期スキャンと再スキャン、自動スキャンの三つがあります。	–
		・初期スキャン･･･ 地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、リモコンの地上ダイレクト選局ボタンに放送の運用規定に基づいて自動的に設定します。他の地域に引っ越しなどの際には、初期スキャンを行ってください。	197
		・再スキャン････ 新たに放送局が開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえたなど、放送チャンネルに変更があった場合には再スキャンを行ってください。	198
		・自動スキャン･･･ 電源待機時などに自動的にチャンネルのスキャンを行い、放送局の変更が見つかったときには、自動的に変更して同時に「本機に関するお知らせ」でご連絡する機能です。	52
手動設定	・地上アナログ放送（CATV含む） ・地上デジタル放送 ・BSデジタル放送 ・110度CSデジタル放送	● リモコンのダイレクト選局ボタンに設定されている内容（チャンネル）を手動操作で変更したいときに行います。 ● 地上アナログ放送の場合は、以下のような場合にも手動設定をお使いください。 ・自動設定で設定ができないとき ・お住まいの地域で放送局がふえたとき ・設定されたチャンネル表示を変えたいとき ・地上アナログ放送の番組表用の地域設定を変更するとき	200 ～ 205

自動設定

- 自動設定には、地上アナログ放送の場合(以下)と地上デジタル放送の場合(→197ページ)があります。
- BSデジタルチャンネル、110度CSデジタルチャンネルについては、お買い上げ時に設定されています。お買い上げ時に設定されている内容については、38ページの表をご覧ください。
  設定を変更する場合は「手動設定」の「BSデジタル放送の場合」(→204ページ)、「110度CSデジタル放送の場合」(→205ページ)で行ってください。

■地上アナログ放送の場合

- ここでは、地上アナログ放送のチャンネルを自動設定します。
- ご使用になる地域で放送されているチャンネルを設定することができます。
- お買い上げ時は、リモコンの地上ダイレクト選局ボタンにはVHFの1～12チャンネルが番号と同じに設定されています。

●地上アナログ放送の地上Ａ自動設定の前に

- 以下の流れに従ってチャンネルを設定します。

「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(→206～213ページ)に、
お使いになる地域・都市名が記載されていますか？

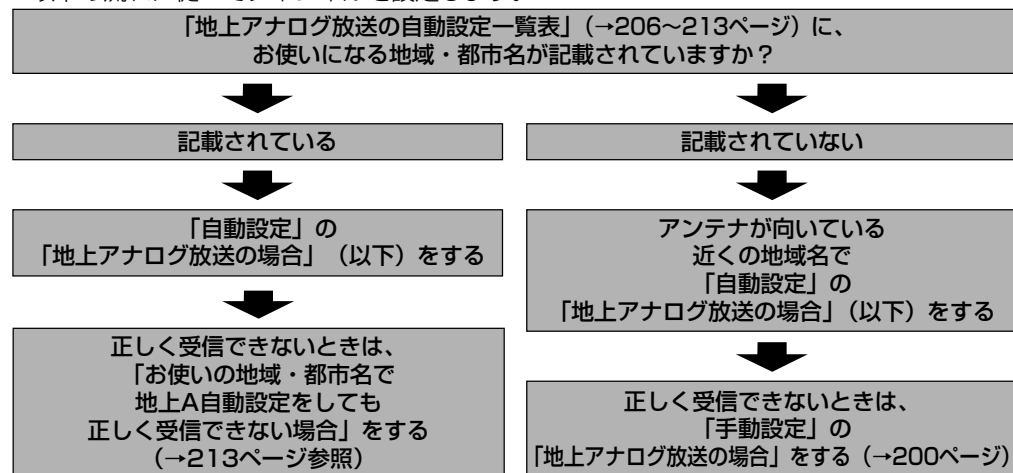
記載されている

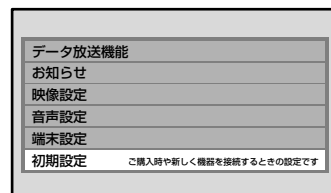
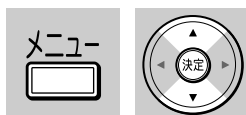
「自動設定」の
「地上アナログ放送の場合」(以下)をする

正しく受信できないときは、
「お使いの地域・都市名で
地上A自動設定をしても
正しく受信できない場合」をする
(→213ページ参照)

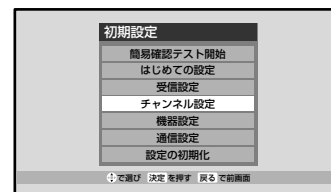
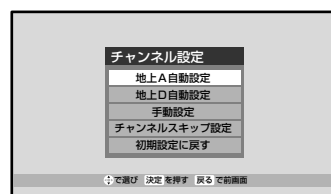
記載されていない

アンテナが向いている
近くの地域名で
「自動設定」の
「地上アナログ放送の場合」(以下)をする

正しく受信できないときは、
「手動設定」の
「地上アナログ放送の場合」をする(→200ページ)

- 地上A自動設定は、「地上アナログ放送の自動設定一覧表」(→206～213ページ)の内容で設定されますが、チャンネルが変更になり受信できなくなることがあります。
  受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」(200ページ)で設定してください。

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「初期設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

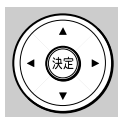
- 「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼で「地上A自動設定」を選び、決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

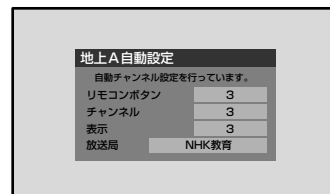
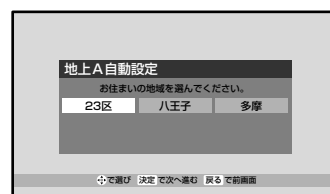
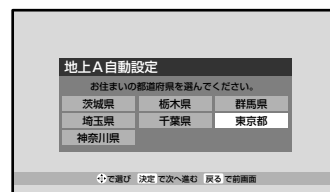
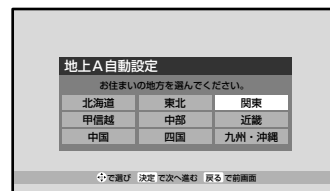
自動設定 つづき

■地上アナログ放送の場合 つづき

4 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地方名を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの都道府県名を選び、決定ボタンを押す

6 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地域・都市名を選び、決定ボタンを押す

- つぎつぎにチャンネル設定確認画面が表示されながら自動的にリモコンの地上ダイレクト選局ボタンにチャンネルが設定されます。
- 自動で設定されるチャンネルは206～213ページの一覧表をご覧ください。

地上A自動設定
自動チャンネル設定を行っています。
リモコンボタン 3
チャンネル 3
表示 3
放送局 NHK教育

- 地上A自動設定が終わると、右のメッセージが数秒間表示されます。

地上A自動設定を終了しました。

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

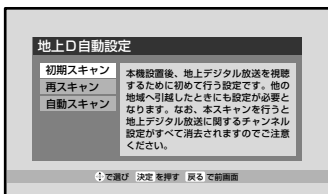
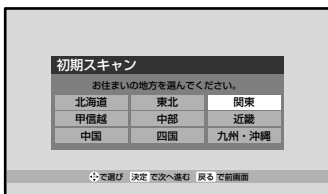
- バージョンアップによって、本機内に設定している「地上アナログ放送の自動設定一覧表」（→206～213ページ）の内容が変わる場合があります。その結果、選択の手順**4**～**6**の項目が変わる場合もあります。
- 設定したチャンネルを一覧表示して確認する場合や受信できないチャンネルがあるときは、「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」（→200ページ）で設定してください。
- 地上アナログ放送の番組表を使用する場合で、上の手順**4**、**5**で設定した地域以外のチャンネルを受信する場合は、必要に応じて「手動設定」の「地上アナログ放送の場合」（→200、201ページ）で、該当するチャンネルの「受信地域」を変更してください。

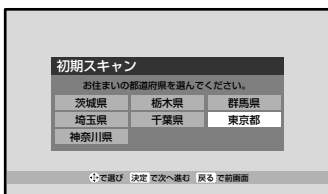
■地上デジタル放送の場合

● 初期スキャン

- 「はじめての設定」(→184ページ)の中の「初期スキャン」と同じ機能です。(動作はこのページ下の「お知らせ」を参照)
- 「初期スキャン」を行うとこれまでに選局設定した内容は、すべて消去されて、設定し直されますのでご注意ください。
  各放送局ごとに本機に記憶された個人情報(193ページの最初の説明を参照)については消去されません。
  「はじめての設定」終了後、新たに開局した地上デジタル放送チャンネルを登録する場合や中継局が新設、変更された場合は、「再スキャン」(→198ページ)を行ってください。

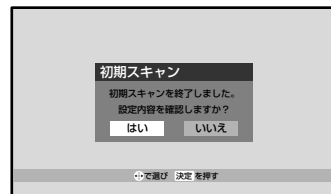
1 以下の操作で「初期スキャン」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「地上D自動設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤ カーソルボタン▲·▼で「初期スキャン」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの地方を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶でお住まいの都道府県または地域を選び、決定ボタンを押す

- 初期スキャンが自動的に始まります。
  終了するまでしばらくお待ちください。
- 初期スキャンが終わると手順**4**の上の画面が表示されます。
  手順**4**に進んでください。

※初期スキャン中に戻るボタンや終了ボタンを押すと、初期スキャンを終了します。(初期スキャンした内容は設定されません。)

右下の画面が表示された場合

- 「データ放送用メモリーの割り当て」(→193ページ)を行ってください。終了したら、手順**4**に進みます。

4 右下の画面が表示されたら、以下を行う

設定された内容を確認する場合

① カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
② 設定内容を確認したら、決定ボタンを押す

- 設定内容を変更したい場合は、「初期スキャン」終了後、「手動設定」(→202ページ)で行ってください。

設定された内容を確認しない場合

- カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■初期スキャンの動作について

- 初期スキャンを行うと、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを自動的に探して、本機のメモリーに設定します。
  同時に地上ダイレクト選局ボタンに、放送の運用規定に基づいて自動的に設定をします。
  自動設定される状態については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」(→214ページ)が目安となります。
  ※ 自動設定された内容を変更したい場合は、手動設定(→202ページ)で行ってください。
- 初期スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
- 初期スキャン後の各チャンネルの構成については、「放送局名」リストで確認できます。(→48ページ手順**1**以降を参照)
- 電波が弱い場合には、初期スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できない場合があります。

■地方と地域の設定について

- チャンネルの自動設定は、手順**2**、**3**で設定された地方、地域に基づいて行われます。242ページでも地方、地域を設定しますが、それは、データ放送(たとえば、天気予報や選挙速報など)や緊急警報放送を受信したり、電話回線を通してもよりのアクセスポイントでご利用いただくための設定であり、手順**2**、**3**の設定とは別に設定できるようになっています。

■「はじめての設定」と異なる部分について

- 「はじめての設定」(→184ページ)と「初期スキャン」では、地方・都道府県・地域の設定のしかたが異なっています。
  これは「はじめての設定」では、地上アナログと地上デジタルの設定を同時にまとめて行っているためです。

チャンネル設定 つづき

自動設定 つづき

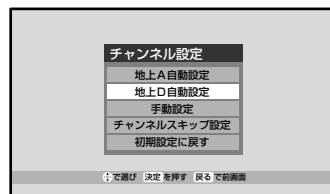
■地上デジタル放送の場合 つづき

● 再スキャン

- 地上デジタル放送で、新たに開局したり、中継局が新設されるなどしてチャンネルがふえたなど、放送チャンネルに変更があった場合は、この「再スキャン」を行うことによって、チャンネルを自動的に追加設定することができます。
- 地上デジタル放送の設定をはじめて行う場合「初期スキャン」(→197ページ)を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態では「再スキャン」はできません。
- 設定されるチャンネルの目安については、「地上デジタル放送の放送(予定)一覧表」(→214ページ)をご覧ください。

1 以下の操作で「地上D自動設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「地上D自動設定」を選び、決定ボタンを押す

チャンネル設定
地上A自動設定
地上D自動設定
手動設定
チャンネルスキップ設定
初期設定に戻す
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

2 カーソルボタン▲·▼で「再スキャン」を選び、決定ボタンを押す

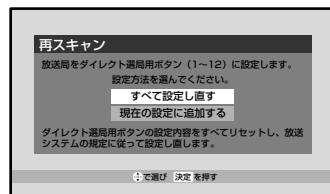
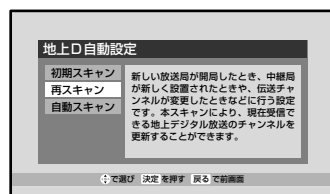
- 再スキャンが始まります。
  終了するまでしばらくお待ちください。
- 再スキャンが終わると手順**3**の画面になります。

地上D自動設定
初期スキャン
再スキャン
自動スキャン
新しい放送局が開局したとき、中継局が新しく設置されたときや、伝送チャンネルが変更したときなどに行う設定です。本スキャンにより、現在受信できる地上デジタル放送のチャンネルを更新することができます。
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

「初期スキャン実行後に行ってください」が表示された場合

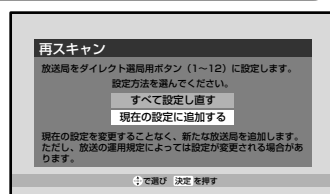
- 「初期スキャン」が行われていない状態では、「再スキャン」はできません。「初期スキャン」(→197ページ)を行ってください。

右の画面が表示された場合

- 放送局を地上ダイレクト選局ボタンに設定する方法について、次のように選んでください。
  そのあとは、手順**3**に進んでください。

放送システム上の規定に従って、すべて設定し直す場合

- **カーソルボタン▲·▼で「すべて設定し直す」を選び、決定ボタンを押す**
  - · この場合、地上ダイレクト選局ボタンに設定されていた放送局はすべて削除されますので、ご注意ください。

未設定の地上ダイレクト選局ボタンのみ、放送システム上の規定に従って設定する場合

- **カーソルボタン▲·▼で「現在の設定に追加する」を選び、決定ボタンを押す**
  - · この場合、すでに異なる放送局が設定されている地上ダイレクト選局ボタンについては、新たな設定は行われません。
  ※放送の運用規定によって、その地域向けの放送が始まると、地上ダイレクト選局ボタンの設定が変わる場合があります。

- 再スキャンの途中で戻るボタンや終了ボタンを押すと、再スキャンを終了します。(再スキャンした内容は本機に設定されません。)

右の画面が表示された場合

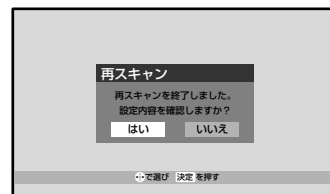
●「データ放送用メモリーの割り当て」(→193ページ)を行ってください。

3 右の画面が表示されたら、以下を行う

設定された内容を確認する場合

①カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す
②設定内容を確認したら、決定ボタンを押す

設定された内容を確認しない場合

●カーソルボタン◀·▶で「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

■再スキャンの動作について

- 「初期スキャン」(→197ページ)の場合は、すでに地上ダイレクト選局ボタンに設定されている放送局をすべて消去して、新たに放送局を設定し直します。
  再スキャンでは次のようになります。
  ・すでに放送局が登録されている地上ダイレクト選局ボタンについて、再スキャンによって放送システム上の規定で設定すべき放送局が新たに見つかった場合、すでに登録されている放送局をそのまま残すのか、新たな放送局に設定し直すのかの選択ができます。
  (選択は、すべてのボタンについてまとめて行います。個別の選択はできません。個別に設定を変えたい場合は、再スキャン終了後に「手動設定」(→202ページ)で行ってください。)
  ・新たな放送局が見つからなかった地上ダイレクト選局ボタンについては、そのまま設定が残ります。
- 再スキャンは(VHF1～12)→(UHF13～62)→(CATV13～63)の順で行われます。
- 再スキャン後の各チャンネルの構成については、「放送局名」リストで確認できます。(→48ページ手順**1**以降を参照)
- 再スキャンをしても、枝番(→37ページ)については、通常は変更されません。
- 電波が弱い場合には、再スキャンした結果、チャンネルの設定がされても、正常には受信できないことがあります。

● 自動スキャン

●自動スキャンについては、52ページをご覧ください。

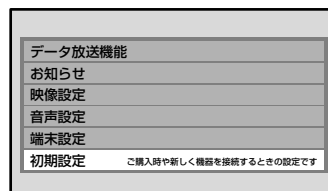
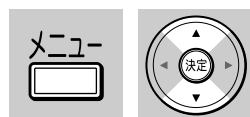
初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

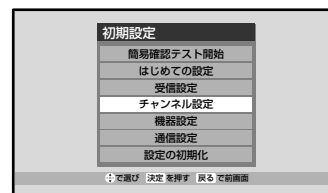
手動設定

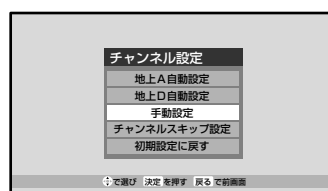
■地上アナログ放送（VHF/UHF/CATV C13～C38）の場合

● 以下の設定例：リモコンの(5)ボタンにUHF放送の「14」チャンネル、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」で設定するとき

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲･▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

●「初期設定」メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲･▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

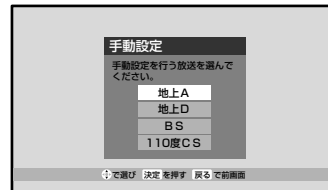
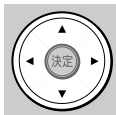
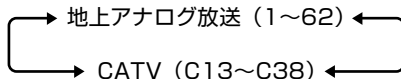
●「チャンネル設定」メニューが表示されます。

3 カーソルボタン▲･▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

●「手動設定」メニューが表示されます。

4 カーソルボタン▲･▼で「地上A」を選び、決定ボタンを押す

● 地上アナログ放送チャンネルの手動設定画面になります。

5 カーソルボタン▲･▼で設定する「リモコン」の1～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

手動設定　地上A

リモコン	チャンネル	表示	放送局
1	1	1	NHK総合
2	2	2	
3	3	3	NHK教育
4	4	4	日本テレビ
5	5	5	
6	6	6	TBS

6 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選び、カーソルボタン◀·▶で設定する地上アナログチャンネルを選ぶ

● カーソルボタン◀·▶を押すと以下の順に切り換わります。

※上図は、リモコンボタンの5に、14チャンネルを設定し、画面表示番号を「5」、放送局名を「MXテレビ」にした場合の例です。

チャンネル調整を少しずらしたほうが見やすくなる場合

● 色が消えたり画像が不安定になったときに、以下の操作で微調整すると良くなる場合があります。

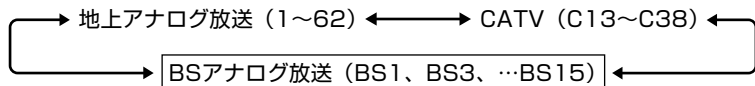
● **ページ切換ボタン⊟·⊟で見やすい映像に微調整する**

· 調整前の状態に戻すには、カーソルボタン◀·▶でチャンネルを選び直してください。

7 カーソルボタン▲·▼で「表示」を選び、カーソルボタン◀·▶でテレビ画面に表示させる番号を選ぶ

● カーソルボタン◀·▶を押すと以下の順に切り換わります。

地上アナログ放送（1～62）⟷ CATV（C13～C38）

BSアナログ放送（BS1、BS3、…BS15）

CATVでBSのアナログ放送が行われている場合に使います。

8 カーソルボタン▲·▼で「放送局」を選び、カーソルボタン◀·▶で放送局名を選ぶ

● 選んだ状態が設定されます。

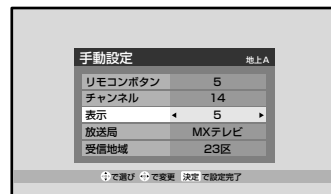
● 放送局名を表示しない場合は、「表示しない」に設定してください。

9 カーソルボタン▲·▼で「受信地域」を選び、カーソルボタン◀·▶でご覧になる放送の地域を選ぶ

※ これは地上アナログ放送の番組表（→40ページ）を使用するための設定です。

10 決定ボタンを押す

ほかのボタンにもチャンネルを設定する場合、手順 5 ～ 10 を繰り返す

11 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

お知らせ

● 手順**6**で設定する際、カーソルボタン◀·▶を押しつづけると、設定するチャンネルの選局を早く行うことができます。

● 「チャンネル設定」を行った地上アナログチャンネルは、チャンネルスキップ設定が自動的に「受信」に設定されます。

■CATV（ケーブルテレビ）について

● CATVの受信は、サービスの行われている地域でだけ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらに、スクランブルのかかった有料放送の視聴、録画には、ホームターミナル（アダプター）が必要になります。詳しくは、CATV会社にご相談ください。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

手動設定 つづき

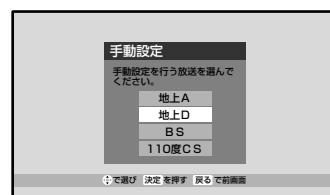
■地上デジタル放送の場合

- チャンネル設定の内容を削除したい場合は、205ページ右側の手順で行ってください。
- **地上デジタル放送の設定をはじめてする場合は、「初期スキャン」(→197ページ)を行ってください。「初期スキャン」が行われていない状態では手動設定はできません。**

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

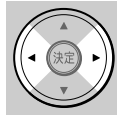
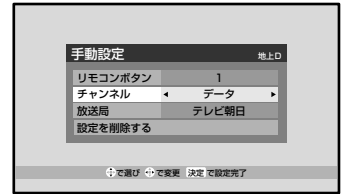
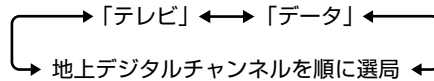
2 カーソルボタン▲·▼で「地上D」を選び、決定ボタンを押す

- 地上デジタル放送チャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定する「リモコン」の1～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選ぶ

5 カーソルボタン◀·▶で設定する地上デジタルチャンネルを選ぶ

● カーソルボタン◀·▶を押すと以下の順に切り換わります。

「テレビ」←→「データ」← 地上デジタルチャンネルを順に選局 ←

放送メディア(「テレビ」または「データ」)を選んだ場合

● 一つのボタンに同じ放送局で、放送メディアがテレビまたはデータのチャンネルがまとめて設定されます。(右図の例を参照)

●「テレビ」を選んだあと、以下によって、設定したい放送局を選んでください。

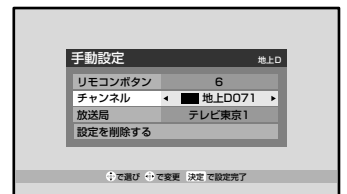
① **カーソルボタン▲·▼で「放送局」を選ぶ**

② **カーソルボタン◀·▶で設定したい放送局を選ぶ**

(例)リモコンの地上Dボタンを押してから、6 を押すごとに「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次選局されます。

通常の地上デジタルチャンネルを選んだ場合

● リモコンの地上ダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。(右の例を参照)

●「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。
(放送局名を変えることはできません。)

(例)リモコンの地上Dボタンを押してから、6 を押すと071チャンネルが選局されます。

6 決定ボタンを押す

ほかのボタンにもチャンネルを設定する場合、手順3～6を繰り返す

7 カーソルボタン▶を押す

● 設定を完了して手順**2**の画面に戻ります。

右の画面が表示された場合

●「データ放送用メモリーの割り当て」(→193ページ)を行ってください。

手動設定 地上D

放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。
メモリーを割り当てたい放送局を9つ選んでください。

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☑ 1	NHK総合・東京	○	あり
☑ 2	NHK教育・東京	○	あり
☑ 3	TVKテレビ	○	あり
☑ 4	日本テレビ	○	あり
☑ 5	テレビ朝日	○	あり

選択した放送局の数：12

で選び 決定 で選択／取消 で次へ進む

8 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

● 手順**5**で設定する際、カーソルボタン◀·▶を押しつづけると、設定するチャンネルを早く切り換えることができます。

●「チャンネル」の項目で「———」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

手動設定 つづき

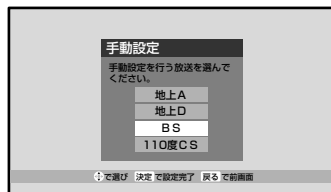
■BS デジタル放送の場合

- チャンネル設定の内容を削除したい場合は、205ページ右側の手順で行ってください。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

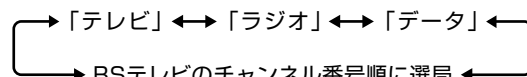
2 カーソルボタン▲·▼で「BS」を選び、決定ボタンを押す

- BSデジタル放送チャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲·▼で設定するリモコンのボタン（1 NHK1～10 スター のいずれか）を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「チャンネル」を選ぶ

5 カーソルボタン◀·▶で設定するBSデジタルチャンネルを選ぶ

- カーソルボタン◀·▶を押すと以下の順に切り換わります。

→「テレビ」⟷「ラジオ」⟷「データ」←
→ BSテレビのチャンネル番号順に選局 ←

放送メディア(「BSテレビ」または「BSラジオ」または「BSデータ」)を選んだ場合

- 一つのボタンに同じ放送局のBSテレビまたはBSラジオまたはBSデータの複数チャンネルがまとめて設定されます。
- 上記の操作と放送メディアを設定したあと、以下の操作で設定したい放送局を選んでください。

(例)リモコンのBS／CSダイレクト選局ボタン 4 BS日テレ を押すごとに、「BS日テレ」の「BSテレビ」チャンネルが順次選局される設定

①カーソルボタン▲·▼で「放送局」を選ぶ
②カーソルボタン◀·▶で設定したい放送局を選ぶ

通常のBSデジタル放送のチャンネルを選んだ場合

- リモコンのBS／CSダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。(右の例を参照)
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます。(放送局名を変えることはできません。)

(例)リモコンのBS／CSダイレクト選局ボタン 4 BS日テレ を押すと、BS141が選局される設定

6 決定ボタンを押す

ほかのボタンにもチャンネルを設定する場合、手順3～6を繰り返す

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 手順**5**で設定する際、カーソルボタン◀·▶を押しつづけると、設定するチャンネルを早く切り換えることができます。
- 「チャンネル」の項目で「ーーー」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

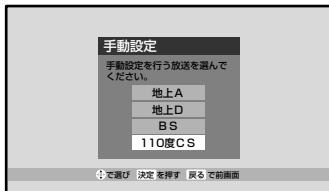
■110度CSデジタル放送の場合

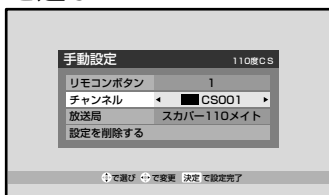
- チャンネル設定の内容を削除したい場合は、右側の手順で行ってください。

1 以下の操作で「手動設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲・▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲・▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲・▼で「手動設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「110度CS」を選び、決定ボタンを押す

- 110度CSデジタル放送チャンネルの手動設定画面になります。

3 カーソルボタン▲・▼で設定するリモコンのボタン（1 NHK1～10 スター のいずれか）を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲・▼で「チャンネル」を選び、カーソルボタン◀・▶で設定する110度CSデジタルチャンネルを選ぶ

（例）リモコンのBS／CSダイレクト選局ボタン 1 NHK1 を押すと、CS001が選局される設定

- カーソルボタン◀・▶を押すとすべてのチャンネルが番号順に切り換わります。
- 放送メディアを指定することはできません。
- リモコンのBS／CSダイレクト選局ボタンを押したとき、上記で選んだチャンネルだけを選局するように設定されます。(上の例を参照)
- 「放送局」欄には選んだチャンネルの放送が表示されます。(放送局名を変えることはできません。)

5 決定ボタンを押す

ほかのボタンにもチャンネルを設定する場合、手順3～5を繰り返す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

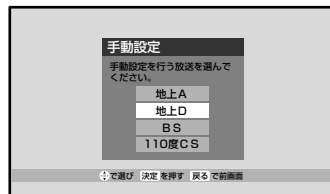
- 手順**4**で設定する際、カーソルボタン◀・▶を押しつづけると、設定するチャンネルを早く切り換えることができます。
- 「チャンネル」の項目で「ーーー」が表示されているところは、チャンネルが設定されていません。

■チャンネル設定の内容を削除するには

- 地上デジタル放送、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送のチャンネル設定の内容(ダイレクト選局ボタンの設定内容)を削除することができます。

1 左側の手順1の操作で「手動設定」メニューにする

2 カーソルボタン▲・▼で「地上D」、「BS」、「110度CS」のいずれかを選び、決定ボタンを押す

- 選んだ放送の手動設定画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲・▼で削除したい「リモコン」の1～12のボタンを選び、決定ボタンを押す

（例） 地上Dを選んだ場合

4 カーソルボタン▲・▼で「設定を削除する」を選び、決定ボタンを押す

ほかのボタンも設定を削除したい場合は、手順3～4を繰り返す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表

- 195ページの「地上A自動設定」で設定すると、この表にある放送局が各チャンネルポジションに自動設定されます。
- この表にない放送局を設定するときは、200ページの「手動設定」で設定してください。
- この表にない地域のかたは近くの地域・都市名で設定して、正しく設定できないときは「手動設定」で設定してください。
- 地上デジタル放送開始にともなう「アナログ周波数変更対策」によって、この表のチャンネルの内容が変わることがあります。その場合は「手動設定」（→200ページ）で設定してください。
- この表に記載のお使いになる地域・都市名を、地上A自動設定で選んで設定しても、アンテナの向きや高層物などの影響によって、正しく受信できない場合があります。その場合は213ページ下をご覧ください。
- ソフトウェアのバージョンアップによって、この表の内容（自動設定される内容）は、変わる場合があります。
- この表の内容は放送局側の運用変更によって、変わる場合があります。

2004年12月1日現在

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	旭川	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	33	33
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
		釧路	2	NHK教育	2	2
			3	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			4	北海道文化放送（UHB）	41	41
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
		北見	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	59	59
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	53	53
		網走	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			9	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK教育	12	12
		稚内	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK総合	28	28
			6	札幌テレビ放送（STV）	22	22
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK教育	30	30

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・北部	名寄	2	北海道文化放送（UHB）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	札幌テレビ放送（STV）	6	6
			8	北海道テレビ放送（HTB）	24	24
			10	北海道放送（HBC）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		根室	2	NHK教育	2	2
			5	北海道文化放送（UHB）	62	62
			6	北海道テレビ放送（HTB）	60	60
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
	北海道・南部	札幌	1	北海道放送（HBC）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	テレビ北海道（TVh）	17	17
			5	札幌テレビ放送（STV）	5	5
			7	北海道文化放送（UHB）	27	27
			10	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			12	NHK教育	12	12
		函館	1	北海道文化放送（UHB）	27	27
			3	北海道テレビ放送（HTB）	35	35
			4	NHK総合	4	4
			5	テレビ北海道（TVh）	21	21
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	NHK教育	10	10
			12	札幌テレビ放送（STV）	12	12
		帯広	1	北海道文化放送（UHB）	32	32
			3	北海道テレビ放送（HTB）	34	34
			4	NHK総合	4	4
			6	北海道放送（HBC）	6	6
			10	札幌テレビ放送（STV）	10	10
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
北海道	北海道・南部	苫小牧	2	NHK教育	49	49
			4	北海道テレビ放送（HTB）	61	61
			5	北海道文化放送（UHB）	53	53
			7	札幌テレビ放送（STV）	57	57
			9	NHK総合	51	51
			11	北海道放送（HBC）	55	55
			12	テレビ北海道（TVh）	47	47
		小樽	2	NHK教育	2	2
			4	北海道テレビ放送（HTB）	4	4
			5	北海道文化放送（UHB）	26	26
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	北海道放送（HBC）	9	9
			11	NHK総合	11	11
			12	テレビ北海道（TVh）	24	24
		室蘭	2	NHK教育	2	2
			4	テレビ北海道（TVh）	29	29
			5	北海道文化放送（UHB）	37	37
			6	北海道テレビ放送（HTB）	39	39
			7	札幌テレビ放送（STV）	7	7
			9	NHK総合	9	9
			11	北海道放送（HBC）	11	11
東北	青森	青森	1	青森放送（RAB）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			4	青森朝日放送（ABA）	34	34
			5	NHK教育	5	5
			12	青森テレビ（ATV）	38	38

［東北は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	青森	八戸	2	アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）	2	2
			3	テレビ岩手	37	37
			4	岩手めんこいテレビ	29	29
			6	岩手朝日テレビ	27	27
			7	NHK教育	7	7
			9	NHK総合	9	9
			10	青森朝日放送（ABA）	31	31
			11	青森放送（RAB）	11	11
			12	青森テレビ（ATV）	33	33
		むつ	4	NHK総合	4	4
			6	青森朝日放送（ABA）	56	56
			8	青森テレビ（ATV）	58	58
			10	青森放送（RAB）	10	10
			12	NHK教育	12	12
	岩手	盛岡	1	テレビ岩手	35	35
			4	NHK総合	4	4
			6	アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	岩手めんこいテレビ	33	33
			12	岩手朝日テレビ	31	31
		釜石	2	NHK総合	2	2
			4	岩手朝日テレビ	62	62
			6	岩手めんこいテレビ	60	60
			8	テレビ岩手	58	58
			10	アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）	10	10
			12	NHK教育	12	12
		二戸	2	アイビーシー岩手放送（IBCテレビ）	2	2
			4	岩手朝日テレビ	27	27
			5	NHK総合	5	5
			8	岩手めんこいテレビ	29	29
			10	テレビ岩手	37	37
			12	NHK教育	12	12
	宮城	仙台	1	東北放送（TBCテレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	東日本放送	32	32
			9	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	34	34
			12	仙台放送	12	12
		石巻	1	東北放送（TBCテレビ）	59	59
			3	NHK総合	51	51
			5	NHK教育	49	49
			7	東日本放送	61	61
			9	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	55	55
			12	仙台放送	57	57
		気仙沼	2	NHK総合	2	2
			4	東北放送（TBCテレビ）	4	4
			6	仙台放送	6	6
			8	東日本放送	43	43
			10	NHK教育	10	10
			12	宮城テレビ放送（ミヤギテレビ）	37	37

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	秋田	秋田	2	NHK教育	2	2
			5	秋田朝日放送	31	31
			9	NHK総合	9	9
			11	秋田放送（ABSテレビ）	11	11
			12	秋田テレビ（AKT）	37	37
		大館	1	青森放送（RAB）	1	1
			4	NHK総合	4	4
			5	秋田朝日放送	59	59
			6	秋田放送（ABSテレビ）	6	6
			8	NHK教育	8	8
			12	秋田テレビ（AKT）	57	57
		大曲・横手	2	NHK教育	43	43
			5	秋田朝日放送	41	41
			9	NHK総合	45	45
			11	秋田放送（ABSテレビ）	47	47
			12	秋田テレビ（AKT）	51	51
	山形	山形	4	NHK教育	4	4
			6	テレビユー山形（TUY）	36	36
			8	NHK総合	8	8
			10	山形放送（YBC山形放送）	10	10
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	30	30
			12	山形テレビ	38	38
		鶴岡・酒田	1	山形放送（YBC山形放送）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	NHK教育	6	6
			8	テレビユー山形（TUY）	22	22
			11	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	24	24
			12	山形テレビ	39	39
		米沢	2	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	60	60
			4	NHK教育	50	50
			6	テレビユー山形（TUY）	56	56
			8	NHK総合	52	52
			10	山形放送（YBC山形放送）	54	54
			12	山形テレビ	58	58
		新庄	2	NHK教育	2	2
			4	さくらんぼテレビジョン（さくらんぼテレビ）	28	28
			6	テレビユー山形（TUY）	26	26
			9	NHK総合	9	9
			11	山形放送（YBC山形放送）	11	11
			12	山形テレビ	58	58
	福島	福島・郡山	2	NHK教育	2	2
			4	テレビユー福島	31	31
			6	福島中央テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			10	福島放送（KFB）	35	35
			11	福島テレビ（FTV）	11	11

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
東北	福島	いわき	4	NHK総合	4	4
			6	福島中央テレビ	58	58
			7	テレビユー福島	62	62
			8	福島テレビ（FTV）	8	8
			10	NHK教育	10	10
			12	福島放送（KFB）	60	60
		会津若松	1	NHK総合	1	1
			3	NHK教育	3	3
			4	テレビユー福島	47	47
			6	福島テレビ（FTV）	6	6
			8	福島中央テレビ	37	37
			10	福島放送（KFB）	41	41
関東	茨城	水戸	1	NHK総合	44	1
			3	NHK教育	46	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	42	4
			6	東京放送（TBS）	40	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	38	8
			10	テレビ朝日	36	10
			12	テレビ東京	32	12
		日立	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（TBS）	56	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
	栃木	宇都宮	1	NHK総合	51	1
			3	NHK教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	とちぎテレビ	31	31
			6	東京放送（TBS）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	44	12
		矢板	1	NHK総合	40	1
			3	NHK教育	30	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	36	4
			5	とちぎテレビ	33	31
			6	東京放送（TBS）	42	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	45	8
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12
	群馬	前橋	1	NHK総合	52	1
			3	NHK教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（TBS）	56	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	62	12

[関東は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表 つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	群馬	桐生	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	57	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			5	放送大学	40	40
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	35	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	41	48
			12	テレビ東京	61	12
	埼玉	さいたま	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ埼玉	38	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			10	テレビ朝日	10	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	12	12
		熊谷・児玉	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	35	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			7	テレビ埼玉	30	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			10	テレビ朝日	59	10
			11	群馬テレビ	48	48
			12	テレビ東京	61	12
		秩父	1	ＮＨＫ総合	14	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	16	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	18	6
			7	テレビ埼玉	47	38
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	29	8
			10	テレビ朝日	38	10
			12	テレビ東京	44	12
	千葉	千葉・船橋	1	ＮＨＫ総合	1	1
			2	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	14	14
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		銚子	1	ＮＨＫ総合	51	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	53	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	55	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	57	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	39	46
			10	テレビ朝日	59	10
			12	テレビ東京	61	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	東京	23区	1	ＮＨＫ総合	1	1
			2	放送大学	16	16
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	14	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			11	テレビ埼玉	38	38
			12	テレビ東京	12	12
		八王子	1	ＮＨＫ総合	33	1
			3	ＮＨＫ教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	40	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	37	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	31	8
			10	テレビ朝日	45	10
			12	テレビ東京	62	12
		多摩	1	ＮＨＫ総合	49	1
			3	ＮＨＫ教育	47	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			5	東京メトロポリタンテレビ（ＭＸテレビ）	61	14
			6	東京放送（ＴＢＳ）	53	6
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
	神奈川	横浜・川崎	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	4	4
			5	放送大学	16	16
			6	東京放送（ＴＢＳ）	6	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	42	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	8	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	10	10
			12	テレビ東京	12	12
		横浜みなと	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	56	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	48	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			9	千葉テレビ放送（ＣＴＣ）	46	46
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
関東	神奈川	平塚・茅ケ崎	1	ＮＨＫ総合	33	1
			3	ＮＨＫ教育	29	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	35	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	37	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	31	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	39	8
			10	テレビ朝日	41	10
			12	テレビ東京	43	12
		小田原	1	ＮＨＫ総合	52	1
			3	ＮＨＫ教育	50	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	54	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	56	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	46	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	58	8
			10	テレビ朝日	60	10
			12	テレビ東京	62	12
		秦野	1	ＮＨＫ総合	47	1
			3	ＮＨＫ教育	49	3
			4	日本テレビ放送網（日本テレビ）	51	4
			6	東京放送（ＴＢＳ）	53	6
			7	テレビ神奈川（ＴＶＫテレビ）	61	42
			8	フジテレビジョン（フジテレビ）	55	8
			10	テレビ朝日	57	10
			12	テレビ東京	59	12
甲信越	新潟	新潟	3	新潟テレビ21（ＮＴ21）	21	21
			4	テレビ新潟放送網（ＴｅＮＹ）	29	29
			5	新潟放送（ＢＳＮ新潟放送）	5	5
			8	ＮＨＫ総合	8	8
			10	新潟総合テレビ	35	35
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		上越	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			6	新潟テレビ21（ＮＴ21）	37	37
			8	テレビ新潟放送網（ＴｅＮＹ）	27	27
			10	新潟放送（ＢＳＮ新潟放送）	10	10
			12	新潟総合テレビ	33	33
	山梨	※	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			5	山梨放送（ＹＢＳ）	5	5
			6	テレビ山梨（ＵＴＹ）	37	37
	長野	長野（美ヶ原）	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	長野朝日放送（ＡＢＮ）	20	20
			6	テレビ信州	30	30
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	長野放送（ＮＢＳ）	38	38
			11	信越放送	11	11

※山梨は、甲府地域のチャンネルが設定されます。

[甲信越は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
甲信越	長野	長野（善光寺平）	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			6	テレビ信州	40	40
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	48	48
		松本	2	NHK総合	44	44
			4	長野朝日放送（ABN）	50	50
			6	テレビ信州	48	48
			9	NHK教育	46	46
			10	長野放送（NBS）	42	42
			11	信越放送	40	40
		飯田	3	NHK教育	3	3
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	テレビ信州	42	42
			10	長野放送（NBS）	40	40
			12	長野朝日放送（ABN）	44	44
		岡谷・諏訪	1	長野朝日放送（ABN）	61	61
			4	NHK総合	4	4
			6	信越放送	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ信州	59	59
			12	長野放送（NBS）	47	47
中部	富山	富山	1	北日本放送	1	1
			3	NHK総合	3	3
			6	チューリップテレビ	32	32
			10	NHK教育	10	10
			12	富山テレビ放送（BBT）	34	34
		高岡	1	北日本放送	50	1
			3	NHK総合	48	3
			6	チューリップテレビ	42	32
			10	NHK教育	46	10
			12	富山テレビ放送（BBT）	44	34
	石川	金沢	4	NHK総合	4	4
			6	北陸放送（MRO）	6	6
			7	北陸朝日放送（HAB）	25	25
			8	NHK教育	8	8
			10	テレビ金沢	33	33
			12	石川テレビ放送（石川テレビ）	37	37
		七尾	1	テレビ金沢	57	57
			3	北陸朝日放送（HAB）	59	59
			5	NHK教育	5	5
			7	石川テレビ放送（石川テレビ）	55	55
			9	NHK総合	9	9
			11	北陸放送（MRO）	11	11
	福井	福井	3	NHK教育	3	3
			9	NHK総合	9	9
			11	福井放送（FBCテレビ）	11	11
			12	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	39	39
		敦賀	6	NHK総合	6	6
			8	福井放送（FBCテレビ）	8	8
			10	福井テレビジョン放送（福井テレビ）	38	38
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	岐阜	岐阜	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		長良	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	57
			3	NHK総合	53	53
			5	中部日本放送（CBC）	55	55
			9	NHK教育	49	49
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	61	61
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	59	59
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	47
		高山	2	NHK教育	2	2
			3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	中部日本放送（CBC）	6	6
			8	東海テレビ放送（東海テレビ）	8	8
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	38	38
			12	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	12	12
		各務原	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		中津川	3	中京テレビ放送（中京テレビ）	26	26
			4	NHK総合	4	4
			6	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	6	6
			8	中部日本放送（CBC）	8	8
			10	東海テレビ放送（東海テレビ）	10	10
			11	岐阜放送（岐阜テレビ）	28	28
			12	NHK教育	12	12
	静岡	静岡	2	NHK教育	2	2
			4	静岡第一テレビ	31	31
			6	静岡朝日テレビ	33	33
			9	NHK総合	9	9
			11	静岡放送（SBSテレビ）	11	11
			12	テレビ静岡	35	35
		浜松	2	静岡第一テレビ	30	30
			4	NHK総合	4	4
			6	静岡放送（SBSテレビ）	6	6
			8	NHK教育	8	8
			10	静岡朝日テレビ	28	28
			12	テレビ静岡	34	34

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	静岡	三島・沼津	2	NHK教育	51	51
			3	静岡第一テレビ	61	61
			5	静岡朝日テレビ	57	57
			7	テレビ静岡	59	59
			9	NHK総合	53	53
			11	静岡放送（SBSテレビ）	55	55
		島田	1	NHK総合	56	56
			3	NHK教育	54	54
			5	静岡放送（SBSテレビ）	62	62
			7	静岡第一テレビ	48	48
			10	静岡朝日テレビ	50	50
			12	テレビ静岡	58	58
		富士	2	NHK教育	54	54
			3	静岡第一テレビ	27	27
			5	静岡朝日テレビ	29	29
			7	テレビ静岡	39	39
			9	NHK総合	52	52
			11	静岡放送（SBSテレビ）	41	41
		藤枝	1	NHK総合	42	42
			3	NHK教育	44	44
			5	静岡放送（SBSテレビ）	40	40
			7	静岡第一テレビ	24	24
			10	静岡朝日テレビ	26	26
			12	テレビ静岡	38	38
	愛知	名古屋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	中部日本放送（CBC）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	NHK教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		豊橋	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	56	1
			3	NHK総合	54	3
			5	中部日本放送（CBC）	62	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	52	25
			9	NHK教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	60	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	58	35
		豊田	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	NHK総合	53	3
			5	中部日本放送（CBC）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	49	25
			9	NHK教育	51	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	59	35

[中部は次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中部	三重	津	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	5	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	33	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	ＮＨＫ教育	9	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	11	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	35	35
		伊勢	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	57	1
			3	ＮＨＫ総合	53	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	55	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	59	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	ＮＨＫ教育	49	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	61	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	47	35
		名張	1	東海テレビ放送（東海テレビ）	62	1
			3	ＮＨＫ総合	52	3
			5	中部日本放送（ＣＢＣ）	60	5
			6	三重テレビ放送（三重テレビ）	58	33
			7	テレビ愛知	25	25
			9	ＮＨＫ教育	50	9
			10	岐阜放送（岐阜テレビ）	37	37
			11	名古屋テレビ放送（メ～テレ）	56	11
			12	中京テレビ放送（中京テレビ）	54	35
近畿	滋賀	大津	2	ＮＨＫ総合	28	2
			4	毎日放送	36	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	びわ湖放送（ＢＢＣびわ湖放送）	30	30
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12
		彦根	2	ＮＨＫ総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	びわ湖放送（ＢＢＣびわ湖放送）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	ＮＨＫ教育	50	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	京都	京都	2	ＮＨＫ総合	32	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		山科	2	ＮＨＫ総合	52	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	56	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	62	62
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	ＮＨＫ教育	50	12
		福知山	2	ＮＨＫ総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	56	56
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	ＮＨＫ教育	52	12
		舞鶴	2	ＮＨＫ総合	51	2
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	55	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	57	57
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	ＮＨＫ教育	49	12
	大阪	※	2	ＮＨＫ総合	2	2
			3	テレビ大阪	19	19
			4	毎日放送	4	4
			5	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			7	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
	兵庫	神戸	2	ＮＨＫ総合	28	28
			4	毎日放送	31	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	41	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	43	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	47	10
			12	ＮＨＫ教育	45	12

※大阪は、大阪地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	姫路	2	ＮＨＫ総合	50	50
			4	毎日放送	54	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	56	56
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	ＮＨＫ教育	52	12
		明石	2	ＮＨＫ総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	ＮＨＫ教育	49	12
		川西	2	ＮＨＫ総合	29	29
			4	毎日放送	35	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	37	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	39	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	33	33
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	41	10
			12	ＮＨＫ教育	31	12
		灘	2	ＮＨＫ総合	52	52
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ大阪	19	19
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	56	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	58	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	62	62
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	60	10
			12	ＮＨＫ教育	50	12
		長田	2	ＮＨＫ総合	44	44
			4	毎日放送	38	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	40	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	42	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	34	34
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12
		北淡・垂水	2	ＮＨＫ総合	51	51
			4	毎日放送	53	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	57	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	59	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	55	55
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	61	10
			12	ＮＨＫ教育	49	12

[近畿は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
近畿	兵庫	三木	2	ＮＨＫ総合	44	44
			4	毎日放送	34	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			9	サンテレビジョン（サンテレビ）	36	36
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12
	奈良	奈良	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			5	京都放送（ＫＢＳ京都）	34	34
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	55	55
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		生駒	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	10	10
			11	奈良テレビ放送	26	55
			12	ＮＨＫ教育	22	12
		五條	2	ＮＨＫ総合	43	2
			4	毎日放送	33	4
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	35	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	37	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	39	10
			11	奈良テレビ放送	41	55
			12	ＮＨＫ教育	45	12
	和歌山	和歌山	2	ＮＨＫ総合	32	2
			4	毎日放送	42	4
			5	テレビ和歌山	30	30
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	44	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	46	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	48	10
			12	ＮＨＫ教育	25	12
		海南・田辺	2	ＮＨＫ総合	50	2
			4	毎日放送	54	4
			5	テレビ和歌山	56	56
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	58	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	60	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	62	10
			12	ＮＨＫ教育	52	12
		新宮	2	ＮＨＫ総合	44	2
			4	毎日放送	36	4
			5	テレビ和歌山	34	34
			6	朝日放送（ＡＢＣ）	38	6
			8	関西テレビ放送（関西テレビ）	40	8
			10	読売テレビ放送（よみうりテレビ）	42	10
			12	ＮＨＫ教育	46	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	鳥取	鳥取	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	22	22
			12	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	24	24
		米子	3	ＮＨＫ総合	42	42
			5	ＮＨＫ教育	5	5
			8	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	8	8
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	10	10
			12	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	34	34
		倉吉	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	58	58
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	56	56
	島根	松江	1	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	30	30
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	34	34
			10	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		浜田	2	ＮＨＫ総合	2	2
			3	日本海テレビジョン放送（日本海テレビ）	54	54
			5	山陰放送（ＢＳＳテレビ）	5	5
			8	山陰中央テレビジョン放送（ＴＳＫ）	58	58
			9	ＮＨＫ教育	9	9
	岡山	岡山	3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	ＮＨＫ総合	5	5
			6	テレビせとうち	23	23
			7	瀬戸内海放送	25	25
			9	西日本放送	9	9
			11	山陽放送（ＲＳＫ）	11	11
			12	岡山放送（ＯＨＫ）	35	35
		津山	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	テレビせとうち	56	56
			6	瀬戸内海放送	62	62
			7	山陽放送（ＲＳＫ）	7	7
			9	西日本放送	58	58
			11	岡山放送（ＯＨＫ）	60	60
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		笠岡	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			5	テレビせとうち	19	19
			6	山陽放送（ＲＳＫ）	6	6
			9	西日本放送	17	17
			10	瀬戸内海放送	21	21
			11	岡山放送（ＯＨＫ）	60	60

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	広島	広島	1	テレビ新広島（ＴＳＳ）	31	31
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	中国放送（ＲＣＣ）	4	4
			7	ＮＨＫ教育	7	7
			9	広島ホームテレビ	35	35
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
		福山	1	テレビ新広島（ＴＳＳ）	54	54
			3	ＮＨＫ教育	3	3
			5	ＮＨＫ総合	5	5
			7	中国放送（ＲＣＣ）	7	7
			9	広島ホームテレビ	57	57
			11	広島テレビ放送（広島テレビ）	11	11
		呉	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	広島テレビ放送（広島テレビ）	5	5
			7	テレビ新広島（ＴＳＳ）	26	26
			9	中国放送（ＲＣＣ）	9	9
			11	ＮＨＫ総合	11	11
		尾道	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	広島ホームテレビ	24	24
			5	テレビ新広島（ＴＳＳ）	26	26
			7	ＮＨＫ教育	7	7
			10	中国放送（ＲＣＣ）	10	10
			12	広島テレビ放送（広島テレビ）	12	12
	山口	山口	1	ＮＨＫ教育	42	42
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	52	52
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	49	49
			9	ＮＨＫ総合	44	44
			11	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	46	46
		下関	1	ＮＨＫ教育	41	41
			3	ティー・ヴィー・キュー九州放送（ＴＶＱ九州放送）	23	23
			4	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	4	4
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	21	21
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	33	33
			9	ＮＨＫ総合	39	39
			10	テレビ西日本（ＴＮＣ）	10	10
			12	福岡放送（ＦＢＳ）	35	35
		宇部	1	ＮＨＫ教育	14	14
			6	山口朝日放送（ＹＡＢ山口朝日放送）	31	31
			7	テレビ山口（ＴＹＳ）	20	20
			9	ＮＨＫ総合	16	16
			10	テレビ西日本（ＴＮＣ）	10	10
			11	山口放送（ＫＲＹ山口放送）	18	18

［中国は次のページにつづく］

初期設定を個別に行うとき　つづき

地上アナログ放送の自動設定一覧表　つづき

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
中国	山口	岩国	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口 （ＴＹＳ）	22	22
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	11	11
		防府	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	山口朝日放送 （ＹＡＢ山口朝日放送）	28	28
			7	テレビ山口 （ＴＹＳ）	38	38
			9	ＮＨＫ総合	9	9
			11	山口放送 （ＫＲＹ山口放送）	11	11
四国	徳島	※	1	四国放送	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	毎日放送	4	4
			6	朝日放送 （ＡＢＣ）	6	6
			8	関西テレビ放送 （関西テレビ）	8	8
			10	読売テレビ放送 （よみうりテレビ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	38	12
	香川	高松	3	ＮＨＫ教育	39	39
			5	ＮＨＫ総合	37	37
			6	テレビせとうち	19	19
			7	瀬戸内海放送	33	33
			9	西日本放送	41	41
			11	山陽放送 （ＲＳＫ）	29	29
			12	岡山放送 （ＯＨＫ）	31	31
		丸亀	3	ＮＨＫ教育	40	40
			5	ＮＨＫ総合	44	44
			6	テレビせとうち	16	16
			7	瀬戸内海放送	42	42
			9	西日本放送	20	20
			11	山陽放送 （ＲＳＫ）	18	18
			12	岡山放送 （ＯＨＫ）	22	22
	愛媛	松山	2	ＮＨＫ教育	2	2
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	あいテレビ	29	29
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	25	25
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	10	10
			11	広島ホームテレビ	35	35
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	37	37
		今治	2	ＮＨＫ教育	30	30
			6	ＮＨＫ総合	32	32
			8	あいテレビ	27	27
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	17	17
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	34	34
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	36	36
		新居浜	2	ＮＨＫ総合	2	2
			4	ＮＨＫ教育	4	4
			6	南海放送 （ＲＮＢ）	6	6
			7	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	14	14
			8	あいテレビ	27	27
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	36	36

※徳島は、徳島地域のチャンネルが設定されます。

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
四国	愛媛	宇和島	1	ＮＨＫ教育	1	1
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	あいテレビ	34	34
			9	愛媛朝日テレビ （ＥＡＴ）	16	16
			10	南海放送 （ＲＮＢ）	10	10
			12	愛媛放送 （テレビ愛媛）	32	32
	高知	高知	4	ＮＨＫ総合	4	4
			6	ＮＨＫ教育	6	6
			8	高知放送 （ＲＫＣ）	8	8
			10	テレビ高知 （ＫＵＴＶ）	38	38
			12	高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）	40	40
		中村	1	ＮＨＫ総合	1	1
			3	高知放送 （ＲＫＣ）	3	3
			6	テレビ高知 （ＫＵＴＶ）	32	32
			8	高知さんさんテレビ （さんさんテレビ）	14	14
			11	ＮＨＫ教育	11	11
九州・沖縄	福岡	福岡	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	4	4
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ教育	6	6
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	9	9
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	37	37
		北九州	2	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	2	2
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	35	35
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	23	23
			6	ＮＨＫ総合	6	6
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	8	8
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	10	10
			12	ＮＨＫ教育	12	12
		久留米	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			3	ＮＨＫ総合	46	46
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	ＮＨＫ教育	54	54
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
		大牟田	1	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	58	58
			3	ＮＨＫ総合	53	53
			4	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	61	61
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ教育	50	50
			9	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	55	55
			12	福岡放送 （ＦＢＳ）	43	43

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	福岡	行橋	2	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	43	43
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	19	19
			6	ＮＨＫ総合	49	49
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	60	60
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	54	54
			12	ＮＨＫ教育	46	46
	佐賀	佐賀	2	ＮＨＫ教育	40	40
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
			4	サガテレビ	36	36
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			9	ＮＨＫ総合	38	38
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			11	熊本放送 （ＲＫＫ）	11	11
		伊万里	1	ＮＨＫ教育	44	44
			3	福岡放送 （ＦＢＳ）	52	52
			4	サガテレビ	41	41
			5	ティー・ヴィー・キュー九州放送 （ＴＶＱ九州放送）	14	14
			6	九州朝日放送 （ＫＢＣ）	57	57
			8	アール・ケー・ビー毎日放送 （ＲＫＢ）	48	48
			9	ＮＨＫ総合	51	51
			10	テレビ西日本 （ＴＮＣ）	60	60
			11	熊本放送 （ＲＫＫ）	11	11
	長崎	長崎	1	ＮＨＫ教育	1	1
			3	ＮＨＫ総合	3	3
			5	長崎放送 （ＮＢＣ）	5	5
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	37	37
			9	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	27	27
			11	長崎国際テレビ	25	25
		佐世保	2	ＮＨＫ教育	2	2
			6	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	31	31
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	35	35
			8	ＮＨＫ総合	8	8
			10	長崎放送 （ＮＢＣ）	10	10
			11	長崎国際テレビ	17	17
		諫早	1	ＮＨＫ教育	45	45
			3	ＮＨＫ総合	47	47
			5	長崎放送 （ＮＢＣ）	49	49
			7	テレビ長崎 （ＫＴＮ）	42	42
			9	長崎文化放送 （ＮＣＣ）	24	24
			11	長崎国際テレビ	20	20

［九州・沖縄は次のページにつづく］

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	熊本	熊本	2	NHK教育	2	2
			3	熊本朝日放送 (KAB)	16	16
			4	熊本県民テレビ (KKT)	22	22
			6	テレビ熊本 (TKU)	34	34
			9	NHK総合	9	9
			11	熊本放送 (RKK)	11	11
		水俣	1	NHK教育	1	1
			3	熊本朝日放送 (KAB)	32	32
			4	NHK総合	4	4
			6	熊本放送 (RKK)	6	6
			8	熊本県民テレビ (KKT)	36	36
			10	テレビ熊本 (TKU)	38	38
	大分	大分	3	NHK総合	3	3
			5	大分放送 (OBS)	5	5
			6	大分朝日放送 (OAB大分朝日放送)	24	24
			7	テレビ大分 (TOS)	36	36
			12	NHK教育	12	12
		中津	3	NHK総合	48	48
			5	大分放送 (OBS)	51	51
			6	大分朝日放送 (OAB大分朝日放送)	17	17
			7	テレビ大分 (TOS)	37	37
			12	NHK教育	45	45
		佐伯	1	NHK教育	1	1
			5	テレビ大分 (TOS)	49	49
			6	大分朝日放送 (OAB大分朝日放送)	31	31
			7	NHK総合	7	7
			9	大分放送 (OBS)	9	9

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	宮崎	宮崎	3	テレビ宮崎 (UMK)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	宮崎放送 (MRT)	10	10
			12	NHK教育	12	12
		延岡	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	宮崎放送 (MRT)	6	6
			8	テレビ宮崎 (UMK)	39	39
	鹿児島	鹿児島	1	南日本放送 (MBC)	1	1
			3	NHK総合	3	3
			5	NHK教育	5	5
			7	鹿児島放送 (KKB鹿児島放送)	32	32
			9	鹿児島テレビ放送 (KTS)	38	38
			11	鹿児島読売テレビ (KYT)	30	30
		鹿屋	2	NHK教育	2	2
			4	NHK総合	4	4
			6	南日本放送 (MBC)	6	6
			8	鹿児島放送 (KKB鹿児島放送)	31	31
			10	鹿児島テレビ放送 (KTS)	33	33
			12	鹿児島読売テレビ (KYT)	25	25
		阿久根	4	鹿児島放送 (KKB鹿児島放送)	23	23
			6	鹿児島テレビ放送 (KTS)	35	35
			8	NHK総合	8	8
			10	南日本放送 (MBC)	10	10
			11	鹿児島読売テレビ (KYT)	17	17
			12	NHK教育	12	12

地方名	都道府県名	地域・都市名	リモコンボタン	放送局名 ※カッコ内は画面に略号で表示される場合	チャンネル	画面の番号表示
九州・沖縄	沖縄	※	2	NHK総合	2	2
			6	琉球朝日放送 (QAB)	28	28
			8	沖縄テレビ放送 (OTV)	8	8
			10	琉球放送 (RBC)	10	10
			12	NHK教育	12	12

※沖縄は、那覇地域のチャンネルが設定されます。

■ お使いの地域・都市名で地上A自動設定をしても正しく受信できない場合

- アンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きが、お使いになる地域や都市に適した状態になっていることを確認してください。詳しくはお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。
- 上記一覧表の地域・都市名に属する地域であっても、隣接する地域・都市の境界付近の場合やビルなどの高層物の影響を受ける場合、お近くの別の地域・都市にアンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きを合わせた方がより良い受信環境になることがあります。その場合は次のように設定してください。

①お近くの別の地域・都市にアンテナの種類(VHFまたはUHF)や向きを合わせる

・詳しくはお買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

②195～196ページの「自動設定」手順1～5を行う

③手順6でアンテナの向きに合わせた地域・都市名を選び、決定ボタンを押す

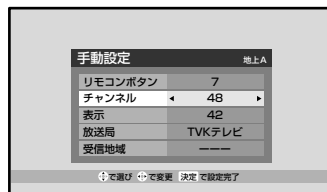
・適した地域・都市名が分からない場合は、上記一覧表を参照してお使いになる地域のもよりの地域・都市名から順に選んで正しく受信される地域・都市名をお探しください。
例:お使いになる地域が「横浜みなと」の場合は「横浜・川崎」または「平塚・茅ケ崎」など。

■左記を行っても、地上A自動設定では正しく受信できないチャンネルの場合

①200ページの「手動設定」手順1～4を行う

②手順5で該当する「リモコンボタン」を選び、上記一覧表の同じリモコンボタンで他の正しく受信できる「チャンネル」を選んで、決定ボタンを押す

例:地上A自動設定で設定した地域・都市名が「横浜・川崎」の場合で、他は正しく受信できても、リモコンボタン7に割り当てられている「テレビ神奈川」「42CH」だけが正しく受信できないとき

・「48CH」(横浜みなと)や「46CH」(小田原)などに変えてみて正しく受信できるところを探す。

初期設定を個別に行うとき つづき

チャンネル設定 つづき

地上デジタル放送の放送(予定)一覧表

- この表は、地上デジタル放送の放送予定を表したものです。
  同時に、以下についても記載しています。
  (1) 域内(放送)(→271ページ)がリモコンボタンに自動設定される目安
  ・地上D自動設定(→197～199ページ)をすると、地上デジタル放送の受信可能なチャンネルを探してリモコンの地上ダイレクト選局ボタンに放送の運用規格に基づいて自動設定をします。
  この表ではその際、域内のどの放送局がどのリモコンボタンに自動設定されるのか、その目安を記載しています。
  (2) 番組表表示に表示される域内の放送局の順番(目安)
- この表をご覧の際には、215ページの「お知らせ」もよくお読みください。
- この表の内容は目安です。
  放送局の開局の状況などによっては、この表のとおり(上記のとおり)にはならない場合があります。

2004年12月14日現在

地方名	地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
北海道	北海道全域(区域放送開始前)	1	ＨＢＣ北海道放送	3
		2	ＮＨＫ教育・札幌	2
		3	ＮＨＫ総合・札幌	1
		5	ＳＴＶ札幌テレビ	4
		6	ＨＴＢ北海道テレビ	5
		7	ＴＶＨ	7
		8	ＵＨＢ	6
	旭川(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ旭川	3
		2	ＮＨＫ教育・旭川	2
		3	ＮＨＫ総合・旭川	1
		5	ＳＴＶ旭川	4
		6	ＨＴＢ旭川	5
		7	ＴＶＨ旭川	7
		8	ＵＨＢ旭川	6
	釧路(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ釧路	3
		2	ＮＨＫ教育・釧路	2
		3	ＮＨＫ総合・釧路	1
		5	ＳＴＶ釧路	4
		6	ＨＴＢ釧路	5
		7	ＴＶＨ釧路	7
		8	ＵＨＢ釧路	6
	北見(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ北見	3
		2	ＮＨＫ教育・北見	2
		3	ＮＨＫ総合・北見	1
		5	ＳＴＶ北見	4
		6	ＨＴＢ北見	5
		7	ＴＶＨ北見	7
		8	ＵＨＢ北見	6
	帯広(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ帯広	3
		2	ＮＨＫ教育・帯広	2
		3	ＮＨＫ総合・帯広	1
		5	ＳＴＶ帯広	4
		6	ＨＴＢ帯広	5
		7	ＴＶＨ帯広	7
		8	ＵＨＢ帯広	6
	札幌(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ札幌	3
		2	ＮＨＫ教育・札幌	2
		3	ＮＨＫ総合・札幌	1
		5	ＳＴＶ札幌	4
		6	ＨＴＢ札幌	5
		7	ＴＶＨ札幌	7
		8	ＵＨＢ札幌	6
	函館(区域放送開始後)	1	ＨＢＣ函館	3
		2	ＮＨＫ教育・函館	2
		3	ＮＨＫ総合・函館	1
		5	ＳＴＶ函館	4
		6	ＨＴＢ函館	5
		7	ＴＶＨ函館	7
		8	ＵＨＢ函館	6
	室蘭(区域放送開始前)	1	ＨＢＣ室蘭	3
		2	ＮＨＫ教育・室蘭	2
		3	ＮＨＫ総合・室蘭	1
		5	ＳＴＶ室蘭	4
		6	ＨＴＢ室蘭	5
		7	ＴＶＨ室蘭	7
		8	ＵＨＢ室蘭	6

地方名	都道府県名または地域・都市名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
東北	青森	1	ＲＡＢ青森放送	3
		2	ＮＨＫ教育・青森	2
		3	ＮＨＫ総合・青森	1
		5	青森朝日放送	5
		6	ＡＴＶ青森テレビ	4
	岩手	1	ＮＨＫ総合・盛岡 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・盛岡 ※3	2
		4	テレビ岩手	4
		5	岩手朝日テレビ	6
		6	ＩＢＣテレビ	3
		8	めんこいテレビ	5
	宮城	1	ＴＢＣテレビ	3
		2	ＮＨＫ教育・仙台	2
		3	ＮＨＫ総合・仙台	1
		4	ミヤギテレビ	5
		5	ＫＨＢ東日本放送	6
		8	仙台放送	4
	秋田	1	ＮＨＫ総合・秋田	1
		2	ＮＨＫ教育・秋田	2
		4	ＡＢＳ秋田放送	3
		5	ＡＡＢ秋田朝日放送	5
		8	ＡＫＴ秋田テレビ	4
	山形	1	ＮＨＫ総合・山形	1
		2	ＮＨＫ教育・山形	2
		4	ＹＢＣ山形放送	3
		5	ＹＴＳ山形テレビ	4
		6	テレビユー山形	5
		8	さくらんぼテレビ	6
	福島	1	ＮＨＫ総合・福島 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・福島 ※3	2
		4	福島中央テレビ	4
		5	ＫＦＢ福島放送	5
		6	テレビユー福島	6
		8	福島テレビ	3
関東	茨城	1	ＮＨＫ総合・水戸 ※3	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	8
	栃木	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	とちぎテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9

地方名	都道府県名	リモコンボタン ※1	放送局名	番組表表示の並び順
関東	群馬	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	群馬テレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	埼玉	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	テレビ埼玉	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	千葉	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	ちばテレビ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
	東京	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		9	東京ＭＸテレビ	8
		12	放送大学	9
	神奈川	1	ＮＨＫ総合・東京	1
		2	ＮＨＫ教育・東京	2
		3	ｔｖｋ	8
		4	日本テレビ	3
		5	テレビ朝日	6
		6	ＴＢＳ	4
		7	テレビ東京	7
		8	フジテレビジョン	5
		12	放送大学	9
甲信越	新潟	1	ＮＨＫ総合・新潟	1
		2	ＮＨＫ教育・新潟	2
		4	ＴｅＮＹテレビ新潟	5
		5	新潟テレビ２１	6
		6	ＢＳＮ	3
		8	ＮＳＴ	4

[甲信越は次のページにつづく]

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
甲信越	山梨	1	NHK総合・甲府 ※3	1
		2	NHK教育・甲府 ※3	2
		4	YBS山梨放送	3
		6	UTY	4
	長野	1	NHK総合・長野	1
		2	NHK教育・長野	2
		4	テレビ信州	3
		5	ABN長野朝日放送	4
		6	SBC信越放送	5
		8	NBS長野放送	6
中部	富山	1	KNB北日本放送	3
		2	NHK教育・富山 ※3	2
		3	NHK総合・富山 ※3	1
		6	チューリップテレビ	5
		8	BBT富山テレビ	4
	石川	1	NHK総合・金沢 ※3	1
		2	NHK教育・金沢 ※3	2
		4	テレビ金沢	3
		5	北陸朝日放送	4
		6	MRO	5
		8	石川テレビ	6
	福井	1	NHK総合・福井 ※3	1
		2	NHK教育・福井 ※3	2
		7	FBCテレビ	3
		8	福井テレビ	4
	静岡	1	NHK総合・静岡	1
		2	NHK教育・静岡	2
		4	静岡第一テレビ	5
		5	静岡朝日テレビ	6
		6	SBS	3
		8	テレビ静岡	4
	愛知	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・名古屋	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		10	テレビ愛知	7
	三重	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・津 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		7	三重テレビ	7
	岐阜	1	東海テレビ	3
		2	NHK教育・名古屋	2
		3	NHK総合・岐阜 ※3	1
		4	中京テレビ	6
		5	CBC	4
		6	メ～テレ	5
		8	岐阜テレビ	7
近畿	滋賀	1	NHK総合・大津 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	BBCびわ湖放送	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
近畿	京都	1	NHK総合・京都 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	KBS京都	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	大阪	1	NHK総合・大阪	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		7	テレビ大阪	7
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	兵庫	1	NHK総合・神戸 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		3	サンテレビ	7
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
	奈良	1	NHK総合・奈良 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		9	奈良テレビ	7
		10	よみうりテレビ	6
	和歌山	1	NHK総合・和歌山 ※3	1
		2	NHK教育・大阪	2
		4	MBS毎日放送	3
		5	テレビ和歌山	7
		6	ABCテレビ	4
		8	関西テレビ	5
		10	よみうりテレビ	6
中国	鳥取	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・鳥取 ※3	2
		3	NHK総合・鳥取 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	島根	1	日本海テレビ	5
		2	NHK教育・松江 ※3	2
		3	NHK総合・松江 ※3	1
		6	BSSテレビ	4
		8	山陰中央テレビ	3
	岡山	1	NHK総合・岡山 ※3	1
		2	NHK教育・岡山 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	広島	1	NHK総合・広島	1
		2	NHK教育・広島	2
		3	RCCテレビ	3
		4	広島テレビ	4
		5	広島ホームテレビ	5
		8	TSS	6
	山口	1	NHK総合・山口 ※3	1
		2	NHK教育・山口 ※3	2
		3	TYSテレビ山口	4
		4	KRY山口放送	3
		5	YAB山口朝日	5

地方名	都道府県名	リモコンボタン※1	放送局名	番組表表示の並び順
四国	徳島	1	四国放送	3
		2	NHK教育・徳島 ※3	2
		3	NHK総合・徳島 ※3	1
	香川	1	NHK総合・高松 ※3	1
		2	NHK教育・高松 ※3	2
		4	RNC西日本テレビ	3
		5	KSB瀬戸内海放送	4
		6	RSKテレビ	5
		7	テレビせとうち	6
		8	OHKテレビ	7
	愛媛	1	NHK総合・松山	1
		2	NHK教育・松山	2
		4	南海放送	3
		5	愛媛朝日	4
		6	あいテレビ	5
		8	テレビ愛媛	6
	高知	1	NHK総合・高知	1
		2	NHK教育・高知	2
		4	高知放送	3
		6	テレビ高知	4
		8	さんさんテレビ	5
九州・沖縄	福岡	1	KBC九州朝日放送	3
		2	NHK教育・福岡 NHK教育・北九州 ※2	2
		3	NHK総合・福岡 NHK総合・北九州 ※2	1
		4	RKB毎日放送	4
		5	FBS福岡放送	5
		7	TVQ九州放送	6
		8	TNCテレビ西日本	7
	佐賀	1	NHK総合・佐賀 ※3	1
		2	NHK教育・佐賀 ※3	2
		3	STSサガテレビ	3
	長崎	1	NHK総合・長崎 ※3	1
		2	NHK教育・長崎 ※3	2
		3	NBC長崎放送	3
		4	NIB長崎国際テレビ	6
		5	NCC長崎文化放送	5
		8	KTNテレビ長崎	4
	熊本	1	NHK総合・熊本 ※3	1
		2	NHK教育・熊本 ※3	2
		3	RKK熊本放送	3
		4	KKTくまもと県民	5
		5	KAB熊本朝日放送	6
		8	TKUテレビ熊本	4
	大分	1	NHK総合・大分 ※3	1
		2	NHK教育・大分 ※3	2
		3	OBS大分放送	3
		4	TOSテレビ大分	4
		5	OAB大分朝日放送	5
	宮崎	1	NHK総合・宮崎 ※3	1
		2	NHK教育・宮崎 ※3	2
		3	UMKテレビ宮崎	4
		6	MRT宮崎放送	3
	鹿児島	1	MBC南日本放送	3
		2	NHK教育・鹿児島 ※3	2
		3	NHK総合・鹿児島 ※3	1
		4	KYT鹿児島読売TV	6
		5	KKB鹿児島放送	5
		8	KTS鹿児島テレビ	4
	沖縄	1	NHK総合・那覇	1
		2	NHK教育・那覇	2
		3	RBCテレビ	3
		5	QAB琉球朝日放送	4
		8	沖縄テレビ（OTV）	5

■表中の「リモコンボタン※１」の項目について

- 初期スキャンや再スキャンを行ったときに、その放送局がリモコンのどの地上ダイレクト選局ボタンに設定されるかを表します。

■表中の「※2」が記載されている放送局の放送について

- 初期スキャンや再スキャンの際に、入力レベルの高いほうの放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。
（これは、放送の運用規定によるものです。）

■表中の「※3」が記載されている放送局（NHK）の放送について

- 初期スキャンや再スキャンの際に受信できなかった場合は、受信できた域外のNHK放送を地上ダイレクト選局ボタンに設定します。（設定される放送は、地域によって決められています。）
その後「※3」の放送が受信できると、新しい放送に設定を変更します。
（これは、放送の運用規定によるものです。）

チャンネル設定 つづき

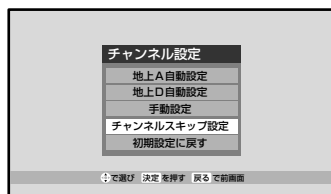
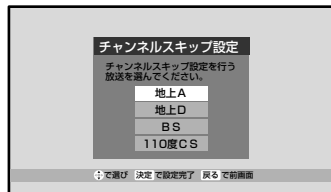
チャンネルスキップ設定

- チャンネルボタン∧·∨で選局するときに、不要なチャンネルを飛び越し選局できます。
- CATVチャンネルは、お買い上げ時は「スキップ」になっています。受信するには、以下の手順で「受信」に設定してください。
- 地上デジタル放送の場合、「初期スキャン」(→197ページ)が行われていないと、ここでの設定はできません。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「チャンネルスキップ設定」を選び、決定ボタンを押す

- 「チャンネルスキップ設定」画面が表示されます。

3 カーソルボタン▲·▼でチャンネルスキップ設定をする放送を選び、決定ボタンを押す

- チャンネルスキップ設定をする放送を選んでください。
  - ·地上A …… 地上アナログ放送
  - ·地上D …… 地上デジタル放送
  - ·BS ……… BSデジタル放送
  - ·110度CS ‥ 110度CSデジタル放送

4 以下を行う

手順3で「地上A」を選んだ場合

- カーソルボタン▲·▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ

地上Aチャンネルスキップ設定

リモコン	チャンネル	放送局	スキップ
1	1	NHK総合	受信
2	2		スキップ
3	3	NHK教育	受信
4	4	日本テレビ	受信
5	14	MXテレビ	受信
6	6	TBS	受信

で選び 決定 で設定／解除 戻る で前画面

手順3で「地上D」、「BS」、「110度CS」を選んだ場合

- カーソルボタン▲·▼でスキップ設定を変更したいチャンネルを選ぶ

BSチャンネルスキップ設定

チャンネル	放送局	スキップ
BS101	NHK BS1	受信
BS102	NHK BS2	受信
BS103	NHK h	受信
BS141	BS日テレ	受信
BS142	BS日テレ	受信
BS143	BS日テレ	受信

で選び 決定 で設定／解除 戻る で前画面

(例)BSデジタル放送の放送メディアが「テレビ」の場合

放送メディアを変えたいとき

- ラジオ／データボタン(リモコンとびら内)を押し、放送メディアを選ぶ
  ·放送メディアの詳細については、37ページと39ページの手順**2**をご覧ください。

5 決定ボタンを押す

- 決定ボタンを押すごとに、「受信」←→「スキップ」と交互に切り換わります。

いくつものチャンネルについて設定するときは、手順4、5を繰り返す
(異なる放送のチャンネルについて設定する場合は、手順**4**の画面のときに戻るボタンを押して手順**3**の操作から行ってください。)

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- チャンネルボタン∧·∨で受信／スキップできるチャンネルは以下のとおりです。

メニュー		チャンネル
「地上A」を選んだ場合	①	地上ダイレクト選局ボタン(1～12)に割り当てられた地上アナログ放送チャンネルまたはCATVチャンネル
	②	CATVチャンネルC13～C38 ● 地上ダイレクト選局ボタン(1～12)に割り当てられているCATVチャンネルについては、上記①で設定されるため、ここでは受信／スキップの変更はできません。(「設定済み」が表示されます。)設定は、上記①で行ってください。
デジタル放送を選んだ場合		メディア(テレビ／ラジオ／データ)ごとに受信可能なチャンネル

[次のページにつづく]

チャンネルスキップ設定 つづき

- 「自動設定」を行った場合のチャンネルスキップ設定の状態は以下のとおりです。

放送	スキップ設定の状態
地上アナログ放送	(1)～(12) ボタンで、チャンネルが割り当てられているボタンは「受信」、チャンネルが割り当てられていないボタンは「スキップ」に設定されます。
CATV	「地上A自動設定」する前と変わりません。
地上デジタル放送	スキップ設定なし
BSまたは110度CSデジタル放送	「地上D自動設定」する前と変わりません。

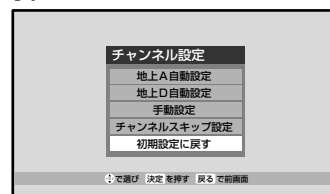
- 「手動設定」を行ったチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
- ハイビジョン放送のような一つの放送局が同じ番組を複数のチャンネルで放送しているときは、代表チャンネル（一番小さい番号のチャンネル）をスキップ設定すると、その次のチャンネルを選局します。

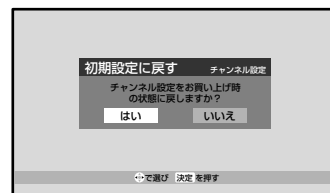
チャンネル設定を最初の状態に戻す

- お買い上げ時のチャンネル設定の状態に戻すことができます。

1 以下の操作で「チャンネル設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「チャンネル設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「初期設定に戻す」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

- チャンネル設定がお買い上げ時の状態に戻ります。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■チャンネル設定のお買い上げ時の状態について
- 地上アナログ放送の場合‥‥‥36ページをご覧ください。
- BSデジタル、110度CSデジタル放送の場合‥‥‥38ページの表をご覧ください。
- **地上デジタル放送の場合には、受信できなくなります。「初期スキャン」（→197ページ）を行ってください。「データ放送用メモリーの割り当て」（→193ページ）についてはそのままです。（個人情報は消去されません）**

初期設定を個別に行うとき つづき

受信設定

● アンテナ電源供給とアンテナレベルについては177～178ページをご覧ください。

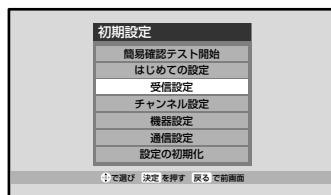
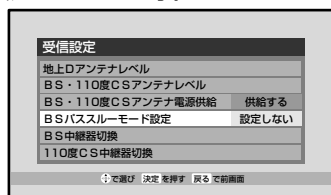
BSパススルーモード設定

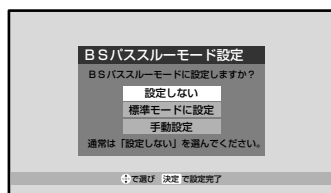
（ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください）

［この設定はBSデジタル放送のみで、地上デジタル放送と110度CSデジタル放送は設定できません。］

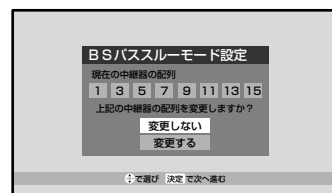
● ケーブルテレビで、BSデジタル放送サービスが行われている場合は、周波数アップコンバーターを接続することで、本機でBSデジタル放送をお楽しみいただけます。
その場合は、以下の操作でBSパススルーモード設定をすることが必要です。
● お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。
● この機能や周波数アップコンバーターについては、ご加入のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

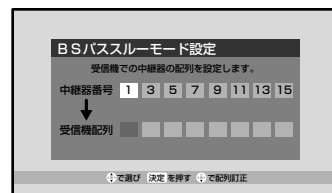
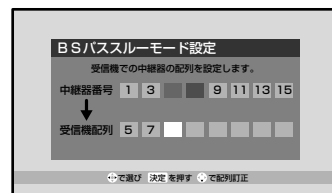
1 以下の操作で「受信設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲・▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲・▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「BS パススルーモード設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲・▼で設定する状態を選び、決定ボタンを押す

● 右画面下の表によって、設定内容を選んでください。
●「設定しない」または「標準モードに設定」を選んだ場合はその状態に設定され、手順**2**の画面に戻ります。
通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
●「手動設定」を選んだ場合は、手順**4**に進んでください。
● BSパススルーモード方式で受信しない場合は「設定しない」を選んでください。

選択項目	内　容
設定しない	BSパススルーモードを設定しない場合
標準モードに設定	ケーブルテレビでの標準的なBSパススルー方式
手動設定	伝送するBS-IFチャンネルとその並びを指定する場合

4 ［「手動設定」を選んだ場合には ］
以下の操作で設定する

① **現在設定されている状態を画面表示で確認し、このままで良い場合は「変更しない」を、設定を変える場合は「変更する」をカーソルボタン▲・▼で選んで、決定ボタンを押す**

・「変更しない」を選んだ場合は、手順**2**の画面に戻ります。
通常画面に戻るには終了ボタンを押してください。
・「変更する」を選んだ場合は、手順②に進んでください。

② **カーソルボタン◀・▶で設定する中継器を選び、決定ボタンを押す**

・中継器は、設定欄の選んだ中継器の番号が受信機の配列の左から順次設定されます。
・訂正する場合は、カーソルボタン▼を押し、カーソルボタン◀を押すと一つずつ左に戻ります。
訂正したらカーソルボタン▲を押してください。

・すべての設定欄に登録すると、手順**2**の画面に戻ります。

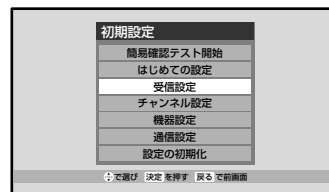
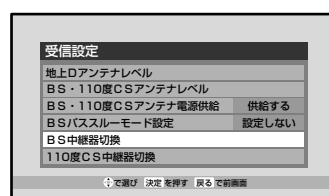
5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

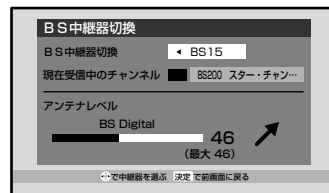
項目	BS-IF							
中心周波数(MHz)	1049.48	1087.84	1126.20	1164.56	1202.92	1241.28	1279.64	1318.00
衛星直接受信チャンネル	BS-1	BS-3	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-13	BS-15
BSパススルー方式受信チャンネル	BS-5	BS-7	BS-9	BS-11	BS-1	BS-3	BS-13	BS-15

BS中継器切換/110度CS中継器切換

- 通常は切換の必要はありません。
- 衛星の一部の中継器が故障したために、すべての放送が受信できなくなってしまう場合があります。その際は、以下の操作で他の中継器に切り換えることによって、故障した中継器以外の放送が受信できるようになります。
- 衛星の中継器が故障した場合以外にも、外部機器からの電波のかんしょうなどによって、一部の中継器が受信できない場合も同様です。

1 以下の操作で「受信設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「受信設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「BS中継器切換」または「110度CS中継器切換」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン◀·▶で中継器を切り換える

- BSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「BS01、BS03、BS05、BS07、BS09、BS11、BS13、BS15」です。
- 110度CSデジタル放送の場合
  選択できる中継器は、「ND02、ND04、ND06、ND08、ND10、ND12、ND14、ND16、ND18、ND20、ND22、ND24」です。

(例)BS中継器切換の場合

4 放送が受信できたことを確認したら、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定

「通信設定」の早わかり

● 設定する項目を下表に示します。

項目	設定する項目	説明	ページ
電話回線設定	ダイヤル方式の設定	この設定は次の場合に必要です。 ・BSデジタルや110度CSデジタル放送で双方向通信サービスを利用したり、番組購入情報の送信をする場合。 ・地上デジタル放送で双方向通信サービスなどを電話回線を使用した基本通信で行う場合。	221
	外線発信番号の設定		
	電話会社の設定		
	電話番号通知設定		
	電話回線テスト		
	センターと接続できることを確認する場合		
	ダイヤル待ち時間の設定をする場合		
通信接続設定	通信環境設定	この設定は次の場合に必要です。 ・地上デジタル放送で方向通信サービスなどをダイヤルアップ通信やイーサネット通信を使って利用する場合。	228
	LAN端子設定	この設定は次の場合に必要です。 ・双方向通信サービスを行う場合。（→62ページ） ・サーバーからダウンロードする場合。（→247ページ） ・東芝製HDD&DVDビデオレコーダーを接続して連動録画や連動予約を行う場合。（→75、83、127ページ） ・地上アナログ放送の番組表を使用する場合。（→40ページ）	229
接続確認メッセージ設定	←	電話回線の接続や切断をする際に、確認のメッセージを表示させることができます。	233
通信エラー履歴	←	回線接続の際に接続エラーが生じた場合に、一番新しい接続エラーを1件だけ記録して表示します。	233

電話回線設定

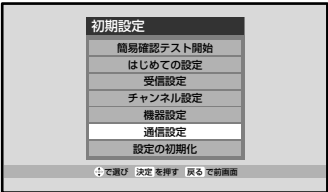
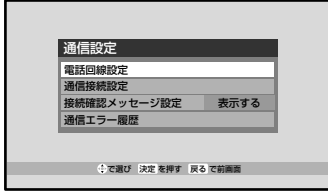
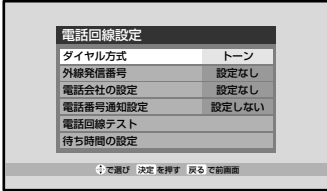
- ダイヤル方式および外線発信番号については「はじめての設定」(→189〜190ページ)がお済みの場合は、ここで設定の必要はありません。
- 設定項目は以下のとおりです。

設定項目	内　容	ページ
ダイヤル方式の設定	ダイヤル方式を設定します。	221
外線発信番号の設定	外線発信時に、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合に設定します。	222
電話会社の設定	使用する電話会社を設定します。	223
電話番号通知設定	本機から電話の発信をする際に、電話番号を発信者（センター）に通知するかどうかを設定できます。	224
電話回線テスト	電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。	225
センターと接続できることを確認する場合	センターと電話回線が正常に接続されているかを確認します。	225
ダイヤル待ち時間の設定をする場合	付加番号のあと、待ち時間が必要な場合に設定します。	226

■ダイヤル方式の設定

- お買い上げ時は「トーン」に設定されています。

1 メニューボタン（リモコンとびら内）を押し、カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「ダイヤル方式」を選び、決定ボタンを押す

5 「はじめての設定」の「電話回線設定」(→190ページ）の手順**18**、**19**を行い、次は下の手順**6**に進む

6 [ほかの電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

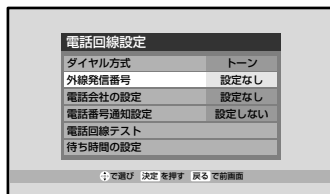
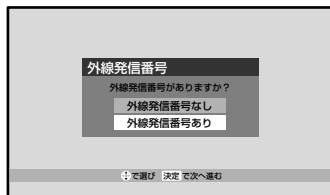
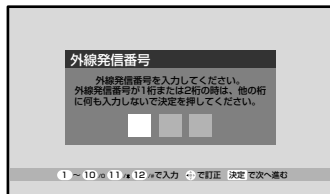
電話回線設定 つづき

■外線発信番号の設定

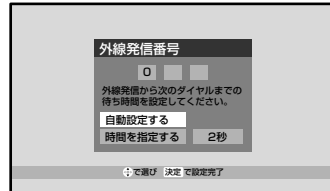
- ご家庭内に電話交換機がある場合、外部に電話をかける際には、電話番号の前に0や＃などの入力が必要な場合があります。これを外線発信と呼びます。また、外線発信を出したあと、何秒後に回線が外線に切り換わるのか、その切り換わりにかかる時間を外線発信後の待ち時間と呼びます。
- お買い上げ時は、「外線発信番号なし」に設定されています。
- 外線発信が必要な場合は、以下の操作で設定してください。

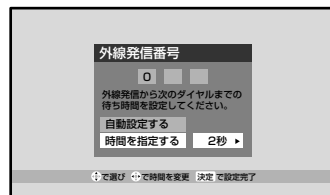
1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲･▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲･▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「外線発信番号」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼で「外線発信番号あり」を選び、決定ボタンを押す

4 外線発信番号を入力して、決定ボタンを押す

- 数字ボタン0～9（10～9）、＃（12）、＊（11）のボタンを押すことで設定します。（左詰めで入力してください。）
- 最大3桁までの設定ができます。
- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、もう一度入力してください。
- 1桁、または2桁の設定をする場合は、左詰めで入力しほかの桁には何も入力しないで、決定ボタンを押してください。
  ※「110」や「118」、「119」を入力した場合は、自動的に取り消されます。

5 外線発信後の待ち時間を設定する

- 通常は以下の操作で、「自動設定する」にしてください。
  ①カーソルボタン▲･▼で「自動設定する」を選ぶ
  ②決定ボタンを押す
  · 電話回線設定画面に戻ります。
  · 手順**6**に進んでください。

「自動設定する」の状態で、225ページの「電話回線テスト」が失敗となる場合

- 以下の操作で、時間を設定してください。
  ①カーソルボタン▲･▼で「時間を指定する」を選ぶ
  ②カーソルボタン◀･▶で時間を設定し、決定ボタンを押す
  · 設定範囲は2秒～9秒（秒単位）です。
  · 電話回線設定画面に戻ります。
  · 手順**6**に進んでください。

6 ［ほかの電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

- 手順**5**で「時間を指定する」に設定した場合には、ダイヤルトーン検出を行いません。
  ダイヤルトーンのレベルが低い場合は、この設定にしてください。
  その場合、以下の判定方法では回線の接続と設定の確認はできません。「センターと接続できることを確認する場合」（→225ページ）で確認をしてください。
  · 「ダイヤル方式の設定」（→221ページ）の自動判定
  · 「電話回線テスト」（→225ページ）
  · 「簡易確認テスト」（→191、241ページ）での電話回線テスト

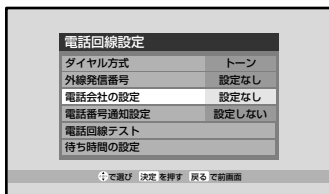
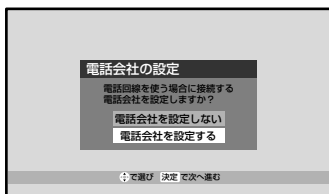
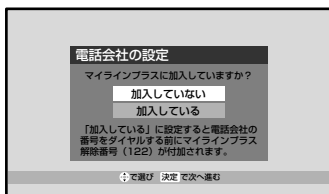
■電話会社の設定

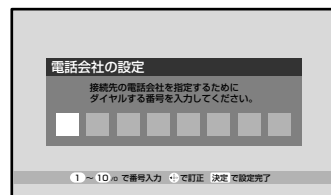
- マイラインやマイラインプラスで登録している電話会社を使用する場合は、この設定は不要です。
- 上記以外に契約されている電話会社を選んで設定できます。
- お買い上げ時は「電話会社を設定しない」に設定されています。

- 電話会社の設定は、データ放送の一部では適用されない場合があります。

1 **以下の操作で「電話回線設定」画面にする**

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 **カーソルボタン▲·▼で「電話会社の設定」を選び、決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲·▼で「電話会社を設定する」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン▲·▼で、マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」または「加入している」を選び、決定ボタンを押す**

5 **電話会社番号を入力し、決定ボタンを押す**

- 電話会社番号を数字ボタン0〜9（10〜9）を押して左詰めで入力し、決定ボタンを押す

・最大8桁まで設定できます。
・間違って入力した場合は、カーソルボタン◀で前の桁に戻り、もう一度入力してください。

- 手順**4**で「加入している」を選んだ場合は、本機からの電話発信時にマイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（122）が自動的に付け加えられます。

6 ［ほかの電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■マイラインプラスに加入している場合

- 手順**4**で「加入している」に設定してください。手順**5**で設定した電話会社での回線発信ができます。
- 手順**4**で「加入していない」に設定すると、手順**5**で電話会社を設定しても回線発信ができなくなります。
- 手順**5**で電話会社番号が未入力の場合は、手順**3**の「電話会社を設定しない」に自動的に設定されます。

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

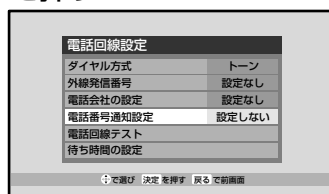
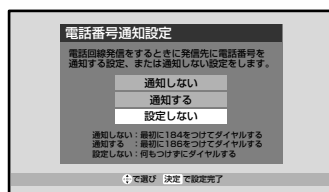
電話回線設定 つづき

■電話番号通知設定

- 本機から電話の発信をする際に、電話番号を着信者(センター)に通知するかどうかを設定します。
- お買い上げ時は「設定しない」に設定されています。

1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲・▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲・▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲・▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲・▼で「電話番号通知設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲・▼で、お好みの設定を選び、決定ボタンを押す

- 選択項目は以下のとおりです。
  - ・通知しない：最初に「184」をつけてダイヤルする
  - ・通知する　：最初に「186」をつけてダイヤルする
  - ・設定しない：何もつけずにダイヤルする
- 「設定しない」のときはNTTとの「ナンバーディスプレイ」契約のとおりになります。

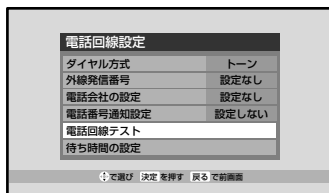
4 [ほかの電話回線設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

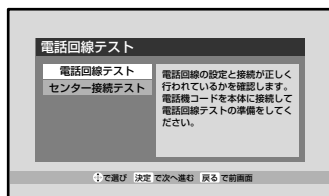
■電話回線テスト

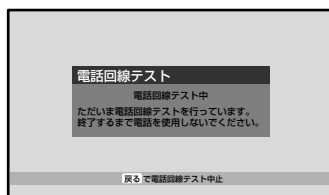
● 電話回線の接続と設定が正しく行われているかを確認します。

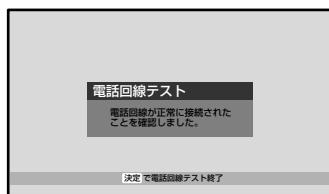
1 以下の操作で「電話回線設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「電話回線テスト」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「電話回線テスト」を選ぶ

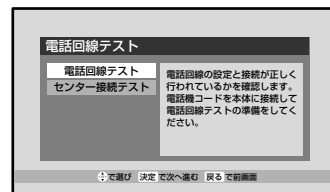
● 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

4 電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す

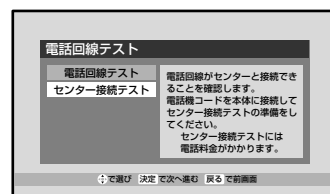
● 「電話回線テスト」が開始されます。
● 電話回線テストが終了するまで、電話は使用しないでください。
● 電話回線テスト中に戻るボタンを押すと、テストを中止して前画面に戻ります。

5 電話回線テストが終了したら、決定ボタンを押す

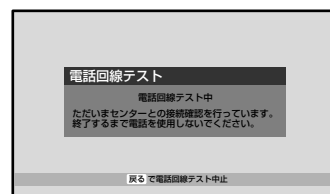
● テスト結果については、192ページの「はじめての設定」の「電話回線テスト」をご覧ください。
● 決定ボタンを押すと、「電話回線テスト」画面に戻ります。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

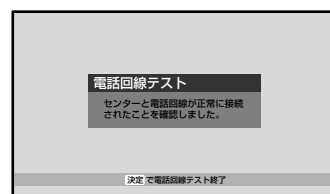
●センターと接続できることを確認する場合

● このセンター接続テストは電話料金がかかります。

1 右側の手順3「電話回線テスト」の画面になっていることを確認する

2 カーソルボタン▲·▼で「センター接続テスト」を選ぶ

● 電話機コードが本体に接続されていることを確認してください。

3 電話回線の確認をしたら、決定ボタンを押す

● センター接続テストが開始されます。
● センター接続テストが終了するまで、電話は使用しないでください。

4 センター接続テストが終了したら、決定ボタンを押す

● テスト結果については、以下のお知らせをご覧ください。
● 決定ボタンを押すと、「電話回線テスト」画面に戻ります。

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■ センター接続テストの結果

センター接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「センターと電話回線が正常に接続されたことを確認しました。」	●正しく接続されています。
「センターと通信できませんでした。」	●「電話回線の接続」（→179～181ページ）、「電話回線の設定」（→189、190、221～226ページ）を確認してください。
「ただいまセンターがこみあっているため、センターと通信できません。」	●しばらくしてから、もう一度センター接続テストをしてください。
「ただいまセンターと通信できません。」	●しばらくしてから、もう一度センター接続テストをしてください。

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

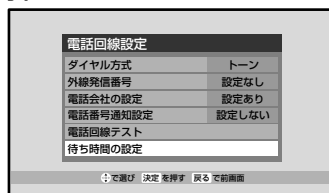
電話回線設定 つづき

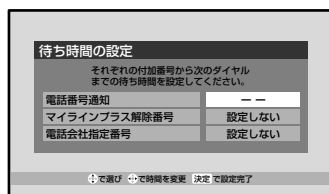
■ダイヤル待ち時間の設定をする場合

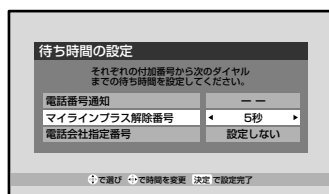
● 本機で電話回線発信のとき、電話会社番号、マイラインプラス（優先接続サービス）解除番号（１２２）、電話番号通知番号（184/186）のうしろにダイヤル待ち時間（ダイヤルポーズ）が必要な場合に以下の設定をしてください。
お買い上げ時は、ダイヤル待ち時間は設定されていません。

1 **以下の操作で「電話回線設定」画面にする**

①メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「電話回線設定」を選び、決定ボタンを押す

2 **カーソルボタン▲·▼で「待ち時間の設定」を選び、決定ボタンを押す**

（例）「電話会社の設定」が「設定あり」の場合

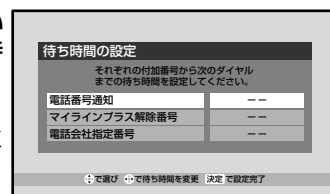
3 **カーソルボタン▲·▼を押して、設定する項目を選ぶ**

4 **カーソルボタン◀·▶を押して、ダイヤル待ち時間を設定する**

● 設定できる内容は「設定しない」、「１秒」〜「9秒」です。

ほかの項目も設定するときは、手順3、4を繰り返す

5 **決定ボタンを押す**

● 設定されて、「電話回線設定」画面に戻ります。

6 ［ほかの電話回線設定をするには］
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■表示が「ーー」になっている項目に対してダイヤル待ち時間は設定できません。

● 各項目で「ーー」表示になる場合は以下のとおりです。
· 電話番号通知設定（➞224ページ）で「設定しない」に設定した場合
· マイラインプラス（優先接続サービス）に「加入していない」に設定（➞223ページ）した場合
· 電話会社の設定（➞223ページ）で「電話会社を設定しない」に設定した場合

通信接続設定

■ はじめに

● ここでは地上デジタル放送での双方向通信サービスなどを、イーサネット通信を使って行うための設定を行います。(双方向通信サービスについては、詳しくは62ページをご覧ください。)
これらの通信を使用するにはあらかじめインターネットサービスプロバイダなどとの契約が必要です。

■ 通信方式について

● イーサネット通信(本機のLAN端子を使用した通信)について

・LAN端子を使った通信を「イーサネット通信」と呼びます。
この方式は高速で高容量の通信ができます。イーサネット通信にはADSLやCATVなどによる通信があります。接続については「LAN端子の接続」(→182ページ)をご覧ください。

● ダイヤルアップ通信について

・本機の「電話回線(LINE)」端子を使用して電話回線に接続し、ネットワーク通信を行うものです。番組(コンテンツ)によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合に使用されます。接続については「電話回線の接続」(→179ページ)をご覧ください。(本機での設定はありません。)

■ 設定項目について

設定項目	内容	ページ
通信環境設定	番組（コンテンツ）によっては、通信方式をダイヤルアップ通信に指定してくる場合があり、その場合にダイヤルアップ通信を行うようにするか、しないかを設定します。	228
LAN端子設定	イーサネット通信をするための設定をします。	229

■ ご注意　LAN 端子設定について

● プロバイダ契約をされますと接続についての資料が送られてきます。「通信接続設定」では、資料の内容にあわせた値(英数字)を入力します。プロバイダによって入力が必要な項目や呼び名が異なります。詳しくは、下の表をご覧ください。
● プロバイダからの資料は、他人に見られることがないように、厳重に保管することをおすすめします。
● プロバイダからの資料は、あなたの個人情報です。取り扱いには十分ご注意ください。

■「通信接続設定」で使用される用語について

設定項目	内容	ページ
IPアドレス	インターネットに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、3桁の数字4組を点で区切った形になっています。（例：111.112.xxx.xxx）	229
サブネットマスク	ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです。（例：255.255.xxx.xxx）	229
デフォルトゲートウェイ	ネットワーク外のサーバーへアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定します。IPアドレスで特定されています。（例：111.112.xxx.xxx）	229
DNSサーバー	ドメイン名(×××.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で設定します。 プロバイダからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します。（例：111.112.xxx.xxx） ※ お使いのプロバイダによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれます。	230
プロキシ	お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。 HTTPプロキシサーバーからファイヤーウォール（外部からの不正侵入防護壁）を越えて通信先のブラウザにデータを送ります。 データを蓄積する機能があるため高速にデータを送れます。(例：proxy.xxx.xxx.xxx) 自動で取得できない場合は、手動で設定します。	231
MACアドレス	MACアドレスは、イーサネット回線上につながっている機器の識別のために、各機器ごとに割り当てられています。本機の値を確認する必要がある場合は、表示することができます。	232

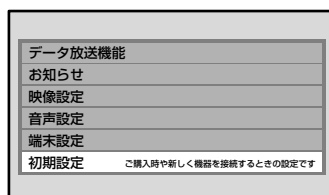
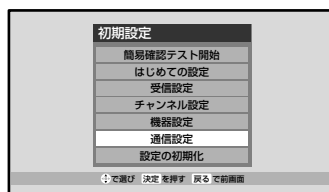
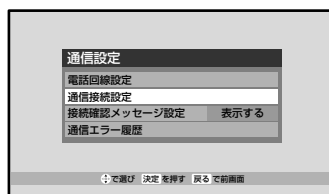
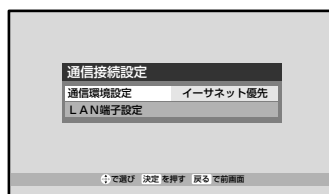
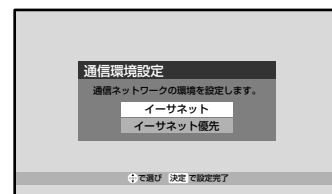
初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

通信接続設定 つづき

■通信環境の設定

- お買い上げ時は､｢イーサネット優先｣に設定されています｡(詳しくは手順**5**を参照)

1 **メニューボタン（リモコンとびら内）を押し、カーソルボタン▲·▼で｢初期設定｣を選び､決定ボタンを押す**

2 **カーソルボタン▲·▼で｢通信設定｣を選び､決定ボタンを押す**

3 **カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す**

4 **カーソルボタン▲·▼で｢通信環境設定」を選び、決定ボタンを押す**

5 **カーソルボタン▲·▼で「イーサネット」または｢イーサネット優先｣を選び､決定ボタンを押す**

- イーサネット………イーサネット通信のみでダイヤルアップを使用しない場合
- イーサネット優先……この設定ではイーサネットが優先されます｡ただし､データ放送でダイヤルアップを指定する特殊なコンテンツの場合はダイヤルアップ接続に自動的に切り換わります｡(｢電話回線の接続｣(→179ページ)が行われていない場合には、ダイヤルアップでの通信は行われません｡)

6 [ほかの通信接続設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 通常は、「イーサネット優先」に設定してください。
  「イーサネット」に設定すると、ダイヤルアップ通信を指定しているデータ放送、ブックマーク、登録発呼などは行えません。
- 「イーサネット優先」に設定した場合、何らかの原因（たとえばADSLモデムの故障等）でイーサネット通信ができないときには、ダイヤルアップ通信もできなくなる場合があります。
- 実際に接続・設定している環境と異なる項目を選ぶと正常にはたらきません。

■LAN端子設定

●LAN端子設定では以下があります。

●**LAN端子設定の各設定を有効にするには、必ず設定後に本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。**

●IPアドレス設定

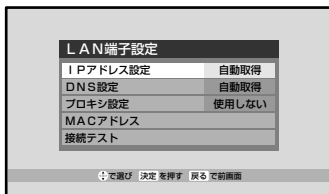
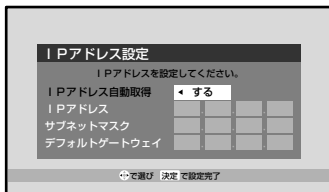
●インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※**以下の手順で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定してください。(→230ページ)**

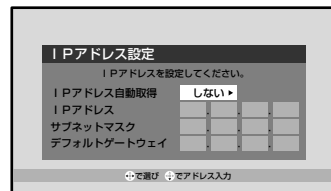
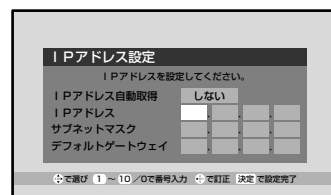
1 以下の操作で「LAN端子設定」画面にする

①**メニューボタン(リモコンとびら内)を押す**
②**カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**
③**カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す**
④**カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す**
⑤**カーソルボタン▲·▼で「LAN端子設定」を選び、決定ボタンを押す**

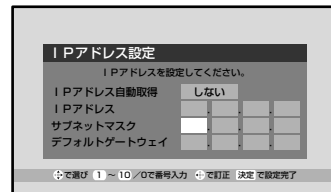
2 **カーソルボタン▲·▼で「IPアドレス設定」を選び、決定ボタンを押す**

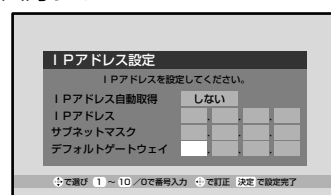
●「IPアドレス設定」画面になります。

3 [IPアドレスを自動取得できる場合]
カーソルボタン◀·▶で「する」を選ぶ

●IPアドレス自動取得を「する」に設定した場合は、IPアドレスはDHCPサーバーから自動的に本機に割り当てられます。次は手順**4**に進みます。
●自動的にIPアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合は、右側の操作でIPアドレスを手動で設定してください。

自動的にIPアドレスを取得できないネットワーク環境の場合

①**カーソルボタン◀·▶で「しない」を選ぶ**

②**カーソルボタン▲·▼で「IPアドレス」を選び、数字ボタン0～9(10～9)でIPアドレスを入力する**

・数字を入力してください。数字は最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。数字が2桁以下の場合は、入力後カーソルボタン▶で次の組へ移動してください。間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して、もう一度入力してください。
・左側の1箇所目の数字は「0」は入力できません。その他の箇所に入力できる数字は「0」から「255」までです。

③**カーソルボタン▲·▼で「サブネットマスク」を選び、数字ボタン0～9(10～9)でサブネットマスクを入力する**

・入力方法は②と同じです。

④**カーソルボタン▲·▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、数字ボタン0～9(10～9)でデフォルトゲートウェイを入力する**

・入力方法は②と同じです。

4 **決定ボタンを押す**

●設定が完了して手順**2**の画面に戻ります。

5 [ほかのLAN端子設定をするには]
設定する項目を選び、決定ボタンを押す
[設定した内容を有効にするには]
電源を入れ直す
●本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源を入れてください。

[次のページにつづく]

通信設定 つづき

通信接続設定 つづき

■LAN 端子設定 つづき

●IP アドレス設定 つづき

■IPアドレス設定について

- ルーターのDHCP機能 ON/OFFによって、本機での設定が以下のように異なります。
  (1) 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのとき
  ・「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。（通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です。）
  (2) ルーターのDHCP機能がOFFのとき
  ・「自動取得」を「しない」にして、手動で設定してください。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定してください。また、設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワーク部が同じであることを確認してください。（詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。）
  設定例）

	ルーター	本機
IPアドレス	XXX.XXX.X.1	XXX.XXX.X.11
サブネットマスク	XXX.XXX.XXX.0	XXX.XXX.XXX.0

＊網掛け部分が同じ設定になっていることを確認してください。

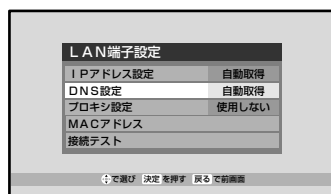
●DNS 設定

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※229ページの「IPアドレス設定」で「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、以下の設定の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。「する」にできません。DNSアドレスを手動で設定してください。

1 以下の操作で「LAN 端子設定」画面にする

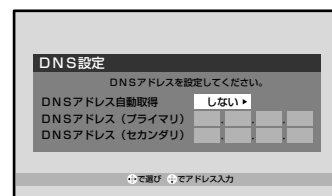
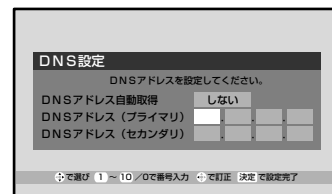
①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲･▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲･▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲･▼で「LAN端子設定」を選び、決定ボタンを押す

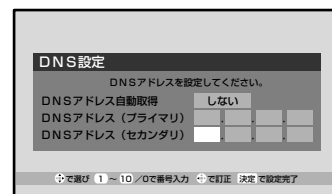
2 カーソルボタン▲･▼で「DNS 設定」を選び、決定ボタンを押す

3 [DNS アドレスを自動取得できる場合]
カーソルボタン◀･▶で「する」を選ぶ

※DNSアドレスが表示されます。

- DNSアドレス自動取得を「する」に設定した場合は、DNSアドレスがサーバーから自動的に本機に割り当てられます。次は手順**4**に進みます。
- 自動的にDNSアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合は、以下の操作でDNSアドレスを手動で設定してください。

自動的にDNSアドレスを割り当てられないネットワーク環境の場合

①カーソルボタン◀･▶で「しない」を選ぶ

②カーソルボタン▲･▼で「DNSアドレス（プライマリ）」を選び、数字ボタン0～9(10～9)でDNSアドレス（プライマリ）を入力する

・数字を入力してください。数字は最大3桁をひと組として、4箇所入力してください。数字が2桁以下の場合は、入力後カーソルボタン▶で次の組へ移動してください。間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押して、もう一度入力してください。
・左側の1箇所目の数字は「0」は入力できません。その他の箇所に入力できる数字は「0」から「255」までです。ご使用のプロバイダからの資料をご確認の上、正しく入力してください。

③カーソルボタン▲･▼で「DNSアドレス（セカンダリ）」を選び、数字ボタン0～9(10～9)でDNSアドレス（セカンダリ）を入力する（不要な場合は、手順**4**に進む）

・入力方法はDNSアドレス（プライマリ）と同様です。
・ご契約のインターネットサービスプロバイダによっては不要な場合があります。

4 決定ボタンを押す

- 設定が完了して手順**2**の画面に戻ります。

5 ［ほかの通信接続設定をするには］

設定する項目を選び、決定ボタンを押す

［設定した内容を有効にするには］

電源を入れ直す

- 本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源を入れてください。

■DNS設定について

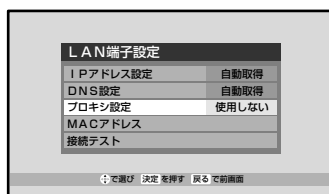
- ルーターの機能の有無などによって、本機での設定が以下のように異なります。(ルーターに設定されているDNSサーバー、プロキシサーバーの設定が正しく行われていることを前提としています。)
  - ・本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのとき
    - ・DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
      （通常は、「する」に設定してください。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です。）
    - ・プロキシ設定を「使用しない」（→このページ下）に設定する。
  - ・本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのとき
    - ・DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダから指定されたものを手動で設定してください。
      (プロバイダによって設定方法が異なります。プロバイダの契約内容に沿った設定をしてください。)

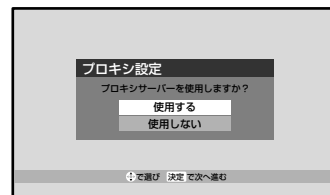
● プロキシ設定

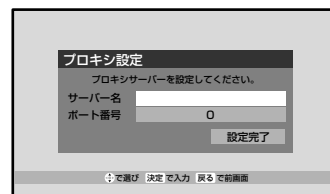
- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
- お使いのプロバイダから指定がある場合にだけ設定してください。
- ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。

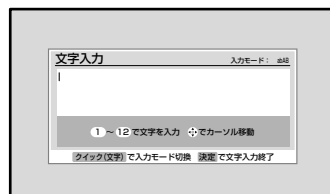
1 以下の操作で「LAN 端子設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「LAN端子設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「プロキシ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「使用する」を選び、決定ボタンを押す

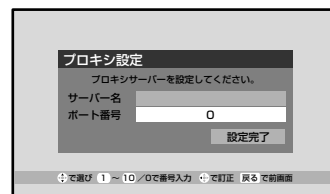
- 使用しない場合は、「使用しない」を選び決定ボタンを押してください。その後手順**8**に進んでください。

4 カーソルボタン▲·▼で「サーバー名」を選び、決定ボタンを押す

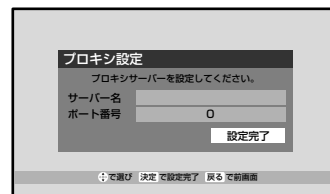
- 文字入力モードになります。

5 文字入力ボタンで「サーバー名」を入力する

- 文字入力のしかたは１００ページをご覧ください。
- 入力できる文字は、半角英字／半角数字で、記号は下の「お知らせ」をご覧ください。

- 入力できる記号は、以下のとおりです。

※半角記号
! "#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^{|}˜?_/

6 カーソルボタン▲·▼で「ポート番号」を選び、数字ボタン0～9（10～9）でポート番号を入力する

- 数字を入力してください。間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押して、もう一度入力してください。

7 カーソルボタン▲·▼で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

- 設定が完了して手順 **2** の画面に戻ります。

8 ［ほかのLAN端子設定をするには］

設定する項目を選び、決定ボタンを押す

［設定した内容を有効にするには］

電源を入れ直す

- 本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源を入れてください。

最初の設置・接続・設定

初期設定を個別に行うとき つづき

通信設定 つづき

通信接続設定 つづき

■LAN端子設定 つづき

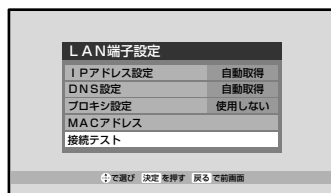
●接続テスト

● 正しくLAN端子が設定されているかテストすることができます。

1 以下の操作で「LAN端子設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「LAN端子設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「接続テスト」を選ぶ

● LANケーブルが本体に接続されていることを確認してください。

3 接続テストを行う場合は、決定ボタンを押す

● LAN端子設定の接続テストが開始されます。
● テスト結果については、下の「お知らせ1」をご覧ください。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

■LAN端子設定の接続テストの結果

接続テスト結果のメッセージ表示	内容または対処のしかた
「接続を確認しました。」	●正しく設定されています。
「接続できませんでした。通信設定をご確認ください。」	●「LAN端子の接続」(→182ページ)および「LAN端子設定」(→229ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
「接続できませんでした。LANケーブルの接続をご確認ください。」	●LAN端子の各設定を有効にするには、必ず設定後に本体の電源ボタンを押して電源を切り、もう一度電源を入れ直してください。

● ISDNでは接続しないでください。

お知らせ2 ■接続テストの結果、正しく通信できなかった場合

● 以下をご確認ください。
1.「LAN端子設定」を確認する
・LAN端子設定が正しく設定されているかをご確認ください。(→229ページ)
設定内容については、ルーターの設定内容に関係することがありますのでご注意ください。
(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
2. ネットワーク環境の接続確認
・以下によって、本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットへ接続できるかを確認します。
① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorerなど)を起動する
②URL欄に「http://www.toshiba.co.jp/」を入力し、ページが表示されることを確認する
・ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコン、ルーターの設定が正しく行われているかを確認してください。(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください。)
この場合、本機の問題ではない可能性があります。

●MACアドレス(の確認)

● イーサネット回線などの配線上につながっている機器を識別するために本機に割り当てられている番号です。以下の方法で確認できます。

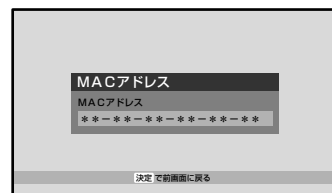
1 以下の操作で「LAN端子設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「通信設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「通信接続設定」を選び、決定ボタンを押す
⑤カーソルボタン▲·▼で「LAN端子設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「MACアドレス」を選び、決定ボタンを押す

●「MACアドレス」画面になります。

3 MACアドレスを確認し、決定ボタンを押す

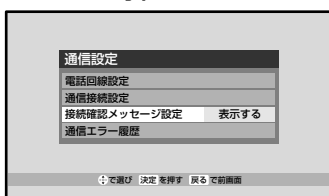
● 手順**2**の画面に戻ります。

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

接続確認メッセージ設定

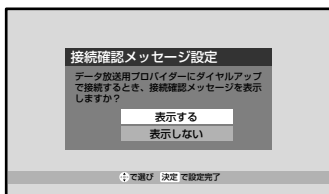
- ダイヤルアップ通信の接続や切断をする際に確認のメッセージを表示させることができます。
- お買い上げ時は､｢表示する｣に設定されています。

1 以下の操作で「通信設定」画面にする

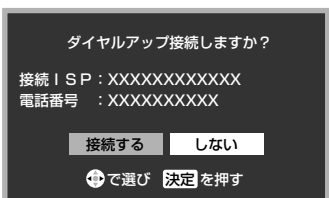
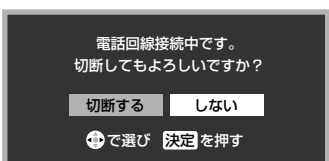
①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲･▼で｢初期設定｣を選び､決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で｢通信設定｣を選び､決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「接続確認メッセージ設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼で｢表示する｣または｢表示しない｣を選び、決定ボタンを押す

- アクセスポイントにダイヤルアップ接続する場合やダイヤルアップ接続が切断される場合に､確認の画面を表示するかどうかが設定されます。

- 設定が完了して前画面に戻ります。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■｢接続確認メッセージ設定｣を｢表示する｣に設定した場合

- **電話回線の接続や切断時に右のメッセージ画面が表示されます。**

接続するときの画面

切断するときの画面

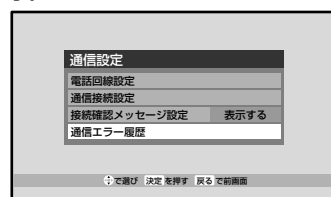
- 以下の場合は「表示する」に設定されていてもメッセージは表示されません。
  - ・番組購入情報の送信時（→72ページ）
  - ・「ブックマーク」（→64ページ）や「登録発呼」（→66ページ）が行われたとき
  - ・データ放送のダイヤルアップ以外の通信時

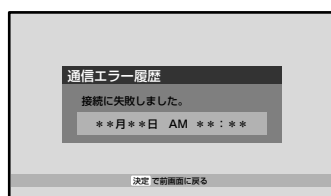
通信エラー履歴

- 通信エラー履歴は回線接続エラーが生じた場合に､一番新しい接続エラーを1件だけ記録して表示します。
この通信エラー履歴は､放送局へのお問い合わせの際に必要になる場合があります。

1 以下の操作で「通信設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲･▼で｢初期設定｣を選び､決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で｢通信設定｣を選び､決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲･▼で「通信エラー履歴」を選び、決定ボタンを押す

3 内容を確認し、決定ボタンを押す

- エラー履歴がある場合は､右のように表示されます。
- 決定ボタンを押すと手順**2**の画面に戻ります。

4 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

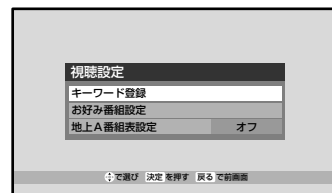
- おもなエラーメッセージの対処のしかたについては「エラー表示、メッセージ表示について」の267ページをご覧ください。

初期設定を個別に行うとき つづき

キーワード登録

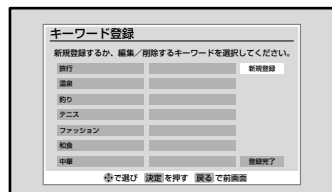
● 番組検索、お好み番組設定では、登録したいキーワードを「キーワード一覧」から選んで設定します。ここでは「キーワード一覧」の内容を設定します。

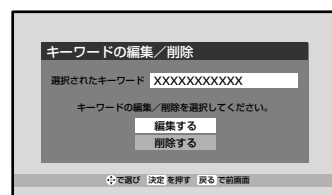
1 以下の操作で「キーワード登録」画面にする

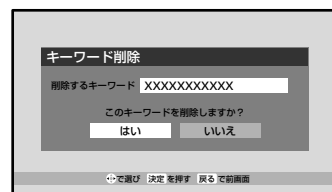
①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲･▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲･▼で「視聴設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲･▼で「キーワード登録」を選び、決定ボタンを押す

2 以下の操作で登録する

● キーワードは14個登録できます。
● 一つのキーワードは最大で全角15文字まで入力できます。

新しくキーワードを登録する場合

①カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「新規登録」を選び、決定ボタンを押す
②登録したいキーワードを入力する
(文字入力については100ページをご覧ください。)
③入力が終わったら、決定ボタンを押す

キーワードを変更する場合

①変更したいキーワードを選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼で「編集する」を選び、決定ボタンを押す
③変更したい内容に修正する
(文字入力については100ページをご覧ください。)
④入力が終わったら、決定ボタンを押す

キーワードを削除する場合

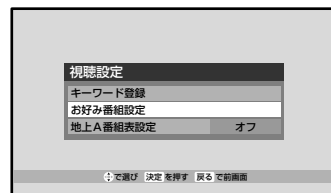
①削除したいキーワードを選び、決定ボタンを押す
②カーソルボタン▲･▼で「削除する」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で「登録完了」を選び、決定ボタンを押す

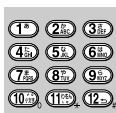
4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

お好み番組設定

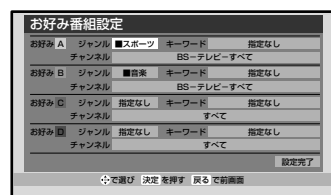
- お好み番組の検索条件を設定します。(お好み番組検索については141ページ参照)
- お好みA～Dの4種類の条件を設定することができます。
  設定する項目は、ジャンル、キーワード、チャンネルです。
- **「はじめての設定」(→187～188ページ)がお済みの場合は、ここでの設定の必要はありません。**

1 以下の操作で「お好み番組設定」画面にする

①メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
②カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③カーソルボタン▲·▼で「視聴設定」を選び、決定ボタンを押す
④カーソルボタン▲·▼で「お好み番組設定」を選び、決定ボタンを押す

2 以下の操作で設定する

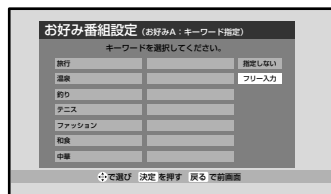
- 以下は、お好みAに設定する場合の操作です。お好みB～Dも同様に設定してください。

(1) カーソルボタン▲·▼·◀·▶で設定する場所(右図)を選び、決定ボタンを押す

ジャンルを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。
キーワードを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。
チャンネルを設定するときはここを選び、決定ボタンを押します。

(2) 以下の操作で設定する
※ジャンル、キーワードは、必ずどちらかは設定してください。(どちらも設定しなかった場合は番組検索はできません。)

ジャンルを設定する場合

- **ジャンル一覧で、設定するジャンルをカーソルボタン▲·▼·◀·▶で選び、決定ボタンを押す**
  ・ジャンルは、一つだけ設定できます。
  ※ジャンルを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。

キーワードを設定する場合

- **キーワード一覧で、設定するキーワードをカーソルボタン▲·▼·◀·▶で選び、決定ボタンを押す**
  ・キーワードは一つだけ設定できます。
  ※キーワードを指定しない場合は、「指定しない」を選び、決定ボタンを押してください。
- キーワードを自分で入力して設定する場合は、以下の操作で設定してください。
  ① キーワード一覧で、カーソルボタン▲·▼·◀·▶で「フリー入力」を選び、決定ボタンを押す
  ② キーワードを入力する
  ・文字入力については、「文字入力のしかた」(→100ページ)をご覧ください。
  ③ 決定ボタンを押す

[次のページにつづく]

初期設定を個別に行うとき つづき

お好み番組設定 つづき

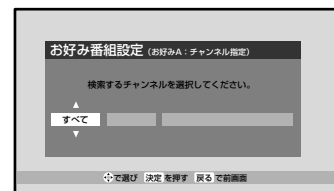
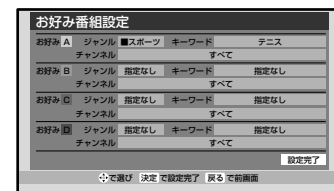
チャンネルを設定する場合

お好み番組設定（お好みA：チャンネル指定）
検索するチャンネルを選択してください。
すべて
で選び 決定を押す 戻るで前画面

①カーソルボタン◀・▶で設定項目を選ぶ
左端：放送の種類（BS／CS／地上D／地上A／すべて）
※ 受信しない放送は表示されません。
中央：放送メディア（テレビ／ラジオ（BS、CSのみ）／データ／すべて）
右端：チャンネル（※「すべて」もあります）

②カーソルボタン▲・▼で設定する内容を選ぶ
- 放送の種類で「すべて」を選んだ場合は、放送メディア、チャンネルを指定することはできません。
- 放送メディアで「すべて」を選んだ場合は、チャンネルを選ぶことができません。

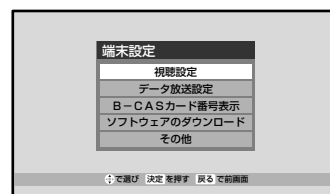
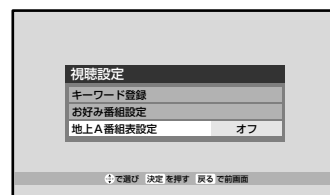
③全部の設定が終わったら、決定ボタンを押す

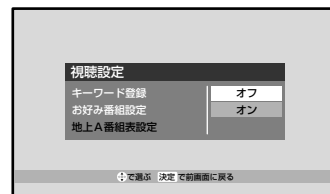
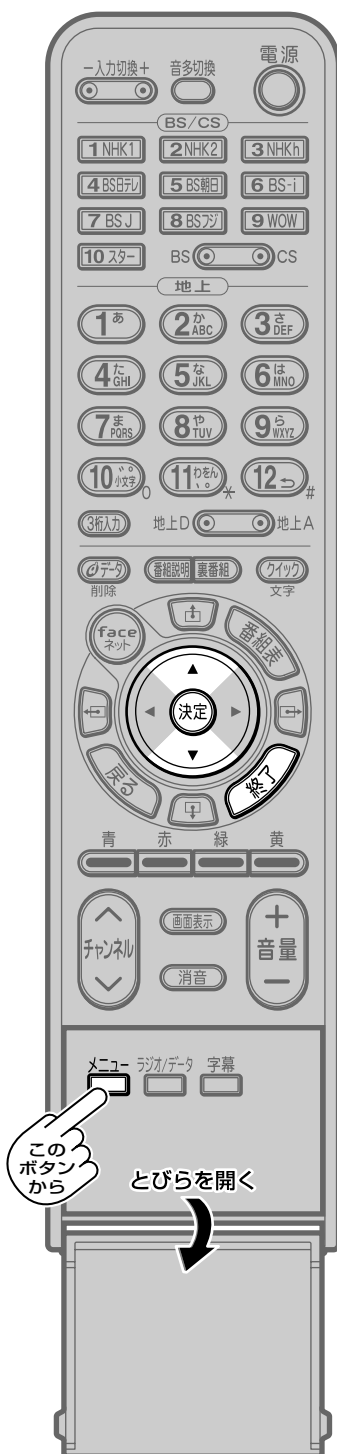
(3) 手順(1)、(2)を繰り返して設定したい項目をすべて設定する
(4) お好みB～Dも、同様に設定する

3 カーソルボタン▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、決定ボタンを押す

4 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

地上A番組表設定

● 地上アナログ放送の番組表(→40ページ)を画面に表示するか、しないかを設定します。
お買い上げ時は「オン」に設定されています。

1 以下の操作で「視聴設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「視聴設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「地上A番組表設定」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「オン」または「オフ」を選び、決定ボタンを押す

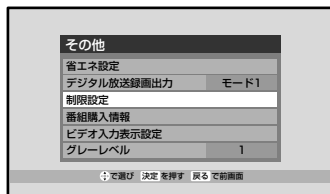
● 「オン」…… 地上アナログ放送の番組表が画面に表示されます。
● 「オフ」…… 地上アナログ放送の番組表が画面に表示されません。

4 [通常画面に戻るには] 終了ボタンを押す

初期設定を個別に行うとき つづき

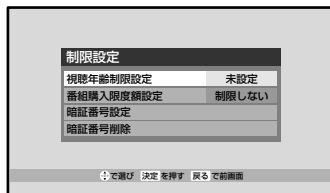
視聴年齢制限の設定

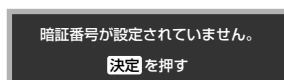
- 大人向けの番組では、番組ごとに視聴年齢が設定されているものがあります。その場合、あらかじめ本機に視聴年齢制限を設定しておくことで、暗証番号を入力しないと視聴できないようにすることができます。
  （例）本機の視聴年齢制限を18歳に設定したとき
  - ・視聴年齢が18歳以下の番組‥‥‥そのまま視聴できます。
  - ・視聴年齢が18歳を超えた番組‥‥視聴するには暗証番号が必要となります。
- お買い上げ時には、視聴年齢制限の設定はされていません。この状態では視聴年齢制限付き番組は視聴できません。

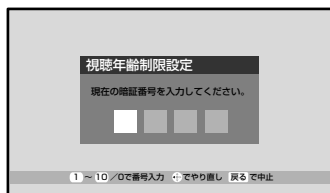
1 以下の操作で「制限設定」画面にする

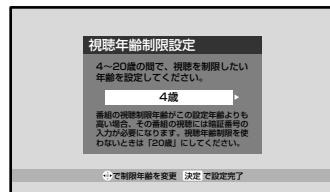
① メニューボタン（リモコンとびら内）を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

その他
省エネ設定
デジタル放送録画出力　モード1
制限設定
番組購入情報
ビデオ入力表示設定
グレーレベル　1
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

2 カーソルボタン▲·▼で「視聴年齢制限設定」を選び、決定ボタンを押す

- 暗証番号の入力画面になります。手順**3**に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

- 視聴年齢制限の設定はできません。（右のメッセージが表示されます。）視聴年齢制限設定をする場合は、暗証番号を設定してください。（→240ページ）

3 数字ボタン0～9（⑩～⑨）で暗証番号を入力する

- 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- 入力した番号が正しければ手順**4**の設定画面になります。
- 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

4 カーソルボタン◀·▶で年齢を設定し、決定ボタンを押す

- 視聴できる年齢は、4歳から20歳（制限しない）の間で設定できます。
- 視聴年齢制限機能を使わないときは、視聴年齢制限を「20歳（制限しない）」にしてください。

5 ［通常画面に戻るには］終了ボタンを押す

■暗証番号について

- ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

視聴年齢制限が設定されている番組を選んだとき

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢以下のとき

- 通常どおり番組は受信できます。

■番組の設定年齢が、本機の設定年齢よりも上のとき

- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。

番組を見るためには

①決定ボタンを押す
②数字ボタン0～9（⑩～⑨）で暗証番号を入力する
・間違って入力した場合はカーソルボタン◀を押し、もう一度1桁目から入力してください。

■本機に暗証番号や視聴年齢制限が設定されていないとき

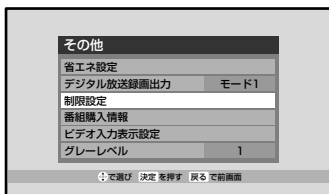
- メッセージが表示され、番組を見ることはできません。
- 決定ボタンを押すと、設定の必要な項目がメッセージ表示されます。
  内容を確認したあと、それらの設定を行ってください。

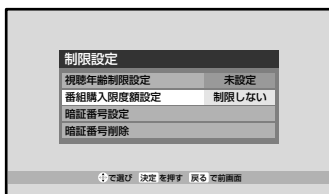
番組購入限度額の設定

● ペイ･パー･ビュー番組の１番組ごとの購入限度額を設定できます。限度額を超える番組の場合、購入するためには暗証番号の入力が必要となります。
● 金額に関係なくすべてのペイ･パー･ビュー番組について、暗証番号の入力が必要となるように設定することもできます。
● お買い上げ時は、すべての購入を「制限しない」に設定されています。

1 以下の操作で「制限設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲･▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲･▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲･▼で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

その他
省エネ設定
デジタル放送録画出力　モード1
制限設定
番組購入情報
ビデオ入力表示設定
グレーレベル　1
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

2 カーソルボタン▲･▼で「番組購入限度額設定」を選び、決定ボタンを押す

● 暗証番号の入力画面になります。手順**3**に進みます。

暗証番号が設定されていない場合

● 番組購入限度額の設定はできません。(右のメッセージが表示されます。)番組購入限度額設定をする場合は、暗証番号を設定してください。(→240ページ)

暗証番号が設定されていません。
決定 を押す

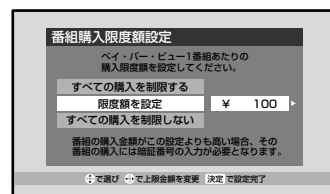
3 数字ボタン０～９（⑩～⑨）で暗証番号を入力する

● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。
● 入力した番号が正しければ手順**4**の設定画面になります。
● 誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

番組購入限度額設定
現在の暗証番号を入力してください。
1 ～ 10／0で番号入力 でやり直し 戻る で中止

4 カーソルボタン▲･▼で制限モードを選ぶ

● すべての購入を制限する：すべてのペイ･パー･ビュー番組について購入するためには暗証番号の入力が必要です。選択後手順**6**に進みます。
● 限度額を設定：限度額を超える番組の場合、暗証番号の入力が必要です。手順**5**に進みます。
● すべての購入を制限しない：上記の制限をしません。選択後手順**6**に進みます。

5 [「限度額を設定」を選んだ場合]
カーソルボタン◀･▶で限度額を選ぶ

● 金額は
　100円　～　1,000円の範囲で100円単位
　1,000円　～　3,000円の範囲で500円単位
　3,000円　～　10,000円の範囲で1,000円単位
　で設定できます。
● 設定後手順**6**に進みます。

6 決定ボタンを押す

● 手順**2**の画面に戻ります。

7 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

● 番組によって視聴料金と録画料金が異なる場合は高いほうの金額で購入限度額の判定を行います。
● 複数映像、複数音声または複数データで課金対象になっている番組は、信号を切り換えるときに購入限度額の判定を行います。

■暗証番号について

● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

初期設定を個別に行うとき つづき

暗証番号の設定・削除

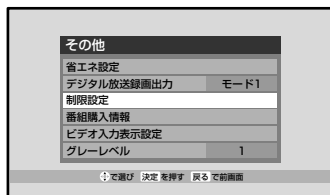
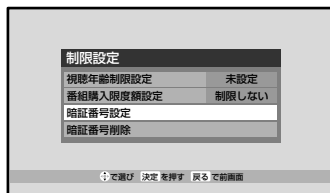
● 暗証番号は、ペイ･パー･ビュー番組を購入する際や、視聴年齢制限が設定されている番組を見るときなどに使われます。

● 暗証番号を忘れた場合の消去は有料になりますので、暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にご連絡ください。

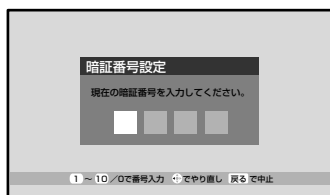
暗証番号の設定

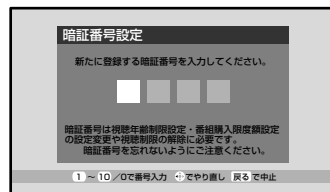
1 以下の操作で「制限設定」画面にする

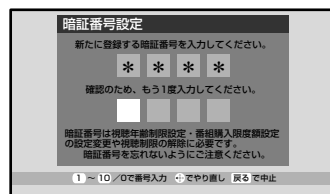
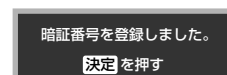
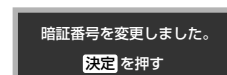
① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲･▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲･▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲･▼で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

その他
省エネ設定
デジタル放送録画出力　モード1
制限設定
番組購入情報
ビデオ入力表示設定
グレーレベル　1
で選び 決定 を押す 戻る で前画面

2 カーソルボタン▲･▼で「暗証番号設定」を選び、決定ボタンを押す

● 新規に登録するとき⇒手順**4**へ進む
● 暗証番号を変更するとき⇒手順**3**へ進む

3 ［暗証番号を変更する場合］
数字ボタン0～9（10～9）で変更する前の暗証番号を入力する

● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

4 数字ボタン0～9（10～9）で登録したい暗証番号を入力する

● 数字ボタン0～9（10～9）で暗証番号（登録したい4桁の数字）を順に入力します。
● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

5 数字ボタン0～9（10～9）でもう一度暗証番号を入力する

● 暗証番号が登録されます。

6 右の画面で決定ボタンを押す

（新規登録の場合）

（変更登録の場合）

7 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

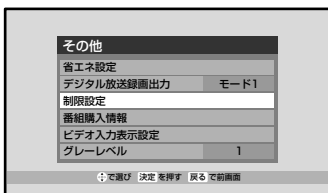
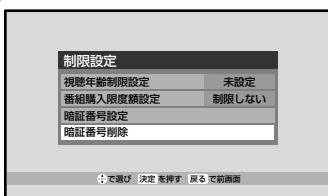
■暗証番号について
● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

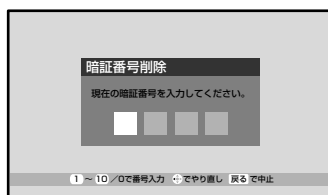
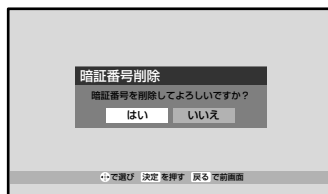
暗証番号の設定・削除 つづき

暗証番号の削除

● 暗証番号を使用しなくなった場合、削除することができます。

1 **以下の操作で「制限設定」画面にする**

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「その他」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「制限設定」を選び、決定ボタンを押す

2 **カーソルボタン▲·▼で「暗証番号削除」を選び、決定ボタンを押す**

3 **数字ボタン0～9(10～9)で暗証番号を入力する**

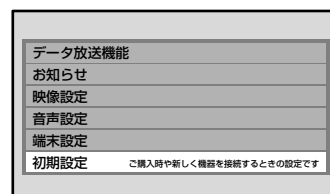
● 数字ボタン0～9(10～9)で暗証番号を順に入力します。
● 間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。

4 **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

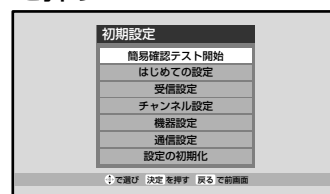
■暗証番号の削除について

● 暗証番号を削除すると、視聴年齢制限(→238ページ)、番組購入限度額(→239ページ)を設定することはできません。

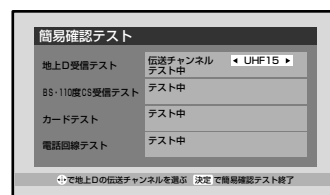
簡易確認テスト

● 地上D受信テスト、BS·110度CS受信テスト、B-CASカードテスト、電話回線テストをまとめて行います。
● 通信についてのテストは、「接続テスト」(→232ページ)を行ってください。

1 **メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲·▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**

2 **カーソルボタン▲·▼で「簡易確認テスト開始」を選び、決定ボタンを押す**

● 簡易確認テストが開始されます。
● 受信テストは、BS→110度CS→地上Dの順に行われます。

地上Dを受信する場合

● 地上デジタル放送の場合、伝送チャンネルごとの受信テストを以下の操作で行います。

①カーソルボタン◀·▶で伝送チャンネルを選ぶ
・ 選んだ伝送チャンネルの受信テストを行います。
②他の伝送チャンネルをテストする場合は、手順①と同じ操作を行う

● 戻るボタンを押すとテストを中止して前画面に戻ります。
● 「テスト結果」については、192ページをご覧ください。

3 [簡易確認テストが終了したら]
決定ボタンを押す

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

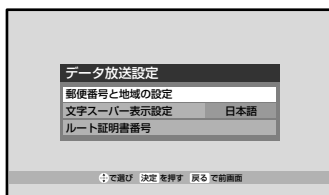
データ放送設定を個別に行うとき

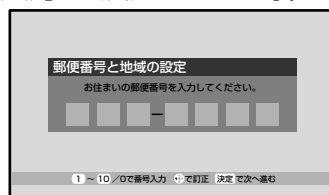
郵便番号と地域の設定

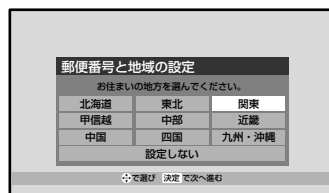
- お住まいの地域に応じたデータ放送(天気予報･選挙速報)や緊急警報放送を受信したり、また電話回線を通して双方向のデータ通信をするため、最寄りのアクセスポイントでご利用いただく設定を行います。
- **「はじめての設定」(→184ページ)がお済みの場合は、ここでの設定の必要はありません。**
(はじめての設定では、地域の設定は「地上A／D放送チャンネル設定」(→185ページ)の中で行っています。)

1 以下の操作で「郵便番号と地域の設定」画面にする

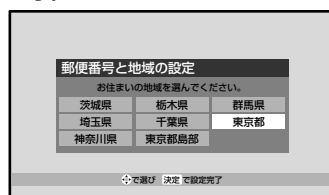
① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲･▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲･▼で「データ放送設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲･▼で「郵便番号と地域の設定」を選び、決定ボタンを押す

データ放送設定
郵便番号と地域の設定
文字スーパー表示設定　日本語
ルート証明書番号
で選び　決定 を押す　戻る で前画面

2 数字ボタン0～9(10～9)であなたのお住まいの郵便番号を入力し、決定ボタンを押す

- 入力を間違えた場合は、カーソルボタン◀でカーソルを戻してからもう一度入力してください。

3 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で該当する地方を選択し、決定ボタンを押す

- 「設定しない」を選んだ場合、手順**5**に進みます。

4 カーソルボタン▲･▼･◀･▶で該当する地域を選択し、決定ボタンを押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は、「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は、「鹿児島県島部」を選んでください。

郵便番号と地域の設定
お住まいの地域を選んでください。
茨城県　栃木県　群馬県
埼玉県　千葉県　東京都
神奈川県　東京都島部
で選び　決定 で設定完了

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

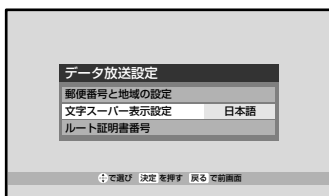
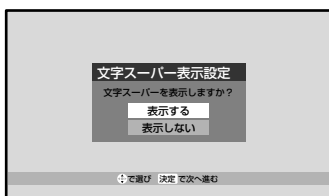
お知らせ

- 「はじめての設定」(→184ページ)とこのページでの地域の設定では、地方、都道府県、地域の設定のしかたが異なっています。これは「はじめての設定」では「地上A／D放送チャンネル設定」と同時にまとめて行っているためです。
- データ放送を受信している状態でここでの設定をした場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されていません。そのため、設定終了後、再度データ放送を選局し直してください。
- 郵便番号入力で上3桁を入力して決定ボタンを押すと残り4桁は自動的に「0」が入力されます。
- 上2桁までの入力で決定ボタンを押すと、エラーになります。決定ボタンを押してもう一度入力してください。

文字スーパー表示の設定

- デジタル放送は、番組によって文字スーパーを表示させるサービスがあります。複数言語の文字スーパーに対応した番組を受信した場合、本機で表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、日本語を優先で表示するように設定されています。

1 以下の操作で「文字スーパー表示設定」画面にする

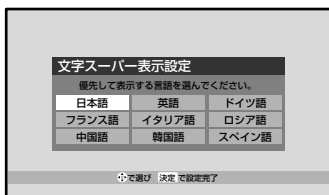
① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「データ放送設定」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「文字スーパー表示設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「表示する」または「表示しない」を選び、決定ボタンを押す

「表示する」を選んだ場合

- 手順**3**に進みます。

「表示しない」を選んだ場合

- 手順**4**に進みます。
- 文字スーパーは表示されません。

3 カーソルボタン▲·▼·◀·▶で言語を選び、決定ボタンを押す

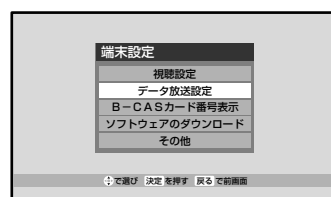
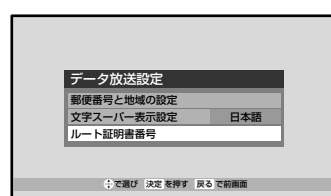
- 以下の言語が選択できます。
日本語/英語/ドイツ語/フランス語/イタリア語/ロシア語/中国語/韓国語/スペイン語

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 「表示する」に設定した場合、設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示します。
受信している放送に設定した言語がない場合は、送信データに従って表示されます。

ルート証明書番号を確認する

- ルート証明書は、地上デジタル放送の双方向通信サービスで、本機と接続されるサーバーの認証を行う際に使用されます。これによって、双方向通信の安全性を高めることができます。ルート証明書は地上デジタル放送によって放送局から送られ、本機内に記憶されます。
この記憶されたルート証明書の番号を以下の手順で確認することができます。

1 以下の操作で「データ放送設定」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「データ放送設定」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「ルート証明書番号」を選び、決定ボタンを押す

3 ルート証明書番号を確認したら、決定ボタンを押す

4 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- 最大8個のルート証明書番号が表示されます。ルート証明書が記憶されていない場合、「－－－」と表示されます。各ルート証明書の詳しい情報については、東芝家電ご相談センター（裏表紙参照）にお問い合わせください。その際、ルート証明書番号をお伝えください。

お買い上げ時の状態に戻すには

（設定内容を初期化するには）

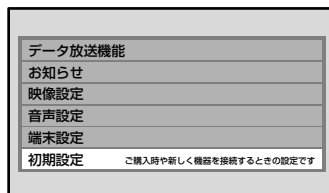
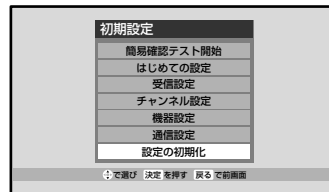
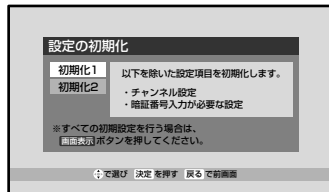
● お買い上げの状態に戻す設定内容は以下の３種類あります。目的に合わせて行ってください。
※ 初期化をするとデータをもとに戻すことはできませんのでご注意ください。

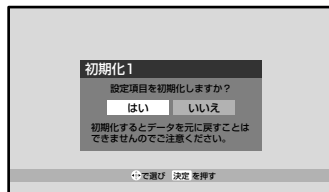
設定項目	内　容	ページ
初期化1をする場合	チャンネル設定、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定を除いた設定項目をお買い上げ時の状態に戻します。お好みに設定した項目を設定し直すときに行うと便利です。	244
初期化2をする場合	「初期化1」では除かれていた「チャンネル設定」もあわせて初期化されます。（暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定については、初期化されません。）	244
すべての設定内容を初期化する場合	本機に設定されたすべての内容をお買い上げ時の状態に戻します。本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合のみ行ってください。	245

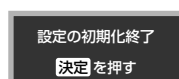
初期化1をする場合

● 初期化される内容は、上の表をご覧ください。

1 **メニューボタン（リモコンとびら内）を押し、カーソルボタン▲･▼で「初期設定」を選び、決定ボタンを押す**

● 「初期設定」メニューが表示されます。

2 **カーソルボタン▲･▼で「設定の初期化」を選び、決定ボタンを押す**

3 **初期化する場合は、カーソルボタン▲･▼で「初期化 1」を選び、決定ボタンを押す**

4 **初期化する場合は、カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

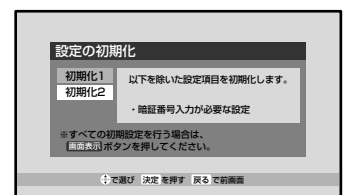
● 初期化するとデータをもとに戻すことはできませんのでご注意ください。
● 初期化される内容については246ページ「お買い上げ時の状態」の表をご覧ください。

5 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す

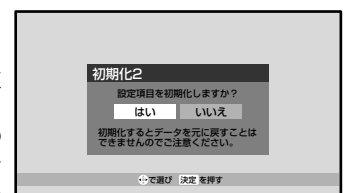
● 手順**2**に戻ります。

6 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

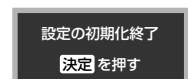
初期化2をする場合

● 初期化される内容は、上の表をご覧ください。

1 **左側の手順 1、2 の操作で、「設定の初期化」画面にする**

2 **初期化する場合は、カーソルボタン▲･▼で「初期化 2」を選び、決定ボタンを押す**

3 **初期化する場合は、カーソルボタン◀･▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**

● 初期化するとデータをもとに戻すことはできませんのでご注意ください。
● 初期化される内容については246ページ「お買い上げ時の状態」の表をご覧ください。

4 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す

● 左側の手順**2**に戻ります。

設定の初期化終了
決定 を押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

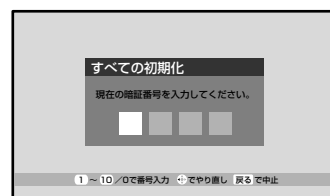
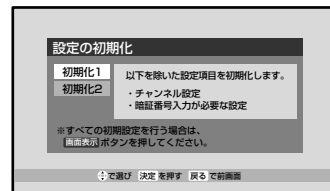
すべての設定内容を初期化する場合

● ここでの初期化では、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、データ放送などでの個人情報（視聴ポイント数等）についても、すべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合のみ行ってください。それ以外でのご使用はご注意ください。

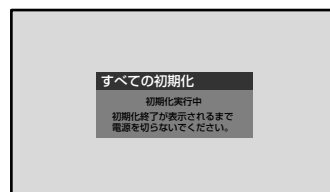
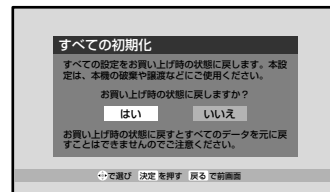
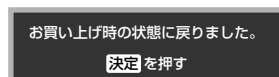
1 前ページ左側の手順 **1**、**2** の操作で「設定の初期化」画面にする

2 画面表示ボタンを押す

暗証番号の入力画面が表示された場合

● 数字ボタン0～9（10～9）で暗証番号を入力する
- ・間違って入力した場合は、カーソルボタン◀を押し、1桁目からもう一度入力してください。
- ・入力した番号が正しければ手順**3**の上の画面になります。
- ・誤りの場合は、エラーメッセージと再入力画面が表示されます。もう一度正しく入力してください。

3 すべての設定内容を初期化する場合は、カーソルボタン◀・▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

※初期化するとデータをもとに戻すことはできませんのでご注意ください。

● 初期化にはしばらく時間がかかる場合があります。

（初期化中の画面）

4 ［右の画面を確認して］
決定ボタンを押す

お買い上げ時の状態に戻りました。
決定 を押す

5 ［通常画面に戻るには］
終了ボタンを押す

■暗証番号について
● ペイ・パー・ビュー番組の購入と、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定、すべての初期化で使用する暗証番号は同じものです。

お買い上げ時の状態に戻すには つづき

（設定内容を初期化するには）

■お買い上げ時の状態

項目			設定内容
映像メニュー			標準
上下振幅調整			00
上下画面位置			00
明るさ			85
ファインシネマ			オート
カラーイメージコントロール			オン
ステレオ/モノラル			ステレオ
WOW	SRS 3D		オフ
	FOCUS		オン
	TruBass		強
郵便番号設定			設定なし
地域の設定			設定しない
文字スーパー表示設定			日本語
省エネ設定	消費電力		標　準
	番組情報取得設定		取得する
	無操作自動電源オフ		動作しない
	オンエアー無信号オフ		待機にする
	外部入力無信号オフ		待機にする
デジタル放送録画出力			モード1
BS·110度CSアンテナ電源供給			供給する
BSパススルーモード設定			設定しない
自動スキャン			自動スキャンする
ビデオ機種設定			東芝1
ビデオ入力表示設定			ビデオ1:VTR、ビデオ2:VTR ビデオ3:ゲーム
グレーレベル			2
東芝RDシリーズ設定	識別名設定		LC100A
	ネットdeナビ制御		制御なし
	テレビdeナビ設定	RD本体名	未設定
		ユーザー名	未設定
		パスワード	未設定
		ポート設定	80
		連動ライン入力番号	ライン入力3
ダイヤル方式			トーン
外線発信番号			外線発信番号なし
外線発信待ち時間設定			自動設定する
電話会社の設定			電話会社を設定しない
マイラインプラス加入設定			加入していない
電話番号通知設定			設定しない
ダイヤルの待ち時間設定	電話番号通知		設定しない
	マイラインプラス解除番号		設定しない
	電話会社指定番号		設定しない

項目			設定内容
通信環境設定			イーサネット優先
LAN端子設定	IPアドレス設定		自動取得する
	DNS設定		自動取得する
	プロキシ設定		使用しない
接続確認メッセージ設定			表示する
画面サイズ	4:3信号		スーパーライブ
	ゲームモード		ゲームフル
オフタイマー			オフ
音多切換			主音声
字幕			オフ
字幕アウトスクリーン			オフ
地上A番組表設定			オン
暗証番号設定			未設定
視聴年齢制限設定			未設定
番組購入限度額設定			未設定
お知らせ			なし
放送からの自動ダウンロード			ダウンロードする
放送からの任意ダウンロード予約			予約なし
サーバーからのダウンロードの自動確認			確認しない
視聴予約、録画予約			なし
お好み番組設定	A	ジャンル	スポーツ
		キーワード	指定なし
		チャンネル	BS－テレビ－すべて
	B	ジャンル	音楽
		キーワード	指定なし
		チャンネル	BS－テレビ－すべて
	C·D共通	ジャンル	指定なし
		キーワード	指定なし
		チャンネル	すべて
チャンネル設定（1あ ～ 12ら ボタン）			お買い上げ時のチャンネル設定状態（→36ページお知らせ1参照）
チャンネル設定（1 NHK1 ～ 10 スター ボタン）			お買い上げ時のチャンネル設定状態（→38ページ参照）

- 「初期化1」では、チャンネル設定、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定は、初期化されません。
- 「初期化2」では、暗証番号設定、視聴年齢制限設定、番組購入限度額設定は、初期化されません。

バージョンアップするには

● 本機のソフトウェアを書き換えて更新することによって、機能アップや機能の改善などができます。

■バージョンアップの概要

- ソフトウェアをバージョンアップする方法としては、以下の二つがあります。
  - ・放送局がBSまたは地上デジタル放送の電波の中にソフトウェアを入れて送信し、それをダウンロードすることによってバージョンアップする。
  - ・東芝サーバーからLAN端子を使ったイーサネット通信（→182ページ「LAN端子の接続」）で、ソフトウェアのダウンロードをすることによってバージョンアップする。（ブロードバンド環境が必要です。）

■ダウンロードとは

- ダウンロードとは、BSまたは地上デジタル放送の放送局や東芝サーバーが書き換え用のソフトウェアを送信し、テレビが受信してソフトウェアを書き換える方法のことです。
- ダウンロードには、下表の三つの場合があります。

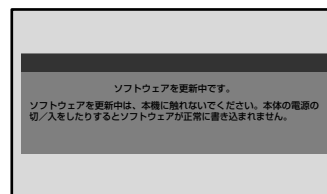
放送波の中の自動ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→248ページ）	● あらかじめ設定しておくことによって、自動ダウンロード用のソフトウェアが送られてきたときに、自動的にダウンロードさせることができます。
放送波の中の任意ダウンロード用のソフトウェアをダウンロードする（→249ページ）	● 任意ダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」（→99ページ）でご連絡します。ダウンロードをする場合は、249ページの操作でダウンロード予約を行ってください。
サーバーからソフトウェアをダウンロードする（→250～252ページ）	● イーサネット通信（→182ページ「LAN端子の接続」）によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードをします。 ［あらかじめ「ダウンロードの自動確認」（→250ページ）を「確認する」に設定しておくと、東芝サーバーに接続してソフトウェアのバージョンを自動的に確認することができます。サーバーからダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」（→99ページ）でご連絡します。］

■ダウンロードの動作について

- ダウンロードをするにはあらかじめ、電源「入」の状態でBSまたは地上デジタル放送を数分間受信して、ダウンロード情報を取得しておくことが必要です。
- **ダウンロードは、電源が「待機」状態のときのみ、実行されます。**
- 任意ダウンロードの場合は、本機の電源が「入」のときには、任意ダウンロード開始時刻の少し前に、リモコンの電源ボタンを押して待機状態にすることをお願いするメッセージが表示されます。

ダウンロードの実行中に、リモコンの電源ボタンが押されたとき

- 右のメッセージが表示されます。
- これ以降は、ダウンロードがすべて完了するまで、本機には触れないでください。
- 特に、電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりすることは絶対にやめてください。ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。
- ダウンロードがすべて完了すると、電源が「待機」になったあと、再び「入」になります。以降は通常どおり操作できます。

お願い

- **ダウンロード中は、電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切ったりしないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。このような場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。**

- **ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除される場合があります。**
- 任意ダウンロードは、録画予約した番組が時間変更となり任意ダウンロード予約と重なった場合や、悪天候の場合などには実行されません。
- ダウンロードが取り消された場合、その旨を「本機に関するお知らせ」（→99ページ）でご連絡します。
- 現在番組録画中などに、任意ダウンロード予約の開始時刻になると、任意ダウンロード予約は取り消されます。
- 東芝RDシリーズのネットdeナビ予約での録画実行中には、ダウンロードは実行されません。

バージョンアップするには つづき

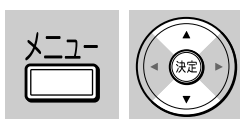
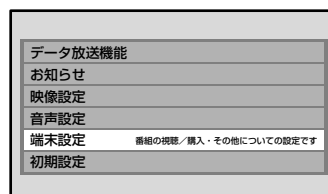
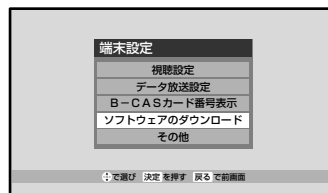
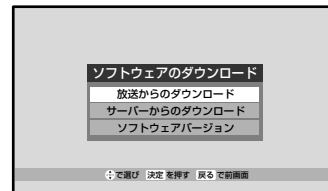
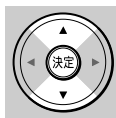
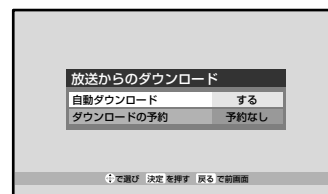
送信されてくるソフトウェアをダウンロードする

自動ダウンロードをするには

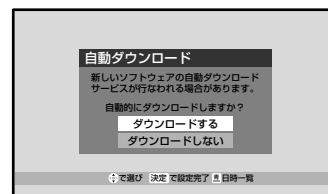
- 以下の設定をすることによって、デジタル放送の放送局から送信される自動ダウンロード用のソフトウェアを自動的にダウンロードすることができます。
- 247ページもよくお読みください。

■「自動ダウンロード」の設定をする

- お買い上げ時は、「ダウンロードする」に設定されています。
- 「ダウンロードしない」に設定した場合は、自動ダウンロードサービスが行われていることを「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でご連絡します。

1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押し、カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す

- 端末設定メニューが表示されます。

2 カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

3 カーソルボタン▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

4 カーソルボタン▲·▼で「自動ダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

5 カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードする」または「ダウンロードしない」を選び、決定ボタンを押す

自動ダウンロードの日時一覧を見るには

①青ボタンを押す
・日時一覧が表示されます。
②カーソルボタン▲·▼で日時一覧表示を切り換える
③前画面面に戻るには、戻るボタンを押す

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

- ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

任意ダウンロードをするには

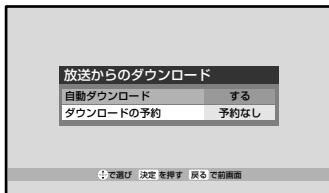
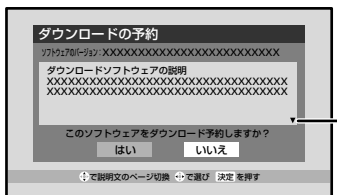
● 247ページもよくお読みください。

■任意ダウンロードを予約する

はじめに

● 任意ダウンロードについての情報があるときには、「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でご連絡します。
● ダウンロードする場合は、以下の操作でダウンロード予約をしてください。

1 以下の操作で「ダウンロードの予約」画面にする

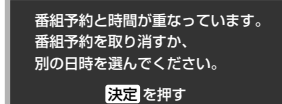
① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す
④ カーソルボタン▲·▼で「放送からのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す
⑤ カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードの予約」を選び、決定ボタンを押す

2 表示されている説明を読み、ダウンロード予約をする場合は、カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

説明文の上、下に▲・▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⊕・⊖でページを切り換えることができます。

3 カーソルボタン▲·▼で予約する日時を選び、決定ボタンを押す

● ダウンロードが予約されます。
● 設定できるダウンロード予約は一つです。

予約と時間が重なっている場合

● 録画予約や視聴予約と重なっている場合は、右のメッセージが表示されます。
決定ボタンを押すと前画面に戻ります。
ダウンロードの予約日時を変えるか、または終了ボタンを押したあと、予約を取り消してください。(右側下)

> 番組予約と時間が重なっています。
> 番組予約を取り消すか、
> 別の日時を選んでください。
> 決定 を押す

4 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

> ダウンロードの予約が完了しました。
> ダウンロードが終了するまで
> 本体の電源ボタンを押さないでください。
> 本体の電源ボタンを押すとソフトウェアが
> 正常にダウンロードされません。
> 決定 を押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

6 予約の開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンを押して電源待機状態にする

● ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

■任意ダウンロード予約の日時を変更したり、予約を取り消すには

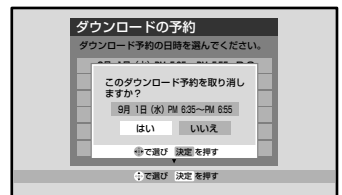
● 247ページもよくお読みください。

1 左の手順**1**、**2**の操作で「ダウンロードの予約」画面にする

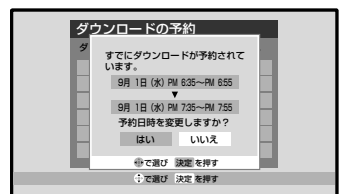
2 以下を行う

ダウンロード予約の日時を変更する場合

① カーソルボタン▲·▼で変更する日時を選び、決定ボタンを押す
② カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

・ 選んだ日時にダウンロード予約が変更されます。
③ 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す
④ 通常画面に戻るには、終了ボタンを押す
⑤ 予約開始時刻の前までに、リモコンの電源ボタンを押して電源待機状態にする
・ ダウンロードは、電源が「待機」のときのみ行われます。

ダウンロード予約を取り消す場合

① カーソルボタン▲·▼で予約されているダウンロードの日時を選び、決定ボタンを押す
② カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

・ ダウンロード予約が取り消されます。
③ 通常画面に戻るには、終了ボタンを押す

サーバーからダウンロードする

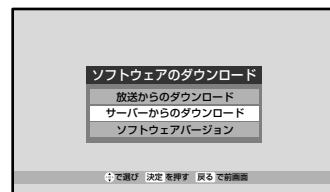
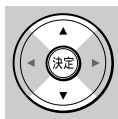
ダウンロードの自動確認を設定する

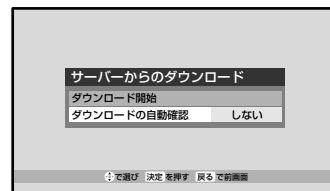
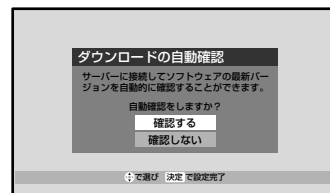
- 東芝サーバーに接続してソフトウェアのバージョンを自動的に確認することができます。サーバーからダウンロードについての情報があるときは、「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でご連絡します。
- お買い上げ時は、「確認しない」に設定されています。
- 247ページもよくお読みください。

1 以下の操作で「ソフトウェアのダウンロード」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

2 カーソルボタン▲·▼で「サーバーからのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

ソフトウェアのダウンロード
放送からのダウンロード
サーバーからのダウンロード
ソフトウェアバージョン

3 カーソルボタン▲·▼で「ダウンロードの自動確認」を選び、決定ボタンを押す

サーバーからのダウンロード
ダウンロード開始
ダウンロードの自動確認　しない

4 カーソルボタン▲·▼で「確認する」または「確認しない」を選び、決定ボタンを押す

5 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

ダウンロードを開始する

- LAN端子を使ったイーサネット通信によって、東芝サーバーからソフトウェアのダウンロードができます。
- **247ページもよくお読みください。**

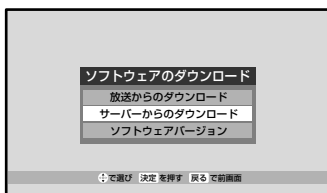
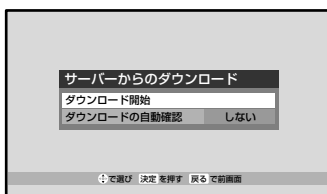
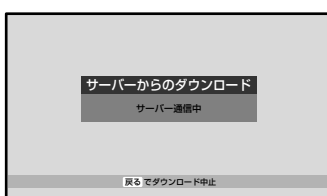
はじめに

- **「LAN端子の接続」(→182ページ)を行う**
- **「ダウンロードの自動確認」(→250ページ)を「確認する」に設定する**
  (お買い上げ時は、「確認しない」に設定されています。)
- **サーバーからダウンロードについての情報があるときは「本機に関するお知らせ」(→99ページ)でご連絡します。**

1 以下の操作で「ソフトウェアのダウンロード」画面にする

① メニューボタン(リモコンとびら内)を押す
② カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す
③ カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

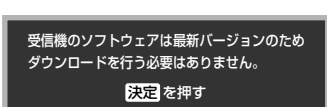
2 以下を行う

① カーソルボタン▲·▼で「サーバーからのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

② カーソルボタン▲·▼で「ダウンロード開始」を選び、決定ボタンを押す

・通信を開始し、本機の現在のバージョンを確認します。

通信エラーが表示された場合

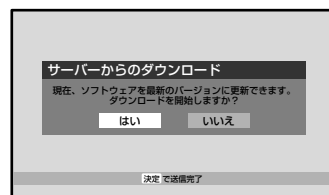
- **決定ボタンを押す**
  ・LAN端子の接続や設定が正しく行われているか、もう一度ご確認ください。(→182ページ「LAN端子の接続」)

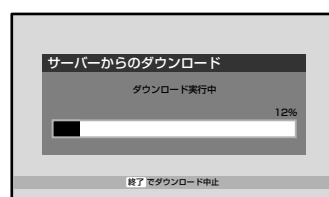
本機の現在のバージョンが最新の場合

- 右の画面になります。ダウンロードの必要はありません。
- **決定ボタンを押す**

受信機のソフトウェアは最新バージョンのため
ダウンロードを行う必要はありません。
決定 を押す

3 カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す

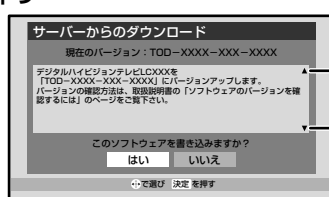
- サーバーからソフトウェアのダウンロードを開始します。
- ダウンロードをしない場合は、「いいえ」を選んでください。手順**2**の一番上の画面に戻ります。

- ダウンロードが終わると手順**4**の画面になります。

ソフトウェアのバージョンアップを中止する場合

- **終了ボタンを押す**
  ・ダウンロードを中止して、通常画面に戻ります。

「通信エラー」が表示された場合

- **決定ボタンを押す**
  ・通常画面に戻ります。LAN端子の接続や設定が正しいかをもう一度ご確認ください。(→182ページ「LAN端子の接続」)

4 最新のバージョンの説明文を読み、カーソルボタン◀·▶で「はい」または「いいえ」を選び、決定ボタンを押す

- 「はい」を選んだ場合は、手順**5**に進みます。
- やめたい場合は、「いいえ」を選んでください。通常画面に戻ります。

説明文の上、下に▲·▼マークがある場合は、ページ切換ボタン⏶·⏷でページを切り換えることができます。

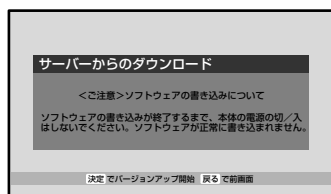
[次のページにつづく]

バージョンアップするには つづき

サーバーからダウンロードする つづき

ダウンロードを開始する つづき

5 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

- ソフトウェアの書き込み、更新が完了すると手順**6**の画面になります。（ソフトウェアの書き込みと更新完了にはしばらく時間がかかります。）

ソフトウェアのバージョンアップをしない場合

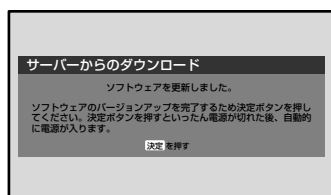
① **終了ボタンを押す**
・「ソフトウェアのバージョンアップを中止しますか？」が表示されます。

② **カーソルボタン◀·▶で「はい」を選び、決定ボタンを押す**
・通常画面に戻ります。

「ソフトウェア書き込み中にエラーが発生しました。」が表示された場合

- **決定ボタンを押す**
・バージョンアップを中止して、通常画面に戻ります。もう一度手順**1**からやり直してください。

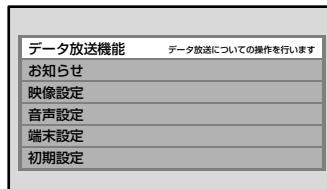
6 表示されるメッセージを読んだあと、決定ボタンを押す

- 電源が「待機」になったあと、再び「入」になります。これでソフトウェアのバージョンアップは完了です。

- 回線の速度が遅い場合には、正しくダウンロードできないことがあります。
・「通信エラー」が表示された場合、サーバーが一時的に停止していることもありますので、LAN端子の接続や設定に問題がない場合は、数時間後にもう一度ダウンロードを行ってください。

ソフトウェアのバージョンを確認するには

ソフトウェアのバージョンを確認するには

● 現在の本機のソフトウェアのバージョンが確認できます。

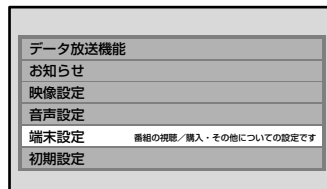
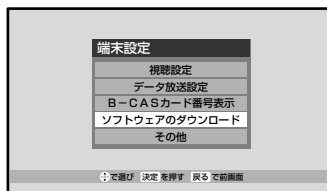
1 メニューボタン(リモコンとびら内)を押す

● メニューが表示されます。

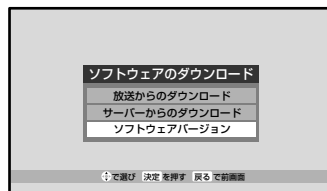
2 カーソルボタン▲·▼で「端末設定」を選び、決定ボタンを押す

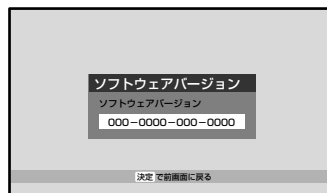
● 端末設定メニューが表示されます。

データ放送機能
お知らせ
映像設定
音声設定
端末設定　番組の視聴／購入・その他についての設定です
初期設定

3 カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアのダウンロード」を選び、決定ボタンを押す

端末設定
視聴設定
データ放送設定
B－CASカード番号表示
ソフトウェアのダウンロード
その他

4 カーソルボタン▲·▼で「ソフトウェアバージョン」を選び、決定ボタンを押す

ソフトウェアのダウンロード
放送からのダウンロード
サーバーからのダウンロード
ソフトウェアバージョン

5 ソフトウェアバージョンを確認後、決定ボタンを押す

● 決定ボタンを押すと前画面に戻ります。

6 [通常画面に戻るには]
終了ボタンを押す

第7章 困ったときには...

以下をご確認ください

エラー表示、メッセージ表示について

以下をご確認ください

⚠警告	■修理・改造・分解はしないこと 内部には電圧の高い部分があり感電・火災の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。

● 電源プラグがはずれたり、アンテナなどに異常があると本機の故障と間違えることがあります。
修理を依頼される前に以下のことをお調べください。

■操作全般

●電源がはいらない／操作ができない

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
電源がはいらない	・待機表示ランプ（赤）は点灯していますか。	・待機表示ランプ（赤）が点灯していない場合は、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているか確認してください。 本体上面の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。（→34ページ）
	・待機表示ランプ（赤）が点滅していますか。	・電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込んでも待機表示ランプ（赤）が点滅しているときは故障です。 テレビ本体の電源ボタンで電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店にご相談ください。
リモコンが動作しない	・待機表示ランプ（赤）は点灯していますか。	・待機表示ランプ（赤）が点灯していないときは、本体上面の電源ボタンを確実に押して電源を入れてください。（→34ページ）
	・リモコンを本機のリモコン受光部に向けて操作していますか。	・リモコンをリモコン受光部に向けてください。（→28、30ページ）
	・リモコンの乾電池が消耗していませんか。	・新しい乾電池に交換してみてください。（→30ページ）
	・リモコンの乾電池の極性（＋、−）が逆向きにはいっていませんか。	・極性（＋、−）を正しく入れてください。（→30ページ）
すべての操作ボタンが動作しない	・電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。 ※「バージョンアップするには」（→247ページ）でソフトウェアのダウンロードを行っている場合は、終了するまで操作ボタン（本体、リモコンの電源ボタン以外のボタン）は動作しません。ソフトウェアのダウンロード中は、絶対に電源プラグを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を切らないでください。ソフトウェアの書き込みが中止され、正常に動作しなくなる場合があります。	・本体の電源ボタンを確実に押して電源を切り、約10秒後にもう一度本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。（リセット）

■映像

●映像が出ない／きれいに映らない

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
放送の映像が出ない	・アンテナ線がはずれていませんか。	・アンテナ線を正しく接続してください。（→172ページ）
	・アンテナ、アンテナ線が破損、または断線していませんか。	・アンテナ、アンテナ線をご確認ください。
	・BS・110度CSアンテナは正しい方向に向いていますか。	・アンテナを正しい方向に向けてください。（→172ページ）
映像や番組表が表示されるまでに時間がかかる	・本体の電源ボタンで電源「入」にしましたか。	・本体の電源ボタンで電源「入」にしたときは時間がかかります。（リモコンで電源「入」にしたときよりも時間がかかります。）
	・別の放送メディアのチャンネルを選局しましたか。	・別の放送メディアのチャンネルを選局した場合は映像が表示されるまでやや時間がかかります。
接続した機器の映像が出ない	・接続コードが正しく接続されていますか。	・接続した映像コードの入力、出力が合っているか確認してください。
	・入力切換は合っていますか。	・本体またはリモコンの入力切換ボタンで外部機器を接続した入力端子を選んでください。
色がつかない・色がおかしい、画面が暗い	・ご希望の映像メニューや映像調整になっていますか。	・映像メニューを確認してください。（→152ページ） 映像メニューを選択してもご希望の映像にならない場合は「映像設定」画面でご希望の映像に設定します。
映像が二重、三重になる（ゴースト）	・山やビルなどからの反射電波が考えられます。アンテナの位置、高さ、向きは合っていますか。	・アンテナの位置、高さ、向きを変えてみてください。
雪や雨が降ったような画面になる	・アンテナの向きがずれていませんか。 ・アンテナ線がはずれたり、切れたりしていませんか。	・アンテナの向き、アンテナ線の接続に問題がない場合は、チャンネル設定が正しいか確認してください。（→194ページ）
画面にはん点が出る	・平行フィーダー線をお使いではありませんか。	・自動車、オートバイ、電車、高圧線、ネオンサイン、クリーナー、ヘアードライヤーなどからの妨害が原因と考えられます。アンテナ線の位置を原因妨害源（道路など）から離れた位置に移動することをおすすめします。 ・平行フィーダー線から電波妨害に強い同軸ケーブルに変えてみることをおすすめします。 ※上記の対処で直らない場合はお買い上げ店などにご相談ください。
画面にしま模様が出る	・平行フィーダー線をお使いではありませんか。	・近くのテレビやパソコン、テレビゲーム、ビデオ、オーディオ機器、DVD機器、携帯電話などや無線局などからの電波の混信が考えられます。 ・アンテナ線は他の機器の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してみてください。 ※上記の対処で直らない場合はお買い上げ店などにご相談ください。

以下をご確認ください つづき

■音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
音声が出ない	・音量が最小になっていませんか。	・音量ボタン(＋)で音量を上げてみてください。(→35ページ)
	・画面に「消音」マークが表示されていませんか。	・リモコンの消音ボタンを押すと消音を解除できます。(音量ボタンを押しても解除されます。)(→35ページ)

■デジタル放送関係

●デジタル放送全般

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
デジタル放送だけが映らない	・B-CASカードが正しく装着されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか。)	・B-CASカードを挿入しないと放送を見たり、「放送局からのお知らせ」の受信ができません。B-CASカードを正しい方向で装着してください。(→170ページ)
	・アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 ・アンテナ線がはずれていませんか。 ・アンテナの向きがずれていませんか。	・BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。(→178ページ)
	・BS、110度CS放送の場合、アンテナ電源供給が「供給しない」になっていませんか。	・マンションなどの共聴アンテナ以外ではアンテナ電源供給を「供給する」にします。(→178ページ)
映像や音声が(ときどき)出たり、出なかったりする 映像が(ときどき)停止する	・電波の種類(BS、110度CS、地上デジタル)に適合したアンテナを使用していますか。 ・衛星デジタル放送の場合、地域に適したサイズ(口径)のアンテナを使用していますか。	・放送に適合したアンテナをご使用ください。
	・アンテナをさえぎる障害物はありませんか。 ・アンテナ線がはずれていませんか。 ・アンテナの向きがずれていませんか。	・BS・110度CSアンテナの方向を確認・調整してください。(→178ページ)
	・積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。	・天候が回復すればもとの状態に戻ります。
BS、110度CSデジタル放送受信時、通常に比べ画質／音質が低下することがある	・降雨対応放送切換(→73ページ)が「降雨対応放送」に切り換わっていませんか。	・通常の放送と降雨対応放送が頻繁に切り換わって見にくい場合は、降雨対応放送切換で「通常の放送」に切り換えることもできます。(→73ページ)
デジタル放送のチャンネルが変えられない	・チャンネルボタンを押すと「○○を録画中です。終了を押すと録画を中止します。」のメッセージが表示されますか。	・現在番組録画や録画予約の実行は他のデジタル放送チャンネルに切り換えられません。録画中に切り換えたい場合はメッセージに従って「終了」をしてください。(録画は中止されます。)(→81ページ)

●映像／音声

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
特定のチャンネルの映像や音声が出ない	・アンテナとの接続にデジタル放送に非対応のケーブルや機器などを使用していませんか。	・携帯電話など本機の受信周波数帯域に相当する周波数を使用している機器の影響によって、映像や音声が出なくなる場合があります。 ・デジタル放送に対応したケーブルや機器などをご使用ください。(→175、176ページのお知らせ)
不自然なブロックノイズ(モザイク状のノイズ)が見えるときがある	・積雪や豪雨、雷などが発生していませんか。 ・特に動きの激しい画面でブロックノイズが見えますか。	・デジタル放送受信の特性上、発生することがあります。 以下の場合は故障ではありません。 ・降雨対応放送の映像の場合 ・悪天候などで、受信状態が悪化した場合 ・画面の激しい変化に映像処理が対応できない場合

●録画

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
ビデオコントロールケーブルを使ってデジタル放送の予約録画ができない	・ビデオの入力切換を正しく設定しましたか。	・ビデオの入力切換は本機のデジタル放送録画端子からのケーブルが接続された入力にしてください。
	・ビデオの電源を「切(待機)」にしていましたか。	・予約録画が開始される時点でビデオの電源は「切(待機)」にしておいてください。
	・ビデオコントロールケーブルの接続と設置が正しく行われていますか。	・ビデオコントロールケーブルの接続と設置を正しくする。(→124ページ)
	・ビデオ機種設定が正しく行われていますか。	・ビデオ機種設定を正しく設定する。(→125ページ) ・ビデオやDVDレコーダーによっては電源がはいってから録画が開始されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。 以下の場合は録画できません。 ・ビデオ本体での予約設定が行われていて予約待機状態になっていたり、録画予約が実行されている場合。 ・ビデオテープの録画防止用のツメが折れている場合。

●お知らせなど

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
「お知らせ」アイコンが消えない	・「お知らせ」の内容を確認しましたか。	・メニューの「お知らせ」画面から「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」の内容を表示させると消えます。(→99ページ)
未読の「お知らせ」がなくなっている ・放送局からのお知らせ ・本機に関するお知らせ ・ボード	・「設定の初期化」をしませんでしたか。	・「設定の初期化」をすると「お知らせ」は削除されます。(→244ページ)
	・「お知らせ」は最大件数を超えていませんか。	・「放送局からのお知らせ」「本機に関するお知らせ」については、最大数を超えて受信した場合は未読でも自動的に削除されることがあります。詳しくは99ページの「お知らせ」をご覧ください。 ・「ボード」については、そのとき受信したものしか表示されません。
「放送局からのお知らせ」が受信できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	・B-CASカードを正しい方向で装着していないと「お知らせ」は受信されません。(→170ページ)
有料放送が視聴できない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。	・B-CASカードを正しい方向で装着してください。(→170ページ)
	・有料放送を視聴するための手続きはお済みですか。	・付属のファーストステップガイド(有料放送加入契約申込書)で視聴手続きをしてください。
	・電話回線の接続や設定は正しいですか。	・電話回線の接続や設定が正しいかご確認ください。(→179、220ページ)
引っ越しをしたら、データ放送や文字スーパー表示が表示されなくなった	・データ放送用の地域設定は正しいですか。	・新住所に合わせて「郵便番号と地域の設定」を行ってください。(→242ページ)

以下をご確認ください つづき

■デジタル放送関係 つづき

●地上デジタル放送の受信や予約など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
地上デジタル放送がまったく受信できない ※以下も含みます ・地上デジタル放送の番組表などが表示されない ・本体の放送切換ボタンを押しても地上デジタル放送に切り換わらない	・B-CASカードは正しく挿入されていますか。(カードの上下や裏表は正しいですか。)	・B-CASカードを正しい方向で装着してください。(→170ページ)
	・地上デジタル放送用アンテナは正しく接続されていますか。	・地上デジタル用アンテナの接続をご確認ください。(→172〜175ページ)
	・アンテナの方向は正しいですか。	・地上デジタル用アンテナを地上デジタルの放送局側に向けてください。 ・アンテナレベルの数値が小さい場合は、アンテナの方向調整をしてみてください。(→177ページ)
	・初期スキャンを行いましたか。	・初期スキャンを行ってください。(→186、197ページ) ・受信できたチャンネルについては「放送局名リスト」で確認できます(→48ページ手順**1**以降を参照)でご確認ください。
	・お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。	・地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合せください。 また、ホームページ(以下のアドレス参照)から確認することもできます。 **http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/**
	・共聴システムをご使用の場合、共聴システムは地上デジタルに対応(パススルー方式)になっていますか。	・CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合せください。 (CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります。)
引っ越しをしたら、地上デジタル放送が受信できなくなった	・引っ越し後、地上デジタル放送の「初期スキャン」または「再スキャン」を実施しましたか。	・県外に引っ越しした場合は、「初期スキャン」(→186、197ページ)を行ってください。 ・県内で引っ越しをした場合は、「再スキャン」(→198ページ)を行ってください。 ・「初期スキャン」または「再スキャン」をしても受信できない場合は上の「地上デジタル放送がまったく受信できない」の内容もご確認ください。
一部の地上デジタル放送が受信できない	・放送は行われていますか。	・地上デジタル放送が行われているかをもよりの放送局にお問い合せください。 また、ホームページ(以下のアドレス参照)から確認することもできます。 **http://www.toshiba.co.jp/product/tv/naruhodo/**
複数台のテレビで、地上ダイレクト選局ボタンのチャンネルが異なっている **複数台のテレビで、枝番(→37ページ)が異なっている**	・初期スキャンなどを異なる時間に行いませんでしたか。	・どちらも東芝製テレビの場合は、同時に「初期スキャン」(→186、197ページ)を行ってください。 ・異なるメーカーのテレビの場合は、同じにならない場合があります。
地上Dアンテナレベル画面では受信できるチャンネルがそれ以外のときには受信できない		・再スキャンを行ってください。(→198ページ)
地上ダイレクト選局ボタンに設定してあった放送局が別の放送局に変わっている ※以下も含みます ・以前選局できた放送がなくなっている	・「本機に関するお知らせ」の中に「放送局からの変更がありました。」などのお知らせがありますか。	・放送の運用規定などに基づいて、設定内容が変更される場合があります。 「本機に関するお知らせ」の内容をご確認ください。(→99ページ)
受信できなくなった放送局が番組表表示などから消えない		・初期スキャンを行ってください。(→186、197ページ)

●地上デジタル放送の受信や予約など　つづき

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
チャンネルボタン▲・▼での選局時に同じ3桁チャンネル番号が複数表示される	・枝番(→37ページ)で区別されているチャンネルではありませんか。	・「番組説明」(→54ページ)で枝番の有無をご確認ください。枝番があれば正常な動作です。
地上デジタル放送で、リモコンボタンに手動設定したチャンネルが消えている	・「初期スキャン」(→186、197ページ)を行いませんでしたか。 ・「再スキャン」(→198ページ)で「設定内容をリセットする」を選択しませんでしたか。	・必要により再度「手動設定」を行ってください。(→202ページ)
番組表や裏番組リストを表示させても番組名などが表示されなかったり、実際の内容と合っていない場合が多い		・番組情報を取得してください。 情報取得には時間がかかる場合があります。(→41ページの右側、49ページの左側) ・番組データ全体を取得するには、毎日2時間以上本機の電源を待機状態にしてください。(→18ページ)
録画予約で、予約した番組が放送時間を繰り上げて放送されたが、「放送時間連動」を「する」に設定していたのに、連動して予約が行われなかった		・本機は放送時間の繰り上げには、対応していません。

●通信・双方向通信・通信設定など

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)	・LAN端子は正しく接続されていますか。	・接続をご確認ください。(→182、183ページ)
	・「LAN端子設定」は正しく行われていますか。	・正しい「LAN端子設定」を行ってください。(→229ページ) ・最後に「接続テスト」で、正しく通信できているかご確認ください。(→232ページ)
ダイヤルアップ通信ができない	・電話回線は正しく接続されていますか。	・「通信環境設定」を「イーサネット優先」に設定してください。(→228ページ)
通信速度が遅い、不安定	・接続ケーブルが長すぎませんか。	・ケーブルが長すぎると通信速度が遅くなる場合があります。短い接続ケーブルに換えてみてください。
	・回線が混んでいるためではありませんか。	・イーサネット通信の場合、通信環境によるもの(ADSLの場合、局から遠いなど)ではありませんか。 ・接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) ・時間をおいてから通信をしてみてください。 ※通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。
通信が勝手に切れてしまう	・通信切断前の確認画面表示を「表示しない」に設定していませんか。	・「接続確認メッセージ設定」を「表示する」に変更すると、通信切断前に確認画面を表示させることができます。(→233ページ)

以下をご確認ください つづき

■デジタル放送関係 つづき

●ビデオレコーダー（東芝RDシリーズ）との連動予約（テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約）を使用した録画関連

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
本機とビデオレコーダーで、テレビdeナビ予約、ネットdeナビ予約ができない	・本機とHDD＆DVDビデオレコーダーの接続、設定を行いましたか。	・「東芝製HDD＆DVDビデオレコーダーとつなぐとき」に従って、接続、設定を行ってください。（→127ページ）
	・ネットdeナビ予約の場合、「接続テスト」を行いましたか。	・「接続テスト」で正しく通信できるかご確認ください。（→232ページ） ・ネットdeナビ予約の場合、本機の状態によっては、予約ができない場合があります。137ページの「ご注意」をご確認ください。 ※上記の内容も含めて、127～137ページで動作や注意事項についてご確認ください。 ・テレビdeナビ予約の場合、「テレビdeナビ予約についての注意事項」（→97ページ）で、注意事項をご確認ください。
設定した録画開始時刻に録画が始まらない	・ビデオレコーダーの時刻は正しく設定されていますか。	・時刻設定が違っている場合は、ビデオレコーダーの取扱説明書を参照して正しい時刻に修正してください。 ※本機とビデオレコーダーの録画開始処理の誤差のために、時刻がずれて録画されてしまうことがあります。
テレビdeナビ予約やネットdeナビ予約で録画中に録画を中止したが、本機でチャンネルを切り換えることができない	・ビデオレコーダー側で録画を中止しただけではありませんか。（本機側で録画中止しましたか。）	・本機のリモコンの「終了」ボタンを2回押して本機側を録画中止にしてください。 （ビデオレコーダー側で録画を中止した場合は、本機でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません。）
テレビdeナビ予約やネットdeナビ予約で録画中に録画を中止したが、ビデオレコーダーの録画が中止されない	・本機側で録画を中止しただけではありませんか。（ビデオレコーダー側で録画中止しましたか。）	・ビデオレコーダー本体の「停止」ボタンを2回押して本機側を録画中止にしてください。 （本機側で録画を中止した場合は、ビデオレコーダー側でも録画中止の操作をしないとチャンネルが切り換えられません。）

■USBマスストレージ関係

このようなとき	確認事項	対処のしかた・他
USBマスストレージの画像が見られない	・本機のUSB端子の接続は正しく行われていますか。	・USB機器の接続をお確かめください。（→123ページ）
	・接続している機器は正しいですか。	・「USB端子に接続できる機器について」（→281ページ）をご覧ください。
	・使用したい機器以外が接続されていませんか。	・使用していない機器を取りはずしてください。

■このようなときは故障ではありません

●アンテナへの積雪や豪雨などによる一時的な映像障害

- 積雪や豪雨で電波が弱くなったとき。
- 春分、秋分、日食など太陽と衛星の方向が一致する食のとき。（衛星の太陽電池が地球や月の影になり、一時的に働かなくなるためです。）

●キャビネットからの「ピシッ」というきしみ音

- 「ピシッ」というきしみ音は、部屋の温度変化でキャビネットが伸縮するときに発生する音です。画面や音声などに異常がなければ心配ありません。

●蛍光管について

- お買い上げ時、蛍光管の特性上、画面にちらつきが出ることがあります。この場合、本体の電源をいったん「切」にして、もう一度電源を入れ直して確認してください。

エラー表示、メッセージ表示について

■全般（代表的なもの）

●代表的なエラー表示、メッセージ表示を説明します。**（静止画などの場合は表示が一部省略される場合があります。）**

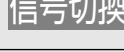
画面に表示されるエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・他
●「受信できません。コード:E202」	●適合したアンテナでないため。 ●雨や雷などの気象条件によって一時的に受信できない。 ●アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 ●アンテナの設定値が合っていない。 ●アンテナの方向ずれや故障。	●放送に適合したデジタル放送用アンテナであることをご確認ください。 ●アンテナの接続や設定が合っているかご確認ください。（➞172～178ページ） ●アンテナ線をご確認ください。 ●アンテナの方向をご確認ください。 ※ 選局しているチャンネルでの放送が休止中の場合も表示することがあります。
●「このチャンネルはご覧になれません。コード:E210」	●部分受信サービス（➞21ページ）を選局したため。	●本機は対応していないので受信できません。
●「電波の受信状態が良くありません。クイックメニューから降雨対応放送に切り換えられます。コード:E201」	●気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になったため。	●降雨対応放送に切り換えることができます。（➞73ページ）
●「現在放送されていません。コード:E203」	●選局したチャンネルでの放送が休止中。 ●放送が終了している。	●番組表などで放送時間をご確認ください。 ●放送中のチャンネルを選局してください。 ※ 雨や雷、雪などの気象条件によって、一時的に受信できない場合も表示することがあります。
●「放送チャンネルではないためご覧になれません。コード:E200」	●通信など通常の放送形態でないチャンネルを選局した。 ●ホテルなどで特定の視聴者向けのサービスとして放送しているチャンネルを選局した。	●通常の放送チャンネルを選局してください。
●「ご案内チャンネルに切り換えますか？」	●有料の放送事業者のチャンネルを選局した場合、またはチャンネルが未契約の場合。	●選んだチャンネルの契約のしかたなどをご覧になる場合は、「ご案内チャンネル」に切り換えてください。
●「表示するチャンネルがありません。」	●番組表または裏番組リストで、表示するチャンネルがまったくないため。	●BS、CS、地上D、地上Aボタンやラジオ/データボタン（リモコンとびら内）で表示できるチャンネルを選んでください。
●「B-CASカードが正しく挿入されていません。B-CASカードをご確認ください。」	●B-CASカードが挿入されていない、または正しく挿入されていない。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●B-CASカードの装着をご確認ください。（➞170ページ）
●「B-CASカードの交換が必要です。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード:6400または6581」	●B-CASカードが故障している、または交換の必要がある。	●カードを抜き差ししてみてください。 ●それでも正常にならない場合は、カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。コード:A104またはA105またはA106またはA107」	●B-CASカードが登録されていない。	●B-CASカードの登録を行ってください。カードに記載されているB-CASカスタマーセンターにお問い合わせください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なB-CASカードを挿入してください。」	●同梱のB-CASカード以外のカードを挿入している。	●同梱のB-CASカードを挿入してください。
●「このICカードはご使用になれません。使用可能なカードを挿入してください。コード:EC01」	●このICカードは無効です。	●同梱のB-CASカードを挿入してください。
●「このB-CASカードはご使用になれません。コード:A1FFまたはA102」	●使用できないB-CASカードを挿入している。	●同梱のB-CASカードを挿入してください。

画面に表示されるエラー表示	考えられる原因など	対処のしかた・他
●「B-CASカードが故障しています。」	● B-CASカードの故障、または交換が必要な場合。	● B-CASカードの交換には、B-CASカスタマーセンターへご連絡ください。
●「この番組には視聴制限があります。」	● 設定されている視聴年齢を超えた番組を選局した。 ● 設定した購入限度額よりも高い料金の番組を選局した。	● ご覧になる場合は暗証番号を入力してください。(→240ページ)
●「番組に視聴制限があるためご覧になれません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。コード:8903または8503または8303」	● 選んだチャンネル(番組)の視聴地域が限定されているため、視聴できない。	● 詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご連絡ください。
●「番組購入情報がいっぱいのため、新たに購入ができません。電話回線の接続をご確認の上、カスタマーセンターへご連絡ください。コード:8109」	● B-CASカード内のペイ・パー・ビュー購入履歴メモリーがいっぱいになっている。	● 電話回線が正しく接続されているのを確認の上「番組購入情報の送信」を行ってください。(→179、72ページ)
●「購入受付時刻を過ぎたためご覧になれません。コード:8108」	● ペイ・パー・ビューの購入可能時間が終了したため。	● 番組によっては、購入できる時間が番組開始からある時間までに限られている場合があります。その場合は、それ以降は購入できませんのでご注意ください。 ● 別の時間帯でも放送していて購入できる場合があります。詳しくはご覧のチャンネルのカスタマーセンターへご確認ください。

■デジタル放送を受信中にメッセージが表示された場合
- メッセージ表示の中に、「【画面表示】を押し続けると消去」という文章が表示された場合は、画面表示ボタンを数秒間押し続けることで、メッセージ表示を消すことができます。
- 「【画面表示】を押し続けると消去」の文章は、メッセージが表示されてから数秒後に自動的に消えます。（メッセージの他の部分は表示されたままです）
  この文章が消えたあとも同様に、画面表示ボタンを数秒間押し続けることで、メッセージ表示を消すことができます。

エラー表示、メッセージ表示についてつづき

■USB マスストレージに関するエラー表示

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「異常な機器(メディア)が接続されました。」	●異常なメディアまたは機器が接続された。	●本機に対応しているメディア、または機器を使用してください。
●「機器(メディア)が接続されていません。」	―――――	●メモリーカードリーダー(ライター)の場合は、メディアを挿入してください。
●「機器(メディア)を認識できません。」	●正常にフォーマットされていないメディアまたは機器が接続された。	●本機に対応しているフォーマット形式のものを使用してください。
	●その他の原因。	●テレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、機器を接続してから、もう一度テレビ本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。
●「機器(メディア)にアクセスができません。」	●USB端子に異常が発生した。	●USBマスストレージをはずしてから、もう一度接続をしてください。
●「許容量を超えるUSB機器が接続されました。必要な機器のみ接続した状態で決定ボタンを押してください。」	●USB過電流エラーが発生した。(USB機器を多くつないでいる場合には、使用できなくなる場合があります。)	●接続されているUSB機器をすべてはずしたあと、使用したいUSBマスストレージを接続してください。 ●接続し直しても、このエラーメッセージが出る場合はテレビ本体の電源ボタンを押して電源を切り、USB機器を本機からはずし、使用したいUSB機器のみを接続してから、もう一度テレビ本体の電源ボタンを押して電源を入れてください。

■通信（電話回線やLAN端子を使った通信）に関するエラー表示（代表的なもの）

画面に表示されるエラー表示	原　因	対処のしかた・他
●「ダイヤルトーンの検出ができませんでした。電話機コードが正しく接続されているかをご確認ください 。」	●電話がつながらなかったため。	●「電話回線の接続」(→179ページ)および「電話回線設定」(→221ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
●「接続に失敗しました。電話回線の設定をご確認ください。」	●電話回線を使用した通信ができなかったため	●「電話回線の接続」(→179ページ)および「電話回線設定」(→221ページ)で、接続・設定の状態を確認してください。
●「サーバーと通信できませんでした。」	●サーバーからのダウンロードに失敗したため。	●回線が混みあっているなどの場合も考えられますので、時間帯を変えて、もう一度操作してください。 ●LAN端子設定(→229ページ)で接続・設定の確認をしてください。
●「本機にルート証明書が設定されていないため、サーバーに接続できません。」	●本機にルート証明書が設定されていない。	●ルート証明書(→243ページ)が設定されているか確認してください。 設定されている場合は、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。 ルート証明書が設定されていない場合、一定時間経過後にもう一度、ルート証明書の確認をしてください。それでも設定されない場合は、東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
●「現在設定されているルート証明書ではサーバーの安全性を確認できないため、接続できません。」	●ルート証明書は本機内に設定されているが、接続先のサーバー証明書との検証が取れない。	●ルート証明書番号(→243ページ)を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
●「現在設定されているルート証明書の有効期限が切れているため、サーバーに接続できません。」	●ルート証明書の有効期限が切れている。	●ルート証明書番号(→243ページ)を確認し、正しいルート証明書であるかを東芝家電ご相談センター(裏表紙参照)にお問い合わせください。
●「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	●接続先の証明書が有効期限切れになっている。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	●サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	●接続先の証明書が改ざんされている。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	●認証エラーが発生した。	●接続先の安全性に問題があります。 本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続を行いません。(本機の動作は正常です。)
●「接続できません。通信環境設定をご確認ください。」	●本機の通信環境設定が正しく設定されていない。	●本機の通信環境設定を正しく設定し直してください。(→228ページ)

第8章 その他

アイコン一覧

■番組についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
テレビ	テレビ放送	コピー可	光デジタル録音できる番組の場合
ラジオ	ラジオ放送	コピー¥	録画購入すれば光デジタル録音できる番組の場合
データ	データ放送	コピー×	光デジタル録音できない番組の場合
テレビd	番組連動データ放送がある場合（テレビ）	二重音声	二重音声放送
ラジオd	番組連動データ放送がある場合（ラジオ）	HD	デジタルハイビジョン放送
16:9	画面の横と縦の比が16：9の信号	SD	デジタル標準テレビ放送
4:3	画面の横と縦の比が4：3の信号	字	字幕放送
ステレオ	ステレオ音声放送	MV	マルチビューサービス（→60ページお知らせ）
Dコピー可	デジタル録画できます	信号切換	複数の映像、または音声またはデータがある場合
Dコピー¥	録画購入すればデジタル録画できる番組の場合	ペイ・パー・ビュー	ペイ・パー・ビュー番組
Dコピー1	1回のみデジタル録画できる番組の場合	年齢	視聴年齢制限が設定されている番組の場合
Dコピー×	デジタル録画できない番組の場合		

■お知らせ、予約、録画、その他についてのアイコン

アイコン	説　明	アイコン	説　明
	未読の「お知らせ」		登録発呼、ブックマークにロックをかけている場合
	既読の「お知らせ」		地上デジタル放送選局時または画面表示ボタンを押したとき、再スキャン操作をおすすめする場合（→52、54ページ）
	予約		非リンク型サービス（通信番組）（→63ページ）
コピー可	アナログ録画できます		SSLなどの暗号通信をしている場合（→63ページ）
コピー¥	録画購入すればアナログ録画できます		登録発呼の予約設定時（→66ページ）
コピー×	アナログ録画できません		

用語について（索引）

●ＡＢＣ順

特定の地域で放送されている有線テレビ放送です。

D-VHSビデオやＤＶＤプレーヤーなどをつないで、高画質を楽しめる業界統一の映像端子です。
525i, 525p, 750p, 1125i信号に対応しています。

●アイウエオ順

ア行 ページ

各種の情報を簡単な図などで、シンボルとして表示します。

域内以外の地域で放送されている地上デジタル放送。

「はじめての設定」や「初期スキャン」で設定した地域（お住まいの地域）で放送されている地上デジタル放送。

カ行 ページ

災害に関する警報で、放送があると自動的に選局されます。

未契約の有料チャンネルを受信したとき、放送についてや契約のしかたなどを説明している別のチャンネルを簡単操作でご覧になれる場合があります。この別のチャンネルのことをご案内チャンネルといいます。

地上デジタル放送での視聴者個人の情報（視聴ポイント数など）。

サ行 ページ

洋画、邦画、音楽などのような、番組の分野のことです。

[次のページにつづく]

用語について（索引） つづき

■東芝デジタルテレビLC100で使われるソフトウェアのライセンス情報

東芝デジタルテレビ32/37LC100、(**LC100**と略して記載します)に組み込まれたソフトウェアは、複数の独立したソフトウェアコンポーネントで構成され、個々のソフトウェアコンポーネントは、それぞれに東芝または第三者の著作権が存在します。

東芝デジタルテレビLC100は、第三者が規定したエンドユーザーライセンスアグリーメントあるいは著作権通知(以下、「EULA」といいます)に基づきフリーソフトウェアとして配布されるソフトウェアコンポーネントを使用しております。

「EULA」の中には、実行形式のソフトウェアコンポーネントを配布する条件として、当該コンポーネントのソースコードの入手を可能にするよう求めているものがあります。当該「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントに関しては、以下のホームページをご覧いただくようお願いいたします。ホームページアドレス　http://www.toshiba.co.jp/product/tv/LZ1/eula　また、**東芝デジタルテレビLC100**のソフトウェアコンポーネントには、東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアも含まれており、これらソフトウェア及びそれに付帯したドキュメント類には、東芝の所有権が存在し、著作権法、国際条約条項及び他の準拠法によって保護されています。東芝自身のソフトウェアコンポーネンツの取扱いについては、添付の「ソフトウェア使用許諾契約書」を参照ください。なお、「EULA」の適用を受けない東芝自身が開発もしくは作成したソフトウェアコンポーネンツは、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

ご購入いただいた**東芝デジタルテレビLC100**は、製品として、弊社所定の保証をいたします。

ただし、「EULA」に基づいて配布されるソフトウェアコンポーネントには、著作権者または弊社を含む第三者の保証がないことを前提に、お客様がご自身でご利用になられることが認められるものがあります。この場合、当該ソフトウェアコンポーネントは無償でお客様に使用許諾されますので、適用法令の範囲内で、当該ソフトウェアコンポーネントの保証は一切ありません。著作権やその他の第三者の権利等については、一切の保証がなく、"as is"(現状)の状態で、かつ、明示か黙示であるかを問わず一切の保証をつけないで、当該ソフトウェアコンポーネントが提供されます。ここでいう保証とは、市場性や特定目的適合性についての黙示の保証も含まれますが、それに限定されるものではありません。当該ソフトウェアコンポーネントの品質や性能に関するすべてのリスクはお客様が負うものとします。また、当該ソフトウェアコンポーネントに欠陥があるとわかった場合、それに伴う一切の派生費用や修理･訂正に要する費用は、東芝は一切の責任を負いません。適用法令の定め、又は書面による合意がある場合を除き、著作権者や上記許諾を受けて当該ソフトウェアコンポーネントの変更･再配布を為し得る者は、当該ソフトウェアコンポーネントを使用したこと、又は使用できないことに起因する一切の損害についてなんらの責任も負いません。著作権者や第三者が、そのような損害の発生する可能性について知らされていた場合でも同様です。なお、ここでいう損害には、通常損害、特別損害、偶発損害、間接損害が含まれます(データの消失、又はその正確さの喪失、お客様や第三者が被った損失、他のソフトウェアとのインタフェースの不適合化等も含まれますが、これに限定されるものではありません)。当該ソフトウェアコンポーネンツの使用条件や遵守いただかなければならない事項等の詳細は、各「EULA」をお読みください。

東芝デジタルテレビLC100に組み込まれた「EULA」の対象となるソフトウェアコンポーネントは、以下のとおりです。これらソフトウェアコンポーネントをお客様自身でご利用いただく場合は、対応する「EULA」をよく読んでから、ご利用くださるようお願いいたします。なお、各「EULA」は東芝以外の第三者による規定であるため、原文(英文)を記載します。

東芝デジタルテレビLC100で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント　**原文(英文)**

対応ソフトウェアモジュール	
Linux Kernel, busybox	Exhibit A
glibc, gcc,	Exhibit B
malloc	Exhibit C
OpenSSL	Exhibit D
ppxp	Exhibit E
ZLIB	Exhibit F
pMON	Exhibit G

■東芝デジタルテレビLC100で使われるフリーソフトウェアコンポーネントに関する エンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

ExhibitA

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License;they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part there of, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program,and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code,which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any thirdparty, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange;or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This

alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4.You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6.Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7.If as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all.

For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8.If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9.The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10.If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11.BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<One line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © 19yy <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright © 19yy name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items – whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program; if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision'
(which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

ExhibitB

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1, February 1999

Copyright © 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc. 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software – to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages – typically libraries – of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General PublicLicense. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0.This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1.You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2.You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3.You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4.You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5.A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6.As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.
You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with

the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7.You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8.You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9.You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10.Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library", the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11.If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12.If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13.The Free Software Foundation may publish revised and/ or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns. Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14.If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15.BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/ OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16.IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/ OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO

USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright © <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation,Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names: Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>,1 April 1990
Ty Coon,President of Vice

That's all there is to it!

E x h i b i t C

This is a version (aka dlmalloc) of malloc/free/realloc written by Doug Lea and released to the public domain. Use, modify, and redistribute this code without permission or acknowledgement in any way you wish. Send questions, comments, complaints, performance data, etc to dl@cs.oswego.edu

VERSION 2.7.2 Sat Aug 17 09:07:30 2002 Doug Lea (dl at gee)

Note: There may be an updated version of this malloc obtainable at
ftp://gee.cs.oswego.edu/pub/misc/malloc.c
Check before installing!

E x h i b i t D

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit.
See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright © 1998-2002 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

ExhibitE

The following is included in leagal.htm.

> This is free software, and comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY.
> You are welcome to redistribute it without restriction.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY.

LSI LOGIC DISCLAIMS ALL REPRESENTATIONS AND WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT SHALL LSI LOGIC BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACT OR OMISSION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

ExhibitF

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.1, November 17th, 2003

Copyright © 1995-2003 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alumni.caltech.edu

ExhibitG

●利用と配布
Copyright (c) 1997, 1998, 1999 The PPxP Development Team. All rights reserved.

以下の条件が満たされる限り、変更の有無に関係なくソースおよびバイナリ形式での再配布と利用を許可します:

ソースコードの再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項がそのまま含まれていなければなりません。
バイナリ形式の再配布には上記の著作権表示、これらの条項と後述の免責条項が配布に含まれている文章、もしくはその他の資料にそのまま含まれていなければなりません。
このソフトウェアの機能や利用方法について記述されている全ての宣伝資料には以下の文章を記載して下さい:
　この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。

事前承諾なしにこのソフトウェアから派生した製品の推奨や宣伝のためにこのチームや賛同者達の名前を利用することはできません。

●免責
PPxP開発チームが提供しているのはソフトウェアそのもののみであり、保証や責任などを提供しているわけではありません。このソフトウェアを導入したり、利用したりすることにより、あるいは何もしないことによりよって生じたいかなる問題についてもこのチーム、そのメンバー、テスター、および本ソフトウェア内に名前が記載されている者が責任を負うことはありません。

USB 端子に接続できる機器について

● 下表の番号が 1 〜 34 までの機種については、本機に接続して「写真を見たい」（→ 143 ページ）で使用できることを確認済みです。
また、USB キーボード（表中の番号が 35 以後の機種）については、本機に接続して「市販のキーボードを使う」（→ 109 ページ）で使用できることを確認済みです。
ただし、どちらの場合もすべての動作を保証するものではなく、機種によってはいくつかの機能が正常に動作しない場合もありますので、ご了承ください。
● 下表以外の機器については、正しく動作しない場合があります。
● 接続のしかたと USB 機器を使用する際の注意については、「USB マスストレージとのつなぎかた」や「USB キーボードとのつなぎかた」（どちらも 123 ページ）に記載していますので、よくお読みください。
● 接続できる機器については、ホームページで順次公開していく予定です。（ホームページについては 19 ページを参照）

■ USB 端子に接続できる機器

番号	機器の分類	メーカー	形名等
1	メモリーカードリーダー（ライター）※1	バッファロー	MCR-M3/U2
2		バッファロー	MCR-MST-LT/U2
3		バッファロー	MCR-SD-LT/U2
4		バッファロー	MCR-SM-LT/U2
5		バッファロー	MCR-CF-LT/U2
6		バッファロー	MCR-MINISD/U2
7		バッファロー	MCR-C8/U2
8		バッファロー	MCR-MSDUO
9		アイ・オー・データ機器	US2-8MRW
10		アイ・オー・データ機器	USB2-8inRW
11	携帯電話	NTT ドコモ（NEC）※2	N900i
12		NTT ドコモ（NEC）※2	N900iS
13		NTT ドコモ（三菱電機）※2	D900i
14		au(三洋電機) ※3	A5505SA
15	デジタルカメラ	東芝	PDR-2300
16		東芝	PDR-5300
17		東芝	PDR-3310
18		東芝	PDR-M700
19		東芝	PDR-T15
20		東芝	PDR-T10
21	デジタルカメラ	東芝	PDR-T30
22		東芝	PDR-T20
23		東芝	PDR-M40s
24		東芝	PDR-M4
25		東芝	PDR-M70
26		東芝	PDR-M25
27	USB メモリー	東芝	U2A-128MT
28		東芝	U2A-256MT
29		アイ・オー・データ機器	EDP-256M
30		アイ・オー・データ機器	EDL-256M
31		アイ・オー・データ機器	EDM-256M
32		バッファロー	RUF-X256/U2
33		バッファロー	RUF-C256ML/U2
34		バッファロー	RUF-C256ML
35	USB キーボード	ロジクール	CK-87MX
36		サンワサプライ	SKB-112UH
37		サンワサプライ	SKB-SL03U
38		サンワサプライ	SKB-SL04U
39		エレコム	TK-U89H2MSV

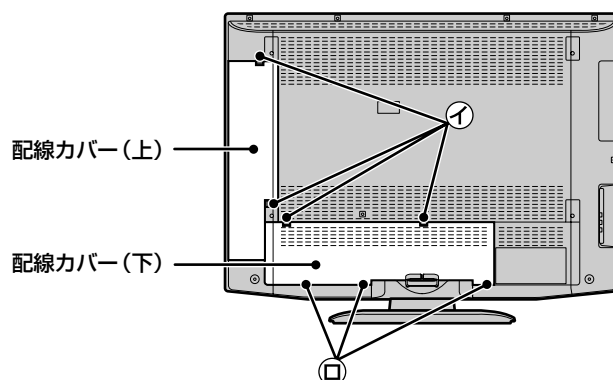
※1 本機からメモリーカードリーダー(ライター)への書き込みはできません。
※2 別売りのFOMA USB接続ケーブルが必要
携帯電話側で設定変更が必要
※3 携帯電話側で設定変更が必要

配線カバーの取り付け、取りはずしと配線処理のしかた

● 配線カバーの（上）、（下）2 枚の取り付け、取りはずしは以下の順序で行ってください。
● 配線カバーの（上）、（下）を取りはずした状態で、コードクランパーを利用し配線処理をすれば、配線が整理されます。

■取りはずすとき（配線カバー（下）で説明）

①配線カバー(下)の㋑部のフック2カ所を下側に押しながら、手前に引いてロックをはずします。
②配線カバー(下)を上に静かに持ち上げながら、カバー㋺部の爪3カ所を本機の穴からはずします。
③配線カバーを取りはずします。

(配線カバーが取り付けられている状態)

配線カバー（上）
配線カバー（下）
㋑
㋺

■取り付けるとき（配線カバー（下）で説明）

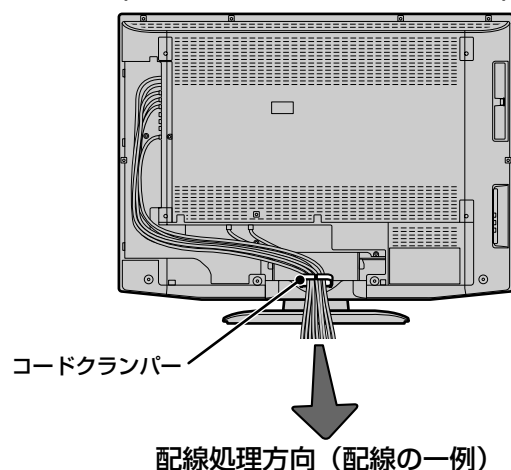
①配線カバー(下)の㋺部の爪3カ所を、本機の穴に差し込みます。
②配線カバー(下)の㋑部のフック2カ所を下側に押しながら本機側にたおしてゆき、本機が「パチン」という音がするまで押し込みます。

■配線処理のしかた

①配線カバー(上)、(下)を取りはずした状態にします。
②コードクランパーを利用し、配線を処理します。
（右図をご参照ください。）

(配線カバーを取りはずした状態)

コードクランパー

配線処理方向（配線の一例）

⚠注意	■ コードクランパーは手かけとして使用しない ● スタンド部を取りはずす場合は、テレビ本体を立てたまま行ってください。 ● コードクランパーを、手かけとして使用すると、テレビが落下し、けがの原因となることがあります。

お手入れ／上手な使いかた

■お手入れのしかた

⚠注意	■お手入れは、電源プラグをコンセントから抜いて行う 感電の原因となることがあります。

■ベンジン・アルコールなどは使わない
- ベンジン·アルコールなど揮発性のものは使わないでください。キャビネットが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

■キャビネットや操作パネルのお手入れ
- 柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

■画面（液晶パネル）は特殊な加工をしています
- 固い布でふいたり、強くこすったりすると表面が傷つきますので、ていねいに扱ってください。

■画面（液晶パネル）は水ぶきをしない
- 脱脂綿あるいはガーゼなどの乾いた柔らかい布（OA機器清掃用の布）で軽くふいてください。
- アセトンなどケトン類やキシレン、トルエンなどの溶剤、水は使用しないでください。

■正しい見かた

■部屋の明るさは新聞が読める程度で
- 明るすぎ、暗すぎは目を疲れさせます。
時々、目を休めましょう。

■音量は適切に
- 音量は周囲に迷惑にならないように、適切な大きさでお聞きください。特に夜間はご注意ください。

■お願い

■BS・110度CSデジタル用アンテナの設置について

マンションなど共同住宅の場合は、出入口や避難設備には、アンテナを設置できません。また、避難通路・消防上必要な通路のじゃまにならない所に設置する必要があります。消防法、地方自治体の条例などに触れないように、ご注意ください。また建物の管理者にもご相談ください。

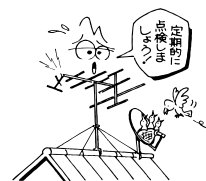
■アンテナ工事は技術と経験が必要

販売店にご相談ください。設置は送配電線から離れた、安全な場所を選び堅固に設置してください。

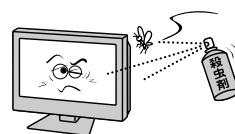
■機器相互間のかんしょうについて

外部機器などからでる電磁波によって、映像の乱れや雑音などになる場合があります。かんしょうしない位置に設置してください。

■アンテナは定期的に点検・交換を

通常アンテナの設置場所は、屋外のため傷みやすく性能が低下します。特に、ばい煙の多い地域、温泉、海岸の近くではさらに傷みやすくなります。映りが悪くなったときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

■殺虫剤やビニールとの接触について

キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品を長時間触れさせたりしないでください。材料の変質や塗料がはげたり、シミが付いたりすることがあります。

仕様

項目		テレビ本体		リモコン
種類		地上・ＢＳ・110度ＣＳデジタルハイビジョン液晶テレビ		
		テレビ本体		リモコン
形名		32LC100	37LC100	CT-90225
電源		AC 100V 50/60Hz共用		DC3V(単四形、2個)
消費電力	電源「入」時	145W	193W	
	電源「待機」時	0.6W ただし、以下の設定や動作をしているときは、22W (ネットdeナビ制御「制御あり」時、デジタル放送録画時、番組情報取得などの動作中)		
	電源「切」時	0.5W		
スタンドを含む外形寸法( )は本体のみ	幅	79.4cm (79.4cm)	91.6cm (91.6cm)	——
	高さ	63.0cm (57.6cm)	71.6cm (66.1cm)	
	奥行	30.0cm (9.9cm)	30.0cm (10.9cm)	
スタンドを含む質量( )は本体のみ		22.7kg (19.1kg)	29.5kg (24.7kg)	
液晶画面	画面サイズ	32V型 幅69.8cm×高さ39.2cm・対角80.0cm	37V型 幅82.0cm×高さ46.1cm・対角94.0cm	
	駆動方式	TFTアクティブマトリクス		
	画素数	水平1366 × 垂直768		
受信チャンネル		地上アナログ:VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C38) 地上デジタル:VHF(1～12)、UHF(13～62)、CATV(C13～C63) BSデジタル:BS000～BS999、110度CSデジタル:CS000～CS999		
スピーカー		6cm×12cm 2個		
音声出力		実用最大出力 10W＋10W(総合音声出力 20W)(JEITA)		
入力・出力端子	ビデオ入力(入力1、2、3/ゲーム)	S2映像(ビデオ入力2のみ):Y入力:1V(p-p)、75Ω、同期負、C入力:0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:150mV(rms)、22kΩ以上(ピンジャック)		
	オーディオ出力(固定)	音声:150mV(rms)、2.2kΩ以下(ピンジャック)		
	デジタル放送録画出力	S1映像:Y出力:1V(p-p)、75Ω、同期負、C出力:0.286V(p-p)(バースト信号)、75Ω 映像:1V(p-p)、75Ω、同期負(ピンジャック)、音声:250mV(rms)、2.2kΩ以下(ピンジャック)		
	D4映像入力(ビデオ1)	14ピン、1.27mmピッチ Y:1V(p-p)、P_B/C_B、P_R/C_R:0.7V(p-p)		
	USB端子	USB1.1		
	電話回線接続端子	モジュラージャック方式		
	LAN端子	RJ-45		
	ヘッドホーン端子	口径3.5mmステレオジャック、適合インピーダンス8Ω～32Ω		
	ビデオコントロール端子	口径3.5mmミニジャック		
使用条件		使用周囲温度:0℃～35℃、使用周囲湿度:20%～80%(結露のないこと)		
意匠	キャビネット材質	ポリスチレン樹脂(PS)		
角度調整範囲(テレビスタンド)		左右方向:約15° 上下方向:不可		
主な付属品		取扱説明書 (本書) ×1部 簡単ガイド ×1枚 リモコン(CT-90225) ×1個 単四形乾電池(R03) ×2個 BS・110度CSデジタル放送受信契約申込書 ×1式	電話機コード ×1本 モジュラー分配器 ×1個 ビデオコントロールケーブル ×1本 同軸ケーブル ×1本 B-CASカード(IDラベル付き) ×1枚	

●意匠･仕様･ソフトウェアは製品改良のため予告なく変更することがあります。
●テレビのＶ型（32 Ｖ型など）は、有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
●このテレビを使用できるのは日本国内だけで、外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
(This television set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)
●本商品は、ご愛用終了時に再資源化の一助としておもなプラスチック部品に材質名表示をしています。
●本商品の改造は感電、火災などのおそれがありますので行わないでください。
●イラスト、画面表示などは、見やすくするために誇張や省略などで実際とは多少異なります。
●省エネルギーのため長時間テレビを見ないときは電源プラグを抜いてください。
●「JIS C 61000−3−2 適合品」ー JIS C 61000−3−2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性ー第3-2部：限度値ー高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計･製造した製品です。
●液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られており、微細な画素の集合で表示しています。99．99%以上の有効画素があり、ごく一部（0.01%以下）に画素が光らなかったり、常時点灯する画素などがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。
●静止画をしばらく表示したあとで映像内容が変わった時に、前の静止画が残像として見えることがありますが、自然に回復します。（故障ではありません。）
※本製品は、マクロヴィジョン社ならびに他の権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護された著作権保護技術を採用しています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要で、また、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
※この製品にはPPxP開発チームによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※この製品にはOpenSSLプロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
※この製品に含まれているソフトウェアをリバース･エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル、分解またはその他の方法で解析、及び変更することは禁止されています。
※国外で本品を使用して有料放送サービスを享受することは有料放送契約上禁止されています。
(It is strictly prohibited, as outlined in the subscription contract, for any party to receive the services of scrambled broadcasting through use of this television set in any country other than Japan and its geographic territory as defined by international Law.)

B-CAS カード ID 番号記入欄

●下欄にB-CASカードのID番号をご記入ください。
・お問い合わせの際に役立ちます。